



HeartCore



Heartcore, Inc.
www.heartcore.co.jp
support@heartcore.co.jp

Heartcore, Inc.

HeartCore

Web コンテンツ管理システム

ウェブサイト開発者ガイド

簡単・安価に Web サイトを作成・公開・管理

著作権および機密情報

著作権 ハートコア株式会社 1999–2020。当ユーザガイドはハートコア株式会社の機密情報により構成されています。本書の無断複製、複写、転写、情報検索方式での格納、又は、いかなる言語への翻訳においてもハートコア株式会社の許可無しでは固く禁じられています。

注意

ハートコア株式会社は、本書の記載内容において、何時でも予告なく変更することがあります。また、本書において明示または黙示を問わず、一切保証致しません。ハートコア株式会社はいかなる場合においても、購入した際および本書の使用時、またはこれに含まれる情報によって生じた間接的、特別かつ偶発的損害に関しての責任を負いません。

ライセンスおよび商標

HeartCore Web コンテンツ管理や HeartCore ロゴは商標であり、ハートコア株式会社独自の登録商標です。また、その他の企業、製品、トレードネームは商標であり、各所有者の登録商標です。

HeartCore Web コンテンツ管理は wz_dragdrop.js ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2002-2003 Walter Zorn (www.walterzorn.com) ライセンスは GNU Lesser General Public License (LGPL) (<http://www.gnu.org/copyleft/lesser.html>) の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は wz_jsgraphics.js ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2002-2004 Walter Zorn (www.walterzorn.com) ライセンスは GNU Lesser General Public License (LGPL) (<http://www.gnu.org/copyleft/lesser.html>) の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Dynarch DHTML Calendar ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2002-2005 Mihai Bazon (<http://www.bazon.net/mishoo> - <http://www.dynarch.com/projects/calendar>) ライセンスは GNU Lesser General Public License (LGPL) (<http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html>) の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Kryogenix sortable ライブラリを使用しています。Copyright (c) 1997-2005 Stuart Langridge (<http://www.kryogenix.org/code/browser/sortable/>) ライセンスは MIT License (<http://www.kryogenix.org/code/browser/license.html>) の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は SWFupload コンポーネントとライブラリを使用しています。Copyright (c) 2006-2007 Lars Huring, Olov Nilzén, Mammon Media Copyright (c) 2007-2008 Jake Roberts (<http://www.swfupload.org/>) ライセンスは MIT License (<http://www.opensource.org/licenses/mit-license.php>) の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Prototype ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2005 Sam Stephenson (<http://prototype.conio.net/>) ライセンスは MIT License (<http://www.kryogenix.org/code/browser/license.html>) の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Scriptaculous ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2005 Thomas Fuchs (<http://script.aculo.us/>) このライブラリはフリーソフトウェアとして使用が許可されています。

HeartCore Web コンテンツ管理は Rico ライブラリの一部を使用しています。Copyright (c) 2005 Sabre Airline Solutions (<http://openrico.org/>) ライセンスは Apache License Version 2.0 の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Rico Livegrid Plus ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2006 Matt Brown (<http://dowdybrown.com/>) ライセンスは Apache License Version 2.0 の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Lightbox library ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2006 Lokesh Dhakar (<http://www.huddlettogether.com/>) ライセンスは Creative Commons Attribution 2.5 License (<http://creativecommons.org/licenses/by/2.5/>) の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は TableKit ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2007 Andrew Tetlaw & Millstream Web Software (<http://www.millstream.com.au/view/code/tablekit/>) このライブラリはフリーソフトウェアとして使用が許可されています。

HeartCore Web コンテンツ管理は jQuery ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2011 John Resig (<http://jquery.org/>) ライセンスは MIT License (<http://jquery.org/license/>) の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は jsTree ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2010 Ivan Bozhanov (<http://jstree.com/>) ライセンスは MIT License (<http://www.opensource.org/licenses/mit-license.php>) の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は JavaBeans Activation Framework ライブラリを使用しています。Copyright (c) Sun Microsystems (<http://www.sun.com/>) ライセンスは Sun Microsystems, Inc. Binary Code License Agreement の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は JavaMail ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2009 Sun Microsystems (<http://www.sun.com/>) ライセンスは Sun Microsystems, Inc. Binary Code License Agreement の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Apache Jakarta JCS ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2001-2007 The Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) ライセンスは Apache License Version 2.0 の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Apache Commons Logging ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2003-2007 The Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) ライセンスは Apache License Version 2.0 の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Apache log4j ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2010 The Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) ライセンスは Apache License Version 2.0 の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は concurrent ライブラリを使用しています。Copyright (c) Doug Lea (<http://gee.cs.oswego.edu/dl/classes/EDU/oswego/cs/dl/util/concurrent/intro.html>) このライブラリはフリーソフトウェアとして使用が許可されています。

HeartCore Web コンテンツ管理は slidetabs ライブラリを使用しています。Copyright (c) WebStack (<http://www.slidetabs.com/>)

HeartCore Web コンテンツ管理は ContentBuilder.js ライブラリを使用しています。Copyright (c) InnovaStudio (<http://www.innovastudio.com/>)

HeartCore Web コンテンツ管理は CodeMirror ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2017 Marijn Havebeke (marijnh@gmail.com) (<http://www.codemirror.net/>) ライセンスは MIT License (<https://codemirror.net/LICENSE>) の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は Tiny Colorpicker ライブラリを使用しています。Copyright (c) 2013 Maarten Baijs (<http://www.baijs.com/>) ライセンスは MIT License の条件に準じます。

HeartCore Web コンテンツ管理は HTML5 FormData Polyfill を使用しています。Copyright (c) 2016 Jimmy Karl Roland Wärtig (<https://github.com/jimmywarting/FormData>) ライセンスは MIT License の条件に準じます。

HeartCore

Web コンテンツ管理システム

簡単・安価に Web サイトを作成・公開・管理

はじめに

本書は、HeartCoreWeb コンテンツ管理システムのウェブサイト開発者ガイドです。HeartCoreWeb コンテンツ管理システムの比較的高度な特殊コードや HTML フォームを使って、Web サイトのコンテンツや機能をプログラムする方法をご説明します。

通常、少なくとも@@@title@@@や@@@content@@@などの簡単な特殊コードは、Web サイトテンプレートに使用されます。他の多数の特殊コードは、より高度な Web サイトコンテンツに使用されます。特別な HTML フォームもまた、Web サイトビジターがユーザとして登録したり、コンテンツを投稿したり、等の目的で使用されます。

本書は、9つのパートに大別されます。

パート1では、Web サイトのテンプレートやページで 사용되는基本的な特殊コードについてご説明します。

パート2では、高度な動的コンテンツや機能向けに、Web サイトのテンプレートやページで 사용되는、より高度な特殊コードについてご説明します。

パート3では、特別なコンテンツや機能へリンクさせるために、Web サイトのテンプレートやページで 사용되는、特殊リンクについてご説明します。

パート4では、コンタクトフォームやログインフォーム、検索フォーム機能向けに、Web サイトのテンプレートやページで 사용되는、特殊フォームについてご説明します。

パート5では、検索ページやログインページ、またパスワード取得ページなどといった、デフォルトで設定されるべき特殊ページについてご説明します。

パート6では、動的プログラムスクリプトで生成されたコンテンツ向けに含まれた拡張、もしくは独自カスタム拡張の使用方法についてご説明します。

パート7では、コミュニティ追加モジュール用の追加特殊コード、リンク、フォームについてご説明します。

パート8では、データベース追加モジュール用の追加特殊コード、リンク、フォームについてご説明します。

パート9では、E コマース追加モジュール用の追加特殊コード、リンク、フォームについてご説明します。

目次

はじめに	4
目次	5
1 基本的な WEB サイトコンテンツ特殊コード	10
1.1 テンプレート	10
1.1.1 ページコンテンツ	10
1.1.2 追加コンテンツ構成要素	11
1.2 カスタム Web サイト設定	11
2 高度な WEB サイトコンテンツ特殊コード	13
2.1 ページコンテンツ	13
2.2 カスタムメタ情報	13
2.3 カスタムメタ情報	13
2.4 日時	13
2.5 他のコンテンツ項目をインクルード	16
2.6 コンテンツ項目のリスト	17
2.6.1 リストエントリ	43
2.7 ランダムコンテンツ項目	45
2.8 一般的な条件コンテンツ	53
2.9 ソフトウェアライセンスキー条件コンテンツ	55
2.10 ブラウザ/デバイス条件コンテンツ	56
2.11 HTML FORM と URL パラメータ	58
2.12 HeartCoreWeb コンテンツエディタ入力フィールド	60
2.13 CAPTCHA 認証フォーム	62
2.13.1 特殊フォーム	63
2.13.2 特殊コード	63
2.14 フォーム認証	64
2.14.1 特殊フォーム	64
2.14.2 特殊コード	65

2.15	クッキー	65
3	特殊リンク	67
3.1	Web サイトコンテンツバージョンの選択	67
3.1.1	コンテンツエディターコンテンツバージョンへのハイパーリンク挿入	67
3.2	関連コンテンツへの動的ナビゲーションリンク	68
3.2.1	コンテンツエディター関連コンテンツへのハイパーリンク挿入	69
3.3	代替テンプレートを使用して表示されるページへのリンク	70
3.4	代替スタイルシートを使用して表示されるページへのリンク	70
3.5	代替テンプレートとスタイルシートを使用した印刷ページ	71
3.6	ログイン	71
3.7	ログアウト	72
3.8	ユーザ名とパスワードを忘れた場合の再取得	72
3.9	ATOM、RSS、XML コンテンツ	72
3.10	個別コンテンツ項目の表示／検出	73
4	特殊フォーム	74
4.1	コンタクトフォーム	74
4.2	ログインフォーム	76
4.2.1	ワンタイムパスワードログインページ	77
4.2.2	ワンタイムパスワードログイン E メール	78
4.2.3	Facebook ログイン	79
4.2.4	Google ログイン	79
4.2.5	OpenID ログイン	80
4.3	検索フォーム	80
4.3.1	検索結果ページ	82
4.3.2	検索結果エントリ	83
5	特殊ページ	85
5.1	デフォルトログインページ	85
5.2	デフォルトログインページコード	85
5.3	ログインコード E メール	85
5.4	デフォルト検索結果ページ	85

5.5	デフォルト検索結果エントリ	85
5.6	デフォルトリストエントリ	85
5.7	公開準備完了 E メール	86
5.8	パスワード取得ページ	87
5.9	パスワード取得確認ページ	88
5.10	パスワード取得 E メール	88
5.11	パスワード取得エラー	89
5.12	パスワード期限切れページ	89
5.13	コンテンツおよびユーザ印刷ページ	90
6	カスタム/サードパーティエクステンション	92
6.1	使用	92
6.2	内蔵カスタムエクステンション	92
6.2.1	ブレッドクラム経路	93
6.2.2	ナビゲーションメニュー	93
6.2.3	サイトマップ	96
6.2.4	RSS チャンネル	97
6.2.5	カレンダー	99
6.2.6	日付フォーマット	101
6.2.7	外部データベースのデータ	101
6.2.8	ユーザデータ	103
6.2.9	検索エンジンとディレクトリ参照	106
6.2.10	計算	108
6.2.11	リダイレクト	108
6.2.12	キーワードリンクリスト	109
7	コミュニティ追加モジュール	111
7.1	特殊コード	111
7.1.1	Web サイトユーザアカウントのリスト	111
7.1.2	ユーザアカウント詳細の表示	122
7.2	ユーザ登録	124
7.2.1	ユーザ登録フォームページ	125
7.2.2	ユーザ登録ユーザ	131
7.2.3	パーソナルページのテンプレートページ	132
7.2.4	ユーザ登録確認 E メール	133
7.2.5	ユーザ登録通知 E メール	134
7.2.6	ユーザ登録完了ページ	134
7.2.7	Web サイト設定	135



7.3	パーソナルページと管理	135
7.3.1	パーソナルページテンプレート	136
7.3.2	パーソナルページ	136
7.3.3	パーソナルページ管理	136
7.3.4	パーソナルページコンテンツ	138
7.3.5	パーソナルページ設定	140
7.3.6	個人情報	142
7.3.7	Web サイト設定	146
7.4	ユーザグループ/タイプ入会	147
7.4.1	ユーザグループ/タイプへ入会	147
7.4.2	ユーザグループ/タイプからの退会	147
7.4.3	コンテンツエディター入会・退会へのハイパーリンク挿入	148
7.5	ユーザ投稿コンテンツ	148
8	データベース追加モジュール	156
8.1	特殊フォーム	156
8.1.1	データベースコンテンツの検索及び表示	156
8.1.2	データベースコンテンツのポスト	162
8.2	特殊コード	167
8.3	特殊ページ	181
8.3.1	カスタム管理ページ	181
9	E コマース追加モジュール	184
9.1	特殊コード	184
9.1.1	商品詳細	184
9.1.2	カスタム商品詳細	186
9.1.3	商品の出荷	186
9.1.4	Web サイトカスタマーの注文リスト	189
9.1.5	Web サイトカスタマーの注文詳細をインクルード	196
9.2	特殊リンク	197
9.2.1	ショッピングカートに追加	197
9.2.2	ショッピングカートの中を見る	197
9.2.3	チェックアウト	197
9.2.4	注文内容の確認	197
9.2.5	注文の完了	197
9.2.6	PayPal を使用した支払い	197
9.2.7	コンテンツエディター商品や E コマースページへのハイパーリンク挿入	198
9.3	特殊フォーム	199
9.3.1	ショッピングカートサマリページ/フォーム	200
9.3.2	ショッピングカートページ	201
9.3.3	チェックアウトページ	206
9.3.4	注文確認ページ	213



9.3.5	注文完了ページ	220
9.3.6	注文確認Eメールページ	222
9.3.7	注文通知Eメールページ	224
9.3.8	注文状況追跡Eメールページ	226
9.4	特殊ページ	227
9.4.1	デフォルトショッピングカートサマリーページ	227
9.4.2	デフォルトショッピングカートサマリーエントリ	227
9.4.3	デフォルトショッピングカートページ	227
9.4.4	デフォルトショッピングカートエントリ	228
9.4.5	デフォルトチェックアウトページ	228
9.4.6	デフォルトチェックアウトエントリ	228
9.4.7	デフォルト注文確認ページ	228
9.4.8	デフォルト注文確認エントリ	228
9.4.9	デフォルト注文完了ページ	228
9.4.10	デフォルト注文完了エントリ	228
9.4.11	デフォルト空のショッピングカートページ	228
9.4.12	デフォルト注文確認Eメールページ	228
9.4.13	デフォルト注文確認Eメールエントリ	228
9.4.14	デフォルト注文通知Eメールページ	229
9.4.15	デフォルト注文通知Eメールエントリ	229
9.4.16	デフォルト注文状況トラッキングEメールページ	229
9.4.17	デフォルト注文状況トラッキングEメールエントリ	229
9.4.18	デフォルト支払い成功ページ	229
9.4.19	デフォルト支払いキャンセルページ	229
9.4.20	商品および注文印刷ページ	229
9.4.21	デフォルトログインページ	230

1 基本的な Web サイトコンテンツ特殊コード

1.1 テンプレート

テンプレートは、すべての Web サイトページにおける全体的なグラフィックデザイン、ページレイアウトを定義します。テンプレートは、どこに、どのような形でメインのページコンテンツと追加の構成要素コンテンツが Web ページに表示されるかを定義します。

フォーマットされたテキストやイメージ、ファイル、リンクから構成されているテンプレートコンテンツを作成、更新するには、コンテンツエディタを使用します。

通常のテンプレートコンテンツのフォーマットされたテキスト、イメージ、ファイル、リンクに加え、ユーザが Web ページを閲覧した際に、ページや構成要素がテンプレートのどこへ挿入されるかを定義しなければなりません。そのためには、テンプレートコンテンツ内で、シンプルな特別テキストコードを使用します。ユーザが Web ページを見る際には、シンプルな特殊テキストコードは実際のページや構成要素に置き換えられます。

1.1.1 ページコンテンツ

必ずしも下記の特特殊コードをテンプレートに含む必要はありませんが、通常、`@@@title@@@`と`@@@content@@@`は少なくとも使用するでしょう。

下記特殊コードは、テンプレートで頻繁に使用されますが、ページや他のコンテンツ項目で使用することも可能です。（`@@@content@@@`だけは、テンプレートでのみ使用）

- `@@@title@@@`
ページタイトルが表示される位置を定義する。
- `@@@content@@@`
ページコンテンツが表示される位置を定義する。
- `@@@summary@@@`
ページサマリが表示される位置を定義する。
- `@@@filename@@@`
ページのファイル名（もしあれば）が表示される位置を定義する。
- `@@@image1@@@`
ページの `image1` コンテンツ項目 `id` が挿入される位置を定義する。
- `@@@image2@@@`
ページの `image2` コンテンツ項目 `id` が挿入される位置を定義する。
- `@@@image3@@@`
ページの `image3` コンテンツ項目 `id` が挿入される位置を定義する。
- `@@@file1@@@`
ページの `file1` コンテンツ項目 `id` が挿入される位置を定義する。
- `@@@file2@@@`
ページの `file2` コンテンツ項目 `id` が挿入される位置を定義する。
- `@@@file3@@@`
ページの `file3` コンテンツ項目 `id` が挿入される位置を定義する。

- `@@@link1@@@`
ページの link1 コンテンツ項目 id が挿入される位置を定義する。
- `@@@link2@@@`
ページの link2 コンテンツ項目 id が挿入される位置を定義する。
- `@@@link3@@@`
ページの link3 コンテンツ項目 id が挿入される位置を定義する。

1.1.2 追加コンテンツ構成要素

Web サイトで使用する追加コンテンツ構成要素の数やクラスは固定ではなく、要件を満たすよう設定することが可能です。詳しくは、「設定ガイド」をご参照下さい。

独自のコンテンツ構成要素クラスを定義している場合は、前述の特殊コード例に類似した下記特殊コードを使用します。例えば、“signature” という構成要素クラスを定義しているとするなら、単純に `@@@signature.title@@@` でその構成要素のタイトルを、`@@@content@@@` でコンテンツを表示させます。

設定した構成要素クラス名は、大文字や小文字、スペース、句読点などに注意し、間違いのないように入力して下さい。

- `@@@menu.title@@@`
構成要素“メニュー”のタイトルが表示される位置を定義する。
- `@@@menu.content@@@`
構成要素“メニュー”のコンテンツが表示される位置を定義する。
- `@@@logo.title@@@`
構成要素“ロゴ”のタイトルが表示される位置を定義する。
- `@@@logo.content@@@`
構成要素“ロゴ”のコンテンツが表示される位置を定義する。
- `@@@news.title@@@`
構成要素“ニュース”のタイトルが表示される位置を定義する。
- `@@@news.content@@@`
構成要素“ニュース”のコンテンツが表示される位置を定義する。
- `@@@banner.title@@@`
構成要素“バナー”のタイトルが表示される位置を定義する。
- `@@@banner.content@@@`
構成要素“バナー”のコンテンツが表示される位置を定義する。

1.2 カスタム Web サイト設定

「設定」／「システム」／「Web サイト」／「Web サイト設定」より、カスタム Web サイト設定をいくつでも設定可能です。詳しくは、「設定ガイド」をご参照下さい。

各 Web サイト設定は、“ヘディング”と“ネーム”で識別されます。カスタム Web サイト設定は、Web サイト上のページ、テンプレート、スタイルシート、そしてスクリプトなどに、

「@@@config:HEADING:NAME@@@」特別コードを使用して、Web サイト上に使用することが出来ます。（“HEADING”を、Web サイト設定の「ヘディング」ラベルと置換え、“NAME”を Web サイト設定の「ネーム」ラベルと置換える）そしてこれは、ページ等が Web サイト上で閲覧・使用された場合に、その Web サイト設定の値に自動的かつダイナミックに置き換えられます。

このような特殊コードを、テンプレートやページ、スタイルシート、スクリプト内で使用することで、簡単に共通の Web サイト設定を変更することができます。例えば、複数のコンテンツ項目を逐一変更せずとも、一か所変更するだけで Web サイトの色などを変更することができます。

2 高度な Web サイトコンテンツ特殊コード

2.1 ページコンテンツ

以下の特殊コードを使って、リンク等で現在表示中のページ自身を参照することができます。

- `@@@id@@@`
ページの id が表示される位置を定義します。
- `@@@content_id@@@`
ページ／コンテンツの id が表示される位置を定義します。

注意：`@@@id@@@`特殊コードは、データベースデータ等のリストでも使用可能で、リスト化されたデータ項目の id を参照したり表示したりすることができます。リスト等に含まれるページ／コンテンツの id を取得し表示したい場合は、`@@@id@@@`ではなく `@@@content_id@@@` を使用してください。

注意：コンテンツのバージョンバリエーションについて、`@@@id@@@`はデフォルト／マスターコンテンツの id を表示します。`@@@content_id@@@`は、表示中コンテンツのバージョンバリエーションの id を表示します。例えば、`"/page.jsp?id=123&version=mobile"`に対し、`@@@id@@@`は「123」を表示し、`@@@content_id@@@`は、123 コンテンツの「mobile」バージョンバリエーションの id を表示します。

2.2 カスタムメタ情報

デフォルトではカスタムメタ情報属性は、“内部利用のみ”として追加された場合を除いては、Web サイトページの隠しヘッダ情報として含まれます。カスタムメタ情報はまた、Web サイト上で他の方法でも使用できます。

プライマリコンテンツや他のコンテンツ属性内にて、`@@@metainfo_ATTRIBUTE@@@`特殊コードを使ってカスタムメタ情報属性を表示させることが可能です。（“ATTRIBUTE”をカスタムメタ情報属性名と置き換える）このような特殊コードは、公開もしくは内部利用のみ、どちらのカスタムメタ情報属性にも使用できます。

また、`@@@list:.....@@@`特殊コードを使って、ある特定のカスタムメタ情報属性値を持つコンテンツのみをリストするようフィルタ処理を行なうことも可能です、例えば

`@@@list:pages:metainfo_ATTRIBUTE=VALUE@@@`を使って。また例えば

`@@@list:pages:order=metainfo_ATTRIBUTE@@@`のように、カスタムメタ情報属性値によって、リスト化されるコンテンツを順序付けすることも可能です。

2.3 カスタムメタ情報

デフォルトでは、コンテンツスキーマメタ情報属性は、隠しヘッダ情報としてウェブサイトページに含まれます。別の方法でコンテンツスキーマメタ情報属性をウェブサイトを使用することも可能です。

`@@@contentschema@@@`特殊コードを使って、プライマリコンテンツや他のコンテンツに属性にコンテンツスキーマメタ情報属性を表示することができます。

2.4 日時

コンテンツ項目の日付は、“`@@@created@@@`”、“`@@@updated@@@`”、

“`@@@published@@@`”、“`@@@now@@@`”特殊コードを使用して表示することができます。

“`@@@created@@@`”、“`@@@updated@@@`”、“`@@@published@@@`”はそれぞれ、コンテンツ項目が作成、更新、公開された日時を表示します。`@@@now@@@`は、Web サーバーの現在の

日時を表示します。デフォルトでは、Web コンテンツ管理システムで使用される内部のデフォルトの日付フォーマット（YYYY-MM-DD hh:mm:ss）で表示されます。“format” パラメータを追加すると、別のデータフォーマットを使用して日付を表示することができます。（例えば、“@@@published:format=%H:%M:%S,%A,%d.%B%Y@@@”）

@@@DATE:format=FORMAT@@@	指定されたフォーマット（“FORMAT” を下記に説明するフォーマットで置き換えます）を使用した日付（“DATE” を now, created, updated, または published で置き換えます）が挿入される場所を定義します。
--------------------------	--

日付フォーマットは、例えば “./-” などの一般的な特殊文字や、次のパラメータを使用することができます。パラメータは大文字と小文字を区別します。表示されているとおりに大文字と小文字を使用してください。

%S	秒を 2 桁の数字で表示します。(00-59)
%M	分を 2 桁の数字で表示します。(00-59)
%H	時を 2 桁の数字で、24 時間時計で表示します (00-23)
%I	時を 2 桁の数字で、12 時間時計で表示します (01-12)
%p	時間によって、“AM” または “PM” を表示します
%a	短縮された曜日名を表示します
%A	正式な曜日名を表示します
%d	月の日付を 2 桁の数字で表示します。(01-31)
%j	年の日付を 3 桁の数字で表示します (01-366)
%W	年の何番目の週かを 2 桁の数字で表示します (01-53)
%d	短縮された月の名前を表示します
%B	正式な月の名前を表示します
%m	月の番号を 2 桁の数字で表示します (01-12)
%y	年を 2 桁の番号で表示します (00-99)
%Y	年を 4 桁の番号で表示します (0000-9999)

デフォルトでは、指定した日時が表示されます。任意で、指定した日時に対する相対的な日時を表示することも可能です。例えば、@@@now:format=%Y@@@ は現在の年を、@@@now:year-1:format=%Y@@@ は昨年を、@@@now:year+1:format=%Y@@@ は来年を表示します。

@@@DATE:day+NUMBER:format=FORMAT@@@	NUMBER で指定した日数後の日付が、指定したフォーマットで表示される位置を定義します。（DATE を、now、created、updated、published のいずれかに置き換えてください。）
@@@DATE:day-NUMBER:format=FORMAT@@@	NUMBER で指定した日数前の日付が、指定したフォーマットで表示される位置を定義します。（DATE を、now、created、updated、published の

	いずれかに置き換えてください。)
@@@DATE:month+NUMBER:format=FORMAT@@@	NUMBER で指定した月数後の日付が、指定したフォーマットで表示される位置を定義します。(DATE を、now、created、updated、published のいずれかに置き換えてください。)
@@@DATE:month-NUMBER:format=FORMAT@@@	NUMBER で指定した月数前の日付が、指定したフォーマットで表示される位置を定義します。(DATE を、now、created、updated、published のいずれかに置き換えてください。)
@@@DATE:year+NUMBER:format=FORMAT@@@	NUMBER で指定した年数後の日付が、指定したフォーマットで表示される位置を定義します。(DATE を、now、created、updated、published のいずれかに置き換えてください。)
@@@DATE:year-NUMBER:format=FORMAT@@@	NUMBER で指定した年数前の日付が、指定したフォーマットで表示される位置を定義します。(DATE を、now、created、updated、published のいずれかに置き換えてください。)
@@@DATE:hour+NUMBER:format=FORMAT@@@	NUMBER で指定した時間後の日付が、指定されたフォーマットで表示される位置を定義します。(DATE を、now、created、updated、published のいずれかに置き換えてください。)
@@@DATE:hour-NUMBER:format=FORMAT@@@	NUMBER で指定した時間前の日付が、指定されたフォーマットで表示される位置を定義します。(DATE を、now、created、updated、published のいずれかに置き換えてください。)
@@@DATE:minute+NUMBER:format=FORMAT@@@	NUMBER で指定した分後の日付が、指定されたフォーマットで表示される位置を定義します。(DATE を、now、created、updated、published の

	いずれかに置き換えてください。)
@@@DATE:minute-NUMBER:format=FORMAT@@@	NUMBER で指定した分前の日付が、指定されたフォーマットで表示される位置を定義します。(DATE を、now、created、updated、published のいずれかに置き換えてください。)
@@@DATE:second+NUMBER:format=FORMAT@@@	NUMBER で指定した秒後の日付が、指定されたフォーマットで表示される位置を定義します。(DATE を、now、created、updated、published のいずれかに置き換えてください。)
@@@DATE:second-NUMBER:format=FORMAT@@@	NUMBER で指定した秒前の日付が、指定されたフォーマットで表示される位置を定義します。(DATE を、now、created、updated、published のいずれかに置き換えてください。)

2.5 他のコンテンツ項目をインクルード

どのコンテンツ項目も、他のコンテンツ項目のパーツを組み込むことができます。

- @@@include:ID.title@@@**
 指定したコンテンツ項目のタイトルの表示位置を定義する。“ID”は、コンテンツ項目の id (コンテンツ管理インデックスページで表示されています) と置き換えます。
- @@@include:ID.content@@@**
 指定したコンテンツ項目のコンテンツが表示される位置を定義する。“ID”は、コンテンツ項目の id (コンテンツ管理インデックスページで表示されています) と置き換えます。インクルードされるコンテンツ内の特殊コードは、ページに挿入された後にパースされます。例えば、インクルードされるコンテンツ内で使われている“@@@created@@@”は、そのコンテンツ項目の作成時間ではなく、ページが作成された時間に置き換えられます。
- @@@include:ID.body@@@**
 指定したコンテンツ項目のコンテンツが表示される位置を定義する。“ID”は、コンテンツ項目の id (コンテンツ管理インデックスページで表示されています) と置き換えます。インクルードされるコンテンツ内の特殊コードは、ページに挿入される前にパースされます。例えば、インクルードされるコンテンツ内で使われている“@@@created@@@”は、ページの作成時間ではなく、そのインクルードされるコンテンツ項目が作成された時間に置き換えられます。

オプションとして、コンテンツのインクルードを条件的にし、与えられた条件が正の時のみ、コンテンツを表示させることができます。コンテンツ表示を条件的にするには、上述されたコンテンツのインクルード特殊コードの後に、最後のパラメータとして、“:if:XXX=YYY”(XXX と YYY を、特殊コードや簡単なテキストと置き換えます)を追加します。(例：

@@@include:ID.content:if:###id###=@@@ は、“id” Web サイトアドレス URL パラメータが空白か、存在しない場合のみ、コンテンツを表示します。) コンテンツのインクルード(@@@include:.....@@@)のみ条件的にすることができる点に注意してください。 @@@title@@@ や @@@menu.content@@@ など、その他の特殊コードに条件付けすることはできません。

:if:XXX=YYY	XXX と YYY が同一の場合のみ、コンテンツインクルードが表示されるよう定義する。
:if:XXX!=YYY	XXX と YYY が異なる場合のみ、コンテンツインクルードが表示されるよう定義する。

2.6 コンテンツ項目のリスト

コンテンツページ、構成要素、テンプレートおよび商品に、コンテンツ項目リストを表示する特殊コードを含めることができます。コンテンツリストの特殊コードは、下記パラメータ群のどの組み合わせも使用することができます（例：“@@@list:pagegroup=x:pagetype=y@@@”）。

コンテンツリストは、指定したクラスの全コンテンツを一覧表示することができます。

@@@list:pages@@@	すべてのコンテンツページのリストが挿入される場所を定義する。
@@@list:files@@@	すべてのライブラリファイルのリストが一覧表示される場所を定義する。
@@@list:images@@@	すべてのライブラリイメージのリストが一覧表示される場所を定義する。
@@@list:links@@@	すべてのライブラリリンクのリストが一覧表示される場所を定義する。
@@@list:products@@@	すべてのEコマース商品のリストが挿入される場所を定義する。
@@@list:stylesheets@@@	すべてのスタイルシートのリストが挿入される場所を定義する。
@@@list:templates@@@	すべてのテンプレートのリストが挿入される場所を定義する。
@@@list:content@@@	すべてのクラスのコンテンツ項目のリストが挿入される場所を定義する。

コンテンツリストは、指定したクラス、バージョン、グループまたはタイプの全コンテンツをリスト表示できます。

@@@list:pagegroup=NAME@@@	指定されたグループ（“NAME”をグループ名で置き換える）の全コンテンツページのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:pagegroup in NAME,NAME@@@	指定されたグループのいずれかに当てはまる（“NAME”をグループ名で置き換える）全コンテンツページのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:pagegroup!=NAME@@@	指定されたグループ（“NAME”をグループ名で置き換える）ではない全コン



	テンツページのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:pagetype=NAME@@@	指定されたタイプ（“NAME”をタイプ名で置き換える）の全コンテンツページのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:pagetype in NAME,NAME@@@	指定されたタイプのいずれかに当てはまる（“NAME”をタイプ名で置き換える）全コンテンツページのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:pagetype!=NAME@@@	指定されたタイプ（“NAME”をタイプ名で置き換える）ではない全コンテンツページのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:filegroup=NAME@@@	指定されたグループ（“NAME”をグループ名で置き換える）のすべてのライブラリファイルのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:filegroup in NAME,NAME@@@	指定されたグループのいずれかに当てはまる（“NAME”をグループ名で置き換える）全ライブラリファイルのリストを挿入する。
@@@list:filegroup!=NAME@@@	指定されたグループ（“NAME”をグループ名で置き換える）ではない全ライブラリファイルのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:filetype=NAME@@@	指定されたグループ（“NAME”をタイプ名で置き換える）の全ライブラリファイルのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:filetype in NAME,NAME@@@	指定されたグループのいずれかに当てはまる（“NAME”をタイプ名で置き換える）全ライブラリファイルのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:filetype!=NAME@@@	指定されたグループ（“NAME”をタイプ名で置き換える）ではない全ライブラリファイルのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:imagegroup=NAME@@@	指定されたグループ（“NAME”をグループ名で置き換える）の全ライブラリイメージのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:imagegroup in NAME,NAME@@@	指定されたグループのいずれかに当てはまる（“NAME”をグループ名で置き換える）全ライブラリイメージのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:imagegroup!=NAME@@@	指定されたグループ（“NAME”をグループ名で置き換える）ではない全ライブラリイメージのリストを挿入する場所を定義する。



@@@list:imagetype=NAME@@@	指定されたタイプ（“NAME”をタイプ名で置き換える）の全ライブラリイメージのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:imagetype in NAME,NAME@@@	指定されたタイプのいずれかに当てはまる（“NAME”をタイプ名で置き換える）全ライブラリイメージのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:imagetype!=NAME@@@	指定されたタイプ（“NAME”をタイプ名で置き換える）ではない全ライブラリイメージのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:linkgroup=NAME@@@	指定されたグループ（“NAME”をグループ名で置き換える）の全ライブラリリンクのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:linkgroup in NAME,NAME@@@	指定されたグループのいずれかに当てはまる（“NAME”をグループ名で置き換える）全ライブラリリンクのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:linkgroup!=NAME@@@	指定されたグループ（“NAME”をグループ名で置き換える）ではない全ライブラリリンクのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:linktype=NAME@@@	指定されたタイプ（“NAME”をタイプ名で置き換える）の全ライブラリリンクのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:linktype in NAME,NAME@@@	指定されたタイプのいずれかに当てはまる（“NAME”をタイプ名で置き換える）全ライブラリリンクのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:linktype!=NAME@@@	指定されたタイプ（“NAME”をタイプ名で置き換える）ではない全ライブラリリンクのリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:productgroup=NAME@@@	指定されたグループ（“NAME”をグループ名で置き換える）の全Eコマース商品のリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:productgroup in NAME,NAME@@@	指定されたグループのいずれかに当てはまる（“NAME”をグループ名で置き換える）全Eコマース商品のリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:productgroup!=NAME@@@	指定されたグループ（“NAME”をグループ名で置き換える）ではない全Eコマース商品のリストを挿入する場所を定義する。



@@@list:producttype=NAME@@@	指定されたタイプ（“NAME”をタイプ名で置き換える）の全Eコマース商品のリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:producttype in NAME,NAME@@@	指定されたタイプのいずれかに当てはまる（“NAME”をタイプ名で置き換える）全Eコマース商品のリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:producttype!=NAME@@@	指定されたタイプ（“NAME”をタイプ名で置き換える）ではない全Eコマース商品のリストを挿入する場所を定義する。
@@@list:contentgroup=NAME@@@	指定されたグループ（“NAME”をグループ名で置き換える）のすべてのクラスの全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:contentgroup in NAME,NAME@@@	指定されたグループのいずれかに当てはまる（“NAME”をグループ名で置き換える）すべてのクラスの全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:contentgroup!=NAME@@@	指定されたグループ（“NAME”をグループ名で置き換える）ではない、すべてのクラスの全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:contenttype=NAME@@@	指定されたタイプ（“NAME”をタイプ名で置き換える）の、すべてのクラスの全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:contenttype in NAME,NAME@@@	指定されたタイプのいずれかに当てはまる（“NAME”をタイプ名で置き換える）すべてのクラスの全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:contenttype!=NAME@@@	指定されたタイプ（“NAME”をタイプ名で置き換える）ではない、すべてのクラスの全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:contentclass=NAME@@@	指定されたクラス（“NAME”をクラス名で置き換える）の全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:contentclass in NAME,NAME@@@	指定されたクラスのいずれかに当てはまる（“NAME”をクラス名で置き換える）全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:contentclass!=NAME@@@	指定されたクラス（“NAME”をクラス名で置き換える）ではない全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:version=NAME@@@	指定されたバージョン（“NAME”をバージョン名で置き換える）の全コンテ



	ンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:version in NAME,NAME@@@	指定されたバージョンのいずれかに当てはまる ("NAME"をバージョン名で置き換える) 全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:version!=NAME@@@	指定されたバージョン ("NAME"をバージョン名で置き換える) ではない全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:title=NAME@@@	指定されたタイトル ("NAME"をコンテンツタイトルで置き換える) の全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。あらゆるものにマッチするワイルドカードとして "%"を使用する: "NAME%" は、 "NAME"で始まるタイトル。"%NAME"は "NAME"で終わるタイトル。"%NAME%"は、 "NAME"を含むタイトル。
@@@list:contentclass in NAME,NAME@@@	指定されたクラスのいずれかに当てはまる ("NAME"をクラス名で置き換える) 全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:contentclass!=NAME@@@	指定されたクラス ("NAME"をクラス名で置き換える) ではない全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:version=NAME@@@	指定されたバージョン ("NAME"をバージョン名で置き換える) の全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:version in NAME,NAME@@@	指定されたバージョンのいずれかに当てはまる ("NAME"をバージョン名で置き換える) 全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:version!=NAME@@@	指定されたバージョン ("NAME"をバージョン名で置き換える) ではない全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。
@@@list:title=NAME@@@	指定されたタイトル ("NAME"をコンテンツタイトルで置き換える) の全コンテンツ項目リストを挿入する場所を定義する。あらゆるものにマッチするワイルドカードとして "%"を使用する: "NAME%" は、 "NAME"で始まるタイトル。"%NAME"は "NAME"で終わるタイトル。"%NAME%"は、 "NAME"を含むタイトル。
@@@list:author=WORD,WORD,WORD@@@	メタ情報作成者属性に、指定した単語 (" WORD" を単語で置き換える) を

	すべて含んでいる全コンテンツ項目リストが挿入される場所を定義する。
@@@list:author in WORD,WORD@@@	メタ情報作成者属性に、指定した単語（"WORD"を単語で置き換える）のいずれかを含んでいる全コンテンツ項目リストが挿入される場所を定義する。
@@@list:description=WORD,WORD,WORD@@@	メタ情報ディスクリプション属性に、指定した単語（"WORD"を単語で置き換える）をすべて含んでいる全コンテンツ項目リストが挿入される場所を定義する。
@@@list:description in WORD,WORD@@@	メタ情報ディスクリプション属性に、指定した単語（"WORD"を単語で置き換える）のいずれかを含んでいる全コンテンツ項目リストが挿入される場所を定義する。
@@@list:keywords=WORD,WORD,WORD@@@	メタ情報キーワード属性に、指定した単語（"WORD"を単語で置き換える）をすべて含んでいる全コンテンツ項目リストが挿入される場所を定義する。
@@@list:keywords in WORD,WORD@@@	メタ情報キーワード属性に、指定した単語（"WORD"を単語で置き換える）のいずれかを含んでいる全コンテンツ項目リストが挿入される場所を定義する。

コンテンツリストは、指定したカスタムメタ情報属性と商品詳細属性を持つすべてのコンテンツを一覧表示できます。

@@@list:metainfo_NAME=VALUE@@@	指定されたメタ情報カスタム属性（"NAME"を属性名に置き換える）と、指定された値（"VALUE"を属性値に置き換える）を持つ全コンテンツのリストが挿入される位置を定義します。
@@@list:metainfo_NAME in VALUE,VALUE@@@	指定した多値もしくは単一値のメタ情報カスタム属性（"NAME"を属性名に置き換える）の全てが、指定したVALUE（"VALUE"を属性値に置き換える）のいずれかに合致する全コンテンツ項目のリストが挿入される位置を定義します。つまり、指定したNAMEの値が、指定したVALUEのサブセットであるコンテンツ項目が対象となります。
@@@list:metainfo_NAME contains VALUE,VALUE@@@	指定した多値もしくは単一値のメタ情報カスタム属性（"NAME"を属性名に



	置き換える) が、指定した VALUE (“VALUE”を属性値に置き換える) の全てに合致する全コンテンツ項目のリストが挿入される位置を定義します。つまり、指定した NAME の値が、指定した VALUE のスーパーセットであるコンテンツ項目が対象となります。
@@@list:metainfo_NAME intersects VALUE,VALUE@@@	指定した多値もしくは単一値のメタ情報カスタム属性 (“NAME”を属性名に置き換える) のいずれかが、指定した VALUE (“VALUE”を属性値に置き換える) のいずれかに合致する全コンテンツ項目のリストが挿入される位置を定義します。つまり、指定した NAME の値が、指定した VALUE と交差するコンテンツ項目が対象となります。
@@@list:productinfo_NAME=VALUE@@@	指定された商品詳細カスタム属性 (“NAME”を属性名に置き換える) と、指定された値 (“VALUE”を属性値に置き換える) を持つ全商品のリストが挿入される位置を定義します。
@@@list:productinfo_NAME in VALUE,VALUE@@@	指定した多値もしくは単一値の商品詳細カスタム属性 (“NAME”を属性名に置き換える) の全てが、指定した VALUE (“VALUE”を属性値に置き換える) のいずれかに合致する全商品のリストが挿入される位置を定義します。つまり、指定した NAME の値が、指定した VALUE のサブセットである商品が対象となります。
@@@list:productinfo_NAME contains VALUE,VALUE@@@	指定した多値もしくは単一値の商品詳細カスタム属性 (“NAME”を属性名に置き換える) が、指定した VALUE (“VALUE”を属性値に置き換える) の全てに合致する全商品のリストが挿入される位置を定義します。つまり、指定した NAME の値が、指定した VALUE のスーパーセットである商品が対象となります。
@@@list:productinfo_NAME intersects VALUE,VALUE@@@	指定した多値もしくは単一値の商品詳細カスタム属性 (“NAME”を属性名に置き換える) のいずれかが、指定した VALUE (“VALUE”を属性値に置き換える) のいずれかに合致する全商品のリストが挿入される位置を定義します。つまり、指定した NAME の値が、指定した VALUE と交差する商品が対象となります。

コンテンツリストは、指定したページ関係を持つ全てのコンテンツを一覧表示できます。

@@@list:top=ID@@@	関連コンテンツ「ページトップ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）に設定されている全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:top!=ID@@@	関連コンテンツ「ページトップ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）に設定されていない全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:top in ID,ID@@@	関連コンテンツ「ページトップ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）のいずれかに設定されている全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:up=ID@@@	関連コンテンツ「ページアップ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）に設定されている全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:up!=ID@@@	関連コンテンツ「ページアップ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）に設定されていない全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:up in ID,ID@@@	関連コンテンツ「ページアップ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）のいずれかに設定されている全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:first=ID@@@	関連コンテンツ「最初のページ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）に設定されている全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:first!=ID@@@	関連コンテンツ「最初のページ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）に設定されていない全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:first in ID,ID@@@	関連コンテンツ「最初のページ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）のいずれかに設定されている全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:previous=ID@@@	関連コンテンツ「前のページ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）に設定されている全コンテ

	ソツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:previous!=ID@@@	関連コンテンツ「前のページ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）に設定されていない全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:previous in ID,ID@@@	関連コンテンツ「前のページ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）のいずれかに設定されている全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:next=ID@@@	関連コンテンツ「次のページ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）に設定されている全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:next!=ID@@@	関連コンテンツ「次のページ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）に設定されていない全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:next in ID,ID@@@	関連コンテンツ「次のページ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）のいずれかに設定されている全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:last=ID@@@	関連コンテンツ「最後のページ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）に設定されている全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:last!=ID@@@	関連コンテンツ「最後のページ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）に設定されていない全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:last in ID,ID@@@	関連コンテンツ「最後のページ」が、指定した ID（“ID”をコンテンツ id で置き換える）のいずれかに設定されている全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:related@@@	現在表示しているコンテンツに「他の関連コンテンツ」として選択されている全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。

コンテンツリストは、指定した ID の特定のコンテンツ項目を一覧表示することができます。

@@@list:id=ID@@@	指定された ID(“ID”をコンテンツ id で置き換える)のコンテンツを挿入する位置を定義します。
@@@list:id=ID@@@	指定された ID(“ID”をコンテンツ id で置き換える)ではない全てのコンテンツのリストを挿入する位置を定義します。
@@@list:id in ID,ID@@@	指定された ID(“ID”をコンテンツ id で置き換える)のいずれかである全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。

コンテンツリストは、指定したユーザアカウントのユーザ名によって作成された全コンテンツを一覧表示することができます。

@@@list:createdby=USERNAME@@@	指定したユーザアカウントによって作成された全コンテンツを挿入する位置を定義します (“USERNAME”をユーザアカウントのユーザ名で置き換える)。
@@@list:createdby!=USERNAME@@@	指定したユーザアカウントによって作成されていない全コンテンツを挿入する位置を定義します (“USERNAME”をユーザアカウントのユーザ名で置き換える)。

コンテンツリストは、コンテンツ属性の値に関係なくすべてのコンテンツを一覧表示することができます。(複数のリストパラメータと併用します。例えば、サイズに関わらず指定した色の商品をすべて表示させたり、色は問わず指定したサイズの商品をすべて表示させたい場合など。)

@@@list:ATTRIBUTE=*@@@	指定したコンテンツ属性 (“ATTRIBUTE”をコンテンツ属性名で置き換える) の値に関係なく全コンテンツのリストを挿入する位置を定義します。※他のリストパラメータとの併用を前提としており、単体ではすべてのコンテンツが表示されます。
------------------------	---

コンテンツリストは、指定した日に/より前に/より後に、もしくは指定した期間内に、作成、更新、公開された全てのコンテンツを一覧表示することができます。

@@@list:ATTRIBUTE=DATE@@@	指定された日付/期間 (“DATE”を日付/期間に置き換える) に作成/更新/公開された全コンテンツのリストを挿入する場所を定義する。 (“ATTRIBUTE”を"created","updated"または"published"に置き換える)
---------------------------	---



	日付／期間は、完全または一部の日付で指定： - “2004-12-31” は 2004 年 12 月 31 日。 - “2004-12” は 2004 年 12 月の全ての日。 - “2004” は 2004 年の全ての日。 - “__-12” は全ての年の 12 月の全ての日。 - “__-__-01” は全ての年の全ての月の第 1 日。
@@@list:ATTRIBUTE<DATE@@@	指定された日付／期間（DATE を日付／期間で置き換える）より前に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。 （ATTRIBUTE を "created", "updated" または "published" に置き換える。） 日付／期間は、完全または一部の日付で指定： - “2004-12-31” は 2004 年 12 月 31 日より前の全ての日。 - “2004-12” は 2004 年 12 月より前の全ての日。 - “2004” は 2004 年より前の全ての日。
@@@list:ATTRIBUTE>DATE@@@	指定された日付／期間（DATE を日付／期間で置き換える）より後に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。 （ATTRIBUTE を "created", "updated" または "published" に置き換える。） 日付／期間は、完全または一部の日付で指定： - “2004-12-31” は 2004 年 12 月 31 日と、それ以降の全ての日。 - “2004-12” は 2004 年 12 月の全ての日と、それ以降の全ての日。 - “2004” は 2004 年の全ての日と、それ以降の全ての日。
@@@list:ATTRIBUTE=-0secs@@@	この瞬間に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTE を "created", "updated" または "published" に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=-COUNTsecs@@@	指定された秒前（COUNT を数字で置換）に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTE を "created", "updated" または "published" に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=<-COUNTsecs@@@	指定された秒前よりも前（COUNT を数字で置換）に作成／更新／公開された



	全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。(ATTRIBUTEを"created","updated"または"published"に置き換える。)
@@@list:ATTRIBUTE=>-COUNTsecs@@@	指定された秒前よりも後(COUNTを数字で置換)に作成/更新/公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。(ATTRIBUTEを"created","updated"または"published"に置き換える。)
@@@list:ATTRIBUTE=-0mins@@@	今分内(例:現在が2時22分22秒なら⇒2時22分~2時23分の間)に作成/更新/公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。 (ATTRIBUTEを"created","updated"または"published"に置き換える。)
@@@list:ATTRIBUTE=-1min@@@	過去1分以内に作成/更新/公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。(ATTRIBUTEを"created","updated"または"published"に置き換える。)
@@@list:ATTRIBUTE=-COUNTmins@@@	指定された分前(COUNTを数字で置換)に作成/更新/公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。(ATTRIBUTEを"created","updated"または"published"に置き換える。)
@@@list:ATTRIBUTE=<-COUNTmins@@@	指定された分前よりも前(COUNTを数字で置換)に作成/更新/公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。(ATTRIBUTEを"created","updated"または"published"に置き換える。)
@@@list:ATTRIBUTE=>-COUNTmins@@@	指定された分前よりも後(COUNTを数字で置換)に作成/更新/公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。(ATTRIBUTEを"created","updated"または"published"に置き換える。)
@@@list:ATTRIBUTE=-0hours@@@	今時間内(例:現在が2時22分なら⇒2時~3時の間)に作成/更新/公開された全てのコンテンツリストを挿入する場所を定義する。(ATTRIBUTEを"created","updated"または"published"に置き換える。)
@@@list:ATTRIBUTE=-1hour@@@	過去1時間以内に作成/更新/公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。(ATTRIBUTEを"created","updated"または"published"に置き換える。)



@@@list:ATTRIBUTE=-COUNThours@@@	指定された時間前（COUNT を数字で置換）に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTE を"created", "updated"または"published"に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=<-COUNThours@@@	指定された時間前よりも前（COUNT を数字で置換）に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTE を"created", "updated"または"published"に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=>-COUNThours@@@	指定された時間前よりも後（COUNT を数字で置換）に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTE を"created", "updated"または"published"に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=-0days@@@	今日作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTE を"created", "updated"または"published"に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=-1day@@@	昨日作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTE を"created", "updated"または"published"に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=-COUNTdays@@@	指定された日数前（COUNT を数字で置換）に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTE を"created", "updated"または"published"に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=<-COUNTdays@@@	指定された日数前よりも前（COUNT を数字で置換）に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTE を"created", "updated"または"published"に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=>-COUNTdays@@@	指定された日数前よりも後（COUNT を数字で置換）に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTE を"created", "updated"または"published"に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=-0weeks@@@	今週（月曜-日曜）作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTE を



	"created", "updated"または"published"に置き換える。)
@@@list:ATTRIBUTE=-1week@@@	先週（月曜-日曜）作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTEを"created", "updated"または"published"に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=-COUNTweeks@@@	指定された週数前（COUNTを数字で置換）に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTEを"created", "updated"または"published"に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=<-COUNTweeks@@@	指定された週数前よりも前（COUNTを数字で置換）に作成／更新／公開された全てのコンテンツリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTEを"created", "updated"または"published"に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=>-COUNTweeks@@@	指定された週数前よりも後（COUNTを数字で置換）に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTEを"created", "updated"または"published"に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=-0months@@@	今月作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTEを"created", "updated"または"published"に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=-1month@@@	先月作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTEを"created", "updated"または"published"に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=-COUNTmonths@@@	指定された月数前（COUNTを数字で置換）に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTEを"created", "updated"または"published"に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=<-COUNTmonths@@@	指定された月数前よりも前（COUNTを数字で置換）に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTEを"created", "updated"または"published"に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=>-COUNTmonths@@@	指定された月数前よりも後（COUNTを数字で置換）に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTEを"created", "updated"または"published"に置き換える。）



	る場所を定義する。（ATTRIBUTE を "created", "updated" または "published" に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=-0years@@@	今年作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTE を "created", "updated" または "published" に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=-1year@@@	去年作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTE を "created", "updated" または "published" に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=-COUNTyears@@@	指定された年数前（COUNT を数字で置換）に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTE を "created", "updated" または "published" に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=<-COUNTyears@@@	指定された年数前よりも前（COUNT を数字で置換）に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTE を "created", "updated" または "published" に置き換える。）
@@@list:ATTRIBUTE=>-COUNTyears@@@	指定された年数前よりも後（COUNT を数字で置換）に作成／更新／公開された全てのコンテンツのリストを挿入する場所を定義する。（ATTRIBUTE を "created", "updated" または "published" に置き換える。）

コンテンツリストは、表示されるコンテンツの数を制限することができます。オプションとして、制限されたコンテンツリストを参照可能にし、指定された数ごとに次の／前のリストを閲覧するためのリンク／ボタンをコンテンツリストに追加することができます。コンテンツリストは “:limit=NUMBER”（“NUMBER” を表示させたいコンテンツ項目数に置き換えてください）を、上記のコンテンツリスト特殊コードへ追加することで制限できます。（例：
@@@list:pages:limit=10@@@）

コンテンツリストは、“:start=NAME”（“NAME” をコンテンツリスト名で置き換えてください）を上記のコンテンツリスト特殊コードに追加することで参照可能にできます。（例：
@@@list:pages:limit=10:start=mostpopular@@@）コンテンツリストの最初の／前の／次の／最後のコンテンツ項目群を参照するための、テキストやイメージのリンクおよびボタンは、“@@@first:NAME:text=TEXT@@@” “@@@previous:NAME:text=TEXT@@@” “@@@next:NAME:text=TEXT@@@” “@@@last:NAME:text=TEXT@@@” で追加することができます。（例：
@@@previous:mostpopular:text=Previous@@@” “@@@next:mostpopular:text=Next@@@”）ページ指定でコンテンツ項目群を参照するための、テキストリンクやボタンは、“@@@paged:NAME:text=TEXT@@@” で追加することができます。

:limit=NUMBER	指定された数（"NUMBER"を整数で置き換える）のコンテンツ項目のみリストすることを定義します。
:start=NAME	指定された名前の開始ポイントを使用して、コンテンツ項目リストが参照可能になることを定義します。 （"NAME"を任意のコンテンツ項目リスト名に置き換える）
@@@next:NAME:text=TEXT@@@	指定したコンテンツリスト （"NAME"をコンテンツリストに定義された開始ポイント名で置き換える）のテキストリンク（"TEXT"を何らかのテキストに置き換える）が挿入される位置を定義します。リンクを選択すると、次の制限（limit=）数コンテンツ項目群が表示されます。
@@@next:NAME:button=TEXT@@@	指定したコンテンツリスト （"NAME"をコンテンツリストに定義された開始ポイント名で置き換える）のボタンリンクが挿入される位置を定義します。指定したテキスト（"TEXT"を何らかのテキストに置き換える）がボタンに表示されます。ボタンを選択すると、次の制限（limit=）数コンテンツ項目群が表示されます。
@@@next:NAME:image=URL@@@	指定したコンテンツリスト （"NAME"をコンテンツリストに定義された開始ポイント名で置き換える）のイメージリンク（"URL"をイメージの URL Web アドレス、たとえば"/image.php?id=123"に置き換える）が挿入される位置を定義します。イメージを選択すると、次の制限（limit=）数コンテンツ項目群が表示されます。
@@@previous:NAME:text=TEXT@@@	指定したコンテンツリスト （"NAME"をコンテンツリストに定義された開始ポイント名で置き換える）のテキストリンク（"TEXT"を何らかのテキストに置き換える）が挿入される位置を定義します。リンクを選択すると、前の制限（limit=）数コンテンツ項目群が表示されます。
@@@previous:NAME:button=TEXT@@@	指定したコンテンツリスト （"NAME"をコンテンツリストに定義された開始ポイント名で置き換える）のボタンリンクが挿入される位置を定義します。指定したテキスト（"TEXT"を何らかのテキストに置き換える）がボタンに表示されます。ボタンを選択すると、次の制限（limit=）数コンテンツ項目群が表示されます。

	換える) がボタンに表示されます。ボタンを選択すると、前の制限 (limit=) 数コンテンツ項目群が表示されます。
@@@previous:NAME:image=URL@@@	指定したコンテンツリスト (“NAME”をコンテンツリストに定義された開始ポインタ名で置き換える) のイメージリンク (“URL”をイメージの URL Web アドレス、たとえば”/image.php?id=123”に置き換える) が挿入される位置を定義します。イメージを選択すると、前の制限 (limit=) 数コンテンツ項目群が表示されます。
@@@last:NAME:text=TEXT@@@	指定したコンテンツリスト (“NAME”をコンテンツリストに定義された開始ポインタ名で置き換える) のテキストリンク (“TEXT”を何らかのテキストに置き換える) が挿入される位置を定義します。リンクを選択すると、最後の制限 (limit=) 数コンテンツ項目群が表示されます。
@@@last:NAME:button=TEXT@@@	指定したコンテンツリスト (“NAME”をコンテンツリストに定義された開始ポインタ名で置き換える) のボタンリンクが挿入される位置を定義します。指定したテキスト (“TEXT”を何らかのテキストに置き換える) がボタンに表示されます。ボタンを選択すると、最後の制限 (limit=) 数コンテンツ項目群が表示されます。
@@@last:NAME:image=URL@@@	指定したコンテンツリスト (“NAME”をコンテンツリストに定義された開始ポインタ名で置き換える) のイメージリンク (“URL”をイメージの URL Web アドレス、たとえば”/image.php?id=123”に置き換える) が挿入される位置を定義します。イメージを選択すると、最後の制限 (limit=) 数コンテンツ項目群が表示されます。
@@@first:NAME:text=TEXT@@@	指定したコンテンツリスト (“NAME”をコンテンツリストに定義された開始ポインタ名で置き換える) のテキストリンク (“TEXT”を何らかのテキストに置き換える) が挿入される位置を定義します。リンクを選択すると、最初の制限 (limit=)

	数コンテンツ項目群が表示されます。
@@@first:NAME:button=TEXT@@@	指定したコンテンツリスト （"NAME"をコンテンツリストに定義された開始ポインタ名で置き換える）のボタンリンクが挿入される位置を定義します。指定したテキスト（"TEXT"を何らかのテキストに置き換える）がボタンに表示されます。ボタンを選択すると、最初の制限（limit=）数コンテンツ項目群が表示されます。
@@@first:NAME:image=URL@@@	指定したコンテンツリスト （"NAME"をコンテンツリストに定義された開始ポインタ名で置き換える）のイメージリンク（"URL"をイメージの URL Web アドレス、たとえば"/image.php?id=123"に置き換える）が挿入される位置を定義します。イメージを選択すると、最初の制限（limit=）数コンテンツ項目群が表示されます。
@@@paged:NAME@@@	指定したコンテンツリスト （"NAME"をコンテンツリストに定義された開始ポインタ名で置き換える）のページ番号リンクが挿入される位置を定義します。各リンクのスタイルや動作は、CSS や JavaScript を使って制御してください。リンクを選択すると、コンテンツリストで指定した（limit）の数に応じて、コンテンツ項目が表示されます。
@@@paged:NAME:selected=CLASSNAME@@@	指定したコンテンツリスト （"NAME"をコンテンツリストに定義された開始ポインタ名で置き換える）のページ番号リンクが挿入される位置を定義します。各リンクのスタイルや動作は、CSS や JavaScript を使って制御してください。リンクを選択すると、コンテンツリストで指定した（limit）の数に応じて、コンテンツ項目が表示されます。現在選択中のページ番号リンクには、指定した HTML クラス名（CLASSNAME を CSS のクラス名に置き換える）が付与されます。デフォルトの HTML クラス名は、"WCMselected"です。
@@@paged:NAME:limit=NUMBER@@@	指定したコンテンツリスト （"NAME"をコンテンツリストに定

	義された開始ポインタ名で置き換える) のページ番号リンクが挿入される位置を定義します。各リンクのスタイルや動作は、CSS や JavaScript を使って制御してください。 NUMBER で指定した数を上限として、現在表示しているページ番号を中心にページ番号リンクが表示されます。(例: "1 2 3 4 5 <u>6</u> 7 8 9" ではなく "4 5 <u>6</u> 7 8" となります) リンクを選択すると、コンテンツリスト内で該当するコンテンツ項目が表示されます。
@@@paged:NAME:previous=TEXT@@@	指定したコンテンツリスト ("NAME" をコンテンツリストに定義された開始ポインタ名で置き換える) のページ番号リンクが挿入される位置を定義します。各リンクのスタイルや動作は、CSS や JavaScript を使って制御してください。リンクを選択すると、コンテンツリストで指定した (limit) の数に応じて、コンテンツ項目が表示されます。「前のページ」へのリンクが、指定した TEXT ("TEXT" を任意のテキストで置き換える) として表示されます。デフォルトでは、「前のページ」へのリンクテキストは、「...」です。
@@@paged:NAME:next=TEXT@@@	指定したコンテンツリスト ("NAME" をコンテンツリストに定義された開始ポインタ名で置き換える) のページ番号リンクが挿入される位置を定義します。各リンクのスタイルや動作は、CSS や JavaScript を使って制御してください。リンクを選択すると、コンテンツリストで指定した (limit) の数に応じて、コンテンツ項目が表示されます。「次のページ」へのリンクが、指定した TEXT ("TEXT" を任意のテキストで置き換える) として表示されます。デフォルトでは、「次のページ」へのリンクテキストは、「...」です。
@@@paged:NAME:text=TEXT@@@	指定したコンテンツリスト ("NAME" をコンテンツリストに定義された開始ポインタ名で置き換える) のページ番号リンクが挿入される位置を定義します。指定したテキスト ("TEXT" を何らかのテキストに置き換える) は、各ページ番号の前

	に表示されます。リンクを選択すると、コンテンツリスト内で該当するコンテンツ項目が表示されます。
@@@paged:NAME:text=TEXT:limit=NUMBER@@@	指定したコンテンツリスト (“NAME”をコンテンツリストに定義された開始ポインタ名で置き換える)のページ番号リンクが挿入される位置を定義します。指定したテキスト (“TEXT”を何らかのテキストに置き換える)は、各ページ番号の前に表示されます。NUMBERで指定した数を上限として、現在表示しているページ番号を中心にページ番号リンクが表示されます。(例:”1 2 3 4 5 <u>6</u> 7 8 9”ではなく“4 5 <u>6</u> 7 8”となります) リンクを選択すると、コンテンツリスト内で該当するコンテンツ項目が表示されます。
@@@paged:NAME:button=TEXT@@@	指定したコンテンツリスト (“NAME”をコンテンツリストに定義された開始ポインタ名で置き換える)のページ番号ボタンリンクが挿入される位置を定義します。指定したテキスト (“TEXT”を何らかのテキストに置き換える)は、各ページ番号の前に表示されます。ボタンを選択すると、コンテンツリスト内で該当するコンテンツ項目が表示されます。
@@@paged:NAME:button=TEXT:limit=NUMBER@@@	指定したコンテンツリスト (“NAME”をコンテンツリストに定義された開始ポインタ名で置き換える)のページ番号ボタンリンクが挿入される位置を定義します。指定したテキスト (“TEXT”を何らかのテキストに置き換える)は、各ページ番号の前に表示されます。NUMBERで指定した数を上限として、現在表示しているページ番号を中心にページ番号ボタンリンクが表示されます。 (例:”1 2 3 4 5 <u>6</u> 7 8 9”ではなく“4 5 <u>6</u> 7 8”となります) ボタンを選択すると、コンテンツリスト内で該当するコンテンツ項目が表示されます。
@@@listed:NAME@@@	現在表示中のコンテンツ項目件数が挿入される位置を定義します。 (例: “11-20/34”)
@@@listed:NAME:TEXT@@@	現在表示中のコンテンツ項目件数が挿入される位置を定義します。 TEXTで指定したテキストが、“/”の

	代わりに表示されます。（例：“11-20 of 34”）
--	------------------------------

オプションで、コンテンツリストを、タイトルまたは日付／時間ごとに、昇順もしくは降順／逆順で並べ替えることができます。コンテンツリストの順序は、“:order=ATTRIBUTE”（“ATTRIBUTE”を属性名で置き換える）を、上記コンテンツリストの特殊コードに追加することで定義できます(例：@@@list:pages:order=title@@@)。

:order=title	コンテンツリストが、タイトルのアルファベット昇順で並べられることを定義する。
:order=title desc	コンテンツリストが、タイトルのアルファベット降順で並べられることを定義する。
:order=created	コンテンツリストが、コンテンツ作成日時の早い順で（古いものから先に）並べられることを定義する。
:order=created desc	コンテンツリストが、コンテンツ作成日時の遅い順で（新しいものから先に）並べられることを定義する。
:order=updated	コンテンツリストが、コンテンツの最終更新日時の早い順で（古いものから先に）並べられることを定義する。
:order=updated desc	コンテンツリストが、コンテンツの最終更新日時の遅い順で（新しいものから先に）並べられることを定義する。
:order=published	コンテンツリストが、コンテンツの最終公開日時の早い順で（古いものから先に）並べられることを定義する。
:order=published desc	コンテンツリストが、コンテンツの最終公開日時の遅い順で（新しいものから先に）並べられることを定義する。
:order=COLUMN COLUMN COLUMN	コンテンツリストが、指定したカラムの連結値昇順で（古いものから先に）並べられることを定義する。例えば“order=published created”の場合、公開日時が存在すればそちらが使用され、なければ作成日時が使用される。
:order=COLUMN COLUMN COLUMN desc	コンテンツリストが、指定したカラムの連結値降順で（新しいものから先に）並べられることを定義する。例えば“order=published created desc”の場合、公開日時が存在すればそちらが使用され、なければ作成日時が使用される。
:order=product_code	コンテンツリストが、商品コードのアルファベット昇順で並べられることを定義する。

:order=product_code desc	コンテンツリストが、商品コードのアルファベット降順で並べられることを定義する。
:order=product_price	コンテンツリストが、商品価格の昇順で（安いものから先に）並べられることを定義する。
:order=product_price desc	コンテンツリストが、商品価格の降順で（高いものから先に）並べられることを定義する。
:order=metainfo_ATTRIBUTE	コンテンツリストがカスタムメタ情報属性のアルファベット昇順で順序付けされることを定義する（“ATTRIBUTE”をカスタムメタ情報属性名で置き換える）。
:order=productinfo_ATTRIBUTE	コンテンツリストがカスタムプロダクト属性のアルファベット昇順で順序付けされることを定義する（“ATTRIBUTE”をカスタムプロダクト属性名で置き換える）。
:order=filename	コンテンツリストが、ファイル名のアルファベット昇順で順序付けされることを定義する。
:order=filename desc	コンテンツリストが、ファイル名のアルファベット降順で順序付けされることを定義する。

任意で、コンテンツリストは、複数のカラムにわたってそれぞれを隣に表示することが可能です。カラムの数は、“:columns=NUMBER”（“NUMBER”を整数と置き換える）を、上記コンテンツリスト特殊コードへ追加することで定義されます。（例：
@@@list:pages:columns=2@@@）

:columns=NUMBER	コンテンツ項目リストの表示に使用されるカラムの数（“NUMBER”を整数と置き換える）を定義します。
:columns=NUMBER,NUMBER,NUMBER	コンテンツ項目リストの表示に使用されるカラムの数（“NUMBER”を整数と置き換える）を、行毎に定義します。1行目には最初に指定した数のカラムが、2行目には2番目に指定した数のカラムが、3行目には3番目に指定した数のカラムが、4行目には最初に指定した数のカラムが、といった具合に表示されます。NUMBERは、いくつ指定しても構いません。
:class=NAME	コンテンツ項目の表示に使用されるクラス名／スタイル名（“NAME”をクラス名／スタイル名で置き換える）を定義します。

:class=NAME,NAME,NAME	コンテンツ項目の表示に使用されるクラス名／スタイル名（“NAME”をクラス名／スタイル名で置き換える）を、カラム毎に定義します。1 番目のカラムには最初に指定したクラス名／スタイル名が、2 番目のカラムには 2 番目に指定したクラス名／スタイル名が、3 番目のカラムには 3 番目に指定したクラス名／スタイル名が、4 番目のカラムには最初に指定したクラス名／スタイル名が、といった具合に適用されます。クラス名／スタイル名は、いくつ指定しても構いません。
-----------------------	--

オプションで、コンテンツリストは条件指定も可能で、指定した条件が正の場合のみコンテンツリストを表示させることができます。そのためには、“:if:XXX=YYY”（“XXX”と“YYY”を特殊コードか簡単なテキストで置き換える）を、上記のコンテンツリスト特殊コードの最後にパラメータとして追加します（例：@@@list:pages:if:####id###=@@@ “id” Web サイトアドレス URL パラメータが空白か存在しない場合のみページをリスト表示する）。

:if:XXX=YYY	“XXX”と“YYY”が同じ場合のみリストが表示される。
:if:XXX!=YYY	“XXX”と“YYY”が異なる場合のみリストが表示される。

デフォルトではコンテンツリストは、コンテンツリストに含まれる各コンテンツ項目を表示するのに、設定した「デフォルトのリストエントリ」特殊ページを使用します。

オプションで、コンテンツリスト内の各コンテンツ項目を表示するのに、上記コンテンツリスト特殊コードに“:entry=ID”（“ID”をコンテンツ項目 ID で置き換える）を追加すれば、「デフォルトのリストエントリ」の代わりに他のあらゆるコンテンツ項目を使用することが可能になります。（例：@@@list:pages:order=title:entry=123@@@）

その他、予め定義済みの表示フォーマットを使用して、コンテンツリスト内の各コンテンツ項目を簡単表示することもできます。そうすると、リストコンテンツ項目を表示するために別途リストエントリ特殊ページを作成する必要がなくなります—Web コンテンツ管理システムは、単に内蔵された、予め定義済みのフォーマットを使用します。

:entry=ID	指定された特殊ページ（“ID”をコンテンツ項目 id に置き換える）をミニテンプレートとして、各リストコンテンツ項目を表示します。
:entry=ID,ID,ID	指定された特殊ページ（“ID”をコンテンツ項目 id に置き換える）をミニテンプレートとして交互に使用し、各リストコンテンツ項目を表示します。1 番目のコンテンツ項目には最初に指定した特殊ページ id が、2 番目のコンテンツ項目には 2 番目に指定した特殊ページ



	id が、3 番目のコンテンツ項目には 3 番目に指定した特殊ページ id が、4 番目のコンテンツ項目には最初に指定した特殊ページ id が、といった具合に使用されます。特殊ページ id は、いくつ指定しても構いません。
:entry=ATTRIBUTE.TAG	各リストコンテンツ項目の指定された属性("ATTRIBUTE"をコンテンツ項目の属性名で置換)を、任意の HTML タグ ("TAG"を div, p, span, li, th, td または br で置き換える) あるいは単純な改行 ("TAG"を"text"で置換) を使用して表示します。
:entry=ATTRIBUTE.TAG.CLASS	各リストコンテンツ項目の指定された属性("ATTRIBUTE"をコンテンツ項目の属性名で置換)を、任意の HTML タグ ("TAG"を div, p, span, li, th, td で置換) と、任意の class 名 ("CLASS"を class 名で置換) を使用して表示します。
:entry=ATTRIBUTE.link	各コンテンツ項目の指定された属性("ATTRIBUTE"をコンテンツ項目の属性名で置換)が、そのコンテンツ項目へのハイパーリンクとして表示されます。
:entry=ATTRIBUTE.link.CLASS	各コンテンツ項目の指定された属性("ATTRIBUTE"をコンテンツ項目の属性名で置換します)が、任意の class 名 ("CLASS"を class 名で置換) を使用して、そのコンテンツ項目へのハイパーリンクとして表示されます。
:entry=ATTRIBUTE.image	各コンテンツ項目の指定された属性("ATTRIBUTE"を、イメージ id 値のコンテンツ項目属性名で置換)が、イメージとして表示されます。
:entry=ATTRIBUTE.image.CLASS	各コンテンツ項目の指定された属性("ATTRIBUTE"を、イメージ id 値のコンテンツ項目属性名で置換)が、指定された class 名 ("CLASS"を class 名で置換します) を使って、イメージとして表示されます。
:entry=ATTRIBUTE.option	各コンテンツ項目の指定された属性が、HTML FORM SELECT OPTION タグとして表示されます。OPTION 値とテキスト両方が、指定したコンテンツ項目の属性値("ATTRIBUTE"をコンテンツ項目の属性名で置換)。
:entry=ATTRIBUTE.option.selected	各コンテンツ項目の指定された属性が、HTML FORM SELECT OPTION タグとして表示されます。OPTION 値とテキスト両方が、指定したコンテンツ項目の属性値("ATTRIBUTE"をコンテンツ

	項目の属性名で置換) で、OPTION は”selected”。
:entry=ATTRIBUTE.option.selected=VALUE	各コンテンツ項目の指定された属性が、HTML FORM SELECT OPTION タグとして表示されます。OPTION 値とテキスト両方が、指定したコンテンツ項目の属性値(“ATTRIBUTE”をコンテンツ項目の属性名で置換) で、OPTION は”selected”。ただし、指定したコンテンツ項目属性の値が、指定した”VALUE”と同じ場合(“VALUE” を数字やテキスト、もしくは他の特殊コードで置換)。
:entry=VALUEATTRIBUTE.TEXTATTRIBUTE.option	各コンテンツ項目の指定された属性が、HTML FORM SELECT OPTION タグとして表示されます。OPTION 値とテキストが、指定したコンテンツ項目の属性値(“VALUEATTRIBUTE”と “TEXTATTRIBUTE”をコンテンツ項目の属性名で置換します)。
:entry=VALUEATTRIBUTE.TEXTATTRIBUTE.option.selected	各コンテンツ項目の指定された属性が、HTML FORM SELECT OPTION タグとして表示されます。OPTION 値とテキストが、指定したコンテンツ項目の属性値(“VALUEATTRIBUTE”と “TEXTATTRIBUTE”をコンテンツ項目の属性名で置換します)で、OPTION は”selected”。
:entry=VALUEATTRIBUTE.TEXTATTRIBUTE.option.selected=VALUE	Defines that the given attribute for each list 各コンテンツ項目の指定された属性が、HTML FORM SELECT OPTION タグとして表示されます。OPTION 値とテキストが、指定したコンテンツ項目の属性値(“VALUEATTRIBUTE”と “TEXTATTRIBUTE”をコンテンツ項目の属性名で置換します)で、OPTION は”selected”。ただし、指定したコンテンツ項目属性の値が、指定した”VALUE”と同じ場合(“VALUE” を数字やテキスト、もしくは他の特殊コードで置換)。
:entry=VALUEATTRIBUTE.TEXTATTRIBUTE.INPUTNAME.checkbox	各コンテンツ項目の指定された属性が、指定したインプット名の HTML FORM CHECKBOX INPUT タグとして表示されます (“INPUTNAME”を HTML FORM INPUT 名で置換)。 CHECKBOX 値とテキストが、指定したコンテンツ項目の属性値 (“VALUEATTRIBUTE”と

	“TEXTATTRIBUTE”をコンテンツ項目の属性名で置換)。
:entry=VALUEATTRIBUTE.TEXTATTRIBUTE.INPUTNAME.checkbox.checked	各コンテンツ項目の指定された属性が、指定したインプット名の HTML FORM CHECKBOX INPUT タグとして表示されます (“INPUTNAME”を HTML FORM INPUT 名で置換します)。CHECKBOX 値とテキストが、指定したコンテンツ項目の属性値 (“VALUEATTRIBUTE”と “TEXTATTRIBUTE”をコンテンツ項目の属性名で置換)で、CHECKBOX は “checked”。
:entry=ATTRIBUTE.INPUTNAME.radio	各コンテンツ項目の指定された属性が、指定したインプット名の HTML FORM RADIO BUTTON INPUT タグとして表示されます (“INPUTNAME”を HTML FORM INPUT 名で置換します)。RADIO BUTTON 値とテキストが、指定したコンテンツ項目の属性値 (“ATTRIBUTE”をコンテンツ項目の属性名で置換)。
:entry=ATTRIBUTE.INPUTNAME.radio.checked	各コンテンツ項目の指定された属性が、指定したインプット名の HTML FORM RADIO BUTTON INPUT タグとして表示されます (“INPUTNAME”を HTML FORM INPUT 名で置換)。RADIO BUTTON 値とテキストが、指定したコンテンツ項目の属性値 (“ATTRIBUTE”をコンテンツ項目の属性名で置換)で、RADIO BUTTON は “checked”。
:entry=VALUEATTRIBUTE.TEXTATTRIBUTE.INPUTNAME.radio	各コンテンツ項目の指定された属性が、指定したインプット名の HTML FORM RADIO BUTTON INPUT タグとして表示されます (“INPUTNAME”を HTML FORM INPUT 名で置換)。RADIO BUTTON 値とテキストが、指定したコンテンツ項目の属性値 (“VALUEATTRIBUTE”と “TEXTATTRIBUTE”をコンテンツ項目の属性名で置換します)。
:entry=VALUEATTRIBUTE.TEXTATTRIBUTE.INPUTNAME.radio.checked	各コンテンツ項目の指定された属性が、指定したインプット名の HTML FORM RADIO BUTTON INPUT タグとして表示されます (“INPUTNAME”を HTML FORM INPUT 名で置換)。RADIO BUTTON 値とテキストが、指定したコンテンツ項目の属性値 (“VALUEATTRIBUTE”と

	“TEXTATTRIBUTE”をコンテンツ項目の属性名で置換します)で、RADIO BUTTON は “checked”。
--	---

デフォルトでは、リストされた複数のコンテンツ項目に対し、出力内容が全く同一であっても、すべての出力内容が表示されます。オプションとして、重複する同一の出力内容を見捨てる、はじめにリストされたコンテンツ項目に対する出力内容のみを表示させることができます。

:distinct	リストされた他のコンテンツ項目に対して同一のデータが既に表示されていない場合のみ、コンテンツ項目のデータが表示されることを定義します。
-----------	---

デフォルトでは、対象のコンテンツやデータが存在しない場合、コンテンツリストには何も表示されません。オプションで、コンテンツや簡単なテキストを表示させることもできます。

:none=ID	リスト化するコンテンツやデータが存在しない場合、指定した ID のコンテンツが表示されることを定義する (“ID” をコンテンツ項目 ID と置き換える)。
:none=TEXT	リスト化するコンテンツやデータが存在しない場合、指定したテキストが表示されることを定義する (“TEXT” を簡単なテキストと置き換える)。

2.6.1 リストエントリ

Web サイトにて、@@@list:@@@という特別なコードで定義されるリストを表示するには、特別な “リストエントリ” コンテンツページが必要です。 “リストエントリ” コンテンツページは、リストに含まれる Web サイトのコンテンツページ毎に繰り返され、各リストエントリについてどんな情報をどのように表示すべきかを定義します。

このページは、コンテンツテンプレートで使われるコードと類似したシンプルな特殊コードを含むことを除けば、他の通常コンテンツページと同じように作成されます。

@@@id@@@	各コンテンツ項目の “id” を挿入する場所を定義する。通常、コンテンツページにハイパーリンクを挿入するために使用する。
@@@title@@@	各コンテンツ項目のコンテンツページの “タイトル” を挿入する場所を定義する。
@@@author@@@	各コンテンツ項目のコンテンツページの “作成者” を挿入する場所を定義する。
@@@keywords@@@	各コンテンツ項目のコンテンツページの “キーワード” を挿入する場所を定義する。



@@@description@@@	各コンテンツ項目のコンテンツページの“ディスクリプション”を挿入する場所を定義する。
@@@content@@@	各コンテンツ項目のコンテンツページの“コンテンツ”を挿入する場所を定義する。
@@@created@@@	各コンテンツ項目の“作成”日時を挿入する場所を定義する。
@@@updated@@@	各コンテンツ項目の“更新”日時を挿入する場所を定義する。
@@@published@@@	各コンテンツ項目の“公開”日時を挿入する場所を定義する。
@@@code@@@	商品注文コードを挿入する場所を定義する。
@@@currency@@@	商品価格の通貨を挿入する場所を定義する。
@@@currentytile@@@	商品価格の通貨名を挿入する場所を定義する。
@@@price@@@	商品価格を挿入する場所を定義する。 Web サイトもしくはマイクロサイトの設定に応じて表示されます。詳しくは、「設定ガイド」をご参照ください。
@@@price_list@@@	商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_tax@@@	(割引前の) 商品価格に対する税額を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_taxed@@@	(割引前の) 税込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_shipping@@@	(割引前の) 商品価格に対する送料を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_shipped@@@	(割引前の) 送料(と税)込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_discount@@@	商品価格に対する割引額を挿入する場所を定義する。
@@@price_discounted@@@	割引適用後の商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_tax@@@	(割引後の) 商品価格に対する税額を挿入する場所を定義する。
@@@price_taxed@@@	(割引後の) 税込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_shipping@@@	(割引後の) 商品価格に対する送料を挿入する場所を定義する。
@@@price_shipped@@@	(割引後の) 送料(と税)込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_discount_description@@@	商品価格に対する割引の説明を挿入する場所を定義する。
@@@price_tax_description@@@	商品価格に対する税の説明を挿入する場所を定義する。



@@@price_shipping_description@@@	商品価格に対する送料の説明を挿入する場所を定義する。
@@@stock@@@	商品在庫数量を挿入する場所を定義する。
@@@stockcomment@@@	商品の在庫コメントを挿入する場所を定義する。
@@@stockstatus@@@	商品在庫ステータス（在庫あり、残りわずか、在庫切れ）を挿入する場所を定義する。
@@@weight@@@	商品の重量が挿入される場所を定義する。
@@@volume@@@	商品の分量が挿入される場所を定義する。
@@@width@@@	商品の幅が挿入される場所を定義する。
@@@height@@@	商品の高さが挿入される場所を定義する。
@@@depth@@@	商品の奥行きが挿入される場所を定義する。
@@@brand@@@	商品の銘柄が挿入される場所を定義する。
@@@colour@@@	商品の色が挿入される場所を定義する。
@@@size@@@	商品のサイズが挿入される場所を定義する。

2.7 ランダムコンテンツ項目

コンテンツページ、エレメント、テンプレート、および商品は、ランダムなコンテンツ項目を表示するための特殊コードを含む事ができます。ランダムコンテンツ特殊コードは、コンテンツリストで指定したのと同じパラメータをどの組み合わせでも使用することができます。例えば：

@@@random:advert1:pagegroup=x:pagetype=y:title@@@

@@@random:advert1:pagegroup=x:pagetype=y:content@@@

@@@random:advert1:pagegroup=x:pagetype=y:summary@@@

@@@random:advert2:pagegroup=x:pagetype=y:title@@@

@@@random:advert2:pagegroup=x:pagetype=y:content@@@

@@@random:advert2:pagegroup=x:pagetype=y:summary@@@

@@@random:NAME:FILTER:id@@@	指定された条件（“FILTER”をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください）にマッチしたランダムコンテンツ項目の ID が挿入される場所を定義します。指定した名前（“NAME”を、任意
-----------------------------	---

	の自由な名前で置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@” 特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:title@@@	指定された条件 (“FILTER” をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目のタイトルが挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME” を、任意の自由な名前で置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@” 特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:content@@@	指定された条件 (“FILTER” をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目のコンテンツが挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME” を、任意の自由な名前で置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@” 特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:summary@@@	指定された条件 (“FILTER” をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目のサマリが挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME” を、任意の自由な名前で置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@” 特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:image1@@@	指定された条件 (“FILTER” をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラ

	メータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目のイメージ 1 が挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME” を、任意の自由な名前で置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:image2@@@	指定された条件 (“FILTER”をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目のイメージ 2 が挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME” を、任意の自由な名前で置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:image3@@@	指定された条件 (“FILTER”をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目のイメージ 3 が挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME” を、任意の自由な名前で置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:file1@@@	指定された条件 (“FILTER”をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目のファイル 1 が挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME” を、任意の自由な名前で置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィ



	ルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、 同じランダムコンテンツ項目のコンテ ンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:file2@@@	指定された条件（“FILTER”をコンテン ツリストで記述したひとつ以上のパラ メータで置換します。詳細は 2.6 コンテ ンツ項目のリストを参照してくださ い）にマッチしたランダムコンテンツ 項目のファイル 2 が挿入される場所を 定義します。指定した名前（“NAME” を、任意の自由な名前で置換します） は、ランダムに選択されたコンテンツ 項目を識別します。同一の名前とフィ ルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、 同じランダムコンテンツ項目のコンテ ンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:file3@@@	指定された条件（“FILTER”をコンテン ツリストで記述したひとつ以上のパラ メータで置換します。詳細は 2.6 コンテ ンツ項目のリストを参照してくださ い）にマッチしたランダムコンテンツ 項目のファイル 3 が挿入される場所を 定義します。指定した名前（“NAME” を、任意の自由な名前で置換します） は、ランダムに選択されたコンテンツ 項目を識別します。同一の名前とフィ ルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、 同じランダムコンテンツ項目のコンテ ンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:link1@@@	指定された条件（“FILTER”をコンテン ツリストで記述したひとつ以上のパラ メータで置換します。詳細は 2.6 コンテ ンツ項目のリストを参照してくださ い）にマッチしたランダムコンテンツ 項目のリンク 1 が挿入される場所を定 義します。指定した名前（“NAME” を、任意の自由な名前で置換します） は、ランダムに選択されたコンテンツ 項目を識別します。同一の名前とフィ ルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、 同じランダムコンテンツ項目のコンテ ンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:link2@@@	指定された条件（“FILTER”をコンテン ツリストで記述したひとつ以上のパラ メータで置換します。詳細は 2.6 コンテ ンツ項目のリストを参照してくださ

	い) にマッチしたランダムコンテンツ項目のリンク 2 が挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME” を、任意の自由な名前 で置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:link3@@@	指定された条件 (“FILTER” をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目のリンク 3 が挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME” を、任意の自由な名前 で置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:author@@@	指定された条件 (“FILTER” をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目の作成者が挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME” を、好きな任意の名前で置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:keywords@@@	指定された条件 (“FILTER” をコンテンツリストに合致したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目のキーワードが挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME” を、任意の自由な名前 で置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、



	同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:description@@@	指定された条件（“FILTER”をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください）にマッチしたランダムコンテンツ項目のディスクリプションが挿入される場所を定義します。指定した名前（“NAME”を、任意の自由な名前で置換します）は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の“@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:created@@@	指定された条件（“FILTER”をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください）にマッチしたランダムコンテンツ項目の作成日が挿入される場所を定義します。指定した名前（“NAME”を、任意の自由な名前で置換します）は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の“@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:created:format=FORMAT@@@	指定された条件（“FILTER”をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください）にマッチしたランダムコンテンツ項目の作成日が指定されたフォーマット（“FORMAT”を日付フォーマットで置換します。詳細は 2.4 日時を参照してください）で挿入される場所を定義します。指定した名前（“NAME”を、任意の自由な名前で置換します）は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の“@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:updated@@@	指定された条件（“FILTER”をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテ

	ンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目の更新日が挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME”を、任意の自由な名前でも置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:updated:format=FORMAT@@@	指定された条件 (“FILTER”をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目の更新日が指定されたフォーマット (“FORMAT”を日付フォーマットで置換します。詳細は 2.4 日時を参照してください) で挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME”を、任意の自由な名前でも置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:published@@@	指定された条件 (“FILTER”をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目の公開日が挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME”を、任意の自由な名前でも置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:published:format=FORMAT@@@	指定された条件 (“FILTER”をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目の公開日が指定されたフォーマット (“FORMAT”を日付フォーマットで置換します。詳細は 2.4 日時を参照して

	ください) で挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME”を、任意の自由な名前で置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:code@@@	指定された条件 (“FILTER”をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目の商品コードが挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME”を、任意の自由な名前で置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:currency@@@	指定された条件 (“FILTER”をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目の商品通貨が挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME”を、任意の自由な名前で置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:price@@@	指定された条件 (“FILTER”をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください) にマッチしたランダムコンテンツ項目の商品価格が挿入される場所を定義します。指定した名前 (“NAME”を、任意の自由な名前で置換します) は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、

	同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:stock@@@	指定された条件（“FILTER”をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください）にマッチしたランダムコンテンツ項目の商品在庫が挿入される場所を定義します。指定した名前（“NAME”を、任意の自由な名前で置換します）は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。
@@@random:NAME:FILTER:comment@@@	指定された条件（“FILTER”をコンテンツリストで記述したひとつ以上のパラメータで置換します。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください）にマッチしたランダムコンテンツ項目の商品コメントが挿入される場所を定義します。指定した名前（“NAME”を、任意の自由な名前で置換します）は、ランダムに選択されたコンテンツ項目を識別します。同一の名前とフィルタを使ったその他の “@@@random:...@@@”特殊コードは、同じランダムコンテンツ項目のコンテンツを表示します。

2.8 一般的な条件コンテンツ

デフォルトでは、すべての Web サイトコンテンツが表示されます。オプションとして、条件特殊コードを使って、Web サイト訪問者がフォームやリンクにて選択した HTML FORM や URL のパラメータ値、また閲覧しているコンテンツ項目の様々な属性に応じて、コンテンツブロックを表示あるいは非表示にすることが可能です。

@@@condition:NAME:if:EXPRESSION@@@	コンテンツブロックの開始を定義します。指定した表現が正の場合のみ表示されます。（“NAME”をユニーク識別子と置き換え。関連するすべての @@@condition:...@@@特殊コードに同一の識別子を指定すること。） （“EXPRESSION”を後述のとおり置き換え。） ※“if” および呼応する “endif” 特殊コードは必須です。
@@@condition:NAME:elseif:EXPRESSION@@@	前の @@@condition:NAME:if:EXPRESSION @@@ もしくは

	@@@condition:NAME:elseif:EXPRESSION@@@ コンテンツブロックの終了を定義し、新しいコンテンツブロックの開始を定義します。指定した表現が正の場合のみ表示されます。（”NAME”をユニーク識別子と置き換え。関連するすべての@@@condition:...@@@特殊コードに同一の識別子を指定すること。） （”EXPRESSION”を後述のとおり置き換え。） ※“if” および呼応する “endif” 特殊コード間における、“elseif” 特殊コードの使用は任意です（複数可）。
@@@condition:NAME:else@@@	前の @@@condition:NAME:if:EXPRESSION@@@ もしくは @@@condition:NAME:elseif:EXPRESSION@@@ コンテンツブロックの終了を定義し、新しいコンテンツブロックの開始を定義します。先に指定した “if” および “elseif” 表現がすべて偽である場合のみ表示されます。（”NAME”をユニーク識別子と置き換え。関連するすべての@@@condition:...@@@特殊コードに同一の識別子を指定すること。） ※“if” および呼応する “endif” 特殊コード間における、“else” 特殊コードの使用は任意です。
@@@condition:NAME:endif@@@	先に指定した “if” および “elseif” 表現に応じて表示されるコンテンツブロックの終了を定義します。（”NAME”をユニーク識別子と置き換え。関連するすべての@@@condition:...@@@特殊コードに同一の識別子を指定すること。） ※“if” および呼応する “endif” 特殊コードは必須です。

“@@@condition:NAME:if:EXPRESSION@@@” および
“@@@condition:NAME:elseif:EXPRESSION@@@” の”EXPRESSION”は、2つの値を比較する表現に置き換えます。

VALUE1=VALUE2	VALUE1 と VALUE2 が同一の場合に、正（true）と判断します。
VALUE1!=VALUE2	VALUE1 と VALUE2 が同一でない場合に、正（true）と判断します。
VALUE1<=VALUE2	VALUE1 が VALUE2 よりも、数値的にあるいはアルファベット順で、小さいもしくは等しい場合に、正（true）と判断します。



VALUE1>=VALUE2	VALUE1 が VALUE2 よりも、数値的にあるいはアルファベット順で、大きいもしくは等しい場合に、正 (true) と判断します。
VALUE1<VALUE2	VALUE1 が VALUE2 よりも、数値的にあるいはアルファベット順で、小さい場合に、正 (true) と判断します。
VALUE1>VALUE2	VALUE1 が VALUE2 よりも、数値的にあるいはアルファベット順で、大きい場合に、正 (true) と判断します。
VALUE1 in VALUE2,VALUE3,VALUE4	VALUE1 が、VALUE2 もしくは VALUE3 もしくは VALUE4 のいずれかと同一の場合に、正 (true) と判断します。値は、カンマもしくは「 」文字区切りにていくつでも指定可能です。
VALUE1,VALUE2,VALUE3 contains VALUE4	VALUE4 が、VALUE1 もしくは VALUE2 もしくは VALUE3 のいずれかと同一の場合に、正 (true) と判断します。値は、カンマもしくは「 」文字区切りにていくつでも指定可能です。

“@@@condition:NAME:if:EXPRESSION@@@” および

“@@@condition:NAME:elseif:EXPRESSION@@@” の “VALUE1” および “VALUE2” 値は、以下のどの組み合わせでも構いません。

空白、数値、テキスト値、コンテンツ項目特殊コード、HTML FORM パラメータ、URL パラメータ

例)

@@@condition:example1:if:@@author@@=@@@

閲覧しているコンテンツ項目の「作成者」属性値が空白／空の場合に、正 (true) と判断します。

@@@condition:example2:if:@@page_top@@=@@page_up@@@@

閲覧しているコンテンツ項目の「ページトップ」と「ページアップ」関連コンテンツ属性値が同一の場合に、正 (true) と判断します。

@@@condition:example3:if:@@colour@@=red@@@

閲覧している商品の「色」属性値が「赤」の場合に、正 (true) と判断します。

@@@condition:example4:if:@@size@@=###size###@@@

閲覧している商品の「サイズ」属性値が、選択された HTML FORM / URL パラメータ値と同一の場合に、正 (true) と判断します。

@@@condition:example5:if:###email###=###email2###@@@

入力された HTML FORM / URL の「email」および「email2」パラメータ値が同一の場合に、正 (true) と判断します。

2.9 ソフトウェアライセンスキー条件コンテンツ

デフォルトでは、どのソフトウェアライセンスキーが Web サイトへ設定されているかに関わらず、すべてのコンテンツが表示されます。オプションで、コンテンツブロックを表示したり隠

したりするために、条件付け特殊コードを使用することができます。各追加モジュールエディションに対し、異なるライセンスキーが設定されているか否かによって決定されます。

通常これは、ウェブサイト開発者が汎用的なサンプルテンプレートを作成する際に使用します。各顧客や各プロジェクトへ設定されたソフトウェアライセンスキーに沿うよう、コンテンツや機能を調整することが目的です。このようにして、単一の簡単にメンテナンスできるサンプルテンプレートを、複数ソフトウェアライセンスキー設定用に作成することができます。

<code>@@@display:if:license=TYPE@@@</code>	指定したタイプの有効なソフトウェアライセンスキーが設定されている場合にのみ表示されるコンテンツブロックの始まりを定義します（“TYPE”を“personal”、“professional”、“enterprise”、“hosting”、“ecommerce”、“community”、“databases”、“statistics”に置き換える）。
<code>@@@end:if:license=TYPE@@@</code>	指定したタイプの有効なソフトウェアライセンスキーが設定されている場合にのみ表示されるコンテンツブロックの終わりを定義します（“TYPE”を“personal”、“professional”、“enterprise”、“hosting”、“ecommerce”、“community”、“databases”、“statistics”に置き換える）。
<code>@@@display:if:license!=TYPE@@@</code>	指定したタイプの無効なソフトウェアライセンスキーが設定されている場合にのみ表示されるコンテンツブロックの始まりを定義する（“TYPE”を“personal”、“professional”、“enterprise”、“hosting”、“ecommerce”、“community”、“databases”、“statistics”に置き換える）。
<code>@@@end:if:license!=TYPE@@@</code>	指定したタイプの無効なソフトウェアライセンスキーが設定されている場合にのみ表示されるコンテンツブロックの終わりを定義する（“TYPE”を“personal”、“professional”、“enterprise”、“hosting”、“ecommerce”、“community”、“databases”、“statistics”に置き換える）。

2.10 ブラウザ／デバイス条件コンテンツ

デフォルトでは、Web サイトへのアクセスに使用されたブラウザやデバイスに関係なく、すべての Web サイトコンテンツが表示されます。オプションとして、条件特殊コードを使って、Web サイト訪問者がどのブラウザやデバイスを使用しているかに応じて、コンテンツブロックを表示あるいは非表示にすることが可能です。

通常これは、ウェブサイト開発者が、汎用的なサンプルテンプレートを作成する際に使用します。訪問者のブラウザやデバイスに応じて、コンテンツや機能を調整することが目的です。このようにして、複数のブラウザやデバイスに対応した、単一の簡単にメンテナンスできるサンプルテンプレートを作成することができます。

<code>@@@display:if:browser=TYPE@@@</code>	コンテンツブロックの開始を定義します。Web サイト訪問者のブラウザ ID
--	---------------------------------------



	が、指定したテキストを含んでいる場合のみ表示されます。（”TYPE”をブラウザ ID 文字列の一部に置き換える。”MSIE” “Firefox” “Chrome” “Safari” など。）ブラウザ ID 文字列の詳細は、一般的なドキュメントをご参照ください。
@@@end:if:browser=TYPE@@@	Web サイト訪問者のブラウザ ID が、指定したテキストを含んでいる場合のみ表示されるコンテンツブロックの終了を定義します。（”TYPE”をブラウザ ID 文字列の一部に置き換える。”MSIE” “Firefox” “Chrome” “Safari” など。）ブラウザ ID 文字列の詳細は、一般的なドキュメントをご参照ください。
@@@display:if:browser!=TYPE@@@	コンテンツブロックの開始を定義します。Web サイト訪問者のブラウザ ID が、指定したテキストを含んでいない場合のみ表示されます。（”TYPE”をブラウザ ID 文字列の一部に置き換える。”MSIE” “Firefox” “Chrome” “Safari” など。）ブラウザ ID 文字列の詳細は、一般的なドキュメントをご参照ください。
@@@end:if:browser!=TYPE@@@	Web サイト訪問者のブラウザ ID が、指定したテキストを含んでいない場合のみ表示されるコンテンツブロックの終了を定義します。（”TYPE”をブラウザ ID 文字列の一部に置き換える。”MSIE” “Firefox” “Chrome” “Safari” など。）ブラウザ ID 文字列の詳細は、一般的なドキュメントをご参照ください。
@@@display:if:device=TYPE@@@	コンテンツブロックの開始を定義します。Web サイト訪問者のブラウザ ID が、指定したテキストを含んでいる場合のみ表示されます。（”TYPE”をブラウザ ID 文字列の一部に置き換える。”iPhone” “iPad” “Android” など。）ブラウザ ID 文字列の詳細は、一般的なドキュメントをご参照ください。
@@@end:if:device=TYPE@@@	Web サイト訪問者のブラウザ ID が、指定したテキストを含んでいる場合のみ表示されるコンテンツブロックの終了を定義します。（”TYPE”をブラウザ ID 文字列の一部に置き換える。”iPhone” “iPad” “Android” など。）ブラウザ ID 文字列の詳細は、一般的なドキュメントをご参照ください。
@@@display:if:device!=TYPE@@@	コンテンツブロックの開始を定義します。Web サイト訪問者のブラウザ ID

	が、指定したテキストを含んでいない場合のみ表示されます。（”TYPE”をブラウザ ID 文字列の一部に置き換える。”iPhone” ”iPad” ”Android”など。）ブラウザ ID 文字列の詳細は、一般的なドキュメントをご参照ください。
@@@end:if:device!=TYPE@@@	Web サイト訪問者のブラウザ ID が、指定したテキストを含んでいない場合のみ表示されるコンテンツブロックの終了を定義します。（”TYPE”をブラウザ ID 文字列の一部に置き換える。”iPhone” ”iPad” ”Android”など。）ブラウザ ID 文字列の詳細は、一般的なドキュメントをご参照ください。

2.11 HTML FORM と URL パラメータ

HTML FORM を使って Web サイトページへポストされたデータや、URL パラメータとして渡されたデータは、シンプルコンテンツとして Web ページ上に表示することが可能です。もしくは、もっとも典型的な用法としては、他の特殊コードへのパラメータとして使用することもできます。

- ####NAME###**
 Web サイトアドレス（URL）パラメータの値、もしくは指定した名前でポストされた Web フォームデータが表示される位置を定義します。（例：####id###や####search###）
- ####NAME.text###**
 Web サイトアドレス（URL）パラメータの値、もしくは指定した名前でポストされた Web フォームデータが、シンプルなテキストコンテンツとして表示される位置を定義します。
- ####NAME.html###**
 Web サイトアドレス（URL）パラメータの値、もしくは指定した名前でポストされた Web フォームデータが、HTML エンコード化されたコンテンツとして表示される位置を定義します。
- ####NAME.script###**
 Web サイトアドレス（URL）パラメータの値、もしくは指定した名前でポストされた Web フォームデータが、Javascript エンコード化されたコンテンツとして表示される位置を定義します。
- ####NAME.htmlscript###**
 Web サイトアドレス（URL）パラメータの値、もしくは指定した名前でポストされた Web フォームデータが、HTML 属性での使用向けに Javascript エンコード化されたコンテンツとして表示される位置を定義します。
- ####NAME.raw###**
 Web サイトアドレス（URL）パラメータの値、もしくは指定した名前でポストされた Web フォームデータが、エンコードされていないそのままのコンテンツとして表示される位置を定義します。（”@@@”と”###”のみ、“<no>@@@</no>”と“<no>###</no>”として

エスケープされます)

重要：これは、HTML/Javascript インジェクションに悪用され得る可能性があります。どうしても必要な場合にのみ、十分注意して使用してください。通常は、他のエンコードされたフォーマットを使用し、Javascript プログラムコードを用いて要件を実現されることを強く推奨します。

- **###NAME.special###**
Web サイトアドレス (URL) パラメータの値、もしくは指定した名前でポストされた Web フォームデータが、一切エンコードされていない完全にそのままだのコンテンツとして表示される位置を定義します。
重要：これは、HTML/Javascript インジェクションおよび特殊コードインジェクションに悪用され得る可能性があります。その場合、すべての Web サイトコンテンツやユーザ詳細へのアクセスを許してしまうことになります。どうしても必要な場合にのみ、十分注意して使用してください。通常は、他のエンコードされたフォーマットを使用し、Javascript プログラムコードを用いて要件を実現されることを強く推奨します。このフォーマットは、信用できる Web サイト管理者向けのカスタム管理ページでのみ使用してください。
- **@@@url@@@**
閲覧中 Web ページのフル Web サイトアドレス (URL) が表示される位置を定義します。例えば、“http://www.yourwebsite.com/page.aspx?id=123&version=English” に対して
“http://www.yourwebsite.com/page.aspx?id=123&version=English” と表示します。
- **@@@url:NAME=VALUE&NAME=VALUE@@@**
閲覧中 Web ページのフル Web サイトアドレス (URL) が、追加のクエリパラメータと共に表示される位置を定義します。例えば、
“http://www.yourwebsite.com/page.aspx?id=123&version=English” に対し、
“@@@url:stylesheet=123&template=456@@@” で
“http://www.yourwebsite.com/page.aspx?id=123&version=English&stylesheet=123&template=456” と表示します。
- **@@@urlprotocol@@@**
閲覧中 Web ページの Web サイトアドレス (URL) のプロトコル部分が表示される位置を定義します。例えば、“http://www.yourwebsite.com/page.aspx?id=123&version=English” に対し、“http://” と表示します。
- **@@@urldomain@@@**
閲覧中 Web ページの Web サイトアドレス (URL) のドメイン名部分が表示される位置を定義します。例えば、“http://www.yourwebsite.com/page.aspx?id=123&version=English” に対し、“www.yourwebsite.com” と表示します。
- **@@@urlport@@@**
閲覧中 Web ページの Web サイトアドレス (URL) のポート番号部分が表示される位置を定義します。例えば、“http://www.yourwebsite.com:8000/page.aspx?id=123&version=English” に対し、“:8000” と表示します。注意：デフォルトポート番号の “http” (80) と “https”(443) は、空白として表示されます。
- **@@@urlpathquery@@@**
閲覧中 Web ページの Web サイトアドレス (URL) のパスおよびクエリ部分が表示される位置を定義します。例えば、“http://www.yourwebsite.com/page.aspx?id=123&version=English” に対し、“/page.aspx?id=123&version=English” と表示します。

- `@@@urlpathquery:NAME=VALUE&NAME=VALUE@@@`
閲覧中 Web ページの Web サイトアドレス (URL) のパスおよびクエリ部分が、追加のクエリパラメータと共に表示される位置を定義します。例えば、
“`http://www.yourwebsite.com/page.aspx?id=123&version=English`” に対し、
“`@@@urlpathquery:stylesheet=456&template=789@@@`” で、
“`/page.aspx?id=123&version=English&stylesheet=456&template=789`” と表示します。
- `@@@urlpath@@@`
閲覧中 Web ページの Web サイトアドレス (URL) のパス部分が表示される位置を定義します。例えば、
“`http://www.yourwebsite.com/page.aspx?id=123&version=English`” に対し、
“`/page.aspx`” と表示します。
- `@@@urlpath:NAME=VALUE&NAME=VALUE@@@`
閲覧中 Web ページの Web サイトアドレス (URL) のパス部分が、追加のクエリパラメータと共に表示される位置を定義します。例えば、
“`http://www.yourwebsite.com/page.aspx?id=123&version=English`” に対し、
“`@@@urlpath:stylesheet=456&template=789@@@`” で、
“`/page.aspx?stylesheet=456&template=789`” と表示します。
- `@@@urlquery@@@`
閲覧中 Web ページの Web サイトアドレス (URL) のクエリ部分が表示される位置を定義します。例えば、
“`http://www.yourwebsite.com/page.aspx?id=123&version=English`” に対し、
“`id=123&version=English`” と表示します。
- `@@@urlquery:NAME=VALUE&NAME=VALUE@@@`
閲覧中 Web ページの Web サイトアドレス (URL) のクエリ部分が、追加のクエリパラメータと共に表示される位置を定義します。例えば、
“`http://www.yourwebsite.com/page.aspx?id=123&version=English`” に対し、
“`@@@urlquery:stylesheet=456&template=789@@@`” で、“`id=123&version=English&stylesheet=456&template=789`” と表示します。

2.12 HeartCoreWeb コンテンツエディタ入力フィールド

データを入力、送信するためのフォームを含む Web サイトページは、単純な INPUT や TEXTAREA 入力フィールドの代わりに、HeartCore Web コンテンツエディタを使用することができます。

Web サイトページで HeartCore Web コンテンツエディタを使用するには、HeartCore Web コンテンツエディタに必要なファイルを読み込むため、ページのアドバンススクリプトへ下記を追加してください。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="/webadmin/webeditor/webeditor.css" />
<script src="/webadmin/webeditor/webeditor.js"></script>
```

HeartCore Web コンテンツエディタのコンテンツビルダ機能を有効にするには、コンテンツビルダに必要なファイルを読み込むため、ページのアドバンススクリプトへ下記も追加してください。

```
<script type="text/javascript" src="/webadmin/jquery/jquery.js"></script>
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="/webadmin/contentbuilder/builder.css">
<script type="text/javascript" src="/webadmin/contentbuilder/builder.js"></script>
```

Web サイトページに HeartCore Web コンテンツエディタを挿入するには、特殊コード
@@@webeditor:...@@@ を、下記パラメータのあらゆる組み合わせと併せて使用することがで
きます。

@@@webeditor:name=NAME@@@	HTML FORM 入力フィールド名を “NAME”に設定するよう定義します。
@@@webeditor:value=ID@@@	HeartCore Web コンテンツエディタの初期 コンテンツを、コンテンツ id が “ID” のコ ンテンツ項目の “コンテンツ” にするよ う定義します。
@@@webeditor:value=”TEXT”@@@	HeartCore Web コンテンツエディタの初期 コンテンツを、テキスト “TEXT” にする よう定義します。
@@@webeditor:width=WIDTH@@@	HeartCore Web コンテンツエディタの幅 を、“WIDTH”に設定します。“WIDTH” は、ピクセルまたはパーセンテージのサ イズです。
@@@webeditor:height=HEIGHT@@@	HeartCore Web コンテンツエディタの高さ を、“HEIGHT”に設定します。 “HEIGHT”は、ピクセルまたはパーセン テージのサイズです。
@@@webeditor:stylesheet=default@@@	HeartCore Web コンテンツエディタがデフ ォルトのスタイルシートを使用するよう 定義します。
@@@webeditor:stylesheet=ID@@@	HeartCore Web コンテンツエディタが、コ ンテンツ id が “ID” のスタイルシートコン テンツ項目を使用するよう定義します。
@@@webeditor:manager=MANAGER@@@	HeartCore Web コンテンツエディタが、ど のハイパーリンクの挿入およびメディア の挿入ダイアログウィンドウを使用する かを定義します。 “MANAGER”: - “no” ベーシックなダイアログウィンドウ を使用します。 - “wcm” 上級ダイアログウィンドウ (Web サイト管理者としてログインが必要) - “personal” コミュニティ追加モジュール “personal” ダイアログウィンドウ - “bizcard” HeartCore Web コンテンツ管理 ホスティングエディション “bizcard” ダイ アログウィンドウ
@@@webeditor.language@@@	“@@@webeditor:...@@@”特殊コードの代 わりに HeartCore Web コンテンツエディタ の Javascript コードを直接 Web ページに使 用している場合、Web エディタの言語特 殊コードは、どこに Web コンテンツ管理 システムのプログラム言語が挿入される かを定義します。例えば “language:’@@@webeditor:language@@@”

@@@webeditor:builder=BUILDER@@@	HeartCore Web コンテンツエディタのコンテンツビルダ機能を有効化するか否かを定義します。”BUILDER”を、以下のいずれかに置き換えます。 - “no” もしくは “off” を指定すると、コンテンツビルダ機能は無効化されます。 (デフォルト) - “yes” もしくは “on” を指定すると、コンテンツビルダ機能が有効化され、デフォルトに設定されたコンテンツビルダスニペットが使用されます。 - “ID” を指定すると、コンテンツビルダ機能が有効化され、id が ID のコンテンツ項目がコンテンツビルダスニペットとして使用されます。このコンテンツ項目では、特別なフォーマットを使用し、コンテンツビルディングブロックやカテゴリを定義する必要があります。詳しくは、設定ガイドをご参照ください。
--	---

パラメータが指定されていない場合、デフォルト値が使用されます。デフォルトのパラメータは、次のとおりです。

@@@webeditor:name=content:value="":width=100%:height=400:manager=no:stylesheet=default:builder=no@@@

2.13 CAPTCHA 認証フォーム

Web コンテンツ管理システムは、コンタクトフォーム、ゲストブック、ブログ、メッセージボード、ショッピングカート、ユーザー登録など、Web サイトのビジターが登録したり、データを投稿したりできる様々な機能を備えています。残念なことに多くの個人、そして組織がそのような Web サイト機能を、自動プログラムを使って悪意のある Web サイトへアクセスさせるため、頼んでもいない広告やリンクを投稿する目的で乱用しています。自動プログラムによって、お使いの Web サイトへのそのような悪意あるデータやリンクを送信させるのを防ぐには、Web コンテンツ管理システムにおいて、Web サイトビジターがデータを送信したり商品注文する際に、いわゆる CAPTCHA（コンピュータと人間を区別する完全に自動化された公開チューニングテスト）確認コードの入力を要求する設定をすることが可能です。

デフォルトでは、そのような確認コードは、Web コンテンツ管理システム側からは要求されませんが、異なる 3 つのタイプの CAPTCHA 確認コードが設定可能です。

- なし

Web サイトビジターがフォームを送信するにあたり、いかなる CAPTCHA 確認コードも要求されません。

- ReCAPTCHA.net

無償の「公式」CAPTCHA オンラインサービス www.ReCAPTCHA.net を使って、Web サイトビジター自身を認証させます。このサービスを使用するには、無償のユーザアカウント

と、私用、公用のキーが必要となります。こちらは最も効果のある、推奨の CAPTCHA 設定となります。

- ランダムな文字

Web サイトコンテンツ管理システムにより設定された文字や数字のリストから、ランダムに選択される文字や数字を、Web サイトビジターに入力させ、認証させます。

- ランダムな単語

Web サイトコンテンツ管理システムにより設定された単語のリストから、ランダムに選択される単語を、Web サイトビジターに入力させ、認証させます。

詳しくは、「設定ガイド」をご参照下さい。

2.13.1 特殊フォーム

様々な異なる Web サイト機能に対し、CAPTCHA 認証を要求するよう Web サイトを設定することが可能です。詳しくは、「設定ガイド」をご確認下さい。

2.13.1.1 コンタクトフォーム

“/contact.aspx”, “/contact.jsp” and “/contact.php” プログラムスクリプトへポストされる全ての Web ページフォームに対し、Web サイトビジターを認証させるよう要求する。

2.13.1.2 コンテンツとデータのポストフォーム

ブログや、ゲストブック、掲示板機能などのモジュールで使用する “/post.aspx”, “/post.jsp”, “/post.php” へポストされる全ての Web ページフォームに対し、Web サイトビジターを認証させるよう要求する。

2.13.1.3 ショッピングカートページ/フォーム

“/shopcart.aspx”, “/shopcart.jsp”, “/shopcart.php” へポストされるショッピングカートの注文に対し、Web サイトビジターを認証させるよう要求する。

2.13.1.4 ユーザ登録フォーム

“/register.aspx”, “/register.jsp”, “/register.php” プログラムスクリプトに送信されるすべての Web ページフォームに対し、Web サイトビジターを認証させます。

2.13.2 特殊コード

CAPTCHA 認証機能を使用するには、上記に投稿され、プログラムスクリプトを有効にするための追加特別コードが、Web ページフォームに追加されている必要があります。

- @@@captcha@@@

Web ページフォームの <FORM> と “</FORM>” HTML コードの間に追加します。この特別コードは Web コンテンツ管理システムにより、CAPTCHA 設定プロンプトと入力フィールドに置き換えられます。

ReCAPTCHA.net サービスが使用されている場合は、CAPTCHA グラフィック画像を含んだスタイルボックスと入力フィールドとなります。

そうでなければ、以下のような簡単な、スタイル化されていない HTML コードとなります：

```
<span class="captcha"><span class="captchachallenge">" ... challenge ... "</span> <span  
class="captcharesponse"><input type="text" name="captcha"></span></span>
```

これは“captcha”、“captchachallenge”、“captcharesponse”スタイルクラス名に対して、CSSスタイルシートを使用し、スタイルさせることができます。

- @@@error@@@

Web ページフォーム上で@@@captcha@@@ 特別コードが使用されている場所なら、どこにでも追加することができます。正しくない CAPTCHA 認証が入力、または送信されると、この特別コードはエラーメッセージに置き換えられます。

重要：CAPTCHA 認証を要求するよう設定された Web サイトにおいて、Web ページフォームに @@@captcha@@@ 特別コードがひとつも追加されていない場合、送信された Web ページフォームデータは無視されます。

2.14 フォーム認証

Web コンテンツ管理システムには、Web サイト訪問者がデータを登録したりポストしたりするための様々な機能が備わっています。コンタクトフォームや、ゲストブック、ブログ、掲示板、ショッピングカート、ユーザ登録などです。

デフォルトでは、自身の Web サイト上でも、他の Web サイトからでも使用することができます。したがって、相互作用する関連 Web サイトを多く持つことが可能になります。また、外部 Web サイトからデータを収集したり、連携したりすることもできます。

オプションとして、このような機能の HTML FORM が自身の Web サイトを起源とすることを義務づけ、外部 Web サイトから無許可データをポストできないようにしたり、悪質なクロスサイトリクエストフォージェリ（CSRF）を阻止したりすることが可能です。これは、特別な隠し自動生成承認チケット／トークンを、HTML FORM に含めることで実現します。含まれていない場合、ポストされた HTML FORM データは無視されます。

デフォルトでは、このような承認チケット／トークンは必須ではありませんが、様々な Web サイト機能に承認を要求するよう、Web コンテンツ管理システムを設定することが可能です。

詳しくは、「設定ガイド」をご参照ください。

2.14.1 特殊フォーム

様々な Web サイト機能に承認を要求するよう、Web サイトを設定することが可能です。詳しくは、「設定ガイド」をご参照ください。

2.14.1.1 コンタクトフォーム

“/contact.aspx”、“/contact.jsp”、“/contact.php” プログラムスクリプトへポストされるすべての Web ページフォームに対し、承認チケット／トークンを要求します。

2.14.1.2 コンテンツおよびデータポストフォーム

ブログやゲストブック、掲示板などの Web サイト機能モジュールで使用される “/post.aspx”、“/post.jsp”、“/post.php” プログラムスクリプトへポストされるすべての Web ページフォームに対し、承認チケット／トークンを要求します。

2.14.1.3 ショッピングカートページ/フォーム

“/shopcart.aspx”、“/shopcart.jsp”、“/shopcart.php” プログラムスクリプト

(“/shopcart.aspx?complete=xxx”、“/shopcart.jsp?complete=xxx”、“/shopcart.php?complete=xxx”) へ
ポストされるショッピングカート注文に対し、承認チケット/トークンを要求します。

2.14.1.4 ユーザ登録フォーム

“/register.aspx”、“/register.jsp”、“/register.php” プログラムスクリプトへポストされるすべての
Web ページフォームに対し、承認チケット/トークンを要求します。

2.14.2 特殊コード

フォーム承認機能を使用するには、上記の有効なプログラムスクリプトへポストされる Web ペー
ジフォームに、特殊コードを追加する必要があります。

- @@@authorize:FORMACTION@@@
FORM の種類に従って、“FORMACTION”を“contact”、“post”、“shopcart”、“register”に置
き換えます。<FORM> </FORM> HTML コードの内側に追加してください。Web コンテ
ンツ管理システムによって、隠し承認チケット/トークン入力フィールドへ自動的に変換さ
れます。

重要：フォーム承認を要求するよう設定された Web サイトにおいて、Web ページフォームに
@@@authorize:FORMACTION@@@ 特殊コードがひとつも追加されていない場合、ポストされ
た Web ページフォームデータは無視されます。

2.14.2.1 データベース指定のポスト

データベース指定のフォーム認証を要求するよう、Web コンテンツ管理システムを設定してい
る場合、“/post.aspx”、“/post.jsp”、“/post.php” プログラムスクリプトへポストされる Web ペー
ジフォームに、対象データベース向けの特殊コードを追加する必要があります。

- @@@authorize:database=DATABASE@@@
DATABASE を、データのポスト先となるコンテンツデータベース名に置き換え、Web ペー
ジフォームの<FORM...>と</FORM>の間に追加してください。本特殊コードは、Web コン
テンツ管理システムによって、隠し承認チケット/トークン入力フィールドへ自動的に変換
されます。
- @@@authorize:database=DATABASE=IDNUMBER@@@
DATABASE を、更新データのポスト先となるコンテンツデータベース名に置き換え、
IDNUMBER を、更新対象のデータ項目に割り当てられた Web コンテンツ管理システムの id
に置き換えます。Web ページフォームの<FORM...>と</FORM>の間に追加してください。
本特殊コードは、Web コンテンツ管理システムによって、隠し承認チケット/トークン入
力フィールドへ自動的に変換されます。

2.15 クッキー

特殊コードを使って、Web ブラウザのクッキーを取得およびセットすることが可能です。

@@@cookie:NAME@@@	NAME で指定したクッキー名 の値が挿入される位置を定義 します。
@@@cookie:NAME=VALUE@@@	NAME で指定したクッキー名 に、VALUE で指定した値が 付与されます。

@@@cookie:NAME=VALUE:domain=DOMAIN@@@	NAME で指定したクッキー名に、VALUE で指定した値が、DOMAIN で指定したドメインに対して付与されます。デフォルトでは、クッキーは、現在のフルドメイン名に対してセットされます。ドメインのベース／一部に対してのみセットすることも可能です。
@@@cookie:NAME=VALUE:path=PATH@@@	NAME で指定したクッキー名に、VALUE で指定した値が、PATH で指定した URL に対して付与されます。デフォルトでは、クッキーは、現在のフル URL パス名に対してセットされます。URL パスの一部に対してのみセットすることも可能です。
@@@cookie:NAME=VALUE:expires=YYYY-MM-DD HH:MM:SS@@@	NAME で指定したクッキー名に、VALUE で指定した値が付与され、指定した日時に期限切れとなります。デフォルトでは、クッキーは、Web ブラウザを閉じた際に失効します。
@@@cookie:NAME=VALUE:secure=yes@@@	HTTPS などのセキュアな接続を使って Web サイトにアクセスされた場合のみ、NAME で指定したクッキー名に、VALUE で指定した値が付与されます。
@@@cookie:NAME=VALUE:httponly=yes@@@	HTTP/HTTPS 接続に対してのみ、NAME で指定したクッキー名に、VALUE で指定した値が付与されます。Javascript を使ったアクセスには付与されません。

3 特殊リンク

3.1 Web サイトコンテンツバージョンの選択

多言語対応等の複数コンテンツバージョンに、Web コンテンツ管理システム機能を使用している場合、特別なコンテンツバージョン選択リンクを Web サイト上に追加することができます。Web サイトビジターは、そのようなリンクを使って、使用するコンテンツバージョンを選択することが可能になります。

- `?id=@@@id@@@&version=`

マスター／オリジナル／デフォルトのコンテンツが優先されることを定義する。

- `?id=@@@id@@@&version=English`

指定したバージョン（例えば、英語）のコンテンツが優先されることを定義する。

- `?id=@@@id@@@&version=English,mobile`

指定したバージョン（例えば、英語とモバイル）のコンテンツが優先されることを定義する。

すべてのコンテンツ項目は、常に 1 つのバージョンのみですのでご注意ください。もし、複数の優先バージョンが選択され、1 つのコンテンツ項目に複数のバージョンが有効である場合、その中のいずれかがランダムに選択されます。通常、異なる種類のバージョン向けに、複数の優先バージョンが使用されます。例えば、“English”や“Japanese”などの複数言語バージョンに対して 1 つの優先バージョンを設け、“mobile”や“tablet”、“Android”、“iPhone”、“iPad”、“MSIE”、“Chrome”、“Safari”、“Firefox”といった複数ブラウザ／デバイスバージョンに対してもう 1 つの優先バージョンを設ける場合です。異なる種類のバージョンを使用する際は、各コンテンツ項目を構造化する必要があります。そうすることで、言語依存のコンテンツとブラウザ／デバイス依存のコンテンツが、完全に区別されます。

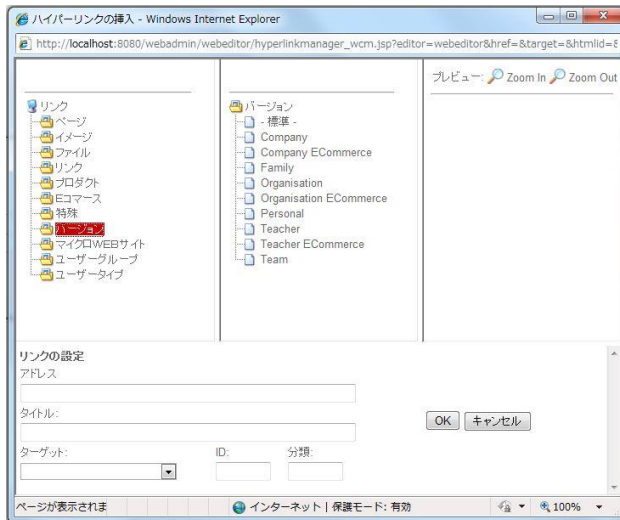
3.1.1 コンテンツエディターコンテンツバージョンへのハイパーリンク挿入

コンテンツバージョン機能が有効の場合、コンテンツエディタにハイパーリンクの挿入オプションが追加されます。

ハイパーリンクの挿入を使えば、マスター／オリジナル／デフォルトコンテンツや代替バージョンコンテンツ等々の Web コンテンツページへも直接リンクすることができます。コンテンツの代替バージョンのバージョン名が、コンテンツタイトルの末尾にある括弧内に表示されます。通常は、コンテンツの特定の代替バージョンに直接リンクすべきではなく、HeartCore Web コンテンツ管理システムに自動的に識別させ、コンテンツの関連バージョンを表示させます。

ハイパーリンクの挿入を使えば、ユーザが Web サイトコンテンツの優先バージョンを選択できるリンクにもアクセスできます。「バージョン」リンクは、ハイパーリンクの挿入—ページ／ファイル／リンクリストの下にリストアップされます。

- 標準
マスター/オリジナル/デフォルトコンテンツを、優先コンテンツとして定義します。
- 任意のバージョン名
選択したバージョンのコンテンツを、優先コンテンツとして定義します。



サイトのユーザが上述のバージョンリンクを通じて、Web サイトコンテンツの優先バージョンを選択すると、ユーザが Web サイトを閲覧する際、その優先バージョンのコンテンツが自動的に表示されるようになります。代替バージョンが優先バージョンとして選択されると、その代替バージョンのコンテンツが存在する場合は表示されます。存在しない場合は、マスター／オリジナル／デフォルトコンテンツが表示されます。

3.2 関連コンテンツへの動的ナビゲーションリンク

通常は、Web サイトナビゲーションメニューやツールバー内で Web サイトページへのリンクを作成し、Web サイトページ間をリンクさせます。しかしながら、「上へ」、「前へ」、「次へ」のような汎用ナビゲーションリンクでテンプレートを作成したり、自動スライドショープレゼンテーション Web サイトページを作成したい場合があります。コンテンツリレーション機能を使えばこれが可能です。メディアライブラリのイメージ/ファイル/リンクについても、いくつでもページや商品と連携させることが可能です。

- /page.aspx?id=@@page_top@@@
/page.jsp?id=@@page_top@@@
/page.php?id=@@page_top@@@

このコンテンツに対するトップレベルのスタートページへリンクする。

- /page.aspx?id=@@@page_up@@@
/page.jsp?id=@@@page_up@@@
/page.php?id=@@@page_up@@@

このコンテンツに対して、上位レベルのコンテンツへリンクする。

- /page.aspx?id=@@@page_previous@@@
/page.jsp?id=@@@page_previous@@@
/page.php?id=@@@page_previous@@@

このコンテンツに対して順番が 1 つ前のコンテンツへリンクする。

- /page.aspx?id=@@@page_next@@@
/page.jsp?id=@@@page_next@@@
/page.php?id=@@@page_next@@@

このコンテンツに対して順番が 1 つ次のコンテンツへリンクする。

- `/page.aspx?id=@@@page_first@@@`
`/page.jsp?id=@@@page_first@@@`
`/page.php?id=@@@page_first@@@`

このコンテンツの階層内で、連続する最初のコンテンツへリンクする。

- `/page.aspx?id=@@@page_last@@@`
`/page.jsp?id=@@@page_last@@@`
`/page.php?id=@@@page_last@@@`

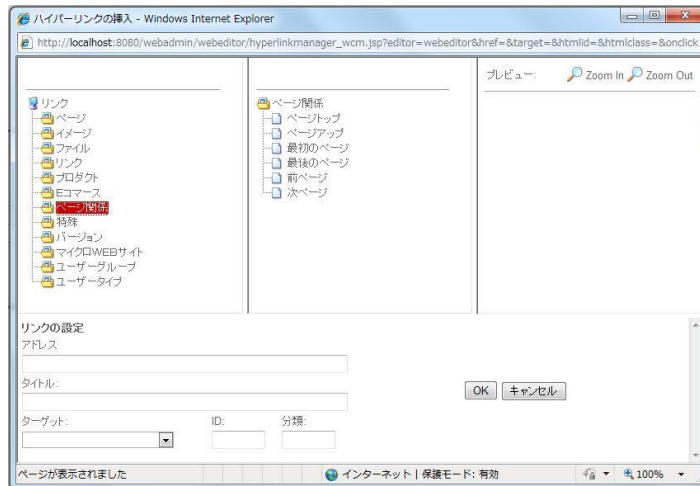
このコンテンツの階層内で、連続する最後のコンテンツへリンクする。

3.2.1 コンテンツエディタ – 関連コンテンツへのハイパーリンク挿入

コンテンツの相互関係機能が有効の場合、コンテンツエディタに追加のハイパーリンク挿入オプションが加わります。

ハイパーリンク挿入を使えば、どの Web コンテンツページへも直接リンクできます。また同様に、コンテンツの相互関係によって定義された関連 Web コンテンツページへ間接的にリンクすることができます。追加の「ページ関係」リンクは、ハイパーリンクの挿入－ページ／ファイル／リンクリストの下に表示されます。

- ページトップ
このコンテンツに対するトップレベルのスタートページへリンクする。
- ページアップ
このコンテンツに対して、上位レベルのコンテンツへリンクする。
- 前のページ
このコンテンツに対して順番が 1 つ前のコンテンツへリンクする。
- 次のページ
このコンテンツに対して順番が 1 つ次のコンテンツへリンクする。
- ファーストページ
このコンテンツの階層内で、連続する最初のコンテンツへリンクする。
- ラストページ
このコンテンツの階層内で、連続する最後のコンテンツへリンクする。



3.3 代替テンプレートを使用して表示されるページへのリンク

リンクでは、指定したテンプレートを使ってページを表示させるよう指定することができます。そのページや、そのページグループ／タイプ、もしくは Web サイトヘデフォルトとして設定されたテンプレートに代わって、リンクで指定したテンプレートが使用されます。

- /page.aspx?id=123&template=&
/page.jsp?id=123&template=&
/page.php?id=123&template=&

リンク先のページ (id=123) は、そのページもしくはページグループ／タイプ、または Web サイトのデフォルトテンプレートを使用して表示される。

- /page.aspx?id=123&template=0
/page.jsp?id=123&template=0
/page.php?id=123&template=0

リンク先のページ (id=123) は、どのテンプレートも使用せずに表示される。

- /page.aspx?id=123&template=456
/page.jsp?id=123&template=456
/page.php?id=123&template=456

リンク先のページ (id=123) は、指定したテンプレート (id=456) を使用して表示される。

指定したテンプレートは、リンク先ページに使用されるだけでなく、続いて閲覧する他のページにも適用されますのでご注意ください。他のリンクが、別のテンプレートもしくはデフォルトテンプレートを選択するまでは、この指定したテンプレートが使用されます。

指定したテンプレートを、後に続くページには適用させずリンク先ページにのみ使用するには、“template” パラメータを後述する “print” パラメータと併用します。

3.4 代替スタイルシートを使用して表示されるページへのリンク

リンクでは、指定したスタイルシートを使ってページを表示させるよう指定することができます。そのページや、そのページグループ／タイプ、もしくは Web サイトヘデフォルトとして設定されたスタイルシートに代わって、リンクで指定したスタイルシートが使用されます。

- `/page.aspx?id=123&stylesheet=&`
`/page.jsp?id=123&stylesheet=&`
`/page.php?id=123&stylesheet=&`

リンク先のページ (id=123) は、そのページもしくはページグループ/タイプ、または Web サイトのデフォルトスタイルシートを使用して表示される。

- `/page.aspx?id=123&stylesheet=0`
`/page.jsp?id=123&stylesheet=0`
`/page.php?id=123&stylesheet=0`

リンク先のページ (id=123) は、どのスタイルシートも使用せずに表示される。

- `/page.aspx?id=123&stylesheet=789`
`/page.jsp?id=123&stylesheet=789`
`/page.php?id=123&stylesheet=789`

リンク先のページ (id=123) は、指定したスタイルシート (id=456) を使用して表示される。

指定したスタイルシートは、リンク先ページに使用されるだけでなく、続いて閲覧する他のページにも適用されますのでご注意ください。他のリンクが、別のスタイルシートもしくはデフォルトスタイルシートを選択するまでは、この指定したスタイルシートが使用されます。

指定したスタイルシートを、後に続くページには適用させずリンク先ページにのみ使用するには、“template” パラメータを後述する “print” パラメータと併用します。

3.5 代替テンプレートとスタイルシートを使用した印刷ページ

リンクでは、指定したテンプレートやスタイルシートを使ってページを表示させるよう指定することができます。そのページや、そのページグループ/タイプ、もしくは Web サイトへデフォルトとして設定されたテンプレートやスタイルシートに代わって、リンクで指定したテンプレートやスタイルシートが使用されます。通常これは、ナビゲーションメニューなどの無い印刷用ページに使用されます。

- `/page.aspx?id=123&template=456&stylesheet=789&mode=print`
`/page.jsp?id=123&template=456&stylesheet=789&mode=print`
`/page.php?id=123&template=456&stylesheet=789&mode=print`

リンク先のページ (id=123) は、指定したテンプレート (id=456) とスタイルシート (id=789) を使用して表示される。

指定したテンプレートやスタイルシートは、リンク先ページにのみ使用され、続いて閲覧する他のページには適用されません。これは、“mode=print” パラメータによって制御されています。

3.6 ログイン

通常、Web サイトユーザが、アクセス制限付きのページやファイルへアクセスしようとした際、ログインページへ自動的にリダイレクトされます。オプションで、デフォルトのログインページへリンクを追加することもでき、ログインが成功したら指定したページへユーザをリダイレクトさせることが可能です。

- `/login.aspx?url=%2Fpage.jsp%3Fid%3D123`
`/login.jsp?url=%2Fpage.jsp%3Fid%3D123`

/login.php?url=%2Fpage.jsp%3Fid%3D123

Web サイトユーザは、ログインを要求され、ログインが成功すると指定したページ (id=123) へリダイレクトされます。

3.7 ログアウト

通常、Web サイトへログインすると、Web サイトユーザはログアウトすることができます。公共や共有のコンピュータを使用している場合、他人に不正アクセスをさせない為です。

- /logout.aspx
/logout.jsp
/logout.php

Web サイトユーザはログアウトし、デフォルトの Web サイトホームページへリダイレクトされます。

- /logout.aspx?redirect=%2Fpage.jsp%3Fid%3D123
/logout.jsp?redirect=%2Fpage.jsp%3Fid%3D123
/logout.php?redirect=%2Fpage.jsp%3Fid%3D123

Web サイトユーザはログアウトし、指定したページ (id=123) へリダイレクトされます。

3.8 ユーザ名とパスワードを忘れた場合の再取得

Web サイトユーザが、ログインに必要なユーザ名やパスワードを忘れてしまった場合、特別なリンク／ページを使って再取得することができます。

- /password/index.aspx
/password/index.jsp
/password/index.php

Web サイトユーザは、Web サイトへ設定された “retrieve password page” ページへ誘導され、そこで E メールアドレスと／またはログインユーザ名を入力します。入力された E メールアドレスと／またはログインユーザ名によってユーザ名とパスワードが取得されると、Web サイトユーザの E メールアドレスへ送信されます。

3.9 ATOM、RSS、XML コンテンツ

通常、Web サイトコンテンツは HTML／XHTML コードフォーマットの Web ページです。オプションで、ATOM や RSS コードを含んだ特殊 XML コードフォーマットコンテンツを追加することもできます。例えば、SEO や ATOM、RSS ニュースフィード用の XML サイトマップ。

このような XML／ATOM／RSS コードフォーマットの作成／生成とは別に、例えば、手動もしくは付属の “sitemap”、“rssChannel” エクステンションを使用して、ページやファイルのデフォルトリンクの代わりに特殊リンクを通じてコンテンツへアクセスします。

- /xml.aspx?id=123
/xml.jsp?id=123
/xml.php?id=123

XML コードフォーマットコンテンツで構成されている指定ページ (id=123) が、表示／ダウンロードされます。

- /atom.aspx?id=123
/atom.jsp?id=123

/atom.php?id=123

ATOM コードフォーマットコンテンツで構成されている指定ページ (id=123) が、表示／ダウンロードされます。

- /rss.aspx?id=123
/rss.jsp?id=123
/rss.php?id=123

RSS コードフォーマットコンテンツで構成されている指定ページ (id=123) が、表示／ダウンロードされます。

“xml.xxx”、“atom.xxx”、“rss.xxx”スクリプトは、HTTP ヘッダの微かな違いを除いては同一のものであります。“xml.xxx”スクリプトは、コンテンツを "application/xml" として識別します。

“atom.xxx”スクリプトは、コンテンツを "application/atom+xml" として識別します。“rss.xxx”スクリプトは、コンテンツを "application/rss+xml" として識別します。実際のコンテンツが、それぞれ XML、ATOM、RSS コードフォーマットかどうかを確実にするのは、あなた次第です。

3.10 個別コンテンツ項目の表示／検出

通常、すべてのコンテンツ項目は、複数のコンテンツ項目によって構成された Web ページの一部として表示されます (テンプレート、スタイルシート、ページ、追加コンテンツ項目)。しかしながら、一つのコンテンツ項目を単独で表示させたり、検出したりしたい場合もあるでしょう。例えば、その項目を印刷／Eメールしたり、動的コンテンツとして Java スクリプトアプリケーション内で使用したり。

HeartCoreWeb コンテンツ管理システムには、個別のコンテンツ項目を表示／検出するための特殊なプログラムスクリプトが二つ含まれています。

- /contentitem.aspx?id=123
/contentitem.jsp?id=123
/contentitem.php?id=123

コンテンツ項目 id=123 を、シンプル HTML コードブロックとして検出する。追加の HTML ヘッダやタグは含まれない。

- /element.aspx?id=123
/element.jsp?id=123
/element.php?id=123

コンテンツ項目 id=123 を、HTML ヘッダやタグを含んだ Web ページとして表示する

4 特殊フォーム

4.1 コンタクトフォーム

Web サイトにコンタクトフォームがあれば、Web サイトビジターはそれを使って意見などを送信することができます。

コンタクトフォームは、Web サイトビジターが記入して送信する入力フィールドのナンバー、名前、タイプ、サイズを定義しなければなりません。シンプルなコンタクトフォーム例の HTML コードと、様々な HTML コードの意味を以下に記します。

<FORM action="/contact.aspx method="post">	コンタクトフォームのデータを受信し、E メールを送信する HeartCore Web コンテンツ管理スクリプト／プログラムの Web アドレスを定義する（Web コンテンツ管理システムのプログラム言語バージョンに応じて aspx、jsp、php を使用）。
<INPUT type="hidden" name="to" value="nobody@heartcore.co.jp">	Web サイトに設定されたデフォルト E メールアドレス（設定＞システム＞ウェブサイト＞E メール&フォーム＞E メールアドレス（デフォルト））の代わりに、コンタクトフォームの送信先として使用する E メールアドレスを定義する。ここで指定する E メールアドレスは、追加の E メールアドレスとして許可設定されている必要があります。（設定＞システム＞ウェブサイト＞E メール&フォーム＞E メールアドレス（追加アドレス））許可設定されていない場合は、無視されます。
<INPUT type=hidden name=from value="nobody@heartcore.co.jp">	Web サイトユーザが E メールアドレスを入力していない場合に、コンタクトフォームの送信元として使用する E メールアドレスを定義する。ここで指定する E メールアドレスは、追加の E メールアドレスとして許可設定されている必要があります。（設定＞システム＞ウェブサイト＞E メール&フォーム＞E メールアドレス（追加アドレス））許可設定されていない場合は、無視されます。
<INPUT type=hidden name=cc value="nobody@heartcore.co.jp">	コンタクトフォームの "CC" として使用する E メールアドレスを定義する。ここで指定する E メールアドレスは、追加の E メールアドレスとして許可設定されている必要があります。（設定＞システム＞ウェブサイト＞E メール&フォーム＞E メールアドレス（追加



	アドレス)) 許可設定されていない場合は、無視されます。
<INPUT type=hidden name=bcc value="nobody@heartcore.co.jp" >	コンタクトフォームの "BCC" として使用する E メールアドレスを定義する。ここで指定する E メールアドレスは、追加の E メールアドレスとして許可設定されている必要があります。(設定 > システム > ウェブサイト > E メール & フォーム > E メールアドレス (追加アドレス)) 許可設定されていない場合は、無視されます。
<P>Message:</P>	テキスト "Message:" を表示する。
<TEXTAREA name="message" rows="10" cols="40"></TEXTAREA>	Web サイトビジターが、"message" と名付けられた幅 40 字・高さ 10 行のテキスト入力フィールドにテキストを入力できることを定義する。
<P>Contact details:</P>	テキスト "Contact details:" を表示する。
<P>Name:</P>	テキスト "Name:" を表示する。
<INPUT size="40" name="name">	Web サイトビジターが、"name" と名付けられた幅 40 字のテキスト入力フィールドにテキストを入力できることを定義する。
<P>Company:</P>	テキスト "Company:" を表示する。
<INPUT size="40" name="company">	Web サイトビジターが、"company" と名付けられた幅 40 字のテキスト入力フィールドにテキストを入力できることを定義する。
<TEXTAREA name="address" rows="3" cols="40"></TEXTAREA>	Web サイトビジターが、"address" と名付けられた幅 40 字高さ 3 行のテキスト入力フィールドにテキストを入力できることを定義する。
<P>Phone:</P>	テキスト "Phone:" を表示する。
<INPUT size="40" name="phone">	Web サイトビジターが、"phone" と名付けられた幅 40 字のテキスト入力フィールドにテキストを入力できることを定義する。
<P>Email:</P>	テキスト "Email:" を表示する。
<INPUT size="40" name="email">	Web サイトビジターが、"email" と名付けられた幅 40 字のテキスト入力フィールドにテキストを入力できることを定義する。
<P>Website:</P>	テキスト "Website:" を表示する。
<INPUT size="40" name="website">	Web サイトのビジターが、"Website" と名付けられた幅 40 字のテキスト入力フィールドにテキストを入力できることを定義する。
<INPUT type="submit" value="Send">	テキスト "Send" というボタンを表示する。Web サイトビジターがコンタ

	クトフォームを送信するときに選択する。
<INPUT type="hidden" value="/page.aspx?id=47" name="redirect">	コンタクトフォームの送信後、Web サイトビジターに表示されるべきコンテンツページを定義する。値 “/page.aspx?id=47” は、Web サイトビジターがコンタクトフォーム送信後にリダイレクトされる Web アドレス。この値は、Web コンテンツエディタのハイパーリンクの挿入機能を使って生成されるアドレスのような他のあらゆる Web アドレスに置き換えることが可能。
</FORM>	コンタクトフォームの終了を定義する。

“subject” 入力フィールドは、送信される E メール の件名になるのでコンタクトフォームに必須です。この他に上記サンプルの “subject” や “message” のような入力フィールドをいくつでも追加することができます。ただし、必ず入力フィールドのそれぞれに違う意味のある名前を付けます。

推奨される入力フィールドの名前は、“subject”、“name”、“company”、“address”、“phone”、“email”、“message” です。これらの名前 の入力フィールドが、送信される E メール で先に表示されます。しかしながら、他 / 追加の名前を自由に使うことも可能です。

これらの特殊 HTML コードの追加／編集に加えて、ビジュアル Web コンテンツエディタを使用し、他のコンテンツを加えてアレンジしたり、入力フィールドを追加することもできます。その場合、HTML 特殊コードを削除しないように注意し、必ずすべての INPUT コードと TEXTAREA コードが FORM コードで囲まれるようにします。

4.2 ログインフォーム

アクセス制限機能を使って、一部の Web コンテンツへのアクセスを登録ユーザに限定する場合、Web サイトユーザが限定コンテンツにアクセスしようとした際に、ユーザ名とパスワードの入力を促すログインフォームページが必要です。

ログインフォームは、Web サイトビジターが Web サイトにログインするために入力する入力フィールドを定義しなければなりません。シンプルなログインフォーム例の HTML コードと、各 HTML コードの意味を以下に記します。

<FORM action=/login_post.aspx method=post>	HeartCore Web Content Management ログインスクリプト／プログラムの Web アドレスを定義する。（Web コンテンツ管理システムのプログラム言語バージョンに応じて aspx、jsp、php を使用）
<P>Username:</P>	テキスト “Username:” に続く新しいパラグラフディバイダを表示する。
<INPUT name=username>	Web サイトビジターが、“username” と名付けられた入力フィールドにテ

	キストを入力できることを定義する。
<P>Password:</P>	テキスト “Password:”に続く新しいパラグラフディバイダを表示する。
<INPUT type=password name=password>	Web サイトビジターが、“password”と名付けられた入力フィールドにマスク化テキストを入力できることを定義する。
<P></P>	空行を表示する。
<INPUT type=submit value=Login>	Web サイトビジターが、ログインフォームを送信する際に選択する “Login”というボタンを表示する。
</FORM>	コンタクトフォームの終了を定義する。

ログインフォームには、HeartCore Web コンテンツ管理ログインスクリプト／プログラムが要求する “username” と “password” 入力フィールドが必須です。

これらの特殊 HTML コードの追加／編集に加えて、ビジュアル Web コンテンツエディタを使用し、他のコンテンツを加えてアレンジしたり、入力フィールドを追加することもできます。その場合、HTML 特殊コードを削除しないように注意し、必ず INPUT コードが FORM コードで囲まれるようにします。

デフォルトでは、Web サイトビジターが制限付きコンテンツにアクセスしようとする、自動的にログインページへ誘導し、そしてログインに成功すると要求したコンテンツへと誘導します。オプションで、直接ログインフォームへアクセスすることもでき、ログイン成功後 Web サイトビジターを指定ページへ誘導させることができます。

<INPUT type=hidden name=url value=’/page.aspx?id=123>	Web サイトビジターを、ログイン成功後指定ページ(id=123)へ誘導することを定義する。
---	--

4.2.1 ワンタイムパスワードログインページ

ワンタイムパスワードログイン機能を使用する場合、ウェブサイトユーザがユーザ名とパスワードでログインした後、ワンタイムパスワードコードを要求するための第二のログインコードフォームページが必要となります。

ログインコードフォームでは、ウェブサイト訪問者にログイン情報を要求するための入力フィールドを定義する必要があります。ログインコードフォームで使用する HTML コードの例と、その説明は以下の通りです。

<FORM action=/login_post.aspx method=post>	HeartCore Web コンテンツ管理のログインスクリプト／プログラムのウェブアドレスを定義します。
<P>コード:</P>	新しい段落に「コード:」というテキストが表示されます。
<INPUT type=password name=code>	ウェブサイト訪問者が、「code」という入力フィールドにマスクされたテキストを入力できることを定義します。
<P></P>	空白行を表示します。

<INPUT type=submit value=ログイン>	「ログイン」というテキストの付いたボタンが表示され、ウェブサイト訪問者はこのボタンを選択してログインフォームを送信します。
</FORM>	フォームの終了を定義します。

ログインコードフォームには、**code** という名前の入力フィールドが **HeartCore Web** コンテンツ管理ログインスクリプト／プログラムには必須ですので、常に含めてください。

ログインコードフォームには、ウェブサイトユーザがログインをキャンセルしてユーザ名とパスワードのログインページに戻るため、またワンタイムパスワードを自身の E メールアドレスに送信／再送信するための、2つの特別なリンクも含めるべきです。

<A href value="/login_post.aspx?code=cancel>キャンセル	ログインコードの手順をキャンセルしてユーザ名とパスワードのログインページに戻るための、ウェブページリンクを定義します。（例えば、別のユーザ名とパスワードを入力する場合）
<A href value="/login_post.aspx?code=send>コードを送信	ログインコードをウェブサイトユーザの E メールアドレスへ送信／再送信するための、ウェブページリンクを定義します。（例えば、ウェブサイトユーザが、ワンタイムパスワード認証アプリやデバイスにアクセスできない場合や、既送信されたログインコードを削除してしまった場合）

これらの特殊 **HTML** コードの追加／編集に加えて、ビジュアル **Web** コンテンツエディタを使用し、他のコンテンツを加えてアレンジしたり、入力フィールドを追加したりすることもできます。その場合、**HTML** 特殊コードを削除しないように注意し、必ず **INPUT** コードが **FORM** コードの内側にあるようにします。

デフォルトでは、ウェブサイト訪問者がアクセス制限されたコンテンツ項目にアクセスしようとする、ユーザ名とパスワードによるログインの後、ログインコードページへ自動で遷移し、ログインに成功すると要求したコンテンツ項目が自動で表示されます。任意で、ログインフォームに直接アクセスさせ、ログインに成功したら特定のページに遷移させることも可能です。

<INPUT type=hidden name=url value="/page.aspx?id=123>	ウェブサイト訪問者がログインに成功した後、指定したページ (id=123) に遷移することを定義します。
---	--

4.2.2 ワンタイムパスワードログイン E メール

ワンタイムパスワードログイン機能を使用する場合、ワンタイムパスワードログインコード E メールページも必要となります。このページは、ウェブサイトユーザがユーザ名とパスワードによるログイン後、ワンタイムパスワードログインページの「コードの送信／再送信」リンク

を選択した際に、ワンタイムパスワードコードをウェブサイトユーザへ送信するために使用します。

ログインコード E メールページには、ワンタイムパスワードコードを挿入するための特別なコードを含める必要があります。

@@@code@@@	Web コンテンツ管理システムによって生成されるログインに必要なワンタイムパスワードコードが、どこに表示されるかを定義します。
------------	---

上記のようなワンタイムパスワードログイン E メールが設定されていない場合、Web コンテンツ管理システムは、ワンタイムパスワードコードを件名と本文に含む、独自の簡易な E メールを生成します。

ワンタイムパスワード認証デバイスやアプリを使ったログインのみ可能にしたい（ワンタイムパスワードログインコードを E メール送信しない）場合でも、例えば、ログインするにはワンタイムパスワード認証デバイスやアプリが必要なことを記載したワンタイムパスワードログイン E メールを作成する必要があります。

4.2.3 Facebook ログイン

任意で、Facebook を使ったログインを有効化するように設定することが可能です。この機能を有効化した後、“/login_facebook.aspx”へのリンクをログインフォームへ含めてください。リンクは、明示的もしくは特殊コード@@@login:facebook:TEXT@@@を使って間接的に追加することができます。@@@login:facebook:TEXT@@@は、指定した TEXT が“/login_facebook.aspx”へのリンクとして置き換えられます。また、特殊コード@@@login:TEXT@@@も、Facebook ログイン機能が有効の場合、指定した TEXT へ置き換えられます。

@@@login:Login using:@@@	Facebook ログイン、Google ログイン、もしくは OpenID ログインが有効の場合、「Login using:」と表示されます。
@@@login:facebook:Facebook@@@	Facebook ログインが有効の場合、“/login_facebook.aspx”へのリンクが「Facebook」と表示されます。

4.2.4 Google ログイン

任意で、Google を使ったログインを有効化するように設定することが可能です。この機能を有効化した後、“/login_google.aspx”へのリンクをログインフォームへ含めてください。リンクは、明示的もしくは特殊コード@@@login:google:TEXT@@@を使って間接的に追加することができます。@@@login:google:TEXT@@@は、指定した TEXT が“/login_google.aspx”へのリンクとして置き換えられます。また、特殊コード@@@login:TEXT@@@も、Google ログイン機能が有効の場合、指定した TEXT へ置き換えられます。

@@@login:Login using:@@@	Facebook ログイン、Google ログイン、もしくは OpenID ログインが有効の場合、「Login using:」と表示されます。
@@@login:google:Google@@@	Google ログインが有効の場合、“/login_google.aspx”へのリンクが「Google」と表示されます。

4.2.5 OpenID ログイン

任意で、OpenID を使ったログインを有効化するように設定することが可能です。この機能を有効化した後、“/login_openid.aspx”へのリンクをログインフォームへ含めてください。リンクは、明示的もしくは特殊コード@@@login:openid:TEXT@@@を使って間接的に追加することができます。@@@login:openid:TEXT@@@は、指定した TEXT が“/login_openid.aspx”へのリンクとして置き換えられます。また、特殊コード@@@login:TEXT@@@も、OpenID ログイン機能が有効の場合、指定した TEXT へ置き換えられます。

@@@login:Login using:@@@	Facebook ログイン、Google ログイン、もしくは OpenID ログインが有効の場合、「Login using:」と表示されます。
@@@login:openid:OpenID@@@	OpenID ログインが有効の場合、“/login_openid.aspx”へのリンクが「OpnrID」と表示されます。

4.3 検索フォーム

Web サイトに検索フォームがある場合、Web サイトビジターはこれを使って指定した情報を含むページを検索することができます。

検索フォームは、Web サイトビジターが検索事項を入力するための検索入力フィールドを定義しなければなりません。シンプルな検索フォーム例の HTML コードと、各 HTML コードの意味を以下に記します。

<FORM action=/search.aspx method=get>	Web サイトを検索する HeartCore Web コンテンツ管理スクリプト/プログラムの Web アドレスを定義する (Web コンテンツ管理システムのプログラム言語バージョンに応じて aspx、jsp、php を使用)。
Search:	テキスト “Search:”を表示する。
<INPUT size=20 name=search>	Web サイトビジターが“search”と名付けられた幅 20 字のテキスト入力フィールドにテキストを入力できることを定義する。
<INPUT type=submit value=Go>	Web サイトビジターが、検索フォームを送信する際に選択する “Go”というボタンを表示する。
</FORM>	検索フォームの終わりを定義する。

検索フォームには、Web サイトの検索に使われる検索クエリとなる “search” 入力フィールドが必須です。

デフォルトではすべてのコンテンツ項目が検索されますが、追加の検索フォームパラメータを追加して、特定のコンテンツクラス、グループ、タイプ、およびカスタムメタ情報や商品詳細のみ検索することもできます。複数のコンテンツクラス、グループ、タイプは、コンマ区切りでひとつのパラメータとして指定したり、複数のパラメータを使って指定することができます。複数のカスタムメタ情報や商品詳細は、複数のパラメータで指定することができます。

追加の検索フォームパラメータの入力フィールドは、可視のテキスト、選択、チェックボックス、ラジオボタン入力フィールドのほか、“hidden”にすることができます。下記例では、“hidden”入力フィールドのみを使用しています。

<INPUT type="hidden" name="contentclass" value="page,file">	“page”と“file”コンテンツクラスのコンテンツのみ検索されることを定義する。
<INPUT type="hidden" name="contentclass" value="page"> <INPUT type="hidden" name="contentclass" value="file">	“page”と“file”コンテンツクラスのコンテンツのみ検索されることを定義する。
<INPUT type="hidden" name="contentgroup" value="foo,bar">	“foo”と“bar”という名前のコンテンツグループのコンテンツのみ検索されることを定義する。
<INPUT type="hidden" name="contentgroup" value="foo"> <INPUT type="hidden" name="contentgroup" value="bar">	“foo”と“bar”という名前のコンテンツグループのコンテンツのみ検索されることを定義する。
<INPUT type="hidden" name="contenttype" value="foo,bar">	“foo”と“bar”という名前のコンテンツタイプのコンテンツのみ検索されることを定義する。
<INPUT type="hidden" name="contenttype" value="foo"> <INPUT type="hidden" name="contenttype" value="bar">	“foo”と“bar”という名前のコンテンツタイプのコンテンツのみ検索されることを定義する。
<INPUT type="hidden" name="version" value="foo,bar">	“foo”と“bar”という名前のバージョンのコンテンツのみ検索されることを定義する。
<INPUT type="hidden" name="version" value="foo"> <INPUT type="hidden" name="version" value="bar">	“foo”と“bar”という名前のバージョンのコンテンツのみ検索されることを定義する。
<INPUT type="hidden" name="metainfo_foobar" value="foo"> <INPUT type="hidden" name="metainfo_foobar" value="bar">	“foobar”という名前のカスタムメタ情報属性に“foo”または“bar”の値を持つコンテンツのみ検索されることを定義する。
<INPUT type="hidden" name="productinfo_foobar" value="foo"> <INPUT type="hidden" name="productinfo_foobar" value="bar">	“foobar”という名前のカスタム商品詳細属性に“foo”または“bar”の値を持つコンテンツ（商品）のみ検索されることを定義する。

デフォルトでは、検索結果は「デフォルトの検索結果ページ」と「デフォルトの検索結果エントリ」設定で Web サイトに設定されたデフォルトの検索結果ページを使って表示されます（詳しくは「設定ガイド」を参照してください）。

あるいは、追加の hidden 入力フィールドを加えることで、使用する検索結果ページや検索結果エントリを、検索フォームの一部として定義することもできます。

<FORM action="/search.aspx method=get">	Web サイトを検索する HeartCore Web コンテンツ管理スクリプト/プログラムの Web アドレスを定義する。
<INPUT type=hidden name=id value=ID>	検索結果の表示に使われる“検索結果ページ”コンテンツページを定義する。

	る。“ID”は、使用する“検索結果ページ”コンテンツページの id 番号と置き換える。
<INPUT type=hidden name=searchresult value=ID>	各検索結果エントリの表示に使われる“検索結果エントリ”コンテンツページを定義する。“ID”は、使用する“検索結果エントリ”コンテンツページの id 番号と置き換える。
Search:	テキスト“Search:”を表示する。
<INPUT size=20 name=search>	Web サイトビジターが“search”と名付けられた 20 字幅のテキスト入力フィールドにテキストを入力できることを定義する。これが検索クエリになる。
<INPUT type=submit value=Go>	Web サイトビジターが、検索フォームを送信する際に選択する“Go”というボタンが表示される。
</FORM>	検索フォームの終了を定義する。

これらの特殊 HTML コードの追加／編集に加えて、ビジュアル Web コンテンツエディタを使用し、他のコンテンツを加えてアレンジしたり、入力フィールドを追加することもできます。その場合、HTML 特殊コードを削除しないように注意し、必ず INPUT コードが FORM コードで囲まれるようにします。

4.3.1 検索結果ページ

Web サイトを検索した Web サイトビジターに検索結果を表示するためには、特別な“検索結果ページ”コンテンツページが必要です。

このページは、コンテンツテンプレートで使われるコードと類似したシンプルな特殊コードが含まれることを除けば、他の通常コンテンツページと同様に作成します。

@@@searchresults@@@	実際の検索結果が挿入される場所を定義します。検索に合致したすべての検索結果が表示されます。
@@@list:searchresults:limit=NUMBER@@@	実際の検索結果が挿入される場所を定義します。検索に合致した検索結果が、指定した件数のみ表示されます。詳しくは、2.6 コンテンツ項目のリストをご参照ください。
@@@list:searchresults:limit=NUMBER:start=NAME@@@	実際の検索結果が挿入される場所を定義します。検索に合致した検索結果が、指定した件数のみ表示されます。オプションの“previous”および“next”特殊コードを併用することで、検索結果リストをブラウジングすることが可能になります。詳しくは、2.6 コンテンツ項目のリストをご参照ください。

<code>@@@next:NAME:text=TEXT@@@</code>	ブラウジング可能な検索結果リストにおいて、次の検索結果を表示するためのリンクを定義します。詳しくは、2.6 コンテンツ項目のリストをご参照ください。
<code>@@@previous:NAME:text=TEXT@@@</code>	ブラウジング可能な検索結果リストにおいて、前の検索結果を表示するためのリンクを定義します。詳しくは、2.6 コンテンツ項目のリストをご参照ください。
<code>@@@first:NAME:text=TEXT@@@</code>	ブラウジング可能な検索結果リストにおいて、最初の検索結果を表示するためのリンクを定義します。詳しくは、2.6 コンテンツ項目のリストをご参照ください。
<code>@@@last:NAME:text=TEXT@@@</code>	ブラウジング可能な検索結果リストにおいて、最後の検索結果を表示するためのリンクを定義します。詳しくは、2.6 コンテンツ項目のリストをご参照ください。
<code>@@@paged:NAME:text=TEXT@@@</code>	ブラウジング可能な検索結果リストにおいて、ページ指定の検索結果を表示するためのリンクを定義します。詳しくは、2.6 コンテンツ項目のリストをご参照ください。

これらの HTML 特殊コードの追加／編集に加えて、ビジュアル Web コンテンツエディタを使って、他のコンテンツを追加したり、アレンジしたり、また他のコンテンツと同じように特殊コードを加えることができます。

4.3.2 検索結果エントリ

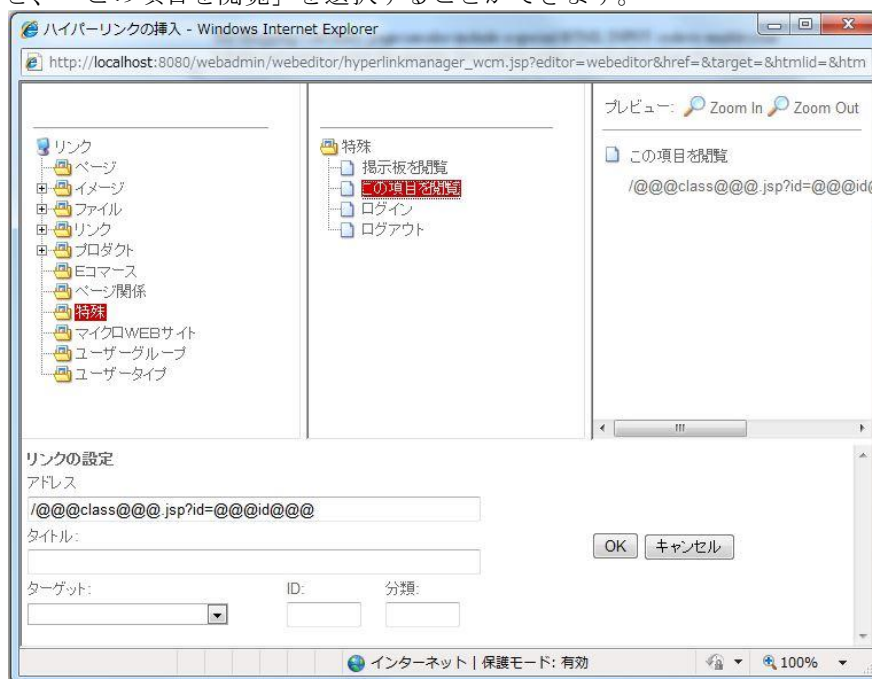
Web サイトを検索した Web サイトビジターに検索結果を表示するためには、特別な“検索結果エントリ”コンテンツページが必要です。“検索結果エントリ”コンテンツページは、Web サイトビジターの検索事項にマッチした Web サイトコンテンツページ毎に繰り返されます。また、各検索結果エントリについて何の情報が、どのように表示されるかを定義します。

このページは、コンテンツテンプレートで使われるコードと類似した単純な特殊コードが含まれることを除けば、他の一般的なコンテンツページと同様に作成します。

<code>@@@id@@@</code>	各検索結果エントリのコンテンツページの“id”が挿入される場所を定義します。通常これは、検索結果ページへハイパーリンクを生成するために使われます。
<code>@@@title@@@</code>	各検索結果エントリのコンテンツページの“title”が挿入される場所を定義します。
<code>@@@author@@@</code>	各検索結果エントリのコンテンツページの“author”が挿入される場所を定義します。

@@@keywords@@@	各検索結果エントリのコンテンツページの“keywords”が挿入される場所を定義します。
@@@description@@@	各検索結果エントリのコンテンツページの“description”が挿入される場所を定義します。
@@@content@@@	各検索結果エントリのコンテンツページの“content”が挿入される場所を定義します。
@@@summary@@@	各検索結果エントリのコンテンツページの“summary”が挿入される場所を定義します。
@@@filename@@@	各検索結果エントリのコンテンツページの“filename”が挿入される場所を定義します。

最後に、各エントリのフルページへのリンクを挿入するために、「ハイパーリンクの挿入」と、「この項目を閲覧」を選択することができます。



これらの特殊な HTML コードの追加／編集に加えて、ビジュアル Web コンテンツエディタを使って、他のコンテンツを追加したり、アレンジしたり、また他のコンテンツと同じように特殊コードを加えることができます。

“検索結果エントリ”コンテンツページは、すべての特殊コードを含む必要はありません。各特殊コードは何度でも使用することができます。通常、“検索結果エントリ”コンテンツページは常に @@@title@@@ と @@@id@@@ を含んでいます (実際のコンテンツページへのハイパーリンクを生成する為に)。

5 特殊ページ

5.1 デフォルトログインページ

Web サイトビジターが、制限付きコンテンツにアクセスしようとした際に Web サイトへログインさせるには、特別な“デフォルトログインページ”が必要です。

このページは、特殊 HTML FROM を含んでいることを除いては、他の通常ページと同じように作成されます。詳しくは、4.2 ログインフォームをご参照下さい。

5.2 デフォルトログインページコード

ワンタイムパスワードログイン機能を使用する場合、Web サイトビジターがアクセス制限されたコンテンツ項目にアクセスしようとした際に、ウェブサイトへログインするための第二段階の「デフォルトログインページコード」が必要です。「デフォルトログインページコード」は、特殊なログインフォームページを定義します。

このページは、特殊な HTML FORM が含まれていることを除いては、他の通常のページと同じように作成されます。詳しくは、4.2.1 ワンタイムパスワードログインページをご参照ください。

5.3 ログインコード E メール

ワンタイムパスワードログイン機能を使用する場合、Web サイトビジターがアクセス制限されたコンテンツ項目にアクセスしようとした際に、ウェブサイトへログインするためのワンタイムパスワードログインコードを E メールで送信する第二段階の「ログインコード E メール」が必要です。

このページは、簡易な特殊コードが含まれていることを除いては、他の通常のページと同じように作成されます。詳しくは、4.2.2 ワンタイムパスワードログイン E メールをご参照ください。

5.4 デフォルト検索結果ページ

Web サイト検索機能（もしあれば）を使用する際、Web サイトビジターへ検索結果を表示するには、特別な“デフォルト検索結果ページ”が必要です。“デフォルト検索結果ページ”は、検索結果がどのように表示されるかを定義します。

このページは、検索結果を表示するための特殊コードが含まれていることを除いては、他の通常ページと同じように作成されます。詳しくは、4.3.1 検索結果ページをご参照下さい。

5.5 デフォルト検索結果エントリ

Web サイト検索機能（もしあれば）を使用する際、Web サイトビジターへ検索結果を表示するには、特別な“デフォルト検索結果エントリ”が必要です。“デフォルト検索結果エントリ”ページは、各検索結果コンテンツ項目が、どのように表示されるかを定義します。

このページは、検索結果を表示するための特殊コードが含まれていることを除いては、他の通常ページと同じように作成されます。詳しくは、4.3.2 検索結果エントリをご参照下さい。

5.6 デフォルトリストエントリ

Web サイトコンテンツで“@@@list:.....@@@”特殊コードを使用する際には、特別な“デフォルトリストエントリ”が必要です。“デフォルトリストエントリ”ページは、リストされた各コンテンツ項目がどのように表示されるかを定義します。

このページは、リストされたコンテンツ項目を表示するための特殊コードが含まれていることを除いては、他の通常ページと同じように作成されます。詳しくは、2.6.1 リストエントリをご参照下さい。

5.7 公開準備完了 E メール

コンテンツが作成／更新され、“公開準備完了”としてチェックされた際に Web サイト管理者へ E メール送信される“公開準備完了 E メール”ページが必要です。“公開準備完了 E メール”ページは、作成／更新された情報の何がどのように表示されるかを定義します。

このページは、テンプレートで使用されるコードに類似したシンプルな特殊コードが含まれていることを除いては、他の通常ページと同じように作成されます。これらの特殊コードは、コンテンツが作成／更新された際の、他の E メール通知でも使用することができます。

@@@id@@@	各コンテンツ項目の「id」を挿入する場所を定義します。通常、コンテンツページへのハイパーリンクを生成する為に使用されます。
@@@title@@@	各コンテンツ項目のコンテンツページ「タイトル」を挿入する場所を定義します。
@@@content@@@	各コンテンツ項目のコンテンツページ「コンテンツ」を挿入する場所を定義します。
@@@summary@@@	各コンテンツ項目のコンテンツページ「サマリー」を挿入する場所を定義します。
@@@class@@@	各コンテンツ項目のコンテンツページ「クラス」を挿入する場所を定義します。
@@@group@@@	各コンテンツ項目のコンテンツページ「グループ」を挿入する場所を定義します。
@@@type@@@	各コンテンツ項目のコンテンツページ「タイプ」を挿入する場所を定義します。
@@@bundle@@@	各コンテンツ項目のコンテンツページ「バンドル」を挿入する場所を定義します。
@@@package@@@	各コンテンツ項目のコンテンツページ「パッケージ」を挿入する場所を定義します。
@@@status@@@	各コンテンツ項目のコンテンツページ「ステータス（ワークフロー）」を挿入する場所を定義します。
@@@revision@@@	各コンテンツ項目のコンテンツページ「変更」を挿入する場所を定義します。
@@@comments@@@	各コンテンツ項目のコンテンツページ「コメント」を挿入する場所を定義します。

@@@username@@@	各コンテンツ項目を作成／更新したユーザ／管理者の「ユーザ名」を挿入する場所を定義します。
@@@preview@@@	作成・更新されたコンテンツをプレビューする URL を定義します。
@@@view@@@	作成・更新されたコンテンツを詳細表示する URL を定義します。
@@@update@@@	作成・更新されたコンテンツを更新・公開するための URL を定義します。
@@@delete@@@	作成・更新されたコンテンツを削除する URL を定義します。

5.8 パスワード取得ページ

ユーザがユーザ名／パスワードのユーザアカウント情報を取得するためにユーザに表示される、特別な「パスワード取得ページ」コンテンツページが必要です。ユーザ名／パスワードのユーザアカウント情報を取得するため、このページに“Eメール”及び／あるいは“ユーザ名”の入力フィールドを持つ特別なフォームが必要です。簡単なパスワード取得フォームのHTMLコード例と、それぞれのHTMLコードの意味は以下の通りです。

<FORM action="/password/index.aspx" method="get">	パスワード取得を行う HeartCore Web コンテンツ管理スクリプト／プログラムの Web アドレスを定義します（Web サイトコンテンツ管理システムのプログラム言語バージョンに応じて、aspx, jsp, php を使用）。
<P>Email:</P>	“Email:”というテキストを表示します。
<INPUT size="40" name="email">	Web サイトユーザが、ユーザアカウントに登録したEメールアドレスを、“email”という名前の40文字幅のテキスト入力フィールドに入力できることを定義します。
<P>Username:</P>	“Username:”というテキストを表示します。
<INPUT size="40" name="username">	Web サイトユーザが、ユーザアカウントに登録したユーザ名を、“username”という名前の40文字幅のテキスト入力フィールドに入力できることを定義します。
<P></P>	空行を表示します。
<INPUT type="submit" value="Retrieve Password">	Web サイトユーザが、パスワード取得フォームを送信際を選択する“Retrieve username/password”というテキストのボタンを表示します。
<INPUT type="hidden" name="from" value="nobody@heartcore.co.jp">	Web サイトユーザがEメールアドレスを入力していない場合に、パスワード取得Eメールの送信元として使用するEメールアドレスを定義する。ここで指定するEメールアドレスは、追加のEメールアドレスとして許可設定されている必要があります。（設定＞シス

	テム>ウェブサイト>E メール&フォーム>E メールアドレス（追加アドレス））許可設定されていない場合は、無視されます。
<INPUT type=hidden name=cc value="nobody@heartcore.co.jp">	パスワード取得 Eメールの“CC”として使用する Eメールアドレスを定義する。ここで指定する Eメールアドレスは、追加の Eメールアドレスとして許可設定されている必要があります。 （設定>システム>ウェブサイト>E メール&フォーム>E メールアドレス（追加アドレス））許可設定されていない場合は、無視されます。
<INPUT type=hidden name=bcc value="nobody@heartcore.co.jp">	パスワード取得 Eメールの“BCC”として使用する Eメールアドレスを定義する。ここで指定する Eメールアドレスは、追加の Eメールアドレスとして許可設定されている必要があります。 （設定>システム>ウェブサイト>E メール&フォーム>E メールアドレス（追加アドレス））許可設定されていない場合は、無視されます。
</FORM>	フォームを終了します。

5.9 パスワード取得確認ページ

ユーザ名／パスワードの取得（Web サイト上の特別な“/password/”リンクを使って）が成功した後にユーザに表示される、特別な「パスワード取得確認ページ」コンテンツページが必要です。

このページは、コンテンツテンプレートで使用するコードに似た、簡単な特殊コードを含めることを除いては、その他の一般的なコンテンツページと同様に作成されます：

@@@email@@@	ユーザ名／パスワードが送信された、ユーザの登録済み Eメールアドレスが表示される場所を定義します。
@@@username@@@	ユーザのユーザ名が表示される場所を定義します。警告: 通常は、これは Web ページに表示せず、ユーザに Eメールでのみ通知されるべきです。
@@@password@@@	ユーザのパスワードが表示される場所を定義します。警告: 通常は、これは Web ページに表示せず、ユーザに Eメールでのみ通知されるべきです。

5.10 パスワード取得 Eメール

ユーザ名／パスワードの取得（Web サイト上の特別な“/password/”リンクを使って）が成功した後にユーザに Eメール送信される、特別な「パスワード取得 Eメール」コンテンツページが必要です。

このページは、コンテンツテンプレートで使用するコードに似た、簡単な特殊コードを含めることを除いては、その他の一般的なコンテンツページと同様に作成されます:

@@@email@@@	ユーザ名／パスワードが送信された、ユーザの登録済みEメールアドレスが表示される場所を定義します
@@@username@@@	ユーザのユーザ名が表示される場所を定義します
@@@password@@@	ユーザのパスワードが表示される場所を定義します

5.11 パスワード取得エラー

ユーザ名／パスワードの取得 (Web サイト上の特別な “/password/” リンクを使って) に失敗した場合にユーザに表示される、特別な「パスワード取得エラー」コンテンツページが必要です。

このページは、コンテンツテンプレートで使用するコードに似た、簡単な特殊コードを含めることを除いては、その他の一般的なコンテンツページと同様に作成されます:

@@@email@@@	ユーザが入力したEメールアドレスが表示される場所を定義します。
@@@username@@@	ユーザが入力したユーザ名が表示される場所を定義します。

5.12 パスワード期限切れページ

Web サイトユーザのパスワードが指定した期間を過ぎると失効するよう設定されている場合、Web サイトには特別な「パスワード期限切れページ」コンテンツページが必要です。期限の切れたパスワードを保有する Web サイトユーザは、パスワードを更新するため、このページへリダイレクトされます。

このページは、コンテンツテンプレートで使用するコードに類似した簡易な特殊コードを含めること以外は、他の一般的なコンテンツページと同じように作成します。

Web サイトユーザのパスワード更新を可能にするため、このページには、“old_password”、“new_password” および “new_password2” という入力フィールドを伴う特別なフォームが必要です。パスワード期限切れフォームの簡単な HTML コード例と、各 HTML コードの意味は以下の通りです。

<FORM action="/password/expired.aspx" method="post">	期限切れパスワードを処理する HeartCore Web コンテンツ管理スクリプト／プログラムの Web アドレスを定義します。(お使いの Web サイトコンテンツ管理システムのプログラム言語バージョンに応じて、aspx、jsp、php のいずれかを使用してください)
<P>@@@error@@@</P>	入力された旧パスワードや新パスワードに対するエラーを表示します。
<P>Username:</P>	「Username:」というテキストを表示します。

@@@username@@@	Web コンテンツ管理システム内の Web サイトユーザ名が表示される位置を定義します。
<P>Old password:</P>	「Old password:」というテキストを表示します。
<INPUT type="password" name="old_password">	Web サイトユーザが、自身のアカウントに対する旧パスワードを、"old_password"という名の入力フィールドへ入力できることを定義します。
<P>New password:</P>	「New password:」というテキストを表示します。
<INPUT type="password" name="new_password">	Web サイトユーザが、自身のアカウントに対する新パスワードを、"new_password"という名の入力フィールドへ入力できることを定義します。
<P>Confirm password:</P>	「Confirm password:」というテキストを表示します。
<INPUT type="password" name="new_password2">	Web サイトユーザが、自身のアカウントに対する新パスワードを、"new_password2"という名の入力フィールドへ、確認のため再度入力できることを定義します。
<INPUT type="submit" value="Update Password">	Web サイトユーザが期限切れパスワードフォームを送信するために選択する、「Update password」というテキストが表示されたボタンを表示します。
<INPUT type="hidden" name="redirect" value="/page.aspx?id=123" >	Web サイトユーザのパスワードが更新された際のリダイレクト先となる Web サイトアドレス URL を定義します。 (お使いの Web サイトコンテンツ管理システムのプログラム言語バージョンに応じて、aspx、jsp、php のいずれかを使用してください) もしくは、リダイレクト URL を指定しない場合は、Web サイトのデフォルトページへリダイレクトされます。
</FORM>	フォームを終了します。

5.13 コンテンツおよびユーザ印刷ページ

Web サイトコンテンツおよびユーザ用の特殊ページとして、「印刷ページ」を設定することができます。管理インデックスページより、選択したコンテンツ項目やユーザのカスタムレポートを印刷することが可能です。詳しくは、「設定ガイド」をご参照ください。

これらの特殊ページには、選択したコンテンツ項目やユーザのデータを表示するための一般的な特殊コードが必要です。通常、“@@@list:.....@@@” および “###id###” 特殊コードを使用します。

@@@list:content:id in ###id###@@@	ウェブサイト管理者が選択したコンテンツ項目リストを表示する場所を定義します。
@@@list:users:id in ###id###@@@	ウェブサイト管理者が選択したユーザーリストを表示する場所を定義します。

6 カスタム／サードパーティエクステンション

HeartCore Web コンテンツ管理システムでは、独自のカスタムエクステンションを作成したり、サードパーティ製のエクステンションを使用したりすることができます。

カスタム／サードパーティ製エクステンションを HeartCore Web コンテンツ管理システムに統合し、Web コンテンツ管理システム以外の他のアプリケーションやソースから、コンテンツを使用することができます。

6.1 使用

カスタムエクステンションは、テンプレートなどに使用されるその他の特殊コードに似た、シンプルな特殊コードを使用して、Web コンテンツ管理システムのコンテンツに含めます。

<code>@@@extension:hello@@@</code>	“hello”という名前のエクステンションによって生成された出力が挿入される位置を定義します。エクステンション“hello”にパラメータは渡されません。
<code>@@@extension:hello(World)@@@</code>	“hello”という名前のエクステンションによって生成された出力が挿入される位置を定義します。“World”がパラメータとして、エクステンション“hello”に渡されます。

注意：このような`@@@extension:.....@@@`特殊コードは、他のすべての特殊コードの後に実行されます。最後に出力されるため、他の特殊コードを含めることはできません。

任意で、他の特殊コードが後で出力されるよう、カスタムエクステンションを他の特殊コードと共にインラインで実行することも可能です。

インライン実行のカスタムエクステンションは、テンプレートなどに使用されるその他の特殊コードに似た、シンプルな特殊コードを使用して、Web コンテンツ管理システムのコンテンツに含めます。

<code>@@@hello(World)@@@</code>	“hello”という名前のエクステンションによって生成された出力が挿入される位置を定義します。“World”がパラメータとして、エクステンション“hello”に渡されます。
<code>@@@_extension:hello(World)@@@</code>	“hello”という名前のエクステンションによって生成された出力が挿入される位置を定義します。“World”がパラメータとして、エクステンション“hello”に渡されます。

6.2 内蔵カスタムエクステンション

HeartCore Web コンテンツ管理システムには、すぐに使用可能な様々なカスタムエクステンションが含まれています。これらのカスタムエクステンションはそのまま使ったり、または特定の要件を満たすようカスタマイズすることができます。

6.2.1 ブレッドクラム経路

ブレッドクラム経路を階層的なナビゲーションメニューとあわせて使用することで、Web サイトユーザに、Web 上の現在地を表示することができます。現在の Web ページのタイトルと、その親ページが表示されます。

ブレッドクラム経路を使用するには、Web サイトページが“コンテンツ相互関係”機能を使って階層的に整頓されている必要があります。ブレッドクラム経路カスタムエクステンションは、「ページアップ」コンテンツ関係を使ってブレッドクラム経路を生成します。

<code>@@@extension:breadcrumbs(-)@@@</code>	ブレッドクラム経路が挿入される場所を定義します。ブレッドクラム経路の各 Web ページタイトルは、“-”というテキストで区切られます。現在の Web ページリンクには、HTML/CSS クラス名「currentpage」があります。
---	--

6.2.2 ナビゲーションメニュー

Web コンテンツ管理システムで手作業でナビゲーションメニューを作成する代わりに、Web サイト構造を反映して自動で動的に生成／更新される階層的なナビゲーションメニューを Web サイトページで 사용할 ことができます。

自動的な動的階層ナビゲーションメニューを使用するには、Web ページが“Web サイト構造” / “コンテンツ相互関係”機能を使って階層的に整頓されている必要があります。メニューカスタムエクステンションは、「ページアップ」「前のページ」「次のページ」コンテンツ関係を使用して階層ナビゲーションメニューを生成します。

生成されたナビゲーションメニューに、いくつでもオプションパラメータを指定してカスタマイズすることができます。様々なオプションパラメータはどの組み合わせでも使用することができます。("; "で区切られます)。

<code>@@@extension:menu()@@@</code>	ナビゲーションメニューの挿入位置を定義します。これはナビゲーションメニューを、現在選択されている Web ページから始めて下から上に生成します。
<code>@@@extension:menu(top=ID :levels=NUMBER)@@@</code>	ナビゲーションメニューの挿入位置を定義します。これはナビゲーションメニューを、指定したトップコンテンツ項目から始めて上から下に生成します。トップコンテンツ項目 ("ID"をコンテンツ項目 id に置き換えてください) の下にあるコンテンツ項目のみが表示されます。指定した数字のメニューレベル ("NUMBER"を数字に置き換えてください) のみ表示されます。
<code>@@@extension:menu(top=ID,ID,ID :levels=NUMBER)@@@</code>	ナビゲーションメニューの挿入位置を定義します。これはナビゲーションメニューを、指定したトップコンテンツ項目から始めて上から下に生成します。トップコンテンツ項目 ("ID"をコンテンツ項目 ID に置き換



	えてください) の下にあるコンテンツ項目のみが表示されます。各トップレベルコンテンツに対し、指定された数字のメニューレベル ("NUMBER"を数字に置き換えてください) のみが表示されます。
<code>@@@extension:menu(top=ID:levels=NUMBER,NUMBER,NUMBER)@@@</code>	ナビゲーションメニューの挿入位置を定義します。これはナビゲーションメニューを、指定したトップコンテンツ項目から始めて上から下に生成します。 トップコンテンツ項目 ("ID"をコンテンツ項目 I Dに置き換えてください) の下にあるコンテンツ項目のみが表示されます。各トップレベルコンテンツに対し、指定された数字のメニューレベル ("NUMBER"を数字に置き換えてください) のみが表示されます。
<code>@@@extension:menu(top=ID:levels=NUMBER-NUMBER)@@@</code>	ナビゲーションメニューの挿入位置を定義します。これはナビゲーションメニューを、指定したトップコンテンツ項目から始めて上から下に生成します。 トップコンテンツ項目 ("ID"をコンテンツ項目 I Dに置き換えてください) の下にあるコンテンツ項目のみが表示されます。各トップレベルコンテンツに対し、指定された数字のメニューレベル ("NUMBER"を数字に置き換えてください) のみが表示されます。最初に指定した数字より上位、次に指定した数字より下位のメニューレベルは表示されません。
<code>@@@extension:menu(top=ID:levels=NUMBER+)@@@</code>	ナビゲーションメニューの挿入位置を定義します。これはナビゲーションメニューを、指定したトップコンテンツ項目から始めて上から下に生成します。 トップコンテンツ項目 ("ID"をコンテンツ項目 I Dに置き換えてください) の下にあるコンテンツ項目のみが表示されます。各トップレベルコンテンツに対し、指定された数字のメニューレベル ("NUMBER"を数字に置き換えてください) のみが表示されます。指定した数字より上位のメニューレベルは表示されません。
<code>@@@extension:menu(class=STYLE1:selected=STYLE2)@@@</code>	ナビゲーションメニューの挿入位置を定義します。"class" スタイル名 ("STYLE1" をスタイル名に置き換えてください) は、現在選択されている Web ページ以外のすべてのメニュー項目に

	適用されます。現在選択されている Web ページには、"selected" スタイル名 ("STYLE2" をスタイル名で置き換えてください) が適用されます。
<code>@@@extension:menu(list=TAG1:item=TAG2)@@@</code>	ナビゲーションメニューの挿入位置を定義します。"list" タグ名 ("TAG1" を例えば"UL"のような HTML タグ名で置き換えてください)がそれぞれのナビゲーションメニューレベルに適用されます。"item"タグ ("TAG2" を"LI"のような HTML タグ名で置き換えてください)はそれぞれのナビゲーションメニュー項目に使用されます。 デフォルトでは、ナビゲーションメニューは"MENU" と "LI" HTML タグを使用します。
<code>@@@extension:menu(id=ID)@@@</code>	上記に説明した他のパラメータとあわせて使用されるオプションの"ID"パラメータで、生成済みナビゲーションメニューの現在選択されているページの id ("ID" をコンテンツ項目 id で置き換えてください)を定義します。 あるいは、現在選択されているページの id は Web ページの URL や Web サイトのデフォルトページ設定から取得されます。

もし"top"および"level"パラメータが指定されている場合、"top"パラメータに指定されたページの直下のページから始まり、"level"パラメータで指定された数のレベルのサブページなどを使って、メニューが生成されます。結果、メニューは常に現在閲覧中のページに関わらず「トップ」ページに関連したページの「ページアップ」コンテンツリレーションで定義された同じメニュー項目を含む事になり、現在閲覧中のページは含まれたり含まれなかったりします。

例えば、`@@@extension:menu(top=123:level=2)@@@`で"123"がデフォルト Web サイトホームページの id の場合、デフォルト Web サイトホームページの"下の"ページとその直下のサブページを使用して、2 レベルのメニューが生成されます。

これ以外では、メニューエクステンションは現在選択中のページ（または id パラメータで指定されたページ）を開始点として生成されます。このメニュー項目下には、全てのサブメニュー項目が表示されます。（または"level"で指定された最大数のレベルのみ表示されます。）この場合、現在選択中のページの"兄弟"は、そのページの「次のページ」と「前のページ」コンテンツリレーションに基づいて、その上下に表示されます。最後に、全ての現在選択中のページの"親"および"先祖"が表示されます。（または"top"パラメータに指定された"親"／"先祖"ページに到達するまで。）この結果、メニューは、現在閲覧中のページに応じて異なるメニュー項目を含むことがあり、現在閲覧中のページは常にメニューに含まれることになります。

例えば、`@@@extension:menu(level=1)@@@`は、現在閲覧中のページの直下のサブページと、閲覧中のページの全ての"親"と"先祖"ページを使用してメニューを生成します。

デフォルトでは、現在閲覧中のページがメニュー項目として選択されます。代わりに、“menu_id=ID”（IDをページ id と置き換える）URL パラメータを使って任意のメニュー項目を選択することも可能です。例えば、Web サイトアドレス“/page.xxx?id=123&menu_id=456”では、閲覧ページ id “123” の代わりに id “456” のページがメニュー項目として選択されます。

6.2.3 サイトマップ

Google, Microsoft および Yahoo などの検索エンジン最適化のために、Web サイト構造を反映して自動で動的に生成／更新された情報を、Web サイトページで使用することができます。詳細は <http://www.sitemaps.org/> を参照してください。

自動的で動的な Web サイトのサイトマップ情報を使用するには、“Web サイト構造”／“コンテンツ相互関係”機能を使って、Web ページが階層的に整理されている必要があります。このメニューカスタムエクステンションは、「ページアップ」、「前のページ」、「次のページ」コンテンツ相互関係を使用して、階層的なナビゲーションメニューを生成します。

生成されたサイトマップ情報をカスタマイズするために、いくつでもオプションパラメータを指定することができます。様々なオプションパラメータは、どのような組み合わせでも使用することができます。（“:”区切り）

<code>@@@extension:sitemap(top=0)@@@</code>	サイトマップ情報が挿入される場所を定義します。これは、Web サイトに設定されたデフォルトページからサイトマップ情報を生成します。Web サイト構造のデフォルトページ配下の全てのコンテンツ項目が含まれます。
<code>@@@extension:sitemap(top=ID:levels=NUMBER)@@@</code>	サイトマップ情報が挿入される場所を定義します。これは、指定された“top”コンテンツ項目から始まり、上から下にサイトマップ情報を生成します。 “top”コンテンツ項目配下のコンテンツ項目のみ（ID をコンテンツ項目の id で置き換えます。）が、指定された数のメニューレベル（NUMBER を数字で置き換えます）のみ含まれます。
<code>@@@extension:sitemap(top=ID:changefreq=FREQUENCY)@@@</code>	サイトマップ情報が挿入される場所を定義します。生成されたサイトマップの Web サイト更新頻度情報を、指定された頻度に設定します。 (FREQUENCY を www.sitemap.org で定義された値のひとつに置き換えます： “always”, “hourly”, “daily”, “weekly”, “monthly”, “yearly”, “never”)

もし“top”および“level”パラメータが指定されている場合、“top”パラメータに指定されたページの直下のページから始まり、“level”パラメータで指定された数のレベルのサブページなどを使って、サイトマップ情報が生成されます。

例えば、`@@@extension:sitemap(top=123:level=2)@@@`で“123”がデフォルト Web サイトホームページの id の場合、デフォルト Web サイトホームページの“下の”ページとその直下のサブページを使って、2 レベルのサイトマップが生成されます。

生成されたサイトマップ情報は、Web サイトビジターが Web ブラウザで閲覧するための一般的なコンテンツではありません。サイトマップ情報は、例えば Google、Microsoft や Yahoo などの検索エンジンにより、Web サイトページをインデックスする際の補助としての目的のみで利用されるものです。

サイトマップ情報のページは、生成されたサイトマップ情報以外は、その他一切含まないようにしてください。コンテンツプレゼンテーションテンプレートおよびスタイルシートは、"-なし"に設定してください。サイトマップ情報はお使いの Web コンテンツ管理システムのプログラミング言語バージョンに応じて、以下のアドレスからアクセスすることができます。

- <http://127.0.0.1/xml.aspx?id=ID>
- <http://127.0.0.1/xml.jsp?id=ID>
- <http://127.0.0.1/xml.php?id=ID>

“127.0.0.1”を Web サイトアドレスに置き換えてください。“ID”を、サイトマップカスタムエクステンション特殊コードを含むページの id で置き換えてください。

6.2.4 RSS チャンネル

ニュースサマリやスケジュールされたイベント、メッセージボードディスカッショントピックなどの Web サイトコンテンツは、RSS ニュースチャンネルとして使用可能にすることもできます。Web サイト訪問者は、RSS リーダーソフトウェア／サービスを通して購読したり、読んだりすることができます。例えば、E メールソフトやパーソナルホームページに統合したりすることができます。

RSS フォーマットでコンテンツを配信するには、Web コンテンツ管理システムで RSS チャンネル用に新規ページを作成する必要があります。RSS チャンネルページの表示テンプレートは、“-なし-”に設定され、RSS チャンネルページのプライマリコンテンツは次に示されるような単一の RSS チャンネル特殊コードに設定されている必要があります。例えば：

```
@@@extension:rssChannel(pagegroup:News)@@@
```

これは、Web コンテンツ管理システムの“News”ページグループの全ページの“Title”，“Description”，“Author”，“Published”コンテンツページ属性が表示されます。あるいは：

```
@@@extension:rssChannel(database=Events:rss_title=Name:rss_description=Description:rss_author=Organiser:rss_pubdate=Published)@@@
```

これは、“Events”カスタムコンテンツデータベースの全データの“Name”，“Description”，“Organiser”コンテンツデータベース属性が表示されます。

<pre>@@@extension:rssChannel(LIST)@@@</pre>	指定されたリスト条件に一致するすべてのコンテンツを挿入する場所を定義します (“LIST”を特殊コード “@@@list:...@@@”で使用される任意の数とタイプのパラメータで置き換えます。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください)。指定されたリストコンテンツ項目で RSS 形式のデータを生成します。
---	---

<pre>@@@extension:rssChannel(database=DATA BASE:rss_title=TITLE:rss_description=DESC RIPTION:rss_author=AUTHOR:LIST:rss_pu bdate=PUBLISHED:LIST)@@@</pre>	指定されたカスタムコンテンツデータベース属性を RSS チャンネルタイトル、ディスクリプション、作者データとして使用し("TITLE", "DESCRIPTION", "AUTHOR" "PUBLISHED" をそれぞれカスタムコンテンツデータベース属性名で置換します)、指定されたカスタムコンテンツデータベースのコンテンツ("DATABASE" をカスタムコンテンツデータベース名で置き換えます)が挿入される位置を定義します。 オプションとして、追加のリスト条件を指定し、指定されたリスト条件に一致するカスタムコンテンツデータベースデータのみ表示させることができます。("LIST" を特殊コード "@@@list:...@@@" で使用される任意の数とタイプのパラメータで置き換えます。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照ください)。選択されたリストカスタムコンテンツデータベースデータを使って RSS 形式のデータを生成します。
---	---

生成された RSS チャンネルは Web サイトビジターが Web ブラウザで閲覧するための一般的なコンテンツではありません。RSS チャンネルは、RSS リーダで使用されるためのものです。

RSS チャンネルのページは、生成された RSS チャンネル情報以外は、その他一切含まないようにしてください。コンテンツプレゼンテーションテンプレートおよびスタイルシートは、"-なし-"に設定してください。RSS チャンネルはお使いの Web コンテンツ管理システムのプログラミング言語バージョンによって、以下のアドレスからアクセスすることができます。

- <http://127.0.0.1/xml.aspx?id=ID>
- <http://127.0.0.1/xml.jsp?id=ID>
- <http://127.0.0.1/xml.php?id=ID>

または、

- <http://127.0.0.1/atom.aspx?id=ID>
- <http://127.0.0.1/atom.jsp?id=ID>
- <http://127.0.0.1/atom.php?id=ID>
- <http://127.0.0.1/rss.aspx?id=ID>
- <http://127.0.0.1/rss.jsp?id=ID>
- <http://127.0.0.1/rss.php?id=ID>

お使いの Web コンテンツ管理システムのプログラミング言語のバージョンに合わせて使用してください。“127.0.0.1”を Web サイトアドレスに置き換えてください。“ID”を RSS チャンネルカスタムエクステンション特殊コードを含むページの id で置き換えてください。

“xml.xxx”、“atom.xxx”、“rss.xxx” スクリプトは、HTTP ヘッダの些細な違いを除いては同一のものです。“xml.xxx” スクリプトは、コンテンツを“application/xml”として識別し、“atom.xxx” スクリプトは“application/atom+xml”として、“rss.xxx” スクリプトは“application/rss+xml”として識別します。

6.2.5 カレンダー

ビジュアルで閲覧可能な、個々の日付が Web サイトページやカスタムコンテンツデータベースデータにリンクされた、月ごとのカレンダーを Web サイトで使用することができます。例えば、カレンダーは Web サイトのニュースページおよび／またはウェブログの投稿と併せて使用することができます、この場合カレンダーの日付をニュース／ウェブログ投稿のページにリンクすることができます。

例えば、カレンダーのページと、ある指定された日に公開されたページの一覧を作成するために、Web コンテンツ管理システムで次のプライマリコンテンツを持つページを作成することができます。

```
@@@extension:calendar(date=###date###:id=@@@id@@@:published:pages)@@@
```

```
@@@list:pages:published=###date###:order=published@@@
```

またカレンダーは、次のプライマリコンテンツを使用して、データベース追加モジュールを使用したカスタムコンテンツデータベースからのコンテンツにリンクすることができます。

```
@@@extension:calendar(date=###date###:id=@@@id@@@:to:datebase=Events:To>-0days)@@@
```

カレンダーカスタムエクステンションは、常に 4 つのパラメータを要求します。表示する月、カレンダーの日付がリンクするページ、カレンダーが使用するデータコンテンツ属性、そしてカレンダーが使用するコンテンツ項目です。

<pre>@@@extension:calendar(date=###date###:id=ID:ATTRIBUTE:LIST)@@@</pre>	ある月の指定された日付のカレンダーが挿入される位置を定義します。date を選択された日／月で使用される URL パラメータ名に置き換えてください。もし日／月が指定されていない場合、現在の月のカレンダーが表示されます。ID を、カレンダーの日付がリンクするページの id で置き換えてください。普通は指定日に関連のあるコンテンツ項目のリストとなります。 ATTRIBUTE をカレンダーが使用するコンテンツ属性の名前で置き換えてください。例えば、created, updated, published またはカスタムのコンテンツデータベース属性名です。LIST を“@@@list:...@@@”特殊コードで使われるように、任意の数の任意のタイプのパラメータで置き換えてください
---	---



	い。詳細は 2.6 コンテンツ項目のリストを参照してください。
<code>@@@extension:calendar(date=-1:id=ID:ATTRIBUTE:LIST)@@@</code>	先月のカレンダーが挿入される場所を定義します。（2ヶ月前の場合は、「-2」を使います。）
<code>@@@extension:calendar(date=+1:id=ID:ATTRIBUTE:LIST)@@@</code>	来月のカレンダーが挿入される場所を定義します。（2ヶ月先の場合は、「+2」を使います。）
<code>@@@extension:calendar(date=###date###:id=ID:STARTDATEATTRIBUTE - ENDDATEATTRIBUTE:LIST)@@@</code>	指定の日付のある月のカレンダーが挿入される場所を定義します。 カレンダーがデータ項目の開始日に対して使用するカスタムコンテンツデータベース属性の名前と、 「STARTDATEATTRIBUTE」を置き換えます。 カレンダーがデータ項目の終了日に対して使用するカスタムコンテンツデータベース属性の名前と、 「ENDDATEATTRIBUTE」を置き換えます。 データ項目は、指定の開始日と終了日を含む、指定の日付範囲内のすべての日付にリンクされます。
<code>@@@extension:calendar(date=###date###:id=ID:STARTDATEATTRIBUTE - ENDDATEATTRIBUTE - DISPLAYATTRIBUTE:LIST)@@@</code>	指定の日付のある月のカレンダーが挿入される場所を定義します。 カレンダーがデータ項目の開始日に対して使用するカスタムコンテンツデータベース属性の名前と、 「STARTDATEATTRIBUTE」を置き換えます。 カレンダーがデータ項目の終了日に対して使用するカスタムコンテンツデータベース属性の名前と、 「ENDDATEATTRIBUTE」を置き換えます。 カレンダーが各カレンダー日付のデータ項目に対して表示するカスタムコンテンツデータベース属性の名前と 「DISPLAYATTRIBUTE」を置き換えます。 データ項目は、指定の開始日と終了日を含む、指定の日付範囲内のすべての日付へ表示／リンクされます。

厳密には、生成されたカレンダーは、“calendar”というクラス名を持った HTML テーブルです。このテーブルは、現在の／指定された月／年のテーブルヘッダと、前と次の月へのテーブルセルを持ったテーブルフッタから構成されます。テーブル本体は、週の日頭文字のテーブル行

と、現在／指定された月のそれぞれの完全あるいは部分的な週の行から成ります。各行は、クラス名“week”を持った、週の番号が着いたテーブルセルと、日付の名前のクラスを持った、各日付のテーブルセルから構成されます。一致するコンテンツを持つ日付は、“emphasis”というクラス名を持つハイパーリンクです。カレンダー付きのページで使用されている Web サイトスタイルシートのこれらのクラス名を使って、カレンダーの外観を制御することができます。

June 2007						
Week	M	T	W	T	F	S
22	-	-	-	-	1	2
23	4	5	6	7	8	9
24	11	12	13	14	15	16
25	18	19	20	21	22	23
26	25	26	27	28	29	30
<< May 2007 Jul 2007 >>						

また、類似した“dayscalendar”も使用可能です。“@@@extension:calendar(....)@@@”に代わって“@@@extension:dayscalendar(....)@@@”を使います。唯一の違いは、“dayscalendar”では“週 (Week)” カラムが表示されない点です。

6.2.6 日付フォーマット

Web コンテンツ管理システムは、日付フォーマットパラメータについて数多くの特殊コードをサポートしていますが、日付フォーマットパラメータは全ての日付属性で使用可能でない場合があります。“日付”カスタムエクステンションを使うと、あらゆる“コンピュータフォーマット”の日時 (YYYY-MM-DD hh:mm:ss) を様々な日時フォーマットで出力することができます。

@@@extension:date(1999-12-13 23:59:59,FORMAT)@@@	指定されたフォーマットで表示される指定した日時が挿入される場所を定義します。(FORMAT を日付フォーマットで置き換えてください。詳細は 2.4 日時を参照してください。)
---	--

6.2.7 外部データベースのデータ

デフォルトでは、全てのコンテンツが Web コンテンツ管理システムデータベースに格納されます。しかし、その他のデータベースのデータも“データベース”カスタムエクステンションを使用して、アクセスおよび表示することができます。

まず、その他のデータベースからデータにアクセスおよび表示するには、ひとつ以上の外部データベース接続が設定されている必要があります。これは、“/webadmin/extension/database.config.xxx” 構成ファイルで行われ、これには 3 つのサンプル外部データベース接続がデフォルトで含まれています。データベース接続文字列は、Web コンテンツ管理システムで使用されるデータベース接続文字列と似ています。異なるデータベースサーバ、データベース、テーブルおよびカラムに対し、いくつでも任意のタイプの外部データベース接続を設定することができます。

重要: “/webadmin/extension/database.config.xxx” 構成ファイルは、Web コンテンツ管理システムソフトウェアを新しいバージョンにアップグレードする際に上書きされる場合があります。独自の “/webadmin/extension/database.config.xxx” 構成ファイルのバックアップコピーを取り、Web コンテンツ管理システムのアップグレードの後にこのファイルを復元してください。

このひとつ以上のデータベース接続の設定は、設定した外部データベースからのデータにアクセスし表示するための、Web コンテンツ管理システムの許可を定義します。それぞれの設定されたデータベース接続は、データベース全体に対して、またはひとつのデータベーステーブル

に対して、またはひとつのデータベースカラムに対して、許可を与えることができます。データベース接続許可は、それぞれ設定されたデータベース接続に使用する id/キー/名前により決定されます。

- **mydatabase**
データベースカスタムエクステンションが、データベースの全てのデータベーステーブルと全てのデータベーステーブルカラムからすべてのデータにアクセスし、表示する許可を与えます。
- **mydatabase:mytable**
データベースカスタムエクステンションが、指定したデータベーステーブルの全てのデータベーステーブルカラムからすべてのデータにアクセスし、表示する許可を与えます。
- **mydatabase:mytable:mycolumn**
データベースカスタムエクステンションが、指定したデータベーステーブルカラムからすべてのデータにアクセスし、表示する許可を与えます。

@@@extension:database(DATABASE:TABLE:COLUMN:ID:VALUE)@@@	指定した id と値がイコールの場合に、指定されたデータベーステーブルカラムからのデータが挿入される位置を定義します。（－ “DATABASE” を、データベースカスタムエクステンションのデータベース接続として設定されているデータベース名で置き換える。－ “TABLE” を、データベーステーブル名で置き換える。－ “COLUMN” を、データベーステーブルカラム名で置き換える。－ “ID” を、データが表示されるデータベース行を選択するのに使用されるデータベーステーブルカラム名で置き換える。－ “VALUE” を、データが表示されるデータベース行を選択するのに使用されるデータベーステーブルカラム値で置き換える。） 厳密には、指定されたパラメータは、データベースカスタムエクステンションで設定された DATABASE データベース接続上の、例えば “select COLUMN from TABLE where ID=’VALUE’” のような SQL データベースクエリに使用されます。
@@@extension:database(DATABASE:TABLE:COLUMN:SQLEXPRESSION)@@@	指定した SQL 表現が合致する場合に、指定されたデータベーステーブルカラムからのデータが挿入される位置を定義します。（－ “DATABASE” を、データベースカスタムエクステンションのデータベース接続として設定されているデータベース名で置き換える。－

	“TABLE” を、データベーステーブル名で置き換える。－ “COLUMN” を、データベーステーブルカラム名で置き換える。－ “SQLEXPRESSION” を、データが表示されるデータベース行を選択するのに使用されるデータベース SQL コマンド表現で置き換える。） 厳密には、指定されたパラメータは、データベースカスタムエクステンションで設定された DATABASE データベース接続上の、例えば “select COLUMN from TABLE where SQLEXPRESSION” のような SQL データベースクエリに使用されます。
--	---

6.2.8 ユーザデータ

Web コンテンツ管理システムは、様々なユーザデータを出力するための数多くの特殊コードをサポートしていますが、ユーザ特殊コードは、すべてのユーザデータおよびすべてのタイプのコンテンツ項目や機能で使用可能なわけではありません。“ユーザ” カスタムエクステンションを使うと、現在ログイン中のユーザのすべてのユーザデータ（パスワード以外）を表示することができます。

@@@extension:user(username)@@@	現在ログインしているユーザのユーザ名が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(name)@@@	現在ログインしているユーザの名前が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(email)@@@	現在ログインしているユーザの E メールアドレスが挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(group)@@@	現在ログインしているユーザの優先ユーザグループが挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(type)@@@	現在ログインしているユーザの優先ユーザタイプ挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(groups)@@@	現在ログインしているユーザの追加ユーザグループが挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(types)@@@	現在ログインしているユーザの追加ユーザタイプ挿入される場所が定義します。
@@@extension:user(organisation)@@@	現在ログインしているユーザの組織が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(created)@@@	現在ログインしているユーザの作成日時を挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(updated)@@@	現在ログインしているユーザの更新日時が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(activation)@@@	現在ログインしているユーザの有効化日時が挿入される場所を定義します。



@@@extension:user(notification)@@@	現在ログインしているユーザのスケジュールされた通知日時が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(expiration)@@@	現在ログインしているユーザのスケジュールされた有効期限切れ日時が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(card_type)@@@	現在ログインしているユーザのカードタイプが挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(card_number)@@@	現在ログインしているユーザのカード番号が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(card_issuemonth)@@@	現在ログインしているユーザのカード発行月が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(card_issueyear)@@@	現在ログインしているユーザのカード発行年が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(card_expiryyear)@@@	現在ログインしているユーザのカード失効年が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(card_expiryyear)@@@	現在ログインしているユーザのカード失効年が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(card_expiryyear)@@@	現在ログインしているユーザのカード失効年が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(card_name)@@@	現在ログインしているユーザのカードの名前が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(card_cvc)@@@	現在ログインしているユーザのカードCVC 番号が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(card_issue)@@@	現在ログインしているユーザのカード発行番号が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(card_postalcode)@@@	現在ログインしているユーザのカード郵便番号が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(delivery_name)@@@	現在ログインしているユーザの配送先の名前が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(delivery_organisation)@@@	現在ログインしているユーザの配送先の組織が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(delivery_address)@@@	現在ログインしているユーザの配送先の住所が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(delivery_postalcode)@@@	現在ログインしているユーザの配送先の郵便番号が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(delivery_city)@@@	現在ログインしているユーザの配送先の市が挿入される場所を定義します。



@@@extension:user(delivery_state)@@@	現在ログインしているユーザの配送先の都道府県が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(delivery_country)@@@	現在ログインしているユーザの配送先の国が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(delivery_phone)@@@	現在ログインしているユーザの配送先の電話番号が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(delivery_fax)@@@	現在ログインしているユーザの配送先のファックス番号が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(delivery_email)@@@	現在ログインしているユーザの配送先のEメールアドレスが挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(delivery_website)@@@	現在ログインしているユーザの配送先のWebサイトが挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(invoice_name)@@@	現在ログインしているユーザの請求先の名前が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(invoice_organisation)@@@	現在ログインしているユーザの請求先の組織が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(invoice_address)@@@	現在ログインしているユーザの請求先の住所が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(invoice_postalcode)@@@	現在ログインしているユーザの請求先の郵便番号が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(invoice_city)@@@	現在ログインしているユーザの請求先の市が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(invoice_state)@@@	現在ログインしているユーザの請求先の都道府県が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(invoice_country)@@@	現在ログインしているユーザの請求先の国が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(invoice_phone)@@@	現在ログインしているユーザの請求先の電話番号が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(invoice_fax)@@@	現在ログインしているユーザの請求先のファックス番号が挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(invoice_email)@@@	現在ログインしているユーザの請求先のEメールアドレスが挿入される場所を定義します。
@@@extension:user(invoice_website)@@@	現在ログインしているユーザの請求先のWebサイトが挿入される場所を定義します。

6.2.9 検索エンジンとディレクトリ参照

どの Web サイト／ページおよび／あるいは検索キーワードを使ってユーザが Web サイトのページにたどり着いたかによって、異なるコンテンツを表示することができます。例えば、もしユーザがある特定の趣味の Web サイト／ページのリンクを使って、または検索エンジンやディレクトリ Web サイトで特定のキーワードを使った検索によって Web サイトページにアクセスした場合、これらのユーザに特別オファーを提供したり、商品の特定機能や使用法を強調して表示したい場合があります。

“リファラ” カスタムエクステンションを使うと、参照元に応じたコンテンツを、どの Web サイトページにでも表示することができます。

@@@extension:referral(WEBSITE=ID)@@@	ページが、指定した Web サイト／ページのリンクからアクセスされた場合に (“WEBSITE”を、“google.com”や “affiliatewebsite.com/specialoffers.html”などの Web サイトアドレスで置き換えてください)、指定された id (“ID”を Web コンテンツ管理システム内のコンテンツ項目 id で置き換えてください) のコンテンツ項目が挿入される場所を定義します。
@@@extension:referral(WEBSITE=ID:WEBSITE=ID)@@@	ページが、指定した Web サイト／ページのリンクからアクセスされた場合に (“WEBSITE”を、“google.com”や “affiliatewebsite.com/specialoffers.html”などの Web サイトアドレスで置き換えてください)、指定された id (“ID”を Web コンテンツ管理システム内のコンテンツ項目の id で置き換えてください) のコンテンツ項目のうちのひとつが挿入される場所を定義します。 Web サイト／ID は、“:”区切りでいくつでも指定できます。はじめに Web サイトアドレスに合致したコンテンツ項目のみが表示されます。
@@@extension:referral(KEYWORDS=ID)@@@	ページが、検索エンジンやディレクトリ検索から指定したキーワードを使ってアクセスされた場合に (“KEYWORDS”を、“cms”のような単数キーワード、あるいは“content management”のような単数フレーズ、または“web,editor”のような複数キーワードで置換してください)、指定された id (“ID”を Web コンテンツ管理システム内のコンテンツ項目 id で置き換えてください) のコンテンツ項目が挿入される場所を定義します。
@@@extension:referral(KEYWORDS=ID:KEYWORDS=ID)@@@	ページが、検索エンジンやディレクトリ検索から指定したキーワードを使ってアクセスされた場合に

	(“KEYWORDS” を、“cms” のような単数キーワード、あるいは“content management” のような単数フレーズ、または“web,editor” のような複数キーワードで置換してください) 、指定された id (“ID” を Web コンテンツ管理システム内のコンテンツ項目 id で置換えてください) のコンテンツ項目のひとつが挿入される場所を定義します。キーワード/ID は、“:”区切りでいくつでも指定できます。はじめにキーワードにマッチしたコンテンツ項目のみが表示されます。
@@@extension:referral(WEBSITE=KEYWORD S=ID)@@@	ページが、指定されたアドレスの検索エンジンやディレクトリ (“WEBSITE” を“google.com”のような Web サイトアドレスで置換えてください) から、指定されたキーワードを使ってアクセスされた場合に (“KEYWORDS” を、“cms” のような単数キーワード、あるいは“content management” のような単数フレーズ、または“web,editor” のような複数キーワードで置換してください) 、指定された id (“ID” を Web コンテンツ管理システム内のコンテンツ項目 id で置換えてください) のコンテンツ項目が挿入される場所を定義します。
@@@extension:referral(WEBSITE=KEYWORD S=ID: WEBSITE=KEYWORDS=ID)@@@	ページが、指定されたアドレスの検索エンジンやディレクトリ (“WEBSITE” を“google.com”のような Web サイトアドレスで置換えてください) から、指定されたキーワードを使ってアクセスされた場合に (“KEYWORDS” を、“cms” のような単数キーワード、あるいは“content management” のような単数フレーズ、または“web,editor” のような複数キーワードで置換してください) 、指定された id (“ID” を Web コンテンツ管理システム内のコンテンツ項目 id で置換えてください) のコンテンツ項目のひとつが挿入される場所を定義します。Web サイト/キーワード/ID は、“:”区切りでいくつでも指定できます。はじめに Web サイトアドレスとキーワードに合致したコンテンツ項目のみが表示されます。

“リファラ” エクステンションを使うと、参照元に応じたコンテンツを、どの Web サイトページにでも表示することができます。また、Web コンテンツ管理システムの「マイクロ Web サイ

ト」機能を使って、異なる参照元やキーワードに応じて、ユーザをそれぞれ異なるデフォルトページ（ホームページ）に誘導することもできます。

6.2.10 計算

Web コンテンツ管理システムは、様々な数式記号を使って計算するために、たくさんの特典コードに対応しています。“calculate” カスタムエクステンションで、数式等が計算され、さまざまな形式で値が出力されます。

以下の数学的演算数と定数はこのように表されます：

- ・ + 足し算
- ・ - 引き算
- ・ * 掛け算
- ・ / 割り算
- ・ \ 整数の割り算
- ・ % 率
- ・ ^ 累乗・指数
- ・ sin(数字) サイン
- ・ cos(数字) コサイン
- ・ tan(数字) タンジェント
- ・ sqrt(数字) 正方形ルート
- ・ days(開始日、終了日) 2 日の指定された日付間のうちの日付けの数字
指定の日付けは「yyyy-mm-dd」形式で表されなければなりません。
- ・ hours(開始時間、終了時間) 2 つの指定された時間の間の時間
指定の時間は「yyyy-mm-dd HH:MM」形式で表されなければなりません。
切り上げられた整数の時間には、開始時間の前に「+」記号を使います
切捨てられた整数の時間には、開始時間の前に「-」記号を使います。
- ・ E 2.718281828459045 の速記
- ・ PI 3.141592653589793 の速記
- ・ RANDOM 0～1 間のランダムな少数の数

@@@extension:calculate((1+2)*3+4+(5/10)+(0.5)) @@@	指定された数式記号の計算値が挿入される場所を定義します。
@@@extension:calculate((1+2)*3+4+(5/10)+(0.5):DECIMALS)@@@	指定された数式記号の計算値が挿入される場所を定義し、指定の少数の数を使って（「DECIMALS」を少数と置換えて表示 例えば、「2」のように）表示します。

6.2.11 リダイレクト

“リダイレクト” エクステンションで Web サイトユーザを他の Web サイトアドレスにリダイレクトできます。

<code>@@@extension:redirect(http://www.heartcore.co.jp /)@@@</code>	Web サイトユーザは、閲覧した Web ページではなく “http://www.heartcore.co.jp/” へリダイレクトされることを定義します。
---	---

6.2.12 キーワードリンクリスト

キーワードリンクリストでは、キーワードをブラウジング可能なカテゴリ／タグとして使用することができます。指定したコンテンツ項目の各キーワードは、リンクとして表示されます。

キーワードリンクリストを使用するには、メタ情報機能を使って、各 Web ページにキーワードを付与する必要があります。“キーワードリンクリスト” カスタムエクステンションは、「キーワード」メタ情報を使って、キーワードリンクリストを生成します。

<code>@@@extension:keywords(group=GROUP, GROUP, GROUP)@@@</code>	指定したコンテンツグループに属するコンテンツ項目のキーワードリンクリストが挿入される位置を定義します。グループはいくつでも指定可能です。
<code>@@@extension:keywords(type=TYPE, TYPE, TYPE)@@@</code>	指定したコンテンツタイプに属するコンテンツ項目のキーワードリンクリストが挿入される位置を定義します。タイプはいくつでも指定可能です。
<code>@@@extension:keywords(top=ID, ID, ID)@@@</code>	「ページトップ」が、指定した id のいずれかに設定されているコンテンツ項目のキーワードリンクリストが挿入される位置を定義します。id はいくつでも指定可能です。
<code>@@@extension:keywords(up=ID, ID, ID)@@@</code>	「ページアップ」が、指定した id のいずれかに設定されているコンテンツ項目のキーワードリンクリストが挿入される位置を定義します。id はいくつでも指定可能です。
<code>@@@extension:keywords(id=ID, ID, ID)@@@</code>	指定した id のコンテンツ項目のキーワードリンクリストが挿入される位置を定義します。id はいくつでも指定可能です。
<code>@@@extension:keywords(id!=ID, ID, ID)@@@</code>	指定した id 以外のコンテンツ項目のキーワードリンクリストが挿入される位置を定義します。id はいくつでも指定可能です。上記の他のコンテンツ項目と組み合わせて使用します。例： <code>@@@extension:keywords(up=ID:id!=ID)@@@</code>
<code>@@@extension:keywords(.....:url=URL)@@@</code>	デフォルトでは、各キーワードは “/page.xxx?id=@@@id@@@&keywords=” へリンクします。オプションとして、他の URL を指定することが可能です。リストされた各キーワードが、指定した URL へ付与されます。



<code>@@@extension:keywords(.....:pre=TEXT)@ @@</code>	指定したテキストが、キーワードリンクリストの前に出力されます。（リスト対象のキーワードリンクが存在しない場合、テキストは出力されません。）
<code>@@@extension:keywords(.....:post=TEXT)@ @@</code>	指定したテキストが、キーワードリンクリストの後ろに出力されます。（リスト対象のキーワードリンクが存在しない場合、テキストは出力されません。）
<code>@@@extension:keywords(.....:separator=TEXT)@ @@</code>	デフォルトでは、各キーワードは空白区切りで表示されます。オプションとして、他のテキストを使用することが可能です。指定したテキストは、各キーワードリンクの間に出力されます。 例：“separator= - “、 “separator=” ”
<code>@@@extension:keywords(.....:all=TEXT)@ @@</code>	オプションとして、キーワードのないリンクを出力させることが可能です。 例：“all=すべて”、“all=どれでも”
<code>@@@extension:keywords(.....:count=TEXT)@ @@</code>	オプションとして、各キーワードに対するコンテンツ項目の数を出力させることが可能です。指定したテキストは、リストされた各キーワードの後ろに出力されます。テキスト内の “#” は、そのキーワードが付与されているコンテンツ項目の数に変換されます。 例：“count= (#)”、“count= (# 件)”

7 コミュニティ追加モジュール

HeartCore Web コンテンツ管理システムのコミュニティ追加モジュールを使用すると、ユーザコミュニティ Web サイトを作成、管理することができ、Web サイトビジターを参加ユーザに変えることができます。

Web サイトビジターが、パーソナルコンテンツやEメールニュースレターにアクセスしたり、制限付きコンテンツやサービスを利用したりするためにユーザ登録をする Web ページを定義することができます。

登録ユーザが、パーソナルビジネスカード Web ページとして使用したり、パーソナルコンテンツにアクセスしたりするための、登録ユーザのためのパーソナルページを定義することができます。

登録ユーザが、個人情報を更新したり、パーソナルコンテンツ設定を選択したり、パーソナルビジネスカード Web ページを更新したりするための、登録ユーザのためのパーソナル管理ページを定義することができます。

登録ユーザや Web サイト管理者に、Eメールニュースレターやその他のメッセージを送信することができます。

ゲストブックや、メッセージボード、ブログ、また他の類似アプリケーションをいくつでも定義できます。こうしたアプリケーションは、全ての Web サイトビジターに公開することもできますし、特定の登録済みユーザや Web サイト管理者のみにアクセスを制限することもできます。

E コマース追加モジュールと組み合わせることで、Web サイトビジター／カスタマーが、商品レビューを閲覧、投稿できるようになります。

最大限に柔軟性を持たせるため、コミュニティ追加アプリケーションは、HeartCore Web コンテンツ管理システムのその他のコンテンツと同じように実装されています。つまり、全てのコミュニティ追加アプリケーションはすべて、HeartCore Web コンテンツ管理システムを使ってカスタマイズが可能で、またアクセス制限やアーカイブ、ワークフローなどの一般的な Web コンテンツ管理システム機能と合わせて使用することができます。デフォルトのコミュニティ追加アプリケーションのような（または、まったく異なる）、独自のアプリケーションを作成することも可能です。

7.1 特殊コード

ユーザページは、Web コンテンツ管理システム内の一般的なページと非常に類似しています。一般的なページで利用できる特殊コードは、すべてユーザページでも使用することができます。ユーザページや、ユーザページに使用しているテンプレートでは、いくつでも特殊コードを使用することが可能です。

7.1.1 Web サイトユーザアカウントのリスト

ユーザデータベースに格納されているユーザアカウントのデータは、特殊コードを使って、Web サイトページやテンプレート等にリスト表示させることができます。ただし、ユーザアカウントのデータは、そのユーザアカウントを閲覧する権限のあるウェブサイト管理者に対してのみ表示されます。

ユーザアカウントのリストは、"@@@list:...@@" 特殊コードを使って、コンテンツ項目内に含めることができます。

@@@list:users@@@	ユーザデータベースに格納されているすべてのユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。
------------------	--

ユーザリストでは、ユーザアカウントを作成したユーザのユーザ名や、作成・更新した日時もしくは期間を指定して、合致するすべてのユーザアカウントをリスト表示させることができます。コンテンツのリストと同様に、“createdby”、“created”、“updated”を使用して実現します。詳しくは、[□コンテンツ項目のリスト](#)をご参照ください。

指定したクラス、グループ、タイプに合致するユーザアカウントをリスト表示させることができます。

@@@list:userclass=NAME@@@	指定したクラスの全ユーザアカウントリストが挿入される位置を定義します。（非管理者を指定するには、“NAME”を“”（空白）に置き換え、管理者を指定するには、“administrator”に置き換えます。）
@@@list:userclass!=NAME@@@	指定したクラスではない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（非管理者を指定するには、“NAME”を“”（空白）に置き換え、管理者を指定するには、“administrator”に置き換えます。）
@@@list:usergroup=NAME@@@	指定したグループに属する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（“NAME”をグループ名に置き換えます。）
@@@list:usergroup in NAME,NAME@@@	指定したグループのいずれかに属する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（“NAME”をグループ名に置き換えます。）
@@@list:usergroup!=NAME@@@	指定したグループに属さない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（“NAME”をグループ名に置き換えます。）
@@@list:usertype=NAME@@@	指定したタイプに属する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（“NAME”をタイプ名に置き換えます。）
@@@list:usertype in NAME,NAME@@@	指定したタイプのいずれかに属する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（“NAME”をタイプ名に置き換えます。）
@@@list:usertype!=NAME@@@	指定したタイプに属さない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（“NAME”をタイプ名に置き換えます。）

他の属性を指定して、ユーザアカウントをリスト表示させることができます。

<code>@@@list:name=VALUE@@@</code>	指定した名前に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を名前に置き換えます。）
<code>@@@list:name in VALUE,VALUE@@@</code>	指定した名前のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を名前に置き換えます。）
<code>@@@list:name!=VALUE@@@</code>	指定した名前に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を名前に置き換えます。）
<code>@@@list:organisation=VALUE@@@</code>	指定した組織に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を組織に置き換えます。）
<code>@@@list:organisation in VALUE,VALUE@@@</code>	指定した組織のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を組織に置き換えます。）
<code>@@@list:organisation!=VALUE@@@</code>	指定した組織に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を組織に置き換えます。）
<code>@@@list:email=VALUE@@@</code>	指定した E メールアドレスに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を E メールアドレスに置き換えます。）
<code>@@@list:email in VALUE,VALUE@@@</code>	指定した E メールアドレスのいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を E メールアドレスに置き換えます。）
<code>@@@list:email!=VALUE@@@</code>	指定した E メールアドレスに合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を E メールアドレスに置き換えます。）
<code>@@@list:card_type=VALUE@@@</code>	指定した支払いカードタイプに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカードタイプに置き換えます。）



@@@list:card_type in VALUE,VALUE@@@	指定した支払いカードタイプのいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカードタイプに置き換えます。）
@@@list:card_type!=VALUE@@@	指定した支払いカードタイプに合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカードタイプに置き換えます。）
@@@list:card_issuedmonth=VALUE@@@	指定した支払いカード発行月に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカード発行月に置き換えます。）
@@@list:card_issuedmonth in VALUE,VALUE@@@	指定した支払いカード発行月のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカード発行月に置き換えます。）
@@@list:card_issuedmonth!=VALUE@@@	指定した支払いカード発行月に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカード発行月に置き換えます。）
@@@list:card_issuedyear=VALUE@@@	指定した支払いカード発行年に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカード発行年に置き換えます。）
@@@list:card_issuedyear in VALUE,VALUE@@@	指定した支払いカード発行年のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカード発行年に置き換えます。）
@@@list:card_issuedyear!=VALUE@@@	指定した支払いカード発行年に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカード発行年に置き換えます。）
@@@list:card_expirymonth=VALUE@@@	指定した支払いカード有効期限月に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカード有効期限月に置き換えます。）
@@@list:card_expirymonth in VALUE,VALUE@@@	指定した支払いカード有効期限月のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカード有効期限月に置き換えます。）



@@@list:card_expirymonth!=VALUE@@@	指定した支払いカード有効期限月に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカード有効期限月に置き換えます。）
@@@list:card_expiryyear=VALUE@@@	指定した支払いカード有効期限年に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカード有効期限年に置き換えます。）
@@@list:card_expiryyear in VALUE,VALUE@@@	指定した支払いカード有効期限年のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカード有効期限年に置き換えます。）
@@@list:card_expiryyear!=VALUE@@@	指定した支払いカード有効期限年に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカード有効期限年に置き換えます。）
@@@list:card_postalcode=VALUE@@@	指定した支払いカード郵便番号に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカード郵便番号に置き換えます。）
@@@list:card_postalcode in VALUE,VALUE@@@	指定した支払いカード郵便番号のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカード郵便番号に置き換えます。）
@@@list:card_postalcode!=VALUE@@@	指定した支払いカード郵便番号に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を支払いカード郵便番号に置き換えます。）
@@@list:delivery_name=VALUE@@@	指定した配送先名前に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を配送先名前に置き換えます。）
@@@list:delivery_name in VALUE,VALUE@@@	指定した配送先名前のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を配送先名前に置き換えます。）
@@@list:delivery_name!=VALUE@@@	指定した配送先名前に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を配送先名前に置き換えます。）
@@@list:delivery_organisation=VALUE@@@	指定した配送先組織に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入され



	る位置を定義します。（“VALUE”を配送先組織に置き換えます。）
@@@list:delivery_organisation in VALUE,VALUE@@@	指定した配送先組織のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （“VALUE”を配送先組織に置き換えます。）
@@@list:delivery_organisation!=VALUE@@@	指定した配送先組織に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（“VALUE”を配送先組織に置き換えます。）
@@@list:delivery_address=VALUE@@@	指定した配送先住所に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（“VALUE”を配送先住所に置き換えます。）
@@@list:delivery_address in VALUE,VALUE@@@	指定した配送先住所のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （“VALUE”を配送先住所に置き換えます。）
@@@list:delivery_address!=VALUE@@@	指定した配送先住所に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（“VALUE”を配送先住所に置き換えます。）
@@@list:delivery_postcalcode=VALUE@@@	指定した配送先郵便番号に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （“VALUE”を配送先郵便番号に置き換えます。）
@@@list:delivery_postcalcode in VALUE,VALUE@@@	指定した配送先郵便番号のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（“VALUE”を配送先郵便番号に置き換えます。）
@@@list:delivery_postcalcode!=VALUE@@@	指定した配送先郵便番号に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （“VALUE”を配送先郵便番号に置き換えます。）
@@@list:delivery_city=VALUE@@@	指定した配送先市区町村に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （“VALUE”を配送先市区町村に置き換えます。）
@@@list:delivery_city in VALUE,VALUE@@@	指定した配送先市区町村のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（“VALUE”を配送先市区町村に置き換えます。）



@@@list:delivery_city!=VALUE@@@	指定した配送先市区町村に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先市区町村に置き換えます。）
@@@list:delivery_state=VALUE@@@	指定した配送先都道府県に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先都道府県に置き換えます。）
@@@list:delivery_state in VALUE,VALUE@@@	指定した配送先都道府県のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先都道府県に置き換えます。）
@@@list:delivery_state!=VALUE@@@	指定した配送先都道府県に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先都道府県に置き換えます。）
@@@list:delivery_country=VALUE@@@	指定した配送先国名に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を配送先国名に置き換えます。）
@@@list:delivery_country in VALUE,VALUE@@@	指定した配送先国名のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先国名に置き換えます。）
@@@list:delivery_country!=VALUE@@@	指定した配送先国名に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。（"VALUE"を配送先国名に置き換えます。）
@@@list:delivery_phone=VALUE@@@	指定した配送先電話番号に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先電話番号に置き換えます。）
@@@list:delivery_phone in VALUE,VALUE@@@	指定した配送先電話番号のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先電話番号に置き換えます。）
@@@list:delivery_phone!=VALUE@@@	指定した配送先電話番号に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先電話番号に置き換えます。）
@@@list:delivery_fax=VALUE@@@	指定した配送先 FAX 番号に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入



	される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先 FAX 番号に置き換えます。）
@@@list:delivery_fax in VALUE,VALUE@@@	指定した配送先 FAX 番号のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先 FAX 番号に置き換えます。）
@@@list:delivery_fax!=VALUE@@@	指定した配送先 FAX 番号に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先 FAX 番号に置き換えます。）
@@@list:delivery_email=VALUE@@@	指定した配送先 E メールアドレスに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先 E メールアドレスに置き換えます。）
@@@list:delivery_email in VALUE,VALUE@@@	指定した配送先 E メールアドレスのいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先 E メールアドレスに置き換えます。）
@@@list:delivery_email!=VALUE@@@	指定した配送先 E メールアドレスに合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先 E メールアドレスに置き換えます。）
@@@list:delivery_website=VALUE@@@	指定した配送先 Web サイトに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先 Web サイトに置き換えます。）
@@@list:delivery_website in VALUE,VALUE@@@	指定した配送先 Web サイトのいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先 Web サイトに置き換えます。）
@@@list:delivery_website!=VALUE@@@	指定した配送先 Web サイトに合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を配送先 Web サイトに置き換えます。）
@@@list:invoice_name=VALUE@@@	指定した請求先名前に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を請求先名前に置き換えます。）
@@@list:invoice_name in VALUE,VALUE@@@	指定した請求先名前のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。



	(“VALUE”を請求先名前に置き換えます。)
@@@list:invoice_name!=VALUE@@@	指定した請求先名前に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先名前に置き換えます。)
@@@list:invoice_organisation=VALUE@@@	指定した請求先組織に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先組織に置き換えます。)
@@@list:invoice_organisation in VALUE,VALUE@@@	指定した請求先組織のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先組織に置き換えます。)
@@@list:invoice_organisation!=VALUE@@@	指定した請求先組織に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先組織に置き換えます。)
@@@list:invoice_address=VALUE@@@	指定した請求先住所に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先住所に置き換えます。)
@@@list:invoice_address in VALUE,VALUE@@@	指定した請求先住所のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先住所に置き換えます。)
@@@list:invoice_address!=VALUE@@@	指定した請求先住所に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先住所に置き換えます。)
@@@list:invoice_postcalcode=VALUE@@@	指定した請求先郵便番号に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先郵便番号に置き換えます。)
@@@list:invoice_postcalcode in VALUE,VALUE@@@	指定した請求先郵便番号のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先郵便番号に置き換えます。)
@@@list:invoice_postcalcode!=VALUE@@@	指定した請求先郵便番号に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先郵便番号に置き換えます。)
@@@list:invoice_city=VALUE@@@	指定した請求先市区町村に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。



	(“VALUE”を請求先市区町村に置き換えます。)
@@@list:invoice_city in VALUE,VALUE@@@	指定した請求先市区町村のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先市区町村に置き換えます。)
@@@list:invoice_city!=VALUE@@@	指定した請求先市区町村に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先市区町村に置き換えます。)
@@@list:invoice_state=VALUE@@@	指定した請求先都道府県に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先都道府県に置き換えます。)
@@@list:invoice_state in VALUE,VALUE@@@	指定した請求先都道府県のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先都道府県に置き換えます。)
@@@list:invoice_state!=VALUE@@@	指定した請求先都道府県に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先都道府県に置き換えます。)
@@@list:invoice_country=VALUE@@@	指定した請求先国名に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先国名に置き換えます。)
@@@list:invoice_country in VALUE,VALUE@@@	指定した請求先国名のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先国名に置き換えます。)
@@@list:invoice_country!=VALUE@@@	指定した請求先国名に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先国名に置き換えます。)
@@@list:invoice_phone=VALUE@@@	指定した請求先電話番号に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先電話番号に置き換えます。)
@@@list:invoice_phone in VALUE,VALUE@@@	指定した請求先電話番号のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。(“VALUE”を請求先電話番号に置き換えます。)



@@@list:invoice_phone!=VALUE@@@	指定した請求先電話番号に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を請求先電話番号に置き換えます。）
@@@list:invoice_fax=VALUE@@@	指定した請求先 FAX 番号に合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を請求先 FAX 番号に置き換えます。）
@@@list:invoice_fax in VALUE,VALUE@@@	指定した請求先 FAX 番号のいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を請求先 FAX 番号に置き換えます。）
@@@list:invoice_fax!=VALUE@@@	指定した請求先 FAX 番号に合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を請求先 FAX 番号に置き換えます。）
@@@list:invoice_email=VALUE@@@	指定した請求先 E メールアドレスに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を請求先 E メールアドレスに置き換えます。）
@@@list:invoice_email in VALUE,VALUE@@@	指定した請求先 E メールアドレスのいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を請求先 E メールアドレスに置き換えます。）
@@@list:invoice_email!=VALUE@@@	指定した請求先 E メールアドレスに合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を請求先 E メールアドレスに置き換えます。）
@@@list:invoice_website=VALUE@@@	指定した請求先 Web サイトに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を請求先 Web サイトに置き換えます。）
@@@list:invoice_website in VALUE,VALUE@@@	指定した請求先 Web サイトのいずれかに合致する全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を請求先 Web サイトに置き換えます。）
@@@list:invoice_website!=VALUE@@@	指定した請求先 Web サイトに合致しない全ユーザアカウントのリストが挿入される位置を定義します。 （"VALUE"を請求先 Web サイトに置き換えます。）

オプションとして、ユーザリストの表示順を、ユーザアカウント属性／フィールドの昇順もしくは降順にて並べることができます。上記のユーザリスト特殊コードに、“:order=ATTRIBUTE”（“ATTRIBUTE”をユーザ属性名／フィールド名に置き換えます）を追加することで表示順を定義します。（例：@@@list:users:order=ATTRIBUTE@@@）

:order=ATTRIBUTE	ATTRIBUTE で指定した ユーザ属性／フィールドのアルファベット昇順／数値昇順で、ユーザリストが並べられます。
:order=ATTRIBUTE desc	ATTRIBUTE で指定した ユーザ属性／フィールドのアルファベット降順／数値降順で、ユーザリストが並べられます。

特定のユーザ属性／フィールドに合致する値を指定する代わりに、以下のような特殊コードを用いて、動的なユーザリストを生成することが可能です。

@@@list:users:usergroup=###usergroup###:usertype=###usertype###@@@

この例では、Web サイト上の HTML FORM やリンクで選択されたユーザグループおよびユーザタイプに属するユーザアカウントがリスト表示されます。

7.1.2 ユーザアカウント詳細の表示

様々な特殊コードを使用して、リストするユーザアカウントの詳細を表示することができます。

@@@user_id@@@	ユーザの ID が挿入される位置を定義します。
@@@user_username@@@	ユーザのユーザ名が挿入される位置を定義します。
@@@user_password@@@	ユーザのパスワードが挿入される位置を定義します。
@@@user_email@@@	ユーザの E メールアドレスが挿入される位置を定義します。
@@@user_name@@@	ユーザの名前が挿入される位置を定義します。
@@@user_class@@@	ユーザのユーザクラスが挿入される位置を定義します。未ログインのユーザや、非管理者ユーザの場合は、空白／空で表示されます。ログイン済み管理者ユーザの場合は、“administrator”と表示されます。
@@@user_group@@@	ユーザの優先ユーザグループが挿入される位置を定義します。
@@@user_type@@@	ユーザの優先ユーザタイプが挿入される位置を定義します。
@@@user_groups@@@	ユーザの追加ユーザグループが挿入される位置を定義します。



@@@user_types@@@	ユーザの追加ユーザタイプが挿入される位置を定義します。
@@@user_organisation@@@	ユーザの組織が挿入される位置を定義します。
@@@user_created@@@	ユーザの作成日時が挿入される位置を定義します。
@@@user_updated@@@	ユーザの最終更新日時が挿入される位置を定義します。
@@@user_scheduled_publish@@@	ユーザのスケジュール済み有効化日時が挿入される位置を定義します。
@@@user_scheduled_notify@@@	ユーザのスケジュール済み通知日時が挿入される位置を定義します。
@@@user_scheduled_unpublish@@@	ユーザのスケジュール済み期限切れ日時が挿入される位置を定義します。
@@@user_card_type@@@	ユーザのカードタイプが挿入される位置を定義します。
@@@user_card_number@@@	ユーザのカード番号が挿入される位置を定義します。
@@@user_card_issuedmonth@@@	ユーザのカード発行月が挿入される位置を定義します。
@@@user_card_issuedyear@@@	ユーザのカード発行年が挿入される位置を定義します。
@@@user_card_expirymonth@@@	ユーザのカード有効期限月が挿入される位置を定義します。
@@@user_card_expiryyear@@@	ユーザのカード有効期限年が挿入される位置を定義します。
@@@user_card_name@@@	ユーザのカード名義が挿入される位置を定義します。
@@@user_card_cvc@@@	ユーザのカード CVC コードが挿入される位置を定義します。
@@@user_card_issue@@@	ユーザのカード発行コードが挿入される位置を定義します。
@@@user_card_postalcode@@@	ユーザのカード郵便番号が挿入される位置を定義します。
@@@user_delivery_name@@@	ユーザの配送先名前が挿入される位置を定義します。
@@@user_delivery_organisation@@@	ユーザの配送先組織が挿入される位置を定義します。
@@@user_delivery_address@@@	ユーザの配送先住所が挿入される位置を定義します。
@@@user_delivery_postalcode@@@	ユーザの配送先郵便番号が挿入される位置を定義します。
@@@user_delivery_city@@@	ユーザの配送先市区町村が挿入される位置を定義します。
@@@user_delivery_state@@@	ユーザの配送先都道府県が挿入される位置を定義します。
@@@user_delivery_country@@@	ユーザの配送先国名が挿入される位置を定義します。



@@@user_delivery_phone@@@	ユーザの配送先電話番号が挿入される位置を定義します。
@@@user_delivery_fax@@@	ユーザの配送先 FAX 番号が挿入される位置を定義します。
@@@user_delivery_email@@@	ユーザの配送先 E メールアドレスが挿入される位置を定義します。
@@@user_delivery_website@@@	ユーザの配送先 Web サイトが挿入される位置を定義します。
@@@user_invoice_name@@@	ユーザの請求先名前が挿入される位置を定義します。
@@@user_invoice_organisation@@@	ユーザの請求先組織が挿入される位置を定義します。
@@@user_invoice_address@@@	ユーザの請求先住所が挿入される位置を定義します。
@@@user_invoice_postalcode@@@	ユーザの請求先郵便番号が挿入される位置を定義します。
@@@user_invoice_city@@@	ユーザの請求先市区町村が挿入される位置を定義します。
@@@user_invoice_state@@@	ユーザの請求先都道府県が挿入される位置を定義します。
@@@user_invoice_country@@@	ユーザの請求先国名が挿入される位置を定義します。
@@@user_invoice_phone@@@	ユーザの請求先電話番号が挿入される位置を定義します。
@@@user_invoice_fax@@@	ユーザの請求先 FAX 番号が挿入される位置を定義します。
@@@user_invoice_email@@@	ユーザの請求先 E メールアドレスが挿入される位置を定義します。
@@@user_invoice_website@@@	ユーザの請求先 Web サイトが挿入される位置を定義します。
@@@user_notes@@@	ユーザの備考が挿入される位置を定義します。
@@@user_XXXXX@@@	ユーザのカスタムユーザ属性が挿入される位置を定義します。 (“XXXXX”をカスタムユーザ属性名に置き換えます。)

7.2 ユーザ登録

Web サイトビジターは、ユーザ登録によって、登録済みユーザとして Web サイトにサインアップし、パーソナルコンテンツや E メールニュースレター、制限付きコンテンツやサービスにアクセスできるようになります。

Web サイトビジターは、E メールアドレスのほか、オプションとして名前、ユーザ名、パスワードを入力する、シンプルなユーザ登録フォーム Web ページにアクセスします。

ユーザ登録フォームが送信されると、その Web サイトビジターに対して、新規ユーザアカウントが作成されます。

オプションとして、新規登録済みユーザに対して、新規パーソナルページを作成することもできます。登録済みユーザは、パーソナルページを使って個人情報を更新したり、パーソナルコ

コンテンツのあるパーソナルページへのアクセスに関してコンテンツ設定を選択したり、パーソナルビジネスカード Web ページを作成したりすることができます。

ユーザ登録が正しく完了すると、新規登録ユーザの情報が記載された確認 E メールを新規登録ユーザに送信することができます。新規登録ユーザの情報が記載された通知 E メールを、登録ユーザを監視する Web サイト管理者に送信することも可能です。

最後に、ユーザ登録が完了したことを確認するための確認 Web ページを表示させることができます。

デフォルトのユーザ登録アプリケーションは、いくつかのコンテンツページと 1 つのユーザアカウントから形成されます。

- ユーザ登録フォームページ
Web サイトビジターが個人情報を入力し、登録ユーザとしてサインアップするためのフォームを含むコンテンツページ。
- ユーザ登録ユーザ
新規登録ユーザアカウントを作成するためにコピーされる、ユーザアカウント。このユーザアカウントは、新規登録ユーザアカウントに対するユーザカテゴリとアクセス権限を定義します。
- パーソナルページテンプレートページ
新規登録ユーザのパーソナルページを作成するためにコピーされる、コンテンツページ。このコンテンツページは、新規登録ユーザのパーソナルページの初期コンテンツを定義します。
- ユーザ登録確認 E メール
登録ユーザとしてサインアップが正常に完了したことの確認として、登録ユーザに E メール送信されるコンテンツページ。
- ユーザ登録通知 E メール
登録ユーザの管理を行う Web サイト管理者に E メール送信されるコンテンツページ。
- ユーザ登録完了ページ
登録ユーザとしてサインアップが正常に完了したことの確認として、登録ユーザに表示されるコンテンツページ。

ユーザ登録アプリケーションに必要な Web サイト設定の詳細並びに、ユーザ登録コンテンツページやユーザアカウントについての詳細は、以下の各セクションをご参照ください。

7.2.1 ユーザ登録フォームページ

ユーザ登録フォームページは、Web サイトビジターが登録ユーザとしてサインアップできるようリンクする Web ページです。ユーザ登録フォームページには、Web サイトビジターが登録ユーザとしてサインアップするために入力するフォームを含んでいます。登録ユーザとしてサインアップするには、Web サイトビジターの E メールアドレスが必要です。オプションとして、氏名、ユーザ名、パスワードを入力することもできます。

ユーザ登録フォームには、一般的な Web ページに使用される“/page.asp?id=1”ではなく、“/register.asp?id=1”を使用して表示する必要がありますのでご注意ください。

基本の必須並びにオプションの FORM フィールドは次のとおりです。



<FORM action=/register.aspx?id=@@@id@@@ method=post>	Web ページフォームの開始を定義します。ユーザ登録 FORM データは、コンテンツページの id をパラメータとして、“/register.aspx” に送信される必要があります（Web コンテンツ管理システムのプログラム言語バージョンに応じて、aspx, jap, php を使用）。
<INPUT type=text name=email value=@@@email@@@>	Web サイトビジターが E メールアドレスを入力するためのテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type=text name=name value=@@@name@@@>	Web サイトビジターが氏名を入力するためのテキスト入力フィールドを定義します。氏名が入力されない場合は、Web サイトビジターの E メールが使用されます。（オプション）
<INPUT type=text name=username value=@@@username@@@>	Web サイトビジターがユーザ名を入力するためのテキスト入力フィールドを定義します。ユーザ名が入力されない場合は、Web サイトビジターの E メールアドレスが使用されます。（オプション）
<INPUT type=text name=password value=@@@password@@@>	Web サイトビジターがパスワードを入力するためのテキストフィールドを定義します。パスワードが入力されない場合は、ランダムなパスワードが使用されます。独自のパスワードを入力すると自動的にログインされます。ランダムなパスワードが生成された場合は、登録後ログインが必要です。（オプション）
<INPUT type=submit value=Register>	入力データを送信するための Register というボタンを表示します。
<INPUT type=hidden name=user_id value=1>	どの既存ユーザアカウントが、Web サイトビジターの新規ユーザアカウント作成用にコピーされるのかを定義します。value は、ユーザデータベースの既存ユーザの id を指定します。または、Web サイトビジターに、複数の異なる既存アカウントから選択させることもできます（例えば、異なる E メールニュースレターにサインアップする場合など）。詳細は、7.2.2 ユーザ登録ユーザを参照ください。
<INPUT type=hidden name=redirect value=/register.aspx?id=2 >	ユーザ登録が正常に完了した際に表示するページを定義します。詳細は、7.2.6 ユーザ登録完了ページを参照ください。
<INPUT type=hidden name=from value="nobody@heartcore.co.jp">	Web サイトに設定されたデフォルト E メールアドレス（設定>システム>ウェブサイト>E メール&フォーム>E



	メールアドレス（デフォルト）の代わりに、ユーザ登録確認 E メール（有効の場合）の送信元として使用する E メールアドレスを定義します。ここで指定する E メールアドレスは、追加の E メールアドレスとして許可設定されている必要があります。（設定＞システム＞ウェブサイト＞E メール&フォーム＞E メールアドレス（追加アドレス））許可設定されていない場合は、無視されます。
<INPUT type=hidden name=cc value="nobody@heartcore.co.jp">	ユーザ登録確認 E メール（有効の場合）の"CC"として使用する E メールアドレスを定義します。ここで指定する E メールアドレスは、追加の E メールアドレスとして許可設定されている必要があります。（設定＞システム＞ウェブサイト＞E メール&フォーム＞E メールアドレス（追加アドレス））許可設定されていない場合は、無視されます。
<INPUT type=hidden name=bcc value="nobody@heartcore.co.jp">	ユーザ登録確認 E メール（有効の場合）の"BCC"として使用する E メールアドレスを定義します。ここで指定する E メールアドレスは、追加の E メールアドレスとして許可設定されている必要があります。（設定＞システム＞ウェブサイト＞E メール&フォーム＞E メールアドレス（追加アドレス））許可設定されていない場合は、無視されます。
</FORM>	Web ページフォームの終了を定義します。

上記に加え、追加のユーザデータを Web コンテンツ管理システムのユーザデータベースへ格納するよう、追加の FORM フィールドを付け加えることもできます。

<INPUT type=text name=organisation value="@@"@organisation@"@">	Web サイトビジターの組織名を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=title value="@@"@title@"@">	Web サイトビジターのタイトルを入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=birthdate value="@@"@birthdate@"@">	Web サイトビジターの誕生年月日を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=birthyear value="@@"@birthyear@"@">	Web サイトビジターの誕生年を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）



<INPUT type=text name=birthmonth value=@@@birthmonth@@@>	Web サイトビジターの誕生月を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=birthday value=@@@birthday@@@>	Web サイトビジターの誕生日を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=card_type value=@@@card_type@@@>	Web サイトビジターのカードタイプを入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=card_number value=@@@card_number@@@>	Web サイトビジターのカード番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=card_issuedmonth value=@@@card_issuedmonth@@@>	Web サイトビジターのカード発行月を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=card_issuedyear value=@@@card_issuedyear@@@>	Web サイトビジターのカード発行年を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=card_expirymonth value=@@@card_expirymonth@@@>	Web サイトビジターのカード失効月を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=card_expiryyear value=@@@card_expiryyear@@@>	Web サイトビジターのカード失効年を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=card_name value=@@@card_name@@@>	Web サイトビジターのカードの名前を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=card_cvc value=@@@card_cvc@@@>	Web サイトビジターのカードの CVC ナンバーを入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=card_issue value=@@@card_issue@@@>	Web サイトビジターのカード発行番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=card_postalcode value=@@@card_postalcode@@@>	Web サイトビジターのカードの郵便番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=delivery_name value=@@@delivery_name@@@>	Web サイトビジターのカード番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=delivery_organisation value=@@@delivery_organisation@@@>	Web サイトビジターの配送先/勤務先の組織を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=delivery_address value=@@@delivery_address@@@>	Web サイトビジターの配送先/勤務先の住所を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）
<INPUT type=text name=delivery_postalcode value=@@@delivery_postalcode@@@>	Web サイトビジターの配送先/勤務先の郵便番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。（任意）



<INPUT type=text name=delivery_city value=@@@delivery_city@@@>	Web サイトビジターの配送先/勤務先の市町村を入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=delivery_state value=@@@delivery_state@@@>	Web サイトビジターの配送先/勤務先の都道府県を入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=delivery_country value=@@@delivery_country@@@>	Web サイトビジターの配送先/勤務先の国名を入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=delivery_phone value=@@@delivery_phone@@@>	Web サイトビジターの配送先/勤務先の電話番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=delivery_fax value=@@@delivery_fax@@@>	Web サイトビジターの配送先/勤務先のFAX 番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=delivery_email value=@@@delivery_email@@@>	Web サイトビジターの配送先/勤務先のE メールを入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=delivery_website value=@@@delivery_website@@@>	Web サイトビジターの配送先/勤務先のWeb サイトを入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=invoice_name value=@@@invoice_name@@@>	Web サイトビジターの請求先/自宅の名前を入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=invoice_organisation value=@@@invoice_organisation@@@>	Web サイトビジターの請求先/自宅の組織を入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=invoice_address value=@@@invoice_address@@@>	Web サイトビジターの請求先/自宅の住所を入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=invoice_postalcode value=@@@invoice_postalcode@@@>	Web サイトビジターの請求先/自宅の郵便番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=invoice_city value=@@@invoice_city@@@>	Web サイトビジターの請求先/自宅の市町村を入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=invoice_state value=@@@invoice_state@@@>	Web サイトビジターの請求先/自宅の都道府県を入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=invoice_country value=@@@invoice_country@@@>	Web サイトビジターの請求先/自宅の国名を入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=invoice_phone value=@@@invoice_phone@@@>	Web サイトビジターの請求先/自宅の電話番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=invoice_fax value=@@@invoice_fax@@@>	Web サイトビジターの請求先/自宅のFAX 番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)



<INPUT type=text name=invoice_email value=@@@invoice_email@@@>	Web サイトビジターの請求先/自宅の E メールを入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=invoice_website value=@@@invoice_website@@@>	Web サイトビジターの請求先/自宅の Web サイトを入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=keywords value=@@@keywords@@@>	Web サイトビジターのキーワードを入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=description value=@@@description@@@>	Web サイトビジターのディスクリプションを入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=notes value=@@@notes@@@>	Web サイトビジターの備考を入力するテキスト入力フィールドを定義します。(任意)
<INPUT type=text name=userinfo_XXXXX value=@@@organisation@@@>	Web サイトビジターのカスタムユーザ属性を入力するテキスト入力フィールドを定義します(“XXXXX”をカスタムユーザ属性名で置き換える)。新規ユーザ属性はこの方法では追加されません。コピーされたユーザアカウントに、既にカスタムユーザ属性が定義されている必要があります。(任意)

任意で、次の FORM フィールドを追加し、新規登録ユーザをサブスクライブ可能なユーザグループやユーザタイプに加入させることができます。

<INPUT type=hidden name=”usergroup” value=”XXXXX”>	新規登録ユーザを自動で加入させるサブスクライブ可能な既存のユーザグループを定義します。値は、Web サイトユーザのサブスクライブ先としてアクセス権限のある既存のユーザグループ名を指定します。複数のユーザグループを指定するには、複数の”usergroup”入力フィールドを使用します。
<INPUT type=hidden name=”usertype” value=”XXXXX”>	新規登録ユーザを自動で加入させるサブスクライブ可能な既存のユーザタイプを定義します。値は、Web サイトユーザのサブスクライブ先としてアクセス権限のある既存のユーザタイプ名を指定します。複数のユーザタイプを指定するには、複数の”usertype”入力フィールドを使用します。
<INPUT type=checkbox name=”usergroup” value=”XXXXX”>	新規登録ユーザを任意で加入させるサブスクライブ可能な既存のユーザグループを定義します。値は、Web サイトユーザのサブスクライブ先としてアクセス権限のある既存のユーザグループ名を指定します。複数のユーザグループ

	ブを指定するには、複数の”usergroup”入力フィールドを使用します。
<INPUT type=checkbox name=”usertype” value=”XXXXX”>	新規登録ユーザを任意で加入させるサブスクライブ可能な既存のユーザタイプを定義します。値は、Web サイトユーザのサブスクライブ先としてアクセス権限のある既存のユーザタイプを指定します。複数のユーザタイプを指定するには、複数の”usertype”入力フィールドを使用します。

任意で、次の FORM フィールドを追加し、新規登録ユーザ用の新規パーソナルページを作成することができます。

<INPUT type=hidden name=content_id value=5>	どの既存コンテンツページが、新規登録ユーザ用の新規パーソナルページを作成するのにコピーされるのかを定義します。value は、既存コンテンツページの id を指定します。または、Web サイトビジターに複数の異なる既存コンテンツページから選択させることもできます。(例えば、異なるグラフィックデザインから選択する場合など。) 詳細は、7.2.3 パーソナルページのテンプレートページを参照ください。
<INPUT type=hidden name=publish value=yes>	登録ユーザ用に新規作成されたパーソナルページが公開されることを定義します。

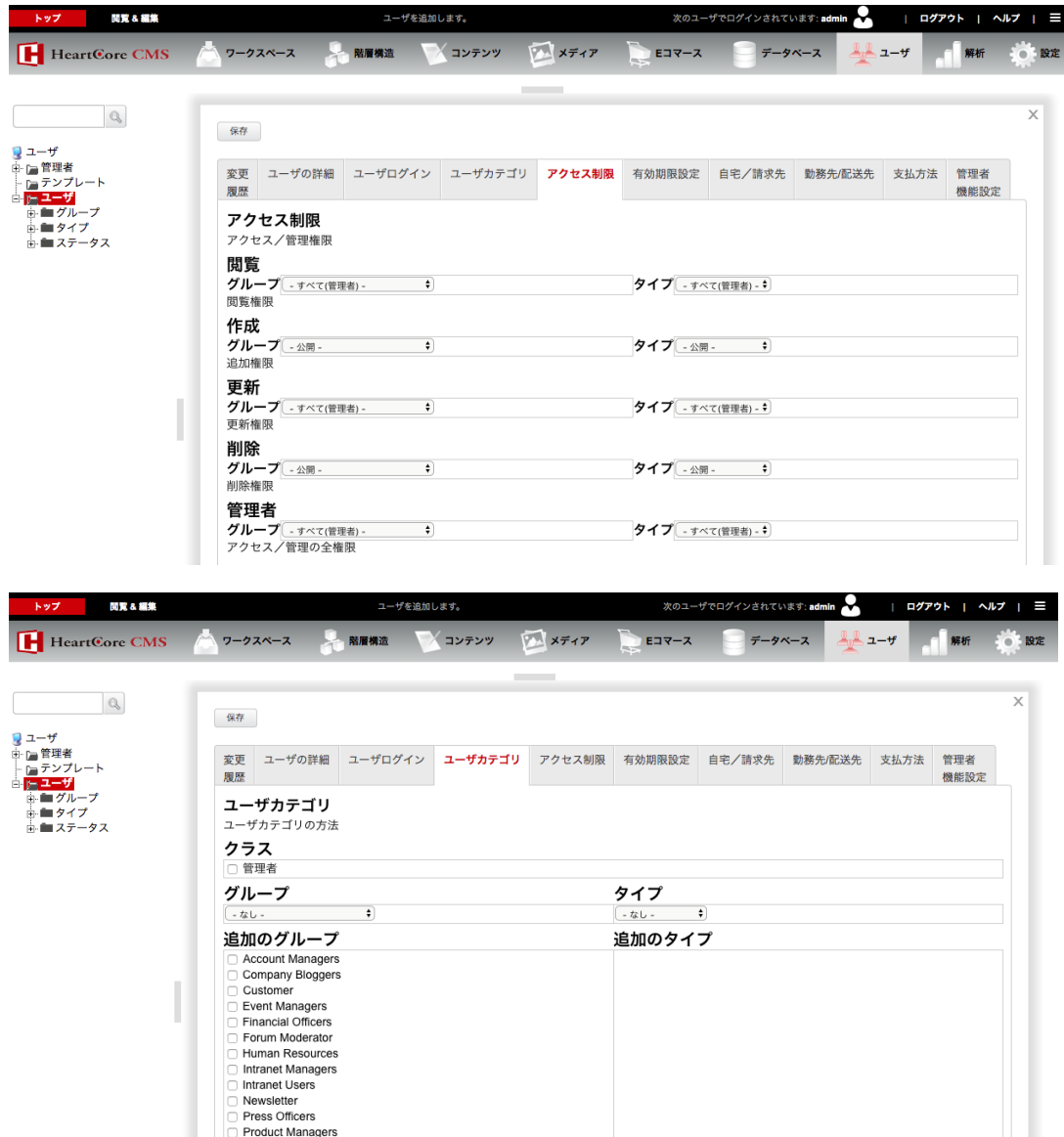
7.2.2 ユーザ登録ユーザ

ユーザ登録では、ユーザデータベースの既存ユーザアカウントをコピーすることで、新規登録ユーザを作成します。

独自のユーザ登録ユーザを作成するには、ユーザデータベースとアクセス制限—「ユーザと管理者」機能を有効にする必要があります。「ユーザカテゴリ」機能も有効にしたい場合もあります。詳細は、「設定ガイド」をご参照下さい。

コピーされる既存ユーザアカウントのアクセス制限は、「作成グループ」「作成タイプ」、および「削除グループ」「削除タイプ」を“－公開－”に設定しておく必要があります。コピーされる既存ユーザアカウントに、これらのアクセス制限が設定されていない場合は、ユーザ登録は失敗し、新規登録ユーザアカウントは作成されません。

コピーされる既存ユーザアカウントのユーザカテゴリは、新規登録ユーザアカウントに使用されます。Web サイトビジターが登録ユーザとしてサインアップする際に選択できるよう、いくつかの異なるユーザ登録ユーザを作成しておきたい場合もあるでしょう。各ユーザ登録ユーザに様々なユーザカテゴリを定義しておき、登録ユーザが異なるコンテンツにアクセスしたり、登録ユーザのカテゴリごとに異なる E メールニュースレターを送信したりすることができます。



The screenshot displays the 'User Management' (ユーザ) interface in the HeartCore CMS. The 'Access Restrictions' (アクセス制限) tab is selected, showing settings for user access and permissions. The interface includes a sidebar with navigation options like 'User' (ユーザ), 'Template' (テンプレート), 'Group' (グループ), 'Type' (タイプ), and 'Status' (ステータス). The main content area shows a table of user access settings with columns for 'Group' (グループ), 'Type' (タイプ), and 'Access' (アクセス). The 'Access' column is currently set to 'All' (すべて) for all groups.

7.2.3 パーソナルページのテンプレートページ

オプションとして、ユーザ登録では既存のコンテンツページをコピーすることで、新規登録ユーザ用に新しいパーソナルページを作成することができます。

独自のパーソナルページテンプレートページを作成するには、「アクセス制限」－「ユーザと管理者」機能を有効にする必要があります。詳細は、「設定ガイド」をご参照ください。

コピーされる既存コンテンツページのアクセス制限は、「作成グループ」「作成タイプ」および「削除グループ」「削除タイプ」を、“－ 公開 －”に設定する必要があります。コピーされる既存のコンテンツページのアクセス制限が、これらに設定されていない場合は、新規登録ユーザのパーソナルページは作成されません。

HeartCore Web コンテンツ管理システムの一般的な機能のほか、パーソナルページでは次の特殊コードも併せて使用できます。



@@@email@@@	新規登録ユーザのEメールアドレスが挿入される位置を定義します。
@@@name@@@	新規登録ユーザの氏名が挿入される位置を定義します。
@@@username@@@	新規登録ユーザのユーザ名が挿入される位置を定義します。
@@@password@@@	新規登録ユーザのパスワードが挿入される位置を定義します。
@@@user_activation@@@	新規登録ユーザのスケジュール済み有効化日時が挿入される位置を定義します。
@@@user_notification@@@	新規登録ユーザのスケジュール済み有効期限通知日時が挿入される位置を定義します。
@@@user_expiration@@@	新規登録ユーザのスケジュール済み期限切れ日時が挿入される位置を定義します。

7.2.4 ユーザ登録確認Eメール

オプションとして、ユーザ登録では、登録ユーザに、正常に登録が完了したことを通知する確認Eメールを送信することができます。

HeartCore Web コンテンツ管理システムの一般的な機能のほか、ユーザ登録確認 E メールページでは、次の特殊コードも併せて使用できます。

@@@email@@@	新規登録ユーザのEメールアドレスが挿入される位置を定義します。
@@@name@@@	新規登録ユーザの氏名が挿入される位置を定義します。
@@@username@@@	新規登録ユーザのユーザ名が挿入される位置を定義します。
@@@password@@@	新規登録ユーザのパスワードが挿入される位置を定義します。
@@@personalpage@@@	新規登録ユーザのパーソナルページの Web アドレスが挿入される位置を定義します。
@@@personaladmin@@@	新規登録ユーザのパーソナル管理ページの Web アドレスが挿入される位置を定義します。
@@@user_activation@@@	新規登録ユーザのスケジュール済み有効化日時が挿入される位置を定義します。
@@@user_notification@@@	新規登録ユーザのスケジュール済み有効期限通知日時が挿入される位置を定義します。
@@@user_expiration@@@	新規登録ユーザのスケジュール済み期限切れ日時が挿入される位置を定義します。

7.2.5 ユーザ登録通知Eメール

オプションとして、ユーザ登録では、登録ユーザを管理する Web サイト管理者宛に、新規登録ユーザがサインアップしたこと知らせる通知Eメールを送信することができます。

HeartCore Web コンテンツ管理システムの一般的な機能のほか、ユーザ登録通知Eメールページでは、次の特殊コードも併せて使用できます。

@@@email@@@	新規登録ユーザのEメールアドレスが挿入される位置を定義します。
@@@name@@@	新規登録ユーザの氏名が挿入される位置を定義します。
@@@username@@@	新規登録ユーザのユーザ名が挿入される位置を定義します。
@@@password@@@	新規登録ユーザのパスワードが挿入される位置を定義します。
@@@personalpage@@@	新規登録ユーザのパーソナルページの Web アドレスが挿入される位置を定義します。
@@@personaladmin@@@	新規登録ユーザのパーソナル管理ページの Web アドレスが挿入される位置を定義します。
@@@user_activation@@@	新規登録ユーザのスケジュール済み有効化日時が挿入される位置を定義します。
@@@user_notification@@@	新規登録ユーザのスケジュール済み有効期限通知日時が挿入される位置を定義します。
@@@user_expiration@@@	新規登録ユーザのスケジュール済み期限切れ日時が挿入される位置を定義します。

7.2.6 ユーザ登録完了ページ

このコンテンツページは、Web サイトビジターが登録ユーザとして正常にサインアップした際に表示されます。

HeartCore Web コンテンツ管理システムの一般的な機能のほか、ユーザ登録完了ページでは、次の特殊コードも併せて使用できます。

@@@email@@@	新規登録ユーザのEメールアドレスが挿入される位置を定義します。
@@@name@@@	新規登録ユーザの氏名が挿入される位置を定義します。
@@@username@@@	新規登録ユーザのユーザ名が挿入される位置を定義します。
@@@password@@@	新規登録ユーザのパスワードが挿入される位置を定義します。
@@@personalpage@@@	新規登録ユーザのパーソナルページの Web アドレスが挿入される位置を定義します。

@@@personaladmin@@@	新規登録ユーザのパーソナル管理ページの Web アドレスが挿入される位置を定義します。
@@@user_activation@@@	新規登録ユーザのスケジュール済み有効化日時が挿入される位置を定義します。
@@@user_notification@@@	新規登録ユーザのスケジュール済み有効期限通知日時が挿入される位置を定義します。
@@@user_expiration@@@	新規登録ユーザのスケジュール済み期限切れ日時が挿入される位置を定義します。

7.2.7 Web サイト設定

登録ユーザにユーザ登録確認 E メールを送信するには、ユーザ登録確認 E メールページが「Web サイト設定」－「特殊ページ」として設定されている必要があります。「設定」－「システム」－「Web サイト」メニュー項目リンクを選択し、次に Web サイト設定管理ページから「特殊ページ」タブを選択し、ユーザ登録確認ページをユーザ登録確認 E メールに設定します。

登録ユーザを管理する Web サイト管理者に登録通知 E メールを送信するには、ユーザ登録通知 E メールページが「Web サイト設定」－「特殊ページ」として設定されている必要があります。「設定」－「システム」－「Web サイト」メニュー項目リンクを選択し、次に Web サイト設定管理ページから「特殊ページ」タブを選択し、ユーザ登録通知ページをユーザ登録通知 E メールに設定します。

7.3 パーソナルページと管理

ユーザ登録では、登録ユーザのパーソナルページを作成することができます。登録ユーザはパーソナルページを、ビジネスカード Web ページとして使用したり、パーソナルコンテンツにアクセスするために使用したりすることができます。

登録ユーザはまた、パーソナルページのコンテンツの更新や、パーソナルコンテンツの設定、個人情報の更新などに、パーソナルページ管理を使用することができます。

デフォルトのパーソナルページアプリケーションは、いくつかのコンテンツページより構成されます。

- パーソナルページ**
 登録ユーザのパーソナルページ。パーソナルビジネスカードとして使用したり、パーソナルコンテンツにアクセスするために使用します。
- パーソナルページ管理**
 登録ユーザがパーソナルページの更新や、パーソナルコンテンツの設定、個人情報の更新に使用する、コンテンツページ。
- パーソナルページコンテンツ**
 登録ユーザがパーソナルページのコンテンツを更新するために使用する、コンテンツページ。
- パーソナルページ設定**
 登録ユーザがパーソナルコンテンツの設定を選択する際に使用する、コンテンツページ。

- 個人情報
登録ユーザが個人情報を更新する際に使用する、コンテンツページ。

パーソナルページアプリケーションで必要な Web サイト設定並びに、パーソナルページのコンテンツページ詳細については、次のセクションをご参照ください。

7.3.1 パーソナルページテンプレート

新規登録ユーザのパーソナルページを作成するためにコピーされる、コンテンツページです。このコンテンツページは、登録ユーザのパーソナルページの初期コンテンツを定義します。詳細は、7.2.3 パーソナルページのテンプレートページをご参照ください。 .

7.3.2 パーソナルページ

パーソナルページのコンテンツページは、ユーザ登録によって作成されます。登録ユーザやその他の Web サイトビジターは、登録ユーザのパーソナルページに次の Web アドレスを使ってアクセスできます。“<http://www.yourcompany.com/personal/?username>” “username” は登録ユーザのユーザ名と置き換えます。

パーソナルページには、登録ユーザがパーソナルコンテンツ設定で選択した追加のパーソナルコンテンツエレメントや、パーソナルビジネスカードとして使用される登録ユーザ独自のコンテンツを表示することができます。

7.3.3 パーソナルページ管理

登録ユーザは、パーソナルページ管理メインページから、その他のパーソナルページ管理ページにアクセスできます。詳しくは、以下の各セクションで説明します。

登録ユーザは、Web アドレス“<http://www.yourcompany.com/personal/admin.aspx>” から、パーソナルページ管理へアクセスできます。パーソナルページ管理へアクセスするには、登録ユーザの個人ユーザ名とパスワードが必要です。

パーソナルページ管理やその他のパーソナル管理ページは、通常のページで使用される“/page.asp?id=1”の代わりに、“/personal/admin.asp?id=1”などを使用して表示される必要がありますのでご注意ください。

HeartCore Web コンテンツ管理システムの一般的な機能のほか、パーソナルページ管理ページでは、次の特殊コードも併せて使用できます。

@@@personal_email@@@	登録ユーザのEメールアドレスが挿入される位置を定義します。
@@@personal_salutation@@@	登録ユーザのタイトルが挿入される位置を定義します。
@@@personal_name@@@	登録ユーザの氏名が挿入される位置を定義します。
@@@personal_username@@@	登録ユーザのユーザ名が挿入される位置を定義します。
@@@personal_password@@@	登録ユーザのパスワードが挿入される位置を定義します。
@@@personal_organisation@@@	登録ユーザの組織が挿入される位置を定義します。
@@@personal_gender@@@	登録ユーザの性別が挿入される位置を定義します。

Page 137 of 230



@@@personal_delivery_email@@@	登録ユーザの配送先／勤務先の E メールアドレスが挿入される位置を定義します。
@@@personal_delivery_website@@@	登録ユーザの配送先／勤務先の Web サイトが挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_name@@@	登録ユーザの請求先／自宅の名前が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_organisation@@@	登録ユーザの請求先／自宅の組織が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_address@@@	登録ユーザの請求先／自宅の住所が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_postalcode@@@	登録ユーザの請求先／自宅の郵便番号が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_city@@@	登録ユーザの請求先／自宅の市町村が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_state@@@	登録ユーザの請求先／自宅の都道府県が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_country@@@	登録ユーザの請求先／自宅の国名が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_phone@@@	登録ユーザの請求先／自宅の電話番号が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_fax@@@	登録ユーザの請求先／自宅のファックス番号が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_email@@@	登録ユーザの請求先／自宅の E メールアドレスが挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_website@@@	登録ユーザの請求先／自宅の Web サイトが挿入される位置を定義します。

7.3.4 パーソナルページコンテンツ

登録ユーザは、パーソナルページコンテンツ管理を使用して、パーソナルページのコンテンツを更新することができます。

登録ユーザは、各自のパーソナルページのタイトルやプライマリコンテンツを編集したり、パーソナルページで使用するテンプレートやスタイルシートを選択したりすることができます。

HeartCore Web コンテンツ管理システムの一般的な機能のほか、パーソナルページコンテンツページでは、次の特殊コードも併せて使用できます。

@@@personal_email@@@	登録ユーザの E メールアドレスが挿入される位置を定義します。
@@@personal_name@@@	登録ユーザの氏名が挿入される位置を定義します。
@@@personal_username@@@	登録ユーザのユーザ名が挿入される位置を定義します。
@@@personal_password@@@	登録ユーザのパスワードが挿入される位置を定義します。



@@@personal_title@@@	登録ユーザのパーソナルページのタイトルが挿入される位置を定義します。
@@@personal_content@@@	登録ユーザのパーソナルページの編集可能なコンテンツが挿入される位置を定義します。
@@@personal_template_options@@@	登録ユーザのパーソナルページテンプレートオプションが挿入される位置を定義します。または、選択可能なテンプレートオプションを制限するため、手動でテンプレートオプションリストを作成することもできます。この FORM 入力名は、“template”である必要があります。
@@@personal_stylesheet_options@@@	登録ユーザのパーソナルページスタイルシートオプションが挿入される位置を定義します。または、選択可能なスタイルシートオプションを制限するため、手動でスタイルシートオプションリストを作成することもできます。この FORM 入力名は、“stylesheet”である必要があります。

基本的な必須及びオプションな FORM フィールドは、次のとおりです。

<FORM action=/personal/admin.aspx method=post>	Web ページフォームの開始を定義します。パーソナルページコンテンツ FORM データは、“/personal/admin.aspx” プログラムへポストされる必要があります（Web コンテンツ管理システムのプログラム言語バージョンに応じて、aspx, jsp, php を使用）。
<INPUT type=hidden name=contentclass value=page>	コンテンツがページであることを示す、隠しフィールドを定義します。
<INPUT type=hidden name=publish value=yes>	コンテンツが保存と同時に公開されるようにするための隠しフィールドを定義します。
<INPUT type=text name=title value=@@@personal_title@@@>	パーソナルページタイトルを入力するためのテキスト入力フィールドを定義します。
<SELECT name=template> </SELECT>	パーソナルページテンプレートを選択するための、選択リスト入力フィールドを定義します。この入力フィールドは、特殊コード @@@personal_template_options@@@ により、自動的に生成されます。
<SELECT name=stylesheet> </SELECT>	パーソナルページスタイルシートを選択するための、選択リスト入力フィールドを定義します。この入力フィールド

	ドは、特殊コード @@@personal_stylesheet_options@@@ により、自動的に生成されます。
<TEXTAREA name=content> </TEXTAREA>	パーソナルページコンテンツを入力するためのテキスト入力フィールドを定義します。この入力フィールドは、特殊コード@@@personal_content@@@により、自動的に生成されます。
<INPUT type=button value=Preview onClick="doPreview(this.form)">	パーソナルページコンテンツをプレビューする、Preview というボタンを表示します。
<INPUT type=submit value=Save>	入力データを送信する、Save というボタンを表示します。
</FORM>	Web ページフォームの終了を定義します。

7.3.5 パーソナルページ設定

登録ユーザは、パーソナルページ設定管理を使用して、パーソナルコンテンツ設定を選択することができます。

登録ユーザは、好みのコンテンツページ構成要素を追加で選択することができます。選択された追加コンテンツページ構成要素は、登録ユーザのパーソナルページで使用されます。

登録ユーザが選択可能な追加コンテンツページ構成要素は、定義することが可能です。

登録ユーザは、各自のパーソナルページのタイトルやプライマリコンテンツを編集したり、使用するテンプレートやスタイルシートを選択したりすることができます。

HeartCore Web コンテンツ管理システムの一般的な機能のほか、パーソナルページ設定管理ページでは、次の特殊コードも併せて使用できます。

@@@personal_email@@@	登録ユーザのEメールアドレスが挿入される位置を定義します。
@@@personal_name@@@	登録ユーザの氏名が挿入される位置を定義します。
@@@personal_username@@@	登録ユーザのユーザ名が挿入される位置を定義します。
@@@personal_password@@@	登録ユーザのパスワードが挿入される位置を定義します。
@@@personal_banner_options@@@	登録ユーザのパーソナルページの“banner”構成要素オプションが挿入される位置を定義します。または、選択可能な構成要素を制限するため、手動で構成要素オプションリストを作成することもできます。この FORM 入力名は、“personal_banner_content”である必要があります。
@@@personal_logo_options@@@	登録ユーザのパーソナルページの“logo”構成要素オプションが挿入される位置を定義します。または、選択可能な構成要素を制限するため、手動



	で構成要素オプションリストを作成することもできます。この FORM 入力名は、“personal_logo_content” である必要があります。
@@@personal_menu_options@@@	登録ユーザのパーソナルページの“menu” 構成要素オプションが挿入される位置を定義します。または、選択可能な構成要素を制限するため、手動で構成要素オプションリストを作成することもできます。この FORM 入力名は、“personal_menu_content” である必要があります。
@@@personal_news_options@@@	登録ユーザのパーソナルページの“news” 構成要素オプションが挿入される位置を定義します。または、選択可能な構成要素を制限するため、手動で構成要素オプションリストを作成することもできます。この FORM 入力名は、“personal_news_content” である必要があります。
@@@personal_toolbar_options@@@	登録ユーザのパーソナルページの“toolbar” オプションが挿入される位置を定義します。または、選択可能な構成要素を制限するため、手動で構成要素オプションリストを作成することもできます。この FORM 入力名は、“personal_toolbar_content” である必要があります。
@@@personal_xxxxx_options@@@	同様に、任意に定義されたクラス／構成要素に対しても、特殊コードを使用することができます。“xxxxx” を、任意のコンテンツクラス／構成要素名と置き換えて、登録ユーザのパーソナルページの構成要素オプションが挿入される位置を定義します。または、選択可能な構成要素を制限するため、手動で構成要素オプションリストを作成することもできます。この FORM 入力名は、“personal_xxxxx_content” である必要があります。“xxxxx” は任意のコンテンツクラス／構成要素名で置き換えます。

基本的な必須及びオプションの FORM フィールドは次のとおりです。

<FORM action=/personal/admin.aspx method=post>	Web ページフォームの開始を定義します。パーソナルページ設定 FORM データは、“/personal/admin.aspx” プログラムへポストされる必要があります (Web
---	---

	コンテンツ管理システムのプログラム言語バージョンに応じて、aspx, jsp, php を使用)。
<INPUT type=hidden name=contentclass value=page>	コンテンツがページであることを示す、隠しフィールドを定義します。
<INPUT type=hidden name=publish value=yes>	コンテンツが保存と同時に公開されるようにするための隠しフィールドを定義します。
<SELECT name=personal_xxxxx_content> </SELECT>	パーソナルページ追加コンテンツ構成要素を選択するための、選択リスト入力フィールドを定義します。この入力フィールドは、前述のように、特殊コード@@@personal_xxxxx_options@@@により、自動的に生成されます。
<INPUT type=button value=Preview onClick="doPreview(this.form)">	パーソナルページコンテンツをプレビューする、Preview というボタンを表示します。
<INPUT type=submit value=Save>	入力データを送信する、Save というボタンを表示します。
</FORM>	Web ページフォームの終了を定義します。

7.3.6 個人情報

登録ユーザは、個人情報管理ページを使って、登録済みの個人情報を編集することができます。

登録ユーザは、パーソナルE メールアドレス、氏名、ユーザ名、パスワードを編集することができます。

HeartCore Web コンテンツ管理システムの一般的な機能のほか、個人情報ページでは、次の特殊コードも併せて使用できます。

@@@personal_email@@@	登録ユーザのE メールアドレスが挿入される位置を定義します。
@@@personal_salutation@@@	登録ユーザのタイトルが挿入される位置を定義します。
@@@personal_name@@@	登録ユーザの氏名が挿入される位置を定義します。
@@@personal_username@@@	登録ユーザのユーザ名が挿入される位置を定義します。
@@@personal_password@@@	登録ユーザのパスワードが挿入される位置を定義します。
@@@personal_organisation@@@	登録ユーザの組織が挿入される位置を定義します。
@@@personal_gender@@@	登録ユーザの性別（データベースコード）が挿入される位置を定義します。
@@@personal_gender_text@@@	登録ユーザの性別（テキスト）が挿入される位置を定義します。
@@@personal_birthdate@@@	登録ユーザの誕生年月日が挿入される位置を定義します。

Page 143 of 230



@@@personal_delivery_website@@@	登録ユーザの配送先／勤務先の Web サイトが挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_name@@@	登録ユーザの請求先／自宅の名前が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_organisation@@@	登録ユーザの請求先／自宅の組織が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_address@@@	登録ユーザの請求先／自宅の住所が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_postalcode@@@	登録ユーザの請求先／自宅の郵便番号が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_city@@@	登録ユーザの請求先／自宅の市町村が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_state@@@	登録ユーザの請求先／自宅の都道府県が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_country@@@	登録ユーザの請求先／自宅の国名が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_phone@@@	登録ユーザの請求先／自宅の電話番号が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_fax@@@	登録ユーザの請求先／自宅のファックス番号が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_email@@@	登録ユーザの請求先／自宅の E メールアドレスが挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_website@@@	登録ユーザの請求先／自宅の Web サイトが挿入される位置を定義します。
@@@error@@@	ポストされた登録ユーザのパーソナル詳細に対するエラーメッセージ（パスワードエラー）が挿入される位置を定義します。

基本的な必須及びオプションの FORM フィールドは、次のとおりです。

<FORM action="/personal/admin.aspx" method="post">	Web ページフォームの開始を定義します。個人情報 FORM データは、"/personal/admin.asp" プログラム へポストされる必要があります。
<INPUT type="text" name="email" value="@@@personal_email@@@">	個人の E メールアドレスを入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="salutation" value="@@@personal_salutation@@@">	個人のタイトルを入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="name" value="@@@personal_name@@@">	個人の名前を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="username" value="@@@personal_username@@@">	個人のユーザ名を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="password" value="@@@personal_password@@@">	個人のパスワードを入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="organisation" value="@@@personal_organisation@@@">	個人の組織を入力するテキスト入力フィールドを定義します。



<INPUT type="text" name="gender" value="@@@personal_gender@@@">	個人の性別を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="birthdate" value="@@@personal_birthdate@@@">	個人の誕生年月日を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="birthyear" value="@@@personal_birthyear@@@">	個人の誕生年を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="birthmonth" value="@@@personal_birthmonth@@@">	個人の誕生月を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="birthday" value="@@@personal_birthday@@@">	個人の誕生日を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="card_type" value="@@@personal_card_type@@@">	個人のカードタイプを入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="card_number" value="@@@personal_card_number@@@">	個人のカード番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="card_issuedmonth" value="@@@personal_card_issuedmonth@@@">	個人のカード発行月を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="card_issuedyear" value="@@@personal_card_issuedyear@@@">	個人のカード発行年を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="card_expirymonth" value="@@@personal_card_expirymonth@@@">	個人のカード有効期限月を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="card_expiryyear" value="@@@personal_card_expiryyear@@@">	個人のカード有効期限年を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="card_name" value="@@@personal_card_name@@@">	個人のカードの名前を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="card_cvc" value="@@@personal_card_cvc@@@">	個人のカード CVC コードを入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="card_issue" value="@@@personal_card_issue@@@">	個人のカード発行番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="card_postalcode" value="@@@personal_card_postalcode@@@">	個人のカード郵便番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="delivery_name" value="@@@personal_delivery_name@@@">	個人の配送先／勤務先の名前を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="delivery_organisation" value="@@@personal_delivery_organisation@@@">	個人の配送先／勤務先の組織を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="delivery_address" value="@@@personal_delivery_address@@@">	個人の配送先／勤務先の住所を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="delivery_postalcode" value="@@@personal_delivery_postalcode@@@">	個人の配送先／勤務先の郵便番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="delivery_city" value="@@@personal_delivery_city@@@">	個人の配送先／勤務先の市町村名を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="delivery_state" value="@@@personal_delivery_state@@@">	個人の配送先／勤務先の都道府県名を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type="text" name="delivery_country" value="@@@personal_delivery_country@@@">	個人の配送先／勤務先の国名を入力するテキスト入力フィールドを定義します。



<code><INPUT type="text" name="delivery_phone" value="@@"@personal_delivery_phone@@"></code>	個人の配送先／勤務先の電話番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<code><INPUT type="text" name="delivery_fax" value="@@"@personal_delivery_fax@@"></code>	個人の配送先／勤務先のファックス番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<code><INPUT type="text" name="delivery_email" value="@@"@personal_delivery_email@@"></code>	個人の配送先／勤務先の E メールを入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<code><INPUT type="text" name="delivery_website" value="@@"@personal_delivery_website@@"></code>	個人の配送先／勤務先の Web サイトを入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<code><INPUT type="text" name="invoice_name" value="@@"@personal_invoice_name@@"></code>	個人の請求先／自宅の名前を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<code><INPUT type="text" name="invoice_organisation" value="@@"@personal_invoice_organisation@@"></code>	個人の請求先／自宅の組織を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<code><INPUT type="text" name="invoice_address" value="@@"@personal_invoice_address@@"></code>	個人の請求先／自宅の住所を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<code><INPUT type="text" name="invoice_postalcode" value="@@"@personal_invoice_postalcode@@"></code>	個人の請求先／自宅の郵便番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<code><INPUT type="text" name="invoice_city" value="@@"@personal_invoice_city@@"></code>	個人の請求先／自宅の市町村名を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<code><INPUT type="text" name="invoice_state" value="@@"@personal_invoice_state@@"></code>	個人の請求先／自宅の都道府県名を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<code><INPUT type="text" name="invoice_country" value="@@"@personal_invoice_country@@"></code>	個人の請求先／自宅の国名を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<code><INPUT type="text" name="invoice_phone" value="@@"@personal_invoice_phone@@"></code>	個人の請求先／自宅の電話番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<code><INPUT type="text" name="invoice_fax" value="@@"@personal_invoice_fax@@"></code>	個人の請求先／自宅のファックス番号を入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<code><INPUT type="text" name="invoice_email" value="@@"@personal_invoice_email@@"></code>	個人の請求先／自宅の E メールを入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<code><INPUT type="text" name="invoice_website" value="@@"@personal_invoice_website@@"></code>	個人の請求先／自宅の Web サイトを入力するテキスト入力フィールドを定義します。
<code><INPUT type="submit" value="Save"></code>	入力データを送信する、Save というボタンを表示します。
<code></FORM></code>	Web ページフォームの終了を定義します。

7.3.7 Web サイト設定

登録ユーザがパーソナルページ管理を使用できるようにするには、パーソナルページ管理ページが「Web サイト設定」－「特殊ページ」として設定されている必要があります。「設定」－

「システム」－「ウェブサイト」メニュー項目リンクを選択し、次に Web サイト設定管理ページから「特殊ページ」タブを選択し、パーソナルページ管理ページをデフォルトパーソナル管理ページに設定します。

7.4 ユーザグループ／タイプ入会

Web サイト管理者は登録済みユーザを、Web サイトに設定されている様々な ユーザタイプ／グループに割り当てることができます。しかし、ユーザ自身が手動でユーザタイプ／グループへから入会、退会できるように、Web ページやEメールに「入会する」、「退会する」リンクを追加したい場合があります。例えば、Eメールニュースレターに使用されるユーザタイプ／グループに入会したり退会したりする場合などです。

登録ユーザがユーザタイプ／グループに入会、退会できるようにするには、そのユーザタイプ／グループのアクセス制限が、入会を許可するよう設定されている必要があります。詳しくは、「設定ガイド」をご確認下さい。

7.4.1 ユーザグループ／タイプへ入会

Web サイトユーザが入会できるアクセス権限のあるユーザグループ／タイプが設定されている場合、Web サイトユーザは特別なサブスクリプションリンクを使って入会することができます。

```
/subscribe.aspx?usergroup=Newsletter  
/subscribe.jsp?usergroup=Newsletter  
/subscribe.php?usergroup=Newsletter
```

```
/subscribe.aspx?usertype=Job+Seeker  
/subscribe.jsp?usertype=Job+Seeker  
/subscribe.php?usertype=Job+Seeker
```

Web サイトユーザは、“Newsletter”というユーザグループと“Job Seeker”というユーザタイプに入会します。

デフォルトでは、ユーザは入会后、デフォルトの Web サイトホームページにリダイレクトされます。しかしながら、別の Web ページへリダイレクトさせるよう“redirect”パラメータを、サブスクリプションリンクへ追加することも可能です。例：

```
/subscribe.aspx?usergroup=Newsletter&redirect=%2Fpage.aspx%3Fid%3D123  
/subscribe.jsp?usergroup=Newsletter&redirect=%2Fpage.jsp%3Fid%3D123  
/subscribe.php?usergroup=Newsletter&redirect=%2Fpage.php%3Fid%3D123
```

```
/subscribe.aspx?usertype=Job+Seeker&redirect=%2Fpage.aspx%3Fid%3D123  
/subscribe.jsp?usertype=Job+Seeker&redirect=%2Fpage.jsp%3Fid%3D123  
/subscribe.php?usertype=Job+Seeker&redirect=%2Fpage.php%3Fid%3D123
```

“123”は、表示されるページのページ ID です。

7.4.2 ユーザグループ／タイプからの退会

Web サイトユーザが入会できるアクセス権限のあるユーザグループ／タイプが設定されている場合、Web サイトユーザは特別なアンサブスクリプションリンクを使って退会することができます。

```
/unsubscribe.aspx?usergroup=Newsletter  
/unsubscribe.jsp?usergroup=Newsletter  
/unsubscribe.php?usergroup=Newsletter
```

```
/unsubscribe.aspx?usertype=Job+Seeker
/unsubscribe.jsp?usertype=Job+Seeker
/unsubscribe.php?usertype=Job+Seeker
```

Web サイトユーザは、“Newsletter”というユーザグループと“Job Seeker”というユーザタイプから退会します。

デフォルトでは、ユーザは退会后、デフォルトの Web サイトホームページにリダイレクトされます。しかしながら、別の Web ページへリダイレクトさせるよう“redirect”パラメータを、アンサブスクライプリンクへ追加することも可能です。例：

```
/unsubscribe.aspx?usergroup=Newsletter&redirect=%2Fpage.aspx%3Fid%3D123
/unsubscribe.jsp?usergroup=Newsletter&redirect=%2Fpage.jsp%3Fid%3D123
/unsubscribe.php?usergroup=Newsletter&redirect=%2Fpage.php%3Fid%3D123

/unsubscribe.aspx?usertype=Job+Seeker&redirect=%2Fpage.aspx%3Fid%3D123
/unsubscribe.jsp?usertype=Job+Seeker&redirect=%2Fpage.jsp%3Fid%3D123
/unsubscribe.php?usertype=Job+Seeker&redirect=%2Fpage.php%3Fid%3D123
```

“123”は、表示されるページのページ ID です。

7.4.3 コンテンツエディター入会・退会へのハイパーリンク挿入

コミュニティ追加モジュールはさらに、Web コンテンツエディタのハイパーリンク挿入ダイアログウィンドウにユーザグループとユーザタイプのセクションを追加します。“サブスクライブ”アクセス制限付きのユーザグループ／タイプへの「入会する」「退会する」リンクを表示するには、「ユーザグループ」「ユーザタイプ」セクションを選択します。

7.5 ユーザ投稿コンテンツ

特別 HTML FORM Web ページを通して、Web サイトビジターは Web サイトへコンテンツを投稿するためのアクセスができます。この機能は、HeartCoreWeb コンテンツ管理システムに含まれるさまざまな Web サイト機能モジュールにより使用されます。そのなかのいくつかは後続するセクションで説明があります。この機能は、お使いの独自の Web アプリケーションを作成するためにも使用できます。@@@include:.....@@@ や、@@@list:.....@@@の特別コードと組み合わせれば、現実的なプログラミングなしでも、かなり高度な Web アプリケーションを作成することが可能です。以下は、基本的な必須条件と任意の FORM フィールドです。

<pre><FORM action=/post.aspx?id=123 method=post></pre>	Web ページフォームの始まりを定義します。フォームデータは“/post.aspx”プログラムへ投稿されます。 “id=123”のパラメータは、ユーザ投稿コンテンツに対して新しいコンテンツを作成するためにコピーされる既存のコンテンツ項目の ID となります。指定のコンテンツ項目がちゃんと存在し、Web サイトビジターが指定コンテンツ項目に対しての「作成」のアクセス権限を持っていない場合があります。そうでない場
--	--

	合、投稿されたコンテンツは単に無視されてしまいます。（Web コンテンツ管理システムのプログラム言語バージョンに応じて、aspx, jsp, php を使用）
<INPUT type=text name=subject>	“subject”という名前のテキスト入力フィールドを定義します。
<textarea name=message> </textarea>	“message”という名前のテキスト入力フィールドを定義します。
<INPUT type=hidden name=publish value=yes>	新しいユーザ投稿コンテンツ項目が自動的に公開されることを定義します。Web サイトビジターは、指定の既存コンテンツ項目（上記）に対して「公開」のアクセス権限を持っている必要があります。そうでない場合は、新しいユーザ投稿コンテンツ項目は公開されません。
<INPUT type=hidden name=ready_to_publish value=yes>	ユーザ投稿コンテンツを管理する責任のある Web サイト管理者へ、E メール通知が送られることを定義します。
<INPUT type=hidden name=email_template value=456>	ユーザ投稿コンテンツを管理する責任のある Web サイト管理者へ、E メール通知をする際に使用するコンテンツページを定義します。“value=456”パラメータは、Weblog—投稿されたコメント：コンテンツページの ID です。
<INPUT type=hidden name=redirect value=/page.aspx?id=789>	新しいユーザ投稿コンテンツが投稿された後、再度、指定のコンテンツページを表示することを定義します。 リダイレクト値の URL が “=” で終わる場合、作成されたコンテンツ項目の ID は自動的に URL へ付加されます。例えば： “name=redirect value=/page.aspx?id=”

	は、新しいユーザ投稿コンテンツ項目を表示します。
<INPUT type=submit value=Post>	入力されたデータを送信する、ボタンの投稿を表示します。
</FORM>	Web ページフォームの終わりを定義します。

そのようなユーザ投稿コンテンツ HTML FORM が投稿されると、Web コンテンツ管理システムは、コピーされた既存コンテンツ項目内で、特別コードと、対応する名前の HTML FORM 入力フィールドに入力されたデータを置き換えます。例えば、コピーされた既存コンテンツ項目の“Title”と“Content”属性にある“@@@subject@@@”と“@@@message@@@”の特別コードは、ユーザが“subject”と“message”という名前の HTML FORM 入力フィールドに入力したものと置き換わります。

任意で、Web サイトビジターは、新しいユーザ投稿コンテンツ項目への“添付物”として、ファイルを Web サイトにアップロードすることができます：

<INPUT type=file name=ATTRIBUTENAME>	“ATTRIBUTENAME”という名前のファイルアップロード入力フィールドで、Web サイトビジターがローカルコンピュータからファイルを選択し、お使いの Web サイトへアップロードできることを定義します。 アップロードされたファイルが、設定された有効イメージフォーマット、もしくはファイルフォーマットの場合は、アップロードされたファイルは新しいイメージ、またはファイルコンテンツ項目としてメディアライブラリに追加され、お使いの特別コンテンツデータベース属性／フィールドは、そのコンテンツ項目に設定されます。 新規のユーザ投稿イメージ／ファイルのコンテンツ項目のコンテンツ依存関係ページアップ属性は、上記で説明されたメインのユーザ投稿コンテンツ項目を指します。この方法で、メインのユーザ投稿コンテンツ項目と最終的なユーザ投稿イメージ／ファイルのコンテンツ項目は、“@@@list:.....@@@”特別コード等とリンクされることが可能です。 ファイルアップロード入力フィールド名(“ATTRIBUTENAME”)が、“image1”, “image2”, “image3”, “file1”, “file2” または “file3”であった場合、メインのユーザ投稿コンテンツ項目の対応している追加コンテンツ－Image 1 / Image 2 /
---	--

	Image 3 / File 1 / File 2 / File 3 の属性は、新しいユーザ投稿イメージ／ファイルコンテンツ項目を指します。
<INPUT type=hidden name=ATTRIBUTENAME_id value="12345">	アップロードされたファイルへ追加された新しいコンテンツ項目が、ID“12345”で既存コンテンツ項目のコピーとして作成されることを定義します。この入力フィールドは必須であり、指定のコンテンツ項目が存在している必要があります、Web サイトビジターは「作成」のアクセス権限と、任意で「公開」のアクセス権限を、指定のコンテンツに対して持っていなければなりません。そうでない場合は、アップロードされたファイルは単に無視されてしまいます。
<INPUT type=text name=ATTRIBUTENAME_title value="">	アップロードされたファイルに対して、Web サイトビジターがタイトルを入力するための入力フィールドを定義します。この入力フィールドは任意です。この入力フィールドが使われなかった場合、もしくは Web サイトビジターがタイトルを入力しなかった場合は、コンテンツ項目のタイトルはアップロードされたファイルの名前となります。
<INPUT type=hidden name=ATTRIBUTENAME_folder value="FOLDERNAME">	アップロードしたファイルに追加された新しいコンテンツ項目は、指定した“FOLDERNAME”フォルダにコピーされます。この入力フィールドは任意です。この入力フィールドが使われなかった場合、もしくは指定したフォルダが存在しない、あるいは Web コンテンツ管理システムにて使用されているフォルダである場合、アップロードしたファイルはデフォルトのイメージ／ファイルフォルダへコピーされます。

7.5.1.1 コンテンツの条件付き投稿

任意ではありますが、指定の基準を満たしている投稿コンテンツだけを受諾したい場合があります。無効の投稿コンテンツは単に無視されるか、もしくは投稿コンテンツが無効の場合は、Web サイトユーザを指定の Web ページにリダイレクトすることができます。

この条件付き投稿機能は、投稿コンテンツが「等しい」あるいは「等しくない」かの簡単な認証のためのものです。さらに高度なコンテンツ承認機能の詳細については、次のセクションを参照して下さい。

<INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME1> <INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME2> <INPUT type=hidden name=if	2つの入力された属性アドレスが同じ場合にのみ、投稿コンテンツは受
--	----------------------------------



<pre>value="###ATTRIBUTENAME1###=###ATTRIBUTENAME2###"></pre>	諾されることを定義します。例えば、入力された E-mail アドレスを認証するために使います。
<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME1> <INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME2> <INPUT type=hidden name=if value="###ATTRIBUTENAME1###!=###ATTRIBUTENAME2###"></pre>	2つの入力された属性が異なっている場合にのみ、投稿コンテンツは受諾されることを定義します。("!=").
<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME1> <INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME2> <INPUT type=hidden name=if value="###ATTRIBUTENAME1###"=###ATTRIBUTENAME2###"> <INPUT type=hidden name=if value="###ATTRIBUTENAME1###!="> <INPUT type=hidden name=if value="###ATTRIBUTENAME2###!="></pre>	2つの入力された属性が同じで、そして空白でない場合にのみ投稿コンテンツは受諾されることを定義します。例えば、入力された E-mail アドレスを認証するために使います。
<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME1> <INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME2> <INPUT type=hidden name=if value="###ATTRIBUTENAME1###=###ATTRIBUTENAME2###"> <INPUT type=hidden name= redirect_invalid value=/page.jsp?id=123></pre>	2つの入力された属性アドレスが同じ場合にのみ、投稿コンテンツは受諾されることを定義します。例えば、入力された E-mail アドレスを認証するために使います。 そうでない場合は、Web サイトユーザが指定の「redirect_invalid」の Web サイトアドレスにリダイレクトされます。無効の属性名を表示する追加パラメータが、自動的に指定 Web サイトアドレスに付加されます。例えば、「/page.jsp?id=123&invalid=ATTRIBUTENAME1,ATTRIBUTENAME2」など。これは、Web サイトユーザにどの投稿コンテンツが無効かを知らせるために使われます。
<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME1> <INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME2> <INPUT type=hidden name=if value="###ATTRIBUTENAME1###=###ATTRIBUTENAME2###"> <INPUT type=hidden name= redirect_invalid value=/page.jsp?id=123&ATTRIBUTENAME1=##ATTRIBUTENAME1##&ATTRIBUTENAME2=##ATTRIBUTENAME2##></pre>	2つの入力された属性アドレスが同じ場合にのみ投稿コンテンツは受諾されることを定義します。例えば、入力された E-mail アドレスを認証するために使います。 そうでない場合は、Web サイトユーザが指定の「redirect_invalid」の Web サイトアドレスにリダイレクトされます。投稿コンテンツはリダイレクトの Web ページへ移動されます。リダイレクトの Web ページアドレスは、「##ATTRIBUTENAME1##」と「##ATTRIBUTENAME2##」の「#」

	文字が2つの特別コードのみを、通常の「###ATTRIBUTENAME1###」と「###ATTRIBUTENAME2###」の「#」が3つついている特別コードの代わりに使いますので、注意してください。
--	---

7.5.1.2 投稿コンテンツの承認

任意ではありますが、指定の基準を満たしている投稿コンテンツだけを承認したい場合があります。無効の投稿コンテンツは単に無視されるか、もしくは投稿されたコンテンツが無効の場合は、Webサイトユーザを指定のWebページにリダイレクトすることができます。

<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME1> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME1 value="text"> <INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME2> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME2 value="text"> <INPUT type=hidden name= redirect_invalid value=/page.jsp?id=123></pre>	いくつかのテキスト文字／番号が2つの属性に対して入力された場合にのみ、投稿コンテンツは承認される事を定義します。そうでない場合は、Webサイトユーザが指定の「redirect_invalid」のWebサイトアドレスにリダイレクトされます。無効の属性名を表示する追加パラメータが、自動的に指定Webサイトアドレスに付加されます。例えば、「/page.jsp?id=123&invalid=ATTRIBUTENAME1,ATTRIBUTENAME2」など。これは、Webサイトユーザにどの送信コンテンツが無効かを知らせるために使われます。
<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME1> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME1 value="text"> <INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME2> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME2 value="text"> <INPUT type=hidden name= redirect_invalid value=/page.jsp?id=123&ATTRIBUTENAM E1=##ATTRIBUTENAME1##&ATTRIBUT ENAME2=##ATTRIBUTENAME2##></pre>	いくつかのテキスト文字／番号が2つの属性に対して入力された場合にのみ、送信コンテンツは承認される事を定義します。そうでない場合は、Webサイトユーザが指定の「redirect_invalid」のWebサイトアドレスにリダイレクトされます。送信コンテンツはリダイレクトのWebページへ移動されます。リダイレクトのWebページアドレスは、「##ATTRIBUTENAME1##」と「##ATTRIBUTENAME2##」の「#」文字が2つの特別コードのみを、通常の「###ATTRIBUTENAME1###」と「###ATTRIBUTENAME2###」の「#」が3つついている特別コードの代わりに使いますので、注意してください。
<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME value="number"></pre>	送信投稿された「ATTRIBUTENAME」コンテンツが数字であることを定義します。
<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME</pre>	送信投稿された「ATTRIBUTENAME」コンテンツが日付／時間のフォーマットであることを定義します。（“yyyy-mm-dd

Page 154 of 230

<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME value="date<@@@now:format= YYYY-MM- DD@@@">☐</pre>	送信投稿された「ATTRIBUTENAME」コ ンテンツが過去における日付であることを 定義します。
--	--

8 データベース追加モジュール

HeartCore Web コンテンツ管理システムの全てのコンテンツはデータベースに格納されますが、データベース追加モジュールを使用すると、一般的な Web サイトコンテンツページとして表示、管理するには適さない構造化されたコンテンツ用に、追加の特殊コンテンツデータベースを作成することができます。

異なるデータのタイプ用に、いくつもの特殊コンテンツデータベースを定義し、データベース内のコンテンツにいくつもの属性／フィールドを定義することができます。特殊コンテンツは、その他のコンテンツ項目（ページ、イメージ、ファイルなど）への参照をはじめ、簡易テキスト、HTML テキスト、数字、日付、選択オプション、ラジオボタン、チェックボックス、ユーザ名やEメールアドレスなど様々なタイプのデータを保持することができます。

特殊コンテンツデータベースを使用して、Web サイトビジターはデータベース内のコンテンツを閲覧、検索することができます。コンテンツデータベースの各個別の属性／フィールドを検索することが可能です。特殊コンテンツデータベースがどのように検索、表示されるかは、HeartCore Web コンテンツ管理システムの一般的なコンテンツ管理機能や、いくつかのシンプルな特殊コードを使って、自由にカスタマイズ可能です。

特殊コンテンツデータベースは、Web サイトビジターからデータを収集する際にも使用できます。Web ページフォームを作成し、ここから送信されるデータを特殊コンテンツデータベースへ格納し、特殊コンテンツデータベース管理者に通知Eメールを送信することができます。

8.1 特殊フォーム

特殊コンテンツデータベースは、Web コンテンツ管理システムを通して、Web サイト管理者が単に管理の目的で使用することもあります。しかし、通常は、特殊コンテンツデータベースは、Web サイトのコンテンツとして使われます。

特殊コンテンツデータベースのデータを検索、表示させるための特別な Web サイトページを作成することができます。Web サイトビジターからデータを収集し、そのデータを特殊コンテンツデータベースに送信するための、特殊 Web サイトフォームを作成することもできます。最後に、特殊コンテンツデータベースのデータは、Web サイトコンテンツや商品ページで使用することもできます。例えば、一般的な Web コンテンツ管理システムの基本的なコンテンツ/商品属性への付加情報として使用できます。

8.1.1 データベースコンテンツの検索及び表示

一般的な Web サイトコンテンツが検索、表示されるように、特殊データベースコンテンツデータも検索、表示することができます。

- Web ページフォームを使って、ユーザは、検索するデータを入力できます。
- 一致するデータ項目を一覧表示した検索結果ページがユーザに表示されます。
- 検索結果ページでは、一覧の各データ項目は特殊検索結果エントリページとして表示されます。
- 検索結果ページでは、一覧の各データ項目は、そのデータ項目のフル詳細を表示する Web ページにリンクすることができます。

8.1.1.1 検索フォーム

特殊コンテンツデータベースのデータ属性／フィールドを検索するために、入力フィールドが一つのシンプルで一般的な検索フォームを作成することができます。または、検索フォームは、特殊コンテンツデータベースの特定のデータ属性／フィールドを検索するため、複数の入力フィールドを持つこともできます。

シンプルで一般的な検索フォームでは、Web サイトビジターが検索条件を入力する検索入力フィールドと、検索するデータベースを定義します。シンプルな検索フォーム例の HTML コードと、それぞれの HTML コードの意味を下記に説明します。

<FORM action=/search.aspx method=get>	Web サイトを検索する、HeartCore Web コンテンツ管理スクリプト／プログラムの Web アドレスを定義します（Web コンテンツ管理システムのプログラム言語バージョンに応じて、aspx, jsp, php を使用）。
<INPUT type=hidden name=database value=DATABASENAME>	どの特殊コンテンツデータベースを検索するかを定義します。 "DATABASENAME" は、検索対象の特殊コンテンツデータベースの正確な名前を指定します。
Search:	"Search:" というテキストを表示します。
<INPUT size=20 name=search>	Web サイトビジターが"Search"という 20 文字幅のテキスト入力フィールドにテキストを入力できることを定義します。これが検索クエリとなり、特殊コンテンツデータベースの全てのデータ属性／フィールドを検索するのに使用されます。
<INPUT type=submit value=Go>	Web サイトビジターが検索フォームを送信するために選択する"Go"というテキストのついたボタンを定義します。
</FORM>	検索フォームの終了を定義します。

検索フォームには、必ず "database" 入力フィールドと、Web サイトの検索に使用される検索クエリとなる "search" 入力フィールドが必要です。

または、もしくは追加で、検索フォームには、特殊コンテンツデータベースの特定のデータ属性／フィールドを検索できるよう、複数の入力フィールドを含むことができます。これらの入力フィールドには、テキスト入力フィールド、選択リスト、ラジオボタンあるいはチェックボックスが使用できます。

<INPUT size=20 name=ATTRIBUTENAME>	Web サイトビジターは、20 文字幅のテキスト入力フィールドにテキストを入力し、特殊コンテンツデータベースの "ATTRIBUTENAME" という名前のデータ属性／フィールドを検索します。
------------------------------------	--

	"ATTRIBUTENAME" には、特殊コンテンツデータベース属性／フィールドの正確な名前を指定します。
--	---

オプションとして、検索結果が表示される際の表示順序を指定するための追加入力フィールドを含めることも可能です。

<INPUT type=hidden name=order value=ATTRIBUTENAME>	検索結果の順序を定義します。 "ATTRIBUTENAME" には、ソートに使用される特殊コンテンツデータベース属性／フィールドの正確な名前を指定します
--	---

デフォルトでは、検索結果は“デフォルト検索結果ページ”及び“デフォルト検索結果エントリ”でデータベースに設定したように、デフォルト検索結果ページを使用して表示されます。

もしくは、検索結果ページ及び／または検索結果エントリを、検索フォームの一部として使用するよう、隠し入力フィールドを追加して定義することができます。

<FORM action=/search.aspx method=get>	Web サイトを検索する HeartCore Web コンテンツ管理スクリプト／プログラムの Web アドレスを定義します (Web コンテンツ管理システムのプログラム言語バージョンに応じて、aspx, jsp, php を使用)。
<INPUT type=hidden name=id value=VALUE>	検索結果を表示するために使用される“検索結果ページ”コンテンツページを定義します。“VALUE”は、使用される“検索結果ページ”コンテンツページの id 番号で置き換えます。
<INPUT type=hidden name=searchresult value=VALUE>	各検索結果エントリを表示するために使用される“検索結果エントリ”コンテンツページを定義します。“VALUE”は、使用される“検索結果エントリ”コンテンツページの id 番号で置き換えます。
Search:	“Search:”というテキストを表示します。
<INPUT size=20 name=search>	Web サイトビジターが“Search”という 20 文字幅のテキスト入力フィールドにテキストを入力できることを定義します。これが検索クエリとなります。
<INPUT type=submit value=Go>	Web サイトビジターが検索フォームを送信するために選択する“Go”というテキストのついたボタンを定義します。
</FORM>	検索フォームの終了を定義します。

これらの特殊な HTML コードを追加／編集する他、ビジュアル Web コンテンツエディタを使用してその他のコンテンツの追加や、アレンジ、また他のコンテンツのように入力フィールドを

追加することができます。特殊な HTML コードを削除しないよう気を付けて、全ての INPUT コードを必ず FORM コードの間に置いて下さい。

8.1.1.2 検索結果ページ

Web サイトには、Web サイトビジターが Web サイトを検索したときに、検索結果を表示するための“検索結果ページ”コンテンツページが必要です。

このページは、コンテンツテンプレートで使用されるようなシンプルな特殊コードを含む点を除いては、他の一般的なページと同じように作成されます。

<code>@@@searchresults@@@</code>	実際の検索結果が挿入される位置を定義します。
<code>@@@list:searchresults:limit=NUMBER@@@</code>	実際の検索結果が挿入される場所を定義します。検索に合致した検索結果が、指定した件数のみ表示されます。詳しくは、 □ コンテンツ項目のリスト をご参照ください。
<code>@@@list:searchresults:limit=NUMBER:start=NAME@@@</code>	実際の検索結果が挿入される場所を定義します。検索に合致した検索結果が、指定した件数のみ表示されます。オプションの“previous”および“next”特殊コードを併用することで、検索結果リストをブラウジングすることが可能になります。詳しくは、 □ コンテンツ項目のリスト をご参照ください。
<code>@@@previous:NAME:text=TEXT@@@</code>	ブラウジング可能な検索結果リストにおいて、前の検索結果を表示するためのリンクを定義します。詳しくは、 □ コンテンツ項目のリスト をご参照ください。
<code>@@@next:NAME:text=TEXT@@@</code>	ブラウジング可能な検索結果リストにおいて、次の検索結果を表示するためのリンクを定義します。詳しくは、 □ コンテンツ項目のリスト をご参照ください。

これらの特殊な HTML コードを追加／編集する他、ビジュアル Web コンテンツエディタを使用してその他のコンテンツの追加や、アレンジ、また他のコンテンツのように特殊コードを追加することができます。

8.1.1.3 検索結果エントリ

Web サイトには、Web サイトビジターが Web サイトを検索したときに、検索結果を表示するための“検索結果エントリ”コンテンツページが必要です。“検索結果エントリ”コンテンツページは、Web サイトビジターの検索クエリに一致するデータ項目に対し繰り返し適用され、各検索結果エントリのどの情報をどのように表示するかを定義します。

このページは、コンテンツテンプレートで使用されるようなシンプルな特殊コードを含む点を除いては、他の一般的なページと同じように作成されます。

@@@id@@@	各検索結果エントリのデータ項目“id”が挿入される位置を定義します。通常は、検索結果データページへのハイパーリンクを生成するために使用します。
@@@ATTRIBUTENAME@@@	各検索結果エントリの“ATTRIBUTENAME”というデータ項目／フィールドが挿入される位置を定義します。“ATTRIBUTENAME”は、挿入する特殊コンテンツデータベース属性／フィールドの正確な名前を指定します。 複数の値が選択可能なデータ属性／フィールドについては、この特殊コードは選択された全ての値を“ ”区切りで表示します。 ひとつあるいは複数の Web コンテンツ管理システムコンテンツ項目が選択されたデータ属性／フィールドについては、コンテンツ項目 ID が表示されます。
@@@ATTRIBUTENAME.br@@@	複数の値が選択可能なデータ属性／フィールドについては、この特殊コードは選択された全ての値を HTML の BR タグで囲んで表示します。
@@@ATTRIBUTENAME.text@@@	複数の値が選択可能なデータ属性／フィールドについては、この特殊コードは、選択された全ての値を単純な改行区切りで表示します。 テキスト/HTML を使用したデータ属性については、この特殊コードは BR および P タグのデータを、単純な改行で置換して表示します。（例えば HTML FORM TEXTAREA 入力フィールドのデータ編集など。）
@@@ATTRIBUTENAME.script@@@	テキスト/HTML を使用したデータ属性／フィールドについては、この特殊コードは、BR および P タグのデータを、Javascrrip エンコード／エスケープした改行で置換して表示します。（例えば Web コンテンツエディタ入力フィールドのデータを編集する場合。）
@@@ATTRIBUTENAME.html@@@	テキスト/HTML を使用したデータ属性／フィールドについては、この特殊コードは、HTML エンコードされた特殊文字でデータを表示します。（例えば HTML FORM 入力フィールドでデータを編集する場合。）

@@@ATTRIBUTENAME.p@@@	複数の値が選択可能なデータ属性／フィールドについては、この特殊コードは、選択された全ての値を HTML の P タグで囲んで表示します。
@@@ATTRIBUTENAME.div@@@	複数の値が選択可能なデータ属性／フィールドについては、この特殊コードは、選択された全ての値を HTML の DIV タグで囲んで表示します。
@@@ATTRIBUTENAME.titles@@@	ひとつあるいは複数の Web コンテンツ管理システムコンテンツ項目が選択されたデータ属性／フィールドについては、コンテンツ項目のタイトルが表示されます。
@@@ATTRIBUTENAME.links@@@	ひとつあるいは複数の Web コンテンツ管理システムコンテンツ項目が選択されたデータ属性／フィールドについては、コンテンツ項目のタイトルがハイパーリンクと共に表示されます。
@@@ATTRIBUTENAME.select@@@	複数のオプションが定義されたデータ属性／フィールドについては、これらのデータ属性／フィールドのオプションセレクトボックスが表示されます。
@@@ATTRIBUTENAME.radio@@@	複数のオプションが定義されたデータ属性／フィールドについては、これらのデータ属性／フィールドのオプションのラジオボタンが表示されます。
@@@ATTRIBUTENAME.checkbox@@@	複数のオプションが定義されたデータ属性／フィールドについては、これらのデータ属性／フィールドのオプションのチェックボックスが表示されます。

最後に、各データ項目の全てのデータ属性／フィールドを表示するため、各データ項目にハイパーリンクを作成することも可能です。データ項目に Web ページを表示させるためのハイパーリンクは、次の通りです。

/data.asp?database=DATABASENAME&id=@@@id@@@

"DATABASENAME" には、表示するデータ項目の特殊コンテンツデータベースの正確な名前を指定します。

これらの特殊な HTML コードを追加／編集する他、ビジュアル Web コンテンツエディタを使用してその他のコンテンツの追加や、アレンジ、また他のコンテンツのように特殊コードを追加することができます。

8.1.1.4 データ閲覧ページ

特殊コンテンツデータベースの一つのデータ項目を閲覧するための、特別な Web サイトページを使用することができます。データ項目の Web ページを表示させるためのハイパーリンクは、次の通りです。

/data.asp?database=DATABASENAME&id=ID

"DATABASENAME" には、特殊コンテンツデータベースの正確な名前を指定し、“ID” は表示するデータ項目の id（特殊コンテンツデータベースのコンテンツデータベース管理インデックスページに表示されています）を指定します。

特殊コンテンツデータベースのデータ項目は、特殊コンテンツデータベースに設定された “デフォルトデータ閲覧ページ” を使用して表示されます。“デフォルトデータ閲覧ページ” は、特殊コンテンツデータベースデータ項目を表示するための特殊コードを含みます。使用される特殊コードは、“デフォルト検索結果エントリ” で使用されるものと同じものです。詳細は 8.1.1.3 検索結果エントリを参照ください。

8.1.2 データベースコンテンツのポスト

Web ページコンタクトフォーム等が、Web サイトビジターからデータを収集し、E メール送信するように、Web ページコンテンツフォーム等も、特殊コンテンツデータベースにデータをポストすることができます。

例えば、オンライン予約フォームを使って Web サイトビジターからオンライン予約リクエストを受け付け、この予約リクエストを特殊コンテンツデータベースに格納することができます。予約の確認などのために、特殊コンテンツデータベースを更新することもできます。もしくは、個人的な問い合わせのための Q&A データベースを作成し、Web サイトビジターと返信をやりとりすることができます。

シンプルな予約フォーム例の HTML コードと、それぞれの HTML コードの意味を以下に説明します。

<FORM action=/post.aspx method=post>	Web フォームを Web コンテンツ管理システムにポストする HeartCore Web コンテンツ管理スクリプト/プログラムの Web アドレスを定義します (Web コンテンツ管理システムのプログラム言語バージョンに応じて、aspx, jsp, php を使用)。
<INPUT type=hidden name=database value=DATABASENAME>	データを送信する特殊コンテンツデータベースを定義します。 "DATABASENAME" は、特殊コンテンツデータベースの正確な名前を指定します。
Message:	テキスト“Message:”を表示します。
<INPUT size=20 name=ATTRIBUTENAME>	Web サイトビジターが “ATTRIBUTENAME”という 20 文字幅のテキスト入力フィールドにテキストを入力できることを定義します。特殊コンテンツデータベースに同じ名前のデータ属性/フィールドがある場合は、ポストされたデータは特殊コンテンツデータベースに追加されます。
<INPUT type=submit value=Post>	Web サイトビジターがフォームをポストするために選択する、“Post” というテキストのついたボタンを定義します。



<INPUT type=hidden name=redirect value=/page.asp?id=123>	データフォームが送信されると、Web ページ "/page.asp?id=123" が表示されることを定義します。 もしリダイレクト値 URL が“=”で終わっている場合は、作成されたデータ項目 id が自動的に URL へ付与されます。
</FORM>	データフォームの終了を定義します。

データフォームには、必ず“database”入力フィールドと、ひとつまたはそれ以上のデータ属性／フィールド入力フィールドが必要です。特殊コンテンツデータベースの異なるデータ属性／フィールドに対し、任意の数とタイプの入力フィールドを含むことができます。

PHP バージョンのみ: 複数の値（複数選択、ラジオボタン、チェックボックス）用のデータフォーム入力フィールドは正常に動作するために、例えば"ATTRIBUTENAME[]"のように、名前にカギ括弧が必要です。さもないと、選択された値のうち一つしか Web サーバに送信されず、特殊コンテンツデータベースに格納されません。

オプションとして、ポストされたデータを特殊コンテンツデータベース管理者に E メール送信することも可能です。

<INPUT type=hidden name=email_notification value=yes>	データフォームがポストされた際に、特殊コンテンツデータベース Web サイト管理者に通知 E メールを送信することを定義します。
<INPUT type=hidden name=email_template value=12345>	データフォームがポストされると、id が“12345”のコンテンツ項目が特殊コンテンツデータベース Web サイト管理者に E メール送信されることを定義します。@@@ATTRIBUTENAME@@@ のような E メールテンプレート内の特殊コードは、ポストされたデータに置き換えられます。

任意で、特別コンテンツデータベースが“イメージ”や“ファイル”属性／フィールドを持っていれば、Web サイトビジターは Web サイトへファイルをアップロードするためのアクセスが可能となります。

<INPUT type=file name=ATTRIBUTENAME>	Web サイトビジターがローカルコンピュータからファイルを選択し、“ATTRIBUTENAME”という名前のファイルアップロード入力フィールドで Web サイトへアップロードできます。特別コンテンツデータベースが、正確な名前でデータ属性／フィールドを含んでいる場合、そしてアップロードされたファイルが定義済みの有効なイメージフォーマットかもしくはファイルフォーマットである場合、アップロードされたファイルは、新しい“イメージ”もしくは“ファイル”コンテンツ項目としてメディアライブラリに追加され、特別コンテンツデータベース属性
--------------------------------------	---

	／フィールドが、そのコンテンツ項目に設定されます。
<INPUT type=hidden name=ATTRIBUTENAME_id value="123">	アップロードされたファイルへ追加された新しいコンテンツ項目は、既存コンテンツ項目のコピーとして、id“123”で作成されることを定義します。この入力フィールドは必須であり、指定のコンテンツ項目が存在する必要がある、Web サイトビジターは“作成”の権限を指定のコンテンツ項目に対して持っている必要があります。そうでない場合は、アップロードされたファイルは単に無視されます。
<INPUT type=text name=ATTRIBUTENAME_title value="">	Web サイトビジターがアップロードされたファイルに対して、タイトルを入力する入力フィールドを定義します。この入力フィールドは任意です。この入力フィールドが使用されていない場合、もしくは Web サイトビジターがタイトルを入力しない場合は、コンテンツ項目のタイトルはアップロードされたファイル名になります。

8.1.2.1 データベースコンテンツの条件付きの投稿

任意ではありますが、指定の基準を満たしている投稿コンテンツだけを受諾したい場合があります。無効の投稿コンテンツは単に無視されるか、もしくは投稿コンテンツが無効の場合は、Web サイトユーザを指定の Web ページにリダイレクトすることができます。

この条件つき投稿機能は、投稿コンテンツが「等しい」あるいは「等しくない」かの簡単な認証のためのものです。さらに高度なコンテンツ承認機能の詳細については、次のセクションを参照して下さい。

<INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME1> <INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME2> <INPUT type=hidden name=if value="###ATTRIBUTENAME1###=###ATTRIBUTENAME2###">	2つの入力された属性アドレスが同じ場合にのみ、投稿コンテンツは受諾されることを定義します。例えば、入力された E-mail アドレスを認証するために使います。
<INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME1> <INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME2> <INPUT type=hidden name=if value="###ATTRIBUTENAME1###!=###ATTRIBUTENAME2###">	2つの入力された属性が異なっている場合にのみ、投稿コンテンツは受諾されることを定義します。 (“!=").
<INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME1> <INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME2> <INPUT type=hidden name=if value="###ATTRIBUTENAME1###"=###ATTRIBUTENAME2###"> <INPUT type=hidden name=if	2つの入力された属性が同じで、そして空白でない場合にのみ投稿コンテンツは受諾されることを定義します。例えば、入力された E-mail アドレスを認証するために使います。

<pre>value="###ATTRIBUTENAME1###!="> <INPUT type=hidden name=if value="###ATTRIBUTENAME2###!="></pre>	
<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME1> <INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME2> <INPUT type=hidden name=if value="###ATTRIBUTENAME1###=###AT TRIBUTENAME2###"> <INPUT type=hidden name= redirect_invalid value=/page.jsp?id=123></pre>	2つの入力された属性アドレスが同じ場合にのみ、投稿コンテンツは受諾されることを定義します。例えば、入力された E-mail アドレスを認証するために使います。 そうでない場合は、Web サイトユーザが指定の「redirect_invalid」の Web サイトアドレスにリダイレクトされます。無効の属性名を表示する追加パラメータが、自動的に指定 Web サイトアドレスに付加されます。例えば、「/page.jsp?id=123&invalid=ATTRIBUTENAME1,ATTRIBUTENAME2」など。これは、Web サイトユーザにどの投稿コンテンツが無効かを知らせるために使われます。
<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME1> <INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME2> <INPUT type=hidden name=if value="###ATTRIBUTENAME1###=###AT TRIBUTENAME2###"> <INPUT type=hidden name= redirect_invalid value=/page.jsp?id=123&ATTRIBUTENAM E1=##ATTRIBUTENAME1##&ATTRIBUT ENAME2=##ATTRIBUTENAME2##></pre>	2つの入力された属性アドレスが同じ場合にのみ投稿コンテンツは受諾されることを定義します。例えば、入力された E-mail アドレスを認証するために使います。 そうでない場合は、Web サイトユーザが指定の「redirect_invalid」の Web サイトアドレスにリダイレクトされます。投稿コンテンツはリダイレクトの Web ページへ移動されます。リダイレクトの Web ページアドレスは、「##ATTRIBUTENAME1##」と「## ATTRIBUTENAME2##」の「#」文字が2つの特別コードのみを、通常の「###ATTRIBUTENAME1###」と「###ATTRIBUTENAME2###」の「#」が3つついている特別コードの代わりに使いますので、注意してください。

8.1.2.2 投稿データベースコンテンツの承認

任意ではありますが、指定の基準を満たしている投稿コンテンツだけを承認したい場合があります。無効の投稿コンテンツは単に無視されるか、もしくは投稿されたコンテンツが無効の場合は、Web サイトユーザを指定の Web ページにリダイレクトすることができます。

<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME1> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME1 value="text"> <INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME2> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME2 value="text"> <INPUT type=hidden name= redirect_invalid value=/page.jsp?id=123></pre>	いくつかのテキスト文字／番号が2つの属性に対して入力された場合にのみ、投稿コンテンツは承認される事を定義します。そうでない場合は、Webサイトユーザが指定の「redirect_invalid」のWebサイトアドレスにリダイレクトされます。無効の属性名を表示する追加パラメータが、自動的に指定Webサイトアドレスに付加されます。例えば、「/page.jsp?id=123&invalid=ATTRIBUTENAME1,ATTRIBUTENAME2」など。これは、Webサイトユーザにどの送信コンテンツが無効かを知らせるために使われます。
<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME1> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME1 value="text"> <INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME2> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME2 value="text"> <INPUT type=hidden name= redirect_invalid value=/page.jsp?id=123&ATTRIBUTENAM E1=##ATTRIBUTENAME1##&ATTRIBUT ENAME2=##ATTRIBUTENAME2##></pre>	いくつかのテキスト文字／番号が2つの属性に対して入力された場合にのみ、送信コンテンツは承認される事を定義します。そうでない場合は、Webサイトユーザが指定の「redirect_invalid」のWebサイトアドレスにリダイレクトされます。送信コンテンツはリダイレクトのWebページへ移動されます。リダイレクトのWebページアドレスは、「##ATTRIBUTENAME1##」と「##ATTRIBUTENAME2##」の「#」文字が2つの特別コードのみを、通常の「###ATTRIBUTENAME1###」と「###ATTRIBUTENAME2###」の「#」が3つついている特別コードの代わりに使いますので、注意してください。
<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME value="number"></pre>	送信投稿された「ATTRIBUTENAME」コンテンツが数字であることを定義します。
<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME value="datetime">□ <INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME value="date"></pre>	送信投稿された「ATTRIBUTENAME」コンテンツが日付／時間のフォーマットであることを定義します。（“yyyy-mm-dd HH:MM:SS”） 送信投稿された「ATTRIBUTENAME」コンテンツが日付フォーマットであることを定義します。（“yyyy-mm-dd”）
<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME value="time"></pre>	送信投稿された「ATTRIBUTENAME」コンテンツが時間フォーマットであることを定義します。（“HH:MM:SS”）
<pre><INPUT type=text name= ATTRIBUTENAME> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME value="text!=TEST"></pre>	送信投稿された「ATTRIBUTENAME」コンテンツが「TEST」以外のテキストであることを定義します。

<INPUT type=text name=ATTRIBUTENAME> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME value="number>0">	送信投稿された「ATTRIBUTENAME」コンテンツが正数（0 より大きい数）であることを定義します。
<INPUT type=text name=ATTRIBUTENAME> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME value="number<0">	送信投稿された「ATTRIBUTENAME」コンテンツが、負数（0 より小さい数）であることを定義します。
<INPUT type=text name=ATTRIBUTENAME> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME value="number>=1"> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME value="number<=10">	送信投稿された「ATTRIBUTENAME」コンテンツが、1 から 10 の間の数字であることを定義します。
<INPUT type=text name=ATTRIBUTENAME1> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME1 value="number!=ATTRIBUTENAME2"> <INPUT type=text name=ATTRIBUTENAME2> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME2 value="number!=ATTRIBUTENAME1">	送信投稿された「ATTRIBUTENAME1」と「ATTRIBUTENAME2」コンテンツが、互いに異なった数字であることを定義します。
<INPUT type=text name=ATTRIBUTENAME1> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME1 value="number<ATTRIBUTENAME2"> <INPUT type=text name=ATTRIBUTENAME2> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME2 value="number>ATTRIBUTENAME1">	送信投稿された「ATTRIBUTENAME1」と「ATTRIBUTENAME2」コンテンツが、数字であり、「ATTRIBUTENAME1」は「ATTRIBUTENAME2」より小さい数字であることを定義します。
<INPUT type=text name=ATTRIBUTENAME> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME value="datetime>@@@now:format=YYYY-MM-DD hh:mm:ss@@@">	送信投稿された「ATTRIBUTENAME」コンテンツが、未来における日付／時間であることを定義します。
<INPUT type=text name=ATTRIBUTENAME> <INPUT type=hidden name=validate_ATTRIBUTENAME value="date<@@@now:format= YYYY-MM-DD@@@">□	送信投稿された「ATTRIBUTENAME」コンテンツが過去における日付であることを定義します。

8.2 特殊コード

特殊コンテンツデータベースのデータは、一般的な Web サイトコンテンツ項目が表示されたり挿入されたりするのと同じように、特殊コードを使ってその他の Web サイトページやテンプレートなどに表示したり、挿入することができます。

8.2.1.1 データ項目属性／フィールドの挿入

ひとつのデータ項目のひとつのデータ属性／フィールドは、特殊コード

“@@@include:...@@@” を使用して、その他のコンテンツ項目に挿入することができます。

- @@@include:database=DATABASENAME:id=ID:ATTRIBUTENAME@@@
"DATABASENAME" は特殊コンテンツデータベースの名前と置き換えられます。"ID" は、データ項目の id (コンテンツデータベース管理インデックスページに表示されます) と置き換えられます。そして、"ATTRIBUTENAME" はデータ属性／フィールド名と置き換えられ、指定されたデータ項目属性／フィールドがどこに表示されるかを定義します。
- @@@include:database=DATABASENAME:ATTRIBUTENAME=ATTRIBUTEVALUE:ATTRIBUTENAME2@@@
"DATABASENAME" は特殊コンテンツデータベースの名前で置き換えられます。
"ATTRIBUTENAME" はデータ属性／フィールド名で置き換えられ、"ATTRIBUTEVALUE" は（一意の）データ属性／フィールド値で置き換えられます。そして、
"ATTRIBUTENAME2" はデータ属性／フィールド名で置き換えられ、指定したデータ項目属性／フィールド(ATTRIBUTENAME2) が表示される位置を定義します。表示されるデータ項目は、ATTRIBUTENAME データ属性が ATTRIBUTEVALUE と一致する（1 番目の）データ項目です。

オプションとして、データ挿入はデフォルト以外に、属性名の後にその他のフォーマットパラメータを指定して表示することができます。

@@@include:database=DATABASENAME:id=ID:ATTRIBUTENAME:br@@@	複数の値が選択可能なデータ属性／フィールドについて、この特殊コードは、全ての選択された値を HTML BR タグ区切りで表示します。
@@@include:database=DATABASENAME:id=ID:ATTRIBUTENAME:text@@@	複数の値が選択可能なデータ属性／フィールドについて、この特殊コードは、全ての選択された値を単純な改行区切りで表示します。 Text/HTML を使用したデータ属性については、この特殊コードは、BR および P タグのデータを、単純な改行で置換して表示します。（例えば HTML FORM TEXTAREA 入力フィールドのデータ編集など。）
@@@include:database=DATABASENAME:id=ID:ATTRIBUTENAME:script@@@	Text/HTML を使用したデータ属性／フィールドについては、この特殊コードは、BR および P タグのデータを、Javascript エンコード／エスケープされた改行で置換します。（例えば Web コンテンツエディタ入力フィールドのデータを編集する場合。）
@@@include:database=DATABASENAME:id=ID:ATTRIBUTENAME:html@@@	Text/HTML を使用したデータ属性／フィールドについては、この特殊コードは、データを HTML エンコードされた特殊文字で表示します。（例えば HTML FORM 入力フィールドでデータを編集する場合。）



@@@include:database=DATABASENAME:id=ID:ATTRIBUTENAME:p@@@	複数の値が選択可能なデータ属性／フィールドについては、この特殊コードは選択された全ての値を HTML の P タグで囲んで表示します。
@@@include:database=DATABASENAME:id=ID:ATTRIBUTENAME:div@@@	複数の値が選択可能なデータ属性／フィールドについては、この特殊コードは選択された全ての値を HTML の DIV タグで囲んで表示します。
@@@include:database=DATABASENAME:id=ID:ATTRIBUTENAME.csv@@@	複数の値が選択可能なデータ属性／フィールドについては、この特殊コードは選択された全ての値をカンマ区切りで表示します。
@@@include:database=DATABASENAME:id=ID:ATTRIBUTENAME:titles@@@	ひとつあるいは複数の Web コンテンツ管理システムコンテンツ項目が選択されたデータ属性／フィールドについては、コンテンツ項目のタイトルが表示されます。
@@@include:database=DATABASENAME:id=ID:ATTRIBUTENAME:links@@@	ひとつあるいは複数の Web コンテンツ管理システムコンテンツ項目が選択されたデータ属性／フィールドについては、コンテンツ項目のタイトルがハイパーリンクと共に表示されます。
@@@include:database=DATABASENAME:id=ID:ATTRIBUTENAME:select@@@	複数のオプションが定義されたデータ属性／フィールドについては、これらのデータ属性／フィールドのオプションの選択ボックスが表示されます。
@@@include:database=DATABASENAME:id=ID:ATTRIBUTENAME:radio@@@	複数のオプションが定義されたデータ属性／フィールドについては、これらのデータ属性／フィールドのオプションのラジオボタンが表示されます。
@@@include:database=DATABASENAME:id=ID:ATTRIBUTENAME:checkbox@@@	複数のオプションが定義されたデータ属性／フィールドについては、これらのデータ属性／フィールドのオプションのチェックボックスが表示されます。

オプションとして、データ挿入を条件付きにして、指定された条件が真の場合のみ表示させることができます。データ挿入は、上記のデータ挿入特殊コードの後に最後のパラメータとして “:ifXXX=YYY”（“XXX”と“YYY”をその他の特殊コードかシンプルテキストに置き換えてください）を追加することで、条件を付けることができます。（例：

@@@include:database=DATABASENAME:id=ID:ATTRIBUTENAME:if####id####=@@@では、Web サイトアドレス URL パラメータの id が空白あるいは存在しない場合にデータを表示します。または、@@@include:database=DATABASENAME:id=ID:ATTRIBUTENAME:if####first####=0@@@では、“first”Web サイトアドレス URL パラメータが “0”の時のみデータが表示されます。）

:if:XXX=YYY	XXX と YYY が等しい場合にのみデータ挿入が表示されるよう定義します。
-------------	--

:if:XXX!=YYY	XXX と YYY が異なる場合にのみデータ挿入が表示されるよう定義します。
--------------	--

8.2.1.2 データ項目のリスト

特殊コード"@@@list:...@@"を使って、データ項目の一覧を別のコンテンツ項目に挿入することができます。

@@@list:database=DATABASE@@@	指定された特殊コンテンツデータベース("DATABASE"を特殊コンテンツデータベース名で置き換えます)の全てのデータ項目が挿入される位置を定義します。
------------------------------	--

オプションとして、データー一覧は、データ項目属性／フィールドで昇順または降順にソートすることができます。データー一覧の順番は、":order=ATTRIBUTE"("ATTRIBUTE"をデータ属性／フィールド名で置き換えます) を、上記のデーター一覧特殊コードに追加することで定義します。

:order=ATTRIBUTE	データー一覧が、ATTRIBUTE データ属性／フィールドを使って、アルファベット順／番号順に昇順で表示されるように定義します。
:order=ATTRIBUTE desc	データー一覧が、ATTRIBUTE データ属性／フィールドを使って、アルファベット順／番号順に降順で表示されるように定義します。

特殊コード"@@@list:...@" に、追加パラメータを追加し、ひとつまたはそれ以上のデータ属性／フィールドが特定の値と一致する場合のみ、データー一覧を表示するようにできます。

:ATTRIBUTE=VALUE	指定したデータ項目／フィールド ("ATTRIBUTE" をデータ属性／フィールド名で置き換えます) が、指定した値 ("VALUE"をデータ属性／フィールド値で置き換えます) と一致するデータ項目のみ表示するよう定義します。
:ATTRIBUTE>=VALUE	指定したデータ項目／フィールド ("ATTRIBUTE" をデータ属性／フィールド名で置き換えます) が、指定した値 ("VALUE"をデータ属性／フィールド値で置き換えます) と等しいあるいは指定した値より大きいデータ項目のみ表示するよう定義します。
:ATTRIBUTE<=VALUE	指定したデータ項目／フィールド ("ATTRIBUTE" をデータ属性／フィールド名で置き換えます) が、指定した値 ("VALUE"をデータ属性／フィールド値で置き換えます) と等しいあるい



	は指定した値より小さいデータ項目のみ表示するよう定義します。
:ATTRIBUTE>VALUE	指定したデータ項目／フィールド ("ATTRIBUTE" をデータ属性／フィールド名で置き換えます) が、指定した値 ("VALUE" をデータ属性／フィールド値で置き換えます) より大きいデータ項目のみ表示するよう定義します。
:ATTRIBUTE<VALUE	指定したデータ項目／フィールド ("ATTRIBUTE" をデータ属性／フィールド名で置き換えます) が、指定した値 ("VALUE" をデータ属性／フィールド値で置き換えます) より小さいデータ項目のみ表示するよう定義します。
:ATTRIBUTE in VALUE,VALUE	指定した多値もしくは単一値のデータ項目／フィールド ("ATTRIBUTE" をデータ属性名／フィールド名で置き換えます) の全てが、指定した値 ("VALUE" をデータ属性名／フィールド値で置き換えます。任意の数の値をカンマ区切りで指定できます) のいずれかと合致するデータ項目のみ表示するよう定義します。つまり、指定した ATTRIBUTE の値が、指定した VALUE のサブセットであるデータ項目が対象となります。
:ATTRIBUTE contains VALUE,VALUE	指定した多値もしくは単一値のデータ項目／フィールド ("ATTRIBUTE" をデータ属性名／フィールド名で置き換えます) が、指定した値 ("VALUE" をデータ属性名／フィールド値で置き換えます。任意の数の値をカンマ区切りで指定できます) の全てと合致するデータ項目のみ表示するよう定義します。つまり、指定した ATTRIBUTE の値が、指定した VALUE のスーパーセットであるデータ項目が対象となります。
:ATTRIBUTE intersects VALUE,VALUE	指定した多値もしくは単一値のデータ項目／フィールド ("ATTRIBUTE" をデータ属性名／フィールド名で置き換えます) のいずれかが、指定した値 ("VALUE" をデータ属性名／フィールド値で置き換えます。任意の数の値をカンマ区切りで指定できます) のいずれかと合致するデータ項目のみ表示するよう定義します。つまり、指定した ATTRIBUTE の値が、指定した VALUE と交差するデータ項目が対象となります。

データ属性／フィールドと一致する具体的な値を指定する代わりに、パーソナライズされたデータ一覧を生成するための追加の特殊コードを使用することができます。例えば、Web サイトを通してオンライン予約リクエストを受ける場合、Web サイトユーザにはログインして各自のオンライン予約リクエストを閲覧したり、予約の確認をしたりさせたい場合があります。

`@@@list:database=Bookings:Username=@@@user_username@@@@@`

上記の特殊コードの例では、“Bookings”という名前の特殊コンテンツデータベース内のデータ項目のうち、“Username”という名のデータ属性／フィールドが“createdby”データタイプで、値が現在ログインしている Web サイトユーザのユーザ名のもので表示します。これで、登録済みかつログイン済みの Web サイトユーザは、自分の（自分のもののみ）予約を閲覧することができます。

現在ログインしている Web サイトユーザの情報に一致させるための様々な特殊コードが使用できます。

<code>@@@user_id@@@</code>	現在ログインしているユーザのユーザ id が挿入される位置を定義します。
<code>@@@user_username@@@</code>	現在ログインしているユーザのユーザ名が挿入される位置を定義します。
<code>@@@user_password@@@</code>	現在ログインしているユーザのパスワードが挿入される位置を定義します。
<code>@@@user_email@@@</code>	現在ログインしているユーザの E メールアドレスが挿入される位置を定義します。
<code>@@@user_name@@@</code>	現在ログインしているユーザの名前が挿入される位置を定義します。
<code>@@@user_group@@@</code>	現在ログインしているユーザの優先ユーザグループが挿入される位置を定義します。
<code>@@@user_type@@@</code>	現在ログインしているユーザの優先ユーザタイプが挿入される位置を定義します。
<code>@@@user_groups@@@</code>	現在ログインしているユーザの追加のユーザグループが挿入される位置を定義します。
<code>@@@user_types@@@</code>	現在ログインしているユーザの追加のユーザタイプが挿入される位置を定義します。
<code>@@@user_organisation@@@</code>	現在ログインしているユーザの組織が挿入される位置を定義します。
<code>@@@user_created@@@</code>	現在ログインしているユーザの作成日時が挿入される位置を定義します。
<code>@@@user_updated@@@</code>	現在ログインしているユーザの最終更新日時が挿入される位置を定義します。
<code>@@@user_scheduled_publish@@@</code>	現在ログインしているユーザのスケジュールされた有効化日時が挿入される位置を定義します。



@@@user_scheduled_notify@@@	現在ログインしているユーザのスケジュールされた通知日時が挿入される位置を定義します。
@@@personal_card_type@@@	現在ログインしているユーザのカードタイプが挿入される位置を定義します。
@@@personal_card_number@@@	現在ログインしているユーザのカード番号が挿入される位置を定義します。
@@@personal_card_issuedmonth@@@	現在ログインしているユーザのカード発行月が挿入される位置を定義します。
@@@personal_card_issuedyear@@@	現在ログインしているユーザのカード発行年が挿入される位置を定義します。
@@@personal_card_expirymonth@@@	現在ログインしているユーザのカード失効月が挿入される位置を定義します。
@@@personal_card_expiryyear@@@	現在ログインしているユーザのカード失効年が挿入される位置を定義します。
@@@personal_card_name@@@	現在ログインしているユーザのカードの名前が挿入される位置を定義します。
@@@personal_card_cvc@@@	現在ログインしているユーザのカードの CVC コードが挿入される位置を定義します。
@@@personal_card_issue@@@	現在ログインしているユーザのカード発行コードが挿入される位置を定義します。
@@@personal_card_postalcode@@@	現在ログインしているユーザのカード郵便番号が挿入される位置を定義します。
@@@personal_delivery_name@@@	現在ログインしているユーザの配送先／勤務先の名前が挿入される位置を定義します。
@@@personal_delivery_organisation@@@	現在ログインしているユーザの配送先／勤務先の組織が挿入される位置を定義します。
@@@personal_delivery_address@@@	現在ログインしているユーザの配送先／勤務先の住所が挿入される位置を定義します。
@@@personal_delivery_postalcode@@@	現在ログインしているユーザの配送先／勤務先の郵便番号が挿入される位置を定義します。
@@@personal_delivery_city@@@	現在ログインしているユーザの配送先／勤務先の市町村が挿入される位置を定義します。



@@@personal_delivery_state@@@	現在ログインしているユーザの配送先／勤務先の都道府県が挿入される位置を定義します。
@@@personal_delivery_country@@@	現在ログインしているユーザの配送先／勤務先の国名が挿入される位置を定義します。
@@@personal_delivery_phone@@@	現在ログインしているユーザの配送先／勤務先の電話番号が挿入される位置を定義します。
@@@personal_delivery_fax@@@	現在ログインしているユーザの配送先／勤務先のファックス番号が挿入される位置を定義します。
@@@personal_delivery_email@@@	現在ログインしているユーザの配送先／勤務先の E メールアドレスが挿入される位置を定義します。
@@@personal_delivery_website@@@	現在ログインしているユーザの配送先／勤務先の Web サイトが挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_name@@@	現在ログインしているユーザの請求先／自宅の名前が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_organisation@@@	現在ログインしているユーザの請求先／自宅の組織が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_address@@@	現在ログインしているユーザの請求先／自宅の住所が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_postalcode@@@	現在ログインしているユーザの請求先／自宅の郵便番号が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_city@@@	現在ログインしているユーザの請求先／自宅の市町村が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_state@@@	現在ログインしているユーザの請求先／自宅の都道府県が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_country@@@	現在ログインしているユーザの請求先／自宅の国名が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_phone@@@	現在ログインしているユーザの請求先／自宅の電話番号が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_fax@@@	現在ログインしているユーザの請求先／自宅のファックス番号が挿入される位置を定義します。
@@@personal_invoice_email@@@	現在ログインしているユーザの請求先／自宅の E メールアドレスが挿入される位置を定義します。

@@@personal_invoice_website@@@	現在ログインしているユーザの請求先／自宅の Web サイトが挿入される位置を定義します。
@@@user_notes@@@	現在ログインしているユーザの備考が挿入される位置を定義します。
@@@user_XXXXX@@@	現在ログインしているユーザのカスタムユーザ属性が挿入される位置を定義します。（XXXXX をカスタムユーザ属性名で置き換えてください。）

オプションとして、データ一覧を条件付きにして、指定された条件が真の場合のみ表示させることができます。データ一覧は、上記のデータ一覧特殊コードの後に最後のパラメータとして“:ifXXX=YYY”（“XXX”と“YYY”をその他の特殊コードかシンプルテキストに置き換えてください）を追加することで、条件を付けることができます。（例：
@@@list:database=Bookings;if###id###=@@@では、“id” Web サイトアドレス URL パラメータが空白あるいは存在しない場合にのみ、ブッキングをリスト表示します。）

:if:XXX=YYY	XXX と YYY が等しい場合にのみデータ一覧が表示されるよう定義します。
:if:XXX!=YYY	XXX と YYY が異なる場合にのみデータ一覧が表示されるよう定義します。

デフォルトでは、データ一覧の各データ項目は、特殊コンテンツデータベースに設定された“デフォルト検索結果エントリ”を使って表示されます。

オプションとして、“デフォルト検索結果エントリ”の代わりに、他のあらゆるコンテンツ項目を使用して、データ一覧に含まれる各データ項目を表示することもできます。上記のデータ一覧特殊コードに、“:entry=ID”（“ID”を、コンテンツ項目 id で置き換えます）を追加します。（例：@@@list:database=DATABASE:order=ATTRIBUTE:entry=123@@@）データエントリコンテンツ項目は、データ項目属性／フィールドを表示するための特殊なコードを含む必要があります。詳細は 8.1.1.3 検索結果エントリをご参照ください。

または、コンテンツリストに含まれる各データ項目を単純に表示するには、定義済みの表示フォーマットを使用することができます。これにより、データ項目一覧を表示するためのリストエントリ特殊ページを別途作成する必要がなくなります—Web コンテンツ管理は単に、内蔵された、定義済みのフォーマットを使用します。

:entry=ID	指定された特殊ページ（“ID”をコンテンツ項目 id に置き換えてください）をミニテンプレートとして、各リストデータ項目を表示します。
:entry=ATTRIBUTE.TAG	各リストデータ項目の指定された属性（“ATTRIBUTE”をデータ項目の属性名で置換します）を、指定された HTML タグ（“TAG”を div, p, span, li, th, td または br で置き換えてください。）を使用して、あるいは単に改行（“TAG”を“text”で置換します）して表示します。



:entry=ATTRIBUTE.TAG.CLASS	各リストデータ項目の指定された属性 (“ATTRIBUTE”をデータ項目の属性名で置換します)を、指定された HTML タグ (“TAG”を div, p, span, li, th, td または br で置き換えてください。) と、指定された class 名 (“CLASS”を class 名で置換します) を使用して表示します。
:entry=ATTRIBUTE.link	各リストデータ項目の指定された属性 (“ATTRIBUTE”をデータ項目の属性名で置換します)が、そのデータ項目へのハイパーリンクとして表示されます。
:entry=ATTRIBUTE.link.CLASS	各リストデータ項目の指定された属性 (“ATTRIBUTE”をデータ項目の属性名で置換します)が、指定された class 名 (“CLASS”を class 名で置換します) を使って、そのデータ項目へのハイパーリンクとして表示されます。
:entry=ATTRIBUTE.image	各リストデータ項目の指定された属性 (“ATTRIBUTE”を、イメージ id 値と共にデータ項目属性名で置換します)が、イメージとして表示されます。
:entry=ATTRIBUTE.image.CLASS	各リストデータ項目の指定された属性 (“ATTRIBUTE”を、イメージ id 値と共にデータ項目属性名で置換します)が、指定された class 名 (“CLASS”を class 名で置換します) を使って、イメージとして表示されます。
:entry=ATTRIBUTE.option	OPTION 値とテキストの両方が、指定されたデータ項目の属性値 (“ATTRIBUTE”をデータ項目の属性名で置換します)である場合、各リストデータ項目の指定された属性が、HTML FORM SELECT OPTION タグとして表示されます。
:entry=ATTRIBUTE.option.selected	OPTION 値とテキストの両方が、指定されたデータ項目の属性値 (“ATTRIBUTE”をデータ項目の属性名で置換します)である場合、各リストデータ項目の指定された属性が、HTML FORM SELECT OPTION タグとして表示されます。OPTION は “selected” です。
:entry=ATTRIBUTE.option.selected=VALUE	OPTION 値とテキストの両方が、指定されたデータ項目の属性値 (“ATTRIBUTE”をデータ項目の属性名で置換します)である場合、各リストデータ項目の指定された属性が、HTML FORM SELECT OPTION タグとして表示されます。指定したコンテンツ項目の属性値が、指定した “VALUE” と同じ場合、OPTION は “selected” です (“VALUE”を数字、テキ

	スト、他の特殊コードに置き換えます)。
:entry=VALUEATTRIBUTE.TEXTATTRIBUTE.option	OPTION 値とテキストが、指定されたデータ項目の属性値 (“VALUEATTRIBUTE”と “TEXTATTRIBUTE”をデータ項目の属性名で置換します)である場合、各リストデータ項目の指定された属性が、HTML FORM SELECT OPTION タグとして表示されます。
:entry=VALUEATTRIBUTE.TEXTATTRIBUTE.option.selected	OPTION 値とテキストが、指定されたデータ項目の属性値 (“VALUEATTRIBUTE”と “TEXTATTRIBUTE”をデータ項目の属性名で置換します)である場合、各リストデータ項目の指定された属性が、HTML FORM SELECT OPTION タグとして表示されます。OPTION は “selected”です。
:entry=VALUEATTRIBUTE.TEXTATTRIBUTE.option.selected=VALUE	OPTION 値とテキストが、指定されたデータ項目の属性値 (“VALUEATTRIBUTE”と “TEXTATTRIBUTE”をデータ項目の属性名で置換します)である場合、各リストデータ項目の指定された属性が、HTML FORM SELECT OPTION タグとして表示されます。指定したコンテンツ項目の属性値が、指定した “VALUE”と同じ場合、OPTION は “selected”です (“VALUE”を数字、テキスト、他の特殊コードに置き換えます)。
:entry=ATTRIBUTE.INPUTNAME.checkbox	CHECKBOX 値とテキストの両方が、指定されたデータ項目の属性値 (“ATTRIBUTE”をデータ項目属性名に置き換えます)である場合、各リストデータ項目の指定された属性が、指定したインプット名を使用して HTML FORM CHECKBOX INPUT タグとして表示されます (“INPUTNAME”を HTML FORM INPUT 名と置き換えます)。
:entry=ATTRIBUTE.INPUTNAME.checkbox.checked	CHECKBOX 値とテキストの両方が、指定されたデータ項目の属性値 (“ATTRIBUTE”をデータ項目属性名に置き換えます)である場合、各リストデータ項目の指定された属性が、指定したインプット名を使用して HTML FORM CHECKBOX INPUT タグとして表示されます。 (“INPUTNAME”を HTML FORM INPUT 名と置き換えます) CHECKBOX は “checked”です。



:entry=VALUEATTRIBUTE.TEXTATTRIBUTE.INPUTNAME.checkbox	CHECKBOX 値とテキストの両方が、指定されたデータ項目の属性値 (“VALUEATTRIBUTE”と “TEXTATTRIBUTE”をデータ項目の属性名で置換します)である場合、各リストデータ項目の指定された属性が、指定したインプット名を使用して HTML FORM CHECKBOX INPUT タグとして表示されます (“INPUTNAME”を HTML FORM INPUT 名で置換します)。
:entry=VALUEATTRIBUTE.TEXTATTRIBUTE.INPUTNAME.checkbox.checked	CHECKBOX 値とテキストの両方が、指定されたデータ項目の属性値 (“VALUEATTRIBUTE”と “TEXTATTRIBUTE”をデータ項目の属性名で置換します)である場合、各リストデータ項目の指定された属性が、指定したインプット名を使用して HTML FORM CHECKBOX INPUT タグとして表示されます (“INPUTNAME”を HTML FORM INPUT 名で置換します)。 CHECKBOX は“checked”です。
:entry=ATTRIBUTE.INPUTNAME.radio	RADIO BUTTON 値とテキストの両方が、指定されたデータ項目の属性値 (“ATTRIBUTE”をデータ項目の属性名で置換します)である場合、各リストデータ項目の指定された属性が、指定したインプット名を使用して HTML FORM RADIO BUTTON INPUT タグとして表示されます (“INPUTNAME”を HTML FORM INPUT 名で置換します)。
:entry=ATTRIBUTE.INPUTNAME.radio.checked	RADIO BUTTON 値とテキストの両方が、指定されたデータ項目の属性値 (“ATTRIBUTE”をデータ項目の属性名で置換します)である場合、各リストデータ項目の指定された属性が、指定したインプット名を使用して HTML FORM RADIO BUTTON INPUT タグとして表示されます (“INPUTNAME”を HTML FORM INPUT 名で置換します)。 RADIO BUTTON は“checked”です。
:entry=VALUEATTRIBUTE.TEXTATTRIBUTE.INPUTNAME.radio	RADIO BUTTON 値とテキストが、指定されたデータ項目の属性値 (“VALUEATTRIBUTE”と “TEXTATTRIBUTE”をデータ項目の属性名で置換します)である場合、各リストデータ項目の指定された属性が、指定したインプット名を使用して HTML FORM RADIO BUTTON INPUT タグとして表示されます (“INPUTNAME”を

	HTML FORM INPUT 名で置換します)。
:entry=VALUEATTRIBUTE.TEXTATTRIBUTE.INPUTNAME.radio.checked	RADIO BUTTON 値とテキストが、指定されたデータ項目の属性値 (“VALUEATTRIBUTE”と “TEXTATTRIBUTE”をデータ項目の属性名で置換します)である場合、各リストデータ項目の指定された属性が、指定したインプット名を使用して HTML FORM RADIO BUTTON INPUT タグとして表示されます (“INPUTNAME”を HTML FORM INPUT 名で置換します)。RADIO BUTTON は “checked” です。

8.2.1.3 データ項目の要約

データ項目属性／フィールド値を、総数、合計、平均値、最小値、最大値の形式で要約データを計算し、@@@list:...@@@に似た特殊コードを使用してコンテンツ項目に含めることができます。

@@@count:database=DATABASE@@@	特殊コンテンツデータベース (“DATABASE” を、特殊コンテンツデータベース名で置き換えます)のデータ項目数をカウントし、総数を挿入する位置を定義します。
@@@sum:database=DATABASE :data=ATTRIBUTE@@@	特殊コンテンツデータベース (“DATABASE”を、特殊コンテンツデータベース名で置き換えます)の全ての数値データ属性／フィールド値 (“ATTRIBUTE” をデータ属性／フィールド名で置き換えます)の合計が挿入される位置を定義します。
@@@avg:database=DATABASE :data=ATTRIBUTE@@@	特殊コンテンツデータベース (“DATABASE”を、特殊コンテンツデータベース名で置き換えます)の全ての数値データ属性／フィールド値 (“ATTRIBUTE” をデータ属性／フィールド名で置き換えます)の平均値が挿入される位置を定義します。
@@@min:database=DATABASE :data=ATTRIBUTE@@@	特殊コンテンツデータベース (“DATABASE”を、特殊コンテンツデータベース名で置き換えます)の全ての数値データ属性／フィールド値 (“ATTRIBUTE” をデータ属性／フィールド名で置き換えます)の最小値が挿入される位置を定義します。
@@@max:database=DATABASE :data=ATTRIBUTE@@@	特殊コンテンツデータベース (“DATABASE”を、特殊コンテンツデータベース名で置き換えます)の全ての

	数値データ属性／フィールド値 ("ATTRIBUTE" をデータ属性／フィールド名で置き換えます)の最大値が挿入される位置を定義します。
--	---

特殊コード"@@@count:...@@@", "@@@sum:...@@@", "@@@avg:...@@@", "@@@min:...@@@" and "@@@max:...@@@"に、追加のパラメータを付与することで、ひとつまたは複数のデータ属性／フィールドが指定した値と一致した場合のみ、データを要約することができます。

:ATTRIBUTE=VALUE	指定したデータ属性／フィールド ("ATTRIBUTE" をデータ項目／フィールド名で置き換えます)が、指定した値 ("VALUE" をデータ属性／フィールド値で置き換えます)と等しい場合のみデータ項目を要約するよう定義します。
:ATTRIBUTE>=VALUE	指定したデータ属性／フィールド ("ATTRIBUTE" をデータ項目／フィールド名で置き換えます)が、指定した値 ("VALUE" をデータ属性／フィールド値で置き換えます)より大きい場合のみデータ項目を集計するよう定義します。
:ATTRIBUTE<=VALUE	指定したデータ属性／フィールド ("ATTRIBUTE" をデータ項目／フィールド名で置き換えます)が、指定した値 ("VALUE" をデータ属性／フィールド値で置き換えます)より小さい場合のみデータ項目を集計するよう定義します。
:ATTRIBUTE>VALUE	指定したデータ属性／フィールド ("ATTRIBUTE" をデータ項目／フィールド名で置き換えます)が、指定した値 ("VALUE" をデータ属性／フィールド値で置き換えます)より大きい場合のみデータ項目を集計するよう定義します。
:ATTRIBUTE<VALUE	指定したデータ属性／フィールド ("ATTRIBUTE" をデータ項目／フィールド名で置き換えます)が、指定した値 ("VALUE" をデータ属性／フィールド値で置き換えます)より小さい場合のみデータ項目を集計するよう定義します。
:ATTRIBUTE in VALUE,VALUE	指定したデータ属性／フィールド ("ATTRIBUTE" をデータ項目／フィールド名で置き換えます)が、指定した値 ("VALUE" をデータ属性／フィールド値で置き換えます。コンマ区切りでいくつでも値を指定できます)のいずれかと等しい場合のみデータ項目を集計するよう定義します。

8.3 特殊ページ

Web サイトビジターがコンテンツデータベースのデータを検索したり閲覧したりできよう、特殊ページを各コンテンツデータベースに設定することができます。詳しくは、「設定ガイド」をご参照下さい。

- デフォルトの検索結果ページ
デフォルトとして、データベースの検索結果を表示するページ。検索結果ページは一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳しくは、8.1.1.2 検索結果ページをご参照ください。
- デフォルトの検索結果エントリ
検索結果ページに各検索結果を表示する際に使用されるページ。検索結果エントリは一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳しくは、8.1.1.3 検索結果エントリをご参照ください。
- デフォルトのデータ閲覧ページ
データベースからの完全なデータレコードを表示するためのページ。デフォルトのデータ閲覧ページは一般的なページではなく、データ項目属性／フィールドを表示する特殊なコードを含みます。詳しくは、8.1.1.4 データ閲覧ページをご参照ください。
- カスタム管理ページ
コンテンツデータベースデータ用のデフォルト管理ページに代わって、Web コンテンツ管理システム管理ページとして使用するページ。カスタム管理ページは一般的なページではなく、特殊コードや特別な HTML FORM を含みます。詳しくは、8.3.1 カスタム管理ページをご参照ください。

8.3.1 カスタム管理ページ

デフォルトのコンテンツデータベース管理ページでは、データベースの属性／フィールドは、データベース設定にて定義された順序で一覧表示されます。任意で、カスタム管理ページを設定し、データベース属性／フィールドのコンテンツデータベース管理ページレイアウトを制御することが可能です。さらに、カスタム Javascript プログラムコードを使って、例えば、入力／選択されたデータベース属性／フィールドの値や組み合わせが正しいか検証するといった機能を追加することも可能です。カスタム管理ページは、Web コンテンツ管理システムの一般的なページで、データベース属性／フィールドの位置やフォーマットを定義するための特殊コードを使用します。

「保存」、「新規追加」、「削除」ボタン、およびコンテンツデータベース管理ページ用の HTML FORM タグは自動で生成されます。カスタム管理ページには、コンテンツデータベースデータに対する HTML FORM INPUT フィールド等を必ず含めてください。

- @@@DATANAME@@@
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドの値を出力します。
- @@@DATANAME.input@@@
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドを、HTML INPUT テキストフィールドとして出力します。
- @@@DATANAME.hidden@@@
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドを、HTML INPUT hidden フィールド

ドとして出力します。

- `@@@DATANAME.textarea@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドを、HTML TEXTAREA フィールドとして出力します。
- `@@@DATANAME.webeditor@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドを、HeartCore Web コンテンツエディタ入力フィールドとして出力します。
- `@@@DATANAME.selectmulti@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドを、HTML SELECT（複数）ボックスとして出力します。
- `@@@DATANAME.select@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドを、HTML SELECT（単数）ボックスとして出力します。
- `@@@DATANAME.radio@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドを、HTML INPUT ラジオボタンとして出力します。
- `@@@DATANAME.checkbox@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドを、HTML INPUT チェックボックスとして出力します。
- `@@@DATANAME.csv@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドの値を、カンマ区切りで出力します。
- `@@@DATANAME.br@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドの値を、HTML BR タグ区切りで出力します。
- `@@@DATANAME.p@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドの値を、HTML P タグ区切りで出力します。
- `@@@DATANAME.div@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドの値を、HTML DIV タグ区切りで出力します。
- `@@@DATANAME.text@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドの値を、改行区切りで出力します。
- `@@@DATANAME.titles@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドのコンテンツ項目 id 値を、コンテンツ項目のタイトルとして出力します。
- `@@@DATANAME.links@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドのコンテンツ項目 id 値を、コンテ

ンツ項目のタイトルとして、各コンテンツ項目へのリンクと共に出力します。

- `@@@DATANAME:format=FORMAT@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドの日時値を、指定した FORMAT あで出力します。
- `@@@DATANAME.html@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドの値を、HTML コードとして出力します。（「”」、「<」、「>」は、HTML エンコードされます）
- `@@@DATANAME.script@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドの値を、Javascript コードとして出力します。（「'」と改行は、Javascript エンコードされます）
- `@@@DATANAME.text@@@`
DATANAME という名のデータベース属性／フィールドの値を、テキストとして出力します。（HTML BR タグと P タグは、改行に変換されます）

9 E コマース追加モジュール

HeartCore Web コンテンツ管理システムのE コマース追加モジュールを使うことによってE コマース Web サイトを作成し管理できるようになり、また Web サイトビジターを Web サイトカスタマーへと変えることができます。

Web コンテンツ管理システムの柔軟性とパワーをフル活用して、あらゆる数の商品や商品ページを定義することができます。Web サイトビジターは、Web サイトの他のページと同様に、商品ページを閲覧、検索することができます。

商品価格やその他の商品詳細を簡単に変更したり、既存の商品データベースと同期化させるため、商品詳細情報を HeartCore Web コンテンツ管理システムE コマース追加モジュールに容易にインポート/エクスポートすることができます。

為替交換レートの自動処理によって、どんな通貨も、いくつでも定義でき、商品価格に使用することができます。また、為替交換レートの自動処理を使って、異なるマーケットに対しても現地の各通貨に対応できるよう Web サイトの複数のバージョンを作成することができます。

商品ページを通して、Web サイトカスタマーは欲しい商品をバーチャルな Web サイトショッピングカートに入れることができます。Web サイトのカスタマーは、欲しい商品をすべて選び終えた後、チェックアウトへと進み、支払いや配送や請求内容詳細を入力し、選んだ商品の注文をします。オプションで、Web サイトカスタマーは、PayPal (www.paypal.com) や他の決済サービスプロバイダを通して商品の支払いをクレジット/デビットカードで済ますことも可能です。

それぞれの商品、商品タイプ、商品グループ、注文数、注文総計、配送先国名または県名などの別にしたがって、どのようなタイプの配送料および税金の設定もできます。

注文が完了すると、Web サイトカスタマーに注文確認E メールが送信され、Web サイト注文管理者に、受注通知E メールが送信されます。受領した注文は、受注管理の簡便さのため、またE メール通知のバックアップとして、Web サイトデータベースに保存されます。このことによって、Eメールのトラブルが原因となって、注文が失われることがなくなります。

HeartCore Web コンテンツ管理システム機能を使うことにより、注文確認や受注通知E メールメッセージはじめ、すべての商品やショッピングカート、チェックアウトや注文 Web ページが、フルにカスタマイズ可能です。

9.1 特殊コード

商品ページは、Web コンテンツ管理システム内の通常ページととても類似しており、通常ページで使用される特殊コードはすべて、商品ページでも使用可能です。また、いくつかの追加特殊コードを、商品ページや商品ページのテンプレートへ使用することができます。

9.1.1 商品詳細

商品詳細は Web サイトページに自動的に表示されるわけではありません。Web サイトカスタマーへ自由自在に商品詳細を提供するために、いくつかの特殊なコードを商品のプライマリコンテンツに含める必要があります。

商品ページは、コンテンツテンプレートで使われるような簡単な特殊コードを含むということを除いては、通常のコンテンツページと同様に作成されます。



@@@code@@@	商品注文コードが挿入される場所を定義する。
@@@currency@@@	商品単価の通貨が挿入される場所を定義する。
@@@currencytitle@@@	商品単価の通貨タイトルが挿入される場所を定義する。
@@@price@@@	商品価格を挿入する場所を定義する。 Web サイトもしくはマイクロサイトの設定に応じて表示されます。詳しくは、「設定ガイド」をご参照ください。
@@@price_list@@@	商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_tax@@@	(割引前の) 商品価格に対する税額を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_taxed@@@	(割引前の) 税込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_shipping@@@	(割引前の) 商品価格に対する送料を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_shipped@@@	(割引前の) 送料 (と税) 込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_discount@@@	商品価格に対する割引額を挿入する場所を定義する。
@@@price_discounted@@@	割引適用後の商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_tax@@@	(割引後の) 商品価格に対する税額を挿入する場所を定義する。
@@@price_taxed@@@	(割引後の) 税込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_shipping@@@	(割引後の) 商品価格に対する送料を挿入する場所を定義する。
@@@price_shipped@@@	(割引後の) 送料 (と税) 込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_discount_description@@@	商品価格に対する割引の説明を挿入する場所を定義する。
@@@price_tax_description@@@	商品価格に対する税の説明を挿入する場所を定義する。
@@@price_shipping_description@@@	商品価格に対する送料の説明を挿入する場所を定義する。
@@@stock@@@	商品在庫数量を挿入する場所を定義する。
@@@stockcomment@@@	商品の在庫コメントを挿入する場所を定義する。
@@@stockstatus@@@	商品在庫ステータス (在庫あり、残りわずか、在庫切れ) を挿入する場所を定義する。
@@@weight@@@	商品の重量が挿入される場所を定義する。
@@@volume@@@	商品の分量が挿入される場所を定義する。



@@@width@@@	商品の幅が挿入される場所を定義する。
@@@height@@@	商品の高さが挿入される場所を定義する。
@@@depth@@@	商品の奥行きが挿入される場所を定義する。
@@@brand@@@	商品の銘柄が挿入される場所を定義する。
@@@colour@@@	商品の色が挿入される場所を定義する。
@@@size@@@	商品のサイズが挿入される場所を定義する。
@@@options@@@	商品オプションを入力する場所を定義する。
@@@availability@@@	商品の入手可能かどうかを挿入される場所を定義する。

これらの特別な HTML コードを追加／編集するほかにも、ビジュアル Web コンテンツエディタを使って、他のコンテンツの場合と同様に、コンテンツの追加やアレンジを行なうこともできます。

商品ページはすべての特殊コードを含む必要はありません。そして各特殊コードは繰り返し使用可能です。通常、商品ページは常に @@@currency@@@と @@@price@@@を含んでいます。

これらの特殊コードは、商品ページの代わりに、または商品ページと組み合わせて、コンテンツテンプレートや構成要素でも使用することができます。

9.1.2 カスタム商品詳細

カスタム商品詳細属性は、@@@productinfo_ATTRIBUTE@@@（ATTRIBUTE をカスタム商品詳細属性名と置き換える）特殊コードを使って、プライマリコンテンツ内や他のコンテンツ属性内で表示させることができます。

カスタム商品属性は、@@@list:.....@@@特殊コード内でも使用することが可能です。@@@list:products:productinfo_ATTRIBUTE=VALUE@@@などを使って、指定したカスタム商品詳細属性値を持つコンテンツ項目のみ表示させるようフィルタリングします。また、@@@list:products:order=productinfo_ATTRIBUTE@@@などを使って、カスタム商品詳細属性値によって表示されたコンテンツ項目を順序付けします。

9.1.3 商品の出荷

注文と支払いが正常に行われた際に顧客へ表示またはEメール送信される商品配送ページは、購入した商品の特別なコンテンツを表示するために、プライマリコンテンツにいくつかの追加特殊コードを含みます。

商品配信ページは、コンテンツテンプレートで使用されるような簡単な特殊コードを含むことを除いては、通常のコンテンツページと同様に作成されます：

@@@order_id@@@	注文 id が挿入される場所を定義します。
@@@order_created @@@	注文作成日時が挿入される場所を定義します。



@@@order_created:FORMAT=XXXXX@@@	注文作成日時が、指定された（strftime）フォーマットを使用して挿入される場所を定義します。
@@@order_paid@@@	注文の支払い日時が挿入される場所を定義します。
@@@order_paid:FORMAT=XXXXX@@@	注文の支払い日時が指定された（strftime）フォーマットを使用して挿入される場所を定義します。
@@@order_updated@@@	注文の更新日時が挿入される場所を定義します。
@@@order_updated:FORMAT=XXXXX@@@	注文の更新日時が指定された（strftime）フォーマットを使用して挿入される場所を定義します。
@@@order_closed@@@	注文のクローズ日時が挿入される場所を定義します。
@@@order_closed:FORMAT=XXXXX@@@	注文のクローズ日時が指定された（strftime）フォーマットを使用して挿入される場所を定義します。
@@@user_name@@@	作成されたユーザアカウント（あれば）名が挿入される場所を定義します。
@@@user_email@@@	作成されたユーザアカウント（あれば）のEメールアドレスが挿入される場所を定義します。
@@@user_id@@@	作成されたユーザアカウント（あれば）のIDが挿入される場所を定義します。
@@@user_username@@@	作成されたユーザアカウント（あれば）のユーザ名が挿入される場所を定義します。
@@@user_password@@@	作成されたユーザアカウントの（あれば）パスワードが挿入される場所を定義します。
@@@user_created@@@	作成されたユーザアカウント（あれば）の作成日時が挿入される場所を定義します。
@@@user_created:FORMAT=XXXXX@@@	作成されたユーザアカウント（あれば）の作成日時が、指定された（strftime）フォーマットで挿入される場所を定義します。
@@@user_activation@@@	作成されたユーザアカウント（あれば）の有効化日時が挿入される場所を定義します。
@@@user_activation:FORMAT=XXXXX@@@	作成されたユーザアカウント（あれば）の有効化日時が、指定された（strftime）フォーマットで挿入される場所を定義します。

@@@user_notification@@@	作成されたユーザアカウント（あれば）の通知日時が挿入される場所を定義します。
@@@user_notification:FORMAT=XXXXX@@@	作成されたユーザアカウント（あれば）の通知日時が、指定された（strftime）フォーマットで挿入される場所を定義します。
@@@user_expiration@@@	作成されたユーザアカウント（あれば）の有効期限日時が挿入される場所を定義します。
@@@user_expiration:FORMAT=XXXXX@@@	作成されたユーザアカウント（あれば）の有効期限日時が指定された（strftime）フォーマットで挿入される場所を定義します。
@@@user_XXXXX@@@	カスタムユーザ属性（“XXXXX”をカスタムユーザ属性名で置換してください）が挿入される場所を定義します。
@@@program_output@@@	カスタム拡張プログラムの出力を表示する場所を定義します。

ホスティングエディションの Web コンテンツ管理システムでは、ホスティングクライアント Web サイトの商品配送において、下記の特種コードも使用することができます。

@@@hosting_address@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）のアドレスが挿入される場所を定義します。
@@@hosting_urlrootpath@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）の URL ルートパスが挿入される場所を定義します。
@@@hosting_database@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）のデータベース接続文字列が挿入される場所を定義します。
@@@hosting_username@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）のスーパーアドミンのユーザ名が挿入される場所を定義します。
@@@hosting_password@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）のスーパーアドミンのパスワードが挿入される場所を定義します。
@@@hosting_email@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）のスーパーアドミンの E メールアドレスが挿入される場所を定義します。
@@@hosting_active@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）の有効化日時が挿入される場所を定義します。



@@@hosting_notify@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）の失効通知日時が挿入される場所を定義します。
@@@hosting_expiry@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）の失効日時が挿入される場所を定義します。
@@@hosting_personal@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）のパーソナルエディションソフトウェアライセンスキーが挿入される場所を定義します。
@@@hosting_professional@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）のプロフェッショナルエディションソフトウェアライセンスキーが挿入される場所を定義します。
@@@hosting_enterprise@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）のエンタープライズエディションソフトウェアライセンスキーが挿入される場所を定義します。
@@@hosting_hosting@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）のホスティングエディションソフトウェアライセンスキーが挿入される場所を定義します。
@@@hosting_ecommerce@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）の E コマース追加モジュールソフトウェアライセンスキーが挿入される場所を定義します。
@@@hosting_community@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）のコミュニティ追加モジュールソフトウェアライセンスキーが挿入される場所を定義します。
@@@hosting_database@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）のデータベース追加モジュールソフトウェアライセンスキーが挿入される場所を定義します。
@@@hosting_statistics@@@	作成されたホスティングクライアント Web サイト（あれば）の統計追加モジュールソフトウェアライセンスキーが挿入される場所を定義します。

これらの特殊な HTML コードを追加・編集するほか、ビジュアル Web コンテンツエディタを使用して他のコンテンツ同様に、様々なコンテンツの追加やアレンジをすることができます。

9.1.4 Web サイトカスタマーの注文リスト

コンテンツページ、構成要素、テンプレート、商品は、Web サイトカスタマーの注文をリスト表示させる特殊コードを含むことができます。コンテンツリスト特殊コードは、下記パラメー

タをどれでも組み合わせて使用することが可能です（例えば：
@@@list:orders:createdby=JohnDoe@@@）。また、他の通常のリスト特殊コードパラメータも
使用できます。.

@@@list:orders@@@	全注文のリストが挿入される位置を定義する。ログイン中の Web サイトユーザにアクセス権限がある注文のみ表示される点にご注意下さい。通常の Web サイトユーザには、自身の注文のみ表示されます。設定した注文管理者とスーパーユーザには、全 Web サイトユーザの注文が表示されます。
@@@list:orders:orderitem=ID@@@	全注文のリストが挿入される位置を定義します。各注文アイテムは、指定したコンテンツ項目を使って表示されます（ID をコンテンツ項目 id と置換）。ログイン中の Web サイトユーザにアクセス権限がある注文のみ表示される点にご注意下さい。通常の Web サイトユーザには、自身の注文のみ表示されます。設定した注文管理者とスーパーユーザには、全 Web サイトユーザの注文が表示されます。
@@@list:orders:createdby=USERNAME@@@	指定した Web サイトユーザアカウントの全注文リストが表示される位置を定義します（USERNAME を Web サイトユーザアカウントユーザ名と置換）。ログイン中の Web サイトユーザにアクセス権限がある注文のみ表示される点にご注意下さい。通常の Web サイトユーザには、自身の注文のみ表示されます。設定した注文管理者とスーパーユーザには、全 Web サイトユーザの注文が表示可能です。
@@@list:orders:createdby!=USERNAME@@@	指定した Web サイトユーザアカウントではない全注文リストが挿入される位置を定義します（USERNAME を Web サイトユーザアカウントユーザ名と置換）。ログイン中の Web サイトユーザにアクセス権限がある注文のみ表示される点にご注意下さい。通常の Web サイトユーザには、自身の注文のみ表示されます。設定した注文管理者とスーパーユーザには、全 Web サイトユーザの注文が表示可能です。

9.1.4.1 注文詳細の表示

リストされた各注文を表示するのに使用するコンテンツ項目では、注文詳細を表示させるよう下記の特典コードを使用することができます。

@@@order_id@@@	注文 id が挿入される位置を定義する。
@@@order_created@@@	注文作成日時が挿入される位置を定義する。
@@@order_created_by@@@	注文を作成した（カスタマー）ユーザ名が挿入される位置を定義する。
@@@order_updated@@@	注文更新日時が挿入される位置を定義する。
@@@order_updated_by@@@	注文を更新した（カスタマー）ユーザ名が挿入される位置を定義する。
@@@order_closed@@@	注文クローズ日時が挿入される位置を定義する。
@@@order_closed_by@@@	注文をクローズした（カスタマー）ユーザ名が挿入される位置を定義する。
@@@order_status@@@ @@@status@@@	注文のステータスが表示される位置を定義する。
@@@order_quantity@@@ @@@quantity@@@	注文項目の注文数量合計が挿入される位置を定義する。
@@@order_currencytitle@@@ @@@currencytitle@@@	注文の通貨が挿入される位置を定義する。
@@@order_currency@@@ @@@currency@@@	注文通貨のシンボルが挿入される位置を定義する。
@@@order_subtotal@@@ @@@subtotal@@@	注文の小計が挿入される位置を定義する。
@@@tax_description@@@	注文の税率説明が挿入される位置を定義する。
@@@tax@@@	注文の税額が挿入される位置を定義する。
@@@tax:TEXT@@@	注文の税額がゼロでない場合に、指定したテキストが挿入される位置を定義する。（TEXT を任意のテキストと置換）
@@@shipping_description@@@	注文の送料説明が挿入される位置を定義する。
@@@shipping@@@	注文の送料が挿入される位置を定義する。
@@@shipping:TEXT@@@	送料がゼロでない場合に、指定したテキストが挿入される位置を定義する。（TEXT を任意のテキストと置換）
@@@discount_description@@@	注文の割引説明が挿入される位置を定義する。
@@@discount@@@	注文の割引額が挿入される位置を定義する。



@@@discount:TEXT@@@	注文の割引額がゼロでない場合に、指定したテキストが挿入される位置を定義する。（TEXT を任意のテキストと置換）
@@@total@@@	注文の総額が挿入される位置を定義する。
@@@card_type@@@	カスタマーのカードタイプを挿入する位置を定義する。
@@@card_number@@@	カスタマーのカード番号を挿入する位置を定義する。
@@@card_issuedmonth@@@	カスタマーのカード発行月を挿入する位置を定義する。
@@@card_issuedyear@@@	カスタマーのカード発行年を挿入する位置を定義する。
@@@card_expirymonth@@@	カスタマーのカード失効月が挿入される位置を定義する。
@@@card_expiryyear@@@	カスタマーのカード失効年が挿入される位置を定義する。
@@@card_name@@@	カスタマーのカード名が挿入される位置を定義する。
@@@card_cvc@@@	カスタマーのカード CVC が挿入される位置を定義する。
@@@card_issue@@@	カスタマーのカード発行コードが挿入される位置を定義する。
@@@card_postalcode@@@	カスタマーの郵便番号が挿入される位置を定義する。
@@@delivery_name@@@	カスタマーの配送先／勤務先名が挿入される位置を定義する。
@@@delivery_organisation@@@	カスタマーの配送先／勤務先組織が挿入される位置を定義する。
@@@delivery_address@@@	カスタマーの配送先／勤務先住所が挿入される位置を定義する。
@@@delivery_postalcode@@@	カスタマーの配送先／勤務先郵便番号が挿入される位置を定義する。
@@@delivery_city@@@	カスタマーの配送先／勤務先市町村が挿入される位置を定義する。
@@@delivery_state@@@	カスタマーの配送先／勤務先県名が挿入される位置を定義する。
@@@delivery_country@@@	カスタマーの配送先／勤務先国名が挿入される位置を定義する。
@@@delivery_phone@@@	カスタマーの配送先／勤務先電話番号が挿入される位置を定義する。
@@@delivery_fax@@@	カスタマーの配送先／勤務先 FAX 番号が挿入される位置を定義する。
@@@delivery_email@@@	カスタマーの配送先／勤務先 E メールアドレスが挿入される位置を定義する。



@@@delivery_website@@@	カスタマーの配送先／勤務先 Web サイトアドレスが挿入される位置を定義する。
@@@invoice_name@@@	カスタマーの請求先／自宅名が挿入される位置を定義する。
@@@invoice_organisation@@@	カスタマーの請求先／自宅組織が挿入される位置を定義する。
@@@invoice_address@@@	カスタマーの請求先／自宅住所が挿入される位置を定義する。
@@@invoice_postalcode@@@	カスタマーの請求先／自宅郵便番号が挿入される位置を定義する。
@@@invoice_city@@@	カスタマーの請求先／自宅市町村が挿入される位置を定義する。
@@@invoice_state@@@	カスタマーの請求先／自宅県名が挿入される位置を定義する。
@@@invoice_country@@@	カスタマーの請求先／自宅国名が挿入される位置を定義する。
@@@invoice_phone@@@	カスタマーの請求先／自宅電話番号が挿入される位置を定義する。
@@@invoice_fax@@@	カスタマーの請求先／自宅 FAX 番号が挿入される位置を定義する。
@@@invoice_email@@@	カスタマーの請求先／自宅 E メールアドレスが挿入される位置を定義する。
@@@invoice_website@@@	カスタマーの請求先／自宅 Web サイトアドレスが挿入される位置を定義する。
@@@items@@@	注文の注文アイテムが挿入される位置を定義する。

9.1.4.2 注文アイテム詳細表示

リストされた各注文アイテムを表示するのに使用するコンテンツ項目では、注文アイテム（商品）詳細を表示するよう下記特殊コードを使用することができます。

@@@id@@@	注文アイテム商品の id が挿入される位置を定義する。
@@@class@@@	注文アイテム商品の構成要素クラスが挿入される位置を定義する。
@@@version@@@	注文アイテム商品のコンテンツバージョンが挿入される位置を定義する。
@@@filename@@@	注文アイテム商品のファイル名が挿入される位置を定義する。
@@@title@@@	注文アイテム商品のタイトルが挿入される位置を定義する。
@@@author@@@	注文アイテム商品の作者が挿入される位置を定義する。
@@@keywords@@@	注文アイテム商品のキーワードが挿入される位置を定義する。



@@@description@@@	注文アイテム商品のディスクリプションが挿入される位置を定義する。
@@@image1@@@	注文アイテム商品の image1 コンテンツ項目 id が挿入される位置を定義する。
@@@image2@@@	注文アイテム商品の image2 コンテンツ項目 id が挿入される位置を定義する。
@@@image3@@@	注文アイテム商品の image3 コンテンツ項目 id が挿入される位置を定義する。
@@@file1@@@	注文アイテム商品の file1 コンテンツ項目 id が挿入される位置を定義する。
@@@file2@@@	注文アイテム商品の file2 コンテンツ項目 id が挿入される位置を定義する。
@@@file3@@@	注文アイテム商品の file3 コンテンツ項目 id が挿入される位置を定義する。
@@@link1@@@	注文アイテム商品の link1 コンテンツ項目 id が挿入される位置を定義する。
@@@link2@@@	注文アイテム商品の link2 コンテンツ項目 id が挿入される位置を定義する。
@@@link3@@@	注文アイテム商品の link3 コンテンツ項目 id が挿入される位置を定義する。
@@@code@@@	注文アイテム商品の商品コードが挿入される位置を定義する。
@@@currencytitle@@@	注文アイテム商品の商品通貨名が挿入される位置を定義する。
@@@currency@@@	注文アイテム商品の商品通貨シンボルが挿入される位置を定義する。
@@@price@@@	注文アイテム商品の商品価格が挿入される位置を定義する Web サイトもしくはマイクロサイトの設定に応じて表示されます。詳しくは、「設定ガイド」をご参照ください。
@@@price_list@@@	注文アイテム商品の商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_tax@@@	注文アイテム商品の（割引前の）商品価格に対する税額を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_taxed@@@	注文アイテム商品の（割引前の）税込商品価格を挿入する場所を定義する。



@@@price_list_shipping@@@	注文アイテム商品の（割引前の）商品価格に対する送料を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_shipped@@@	注文アイテム商品の（割引前の）送料（と税）込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_discount@@@	注文アイテム商品の商品価格に対する割引額を挿入する場所を定義する。
@@@price_discounted@@@	注文アイテム商品の割引適用後の商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_tax@@@	注文アイテム商品の（割引後の）商品価格に対する税額を挿入する場所を定義する。
@@@price_taxed@@@	注文アイテム商品の（割引後の）税込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_shipping@@@	注文アイテム商品の（割引後の）商品価格に対する送料を挿入する場所を定義する。
@@@price_shipped@@@	注文アイテム商品の（割引後の）送料（と税）込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_discount_description@@@	注文アイテム商品の商品価格に対する割引の説明を挿入する場所を定義する。
@@@price_tax_description@@@	注文アイテム商品の商品価格に対する税の説明を挿入する場所を定義する。
@@@price_shipping_description@@@	注文アイテム商品の商品価格に対する送料の説明を挿入する場所を定義する。
@@@weight@@@	注文アイテム商品の重さが挿入される位置を定義する。
@@@volume@@@	注文アイテム商品のボリュームが挿入される位置を定義する。
@@@width@@@	注文アイテム商品の幅が挿入される位置を定義する。
@@@height@@@	注文アイテム商品の高さが挿入される位置を定義する。
@@@depth@@@	注文アイテム商品の奥行きが挿入される位置を定義する。
@@@brand@@@	注文アイテム商品の商品銘柄が挿入される場所を定義する。
@@@colour@@@	注文アイテム商品の商品カラーが挿入される場所を定義する。
@@@size@@@	注文アイテム商品の商品サイズが挿入される場所を定義する。



@@@period@@@	注文アイテム商品の期間が挿入される位置を定義する。
@@@stock@@@	注文アイテム商品の在庫が挿入される位置を定義する。
@@@stockcomment@@@	注文アイテム商品の在庫コメントが挿入される位置を定義する。
@@@stockstatus@@@	注文アイテム商品の商品在庫ステータス（在庫あり、残りわずか、在庫切れ）を挿入する場所を定義する。
@@@quantity@@@	注文アイテム商品の数量が挿入される位置を定義する。
@@@subtotal@@@	注文アイテム商品の「数量×価格」小計額が挿入される位置を定義する。
@@@subtotal_discounted@@@	注文アイテム商品の「数量×価格－割引」小計額が挿入される位置を定義する。
@@@subtotal_taxed@@@	注文アイテム商品の「数量×価格－割引＋税」小計額が挿入される位置を定義する。
@@@subtotal_shipped@@@	注文アイテム商品の「数量×価格－割引＋税＋送料」小計額が挿入される位置を定義する。
@@@total@@@	注文アイテム商品の合計が挿入される位置を定義する。
@@@options@@@	注文アイテム商品のオプションが挿入される位置を定義する。
@@@availability@@@	注文アイテム商品の在庫状況が挿入される位置を定義する。

9.1.5 Web サイトカスタマーの注文詳細をインクルード

コンテンツページ、構成要素、テンプレート、商品は、Web サイトカスタマーの注文詳細を表示するよう特殊コードをインクルードすることができます。

@@@include:order=ORDERID:orderitem=ID@@@	指定した注文詳細が“ロード”されることを定義する。各注文アイテムは、指定したコンテンツ項目を使って表示されます。（IDをコンテンツ項目 id と置換）ログイン中の Web サイトユーザにアクセス権限のある注文のみインクルードされる点にご注意ください。通常の Web サイトユーザには、自身の注文のみインクルードされます。設定した注文管理者とスーパーユーザには、全 Web サイトユーザの注文がインクルード可能です。
--	---

この特殊コードは、注文詳細を単体で表示するものではありませんのでご注意ください。ただ注文詳細を“ロード”するもので、注文や注文アイテムの特殊コードと共に使用して表示させます。詳細は、9.1.4.1 注文詳細の表示と、9.1.4.2 注文アイテム詳細表示をご参照下さい。

9.2 特殊リンク

9.2.1 ショッピングカートに追加

Web サイトカスタマーが閲覧中の商品を Web サイトショッピングカートに追加するために、このハイパーリンクを選択します。

- /shopcart.jsp?add=@@id@@@
/shopcart.jsp?add=@@id@@@
/shopcart.jsp?add=@@id@@@

代わりに、特定の商品 id (Web コンテンツ管理システム内で割り振られて使用される) を指定することも可能です。そうすると、同じページ内に様々な商品に対する“ショッピングカートに追加”リンクを複数持つことができます。

9.2.2 ショッピングカートの中を見る

Web サイトカスタマーが Web サイトショッピングカートの中にある商品を見るために、このハイパーリンクを選択します。

- /shopcart.jsp
/shopcart.jsp
/shopcart.jsp

9.2.3 チェックアウト

Web サイトカスタマーが Web サイトショッピングカートに入っている商品でチェックアウトへ進むために、このハイパーリンクを選択します。

- /shopcart.jsp?checkout
/shopcart.jsp?checkout
/shopcart.jsp?checkout

9.2.4 注文内容の確認

Web サイトカスタマーが Web サイトショッピングカートの中の商品の注文を確認するために、このハイパーリンクを選択します。

- /shopcart.jsp?confirm
/shopcart.jsp?confirm
/shopcart.jsp?confirm

9.2.5 注文の完了

Web サイトのカスタマーが Web サイトショッピングカートの中の商品の注文を完了するために、このハイパーリンクを選択します。

- /shopcart.jsp?complete
/shopcart.jsp?complete
/shopcart.jsp?complete

9.2.6 PayPal を使用した支払い

Web サイトカスタマーが注文の支払いを、PayPal (www.paypal.com) 決済サービスプロバイダーを通してクレジット／デビットカードで済ませるために、このハイパーリンクを選択します。

- http://www.paypal.com/xclick/business=@@paypal_business@@&item_name=@paypal_item_name@@&return=@paypal_return@@&cancel_return=@paypal_cancel_return@@&no_note=1¤cy_code=@paypal_currency@@&amount=@total@@

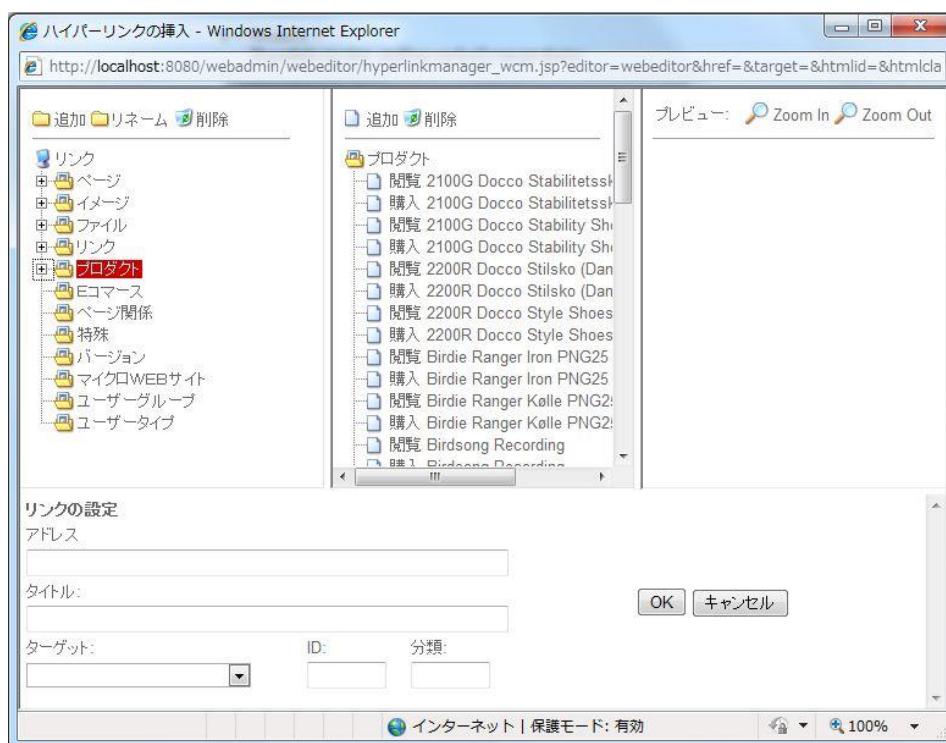
これを有効にするには、決算サービスプロバイダとして PayPal が Web サイトに設定されており、Web コンテンツ管理システムに PayPal アカウント情報が設定されている必要があります。詳しくは、「設定ガイド」をご参照下さい。

9.2.7 コンテンツエディター商品や E コマースページへのハイパーリンク挿入

Web コンテンツエディタには、E コマース機能や商品への追加ハイパーリンクがあります。

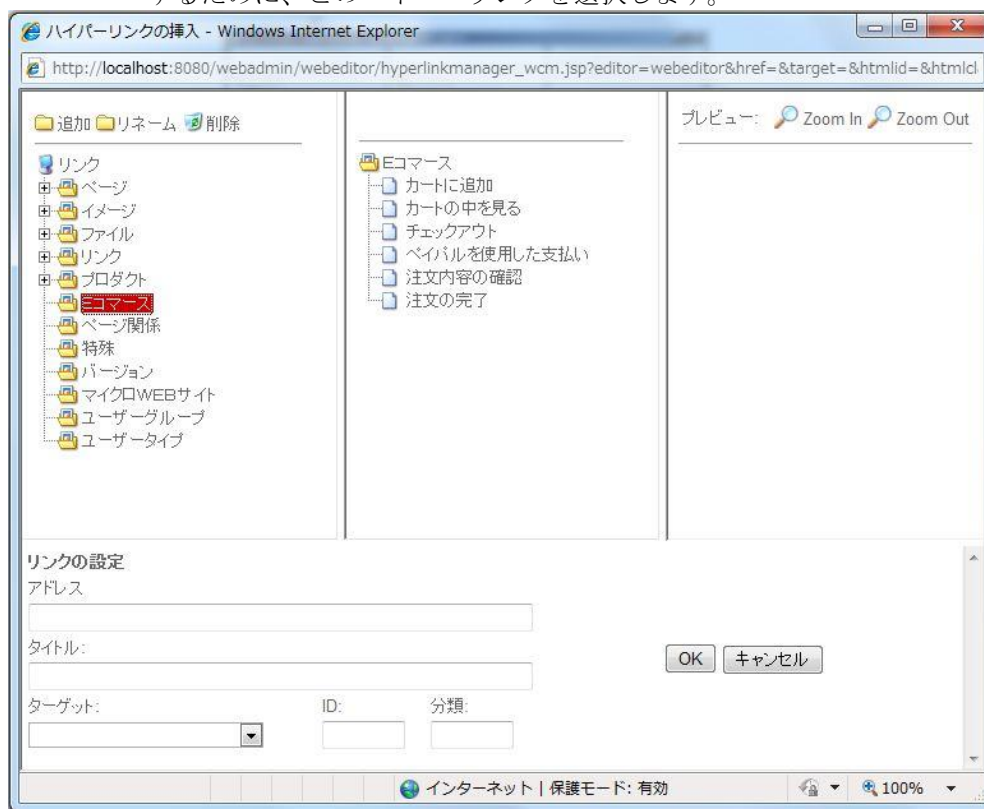
Web エディタの「ハイパーリンクの挿入」を選択し、通常のハイパーリンクの挿入ページへアクセスします。E コマース機能や商品のためのカテゴリとハイパーリンクが含まれています。

- 商品 : :
各商品を開覧また購入するためのハイパーリンク



- E コマース :
E コマース機能のハイパーリンク
 - ショッピングカートに追加
Web サイトカスタマーが閲覧中の商品を Web サイトショッピングカートに追加するために、このハイパーリンクを選択します。
 - ショッピングカートの中を見る
Web サイトカスタマーが Web サイトショッピングカートの中にある商品を見るために、このハイパーリンクを選択します。

- チェックアウト
Web サイトカスタマーが Web サイトショッピングカートに入っている商品でチェックアウトへ進むために、このハイパーリンクを選択します。
- PayPal を使用した支払い
Web サイトカスタマーが注文の支払いを、PayPal (www.paypal.com) 決済サービスプロバイダーを通してクレジット／デビットカードで済ませるために、このハイパーリンクを選択します。
- 注文内容の確認
Web サイトカスタマーが Web サイトショッピングカートの中の商品の注文を確認するために、このハイパーリンクを選択します。
- 注文の完了
Web サイトのカスタマーが Web サイトショッピングカートの中の商品の注文を完了するために、このハイパーリンクを選択します。



これら追加ハイパーリンクは、商品ページの代わりに、または商品ページと組み合わせて、コンテンツテンプレートにも含むことが可能です。

9.3 特殊フォーム

ショッピングカートやチェックアウト、注文の Web ページ、さらに注文確認、注文通知 E メールメッセージに使用される、すべての E コマース追加モジュールコンテンツは、一般的な HeartCore Web コンテンツ管理システム機能の一部であり、管理されます。これによって、要件に沿った特別な E コマースページをカスタマイズすることが簡単にできます。しかしながら、いくつかの特別なコンテンツ項目については、初歩的ではありますが、HTML コーディン

グフォームの特殊な技術知識が必要になります。これらの特別なコンテンツ項目については以下の各章で説明します。

これらの特別なコンテンツ項目を作成したり、更新したりするためには、ビジュアル Web コンテンツエディタ機能を使うだけでは済みません。「ページ」「構成要素」「テンプレート」を構成している実際の HTML コードにアクセスし、編集する必要があります。HTML コードはプログラミングのシンプルな形式であり、たとえ素人といえども比較的楽に理解し、編集することができます。コンテンツ項目の HTML コードにアクセスし編集するには、Web コンテンツエディタの「HTML を表示」機能を使います。

9.3.1 ショッピングカートサマリーページ/フォーム

Web サイトカスタマーが Web サイトを閲覧している間、現在選択済みの商品を表示する、バーチャルな Web サイトショッピングカートのサマリーを追加することができます。ショッピングカートサマリーのコンテンツは、設定されたショッピングカートサマリーページを使って表示します。詳しくは、9.4 特殊ページを参照ください。

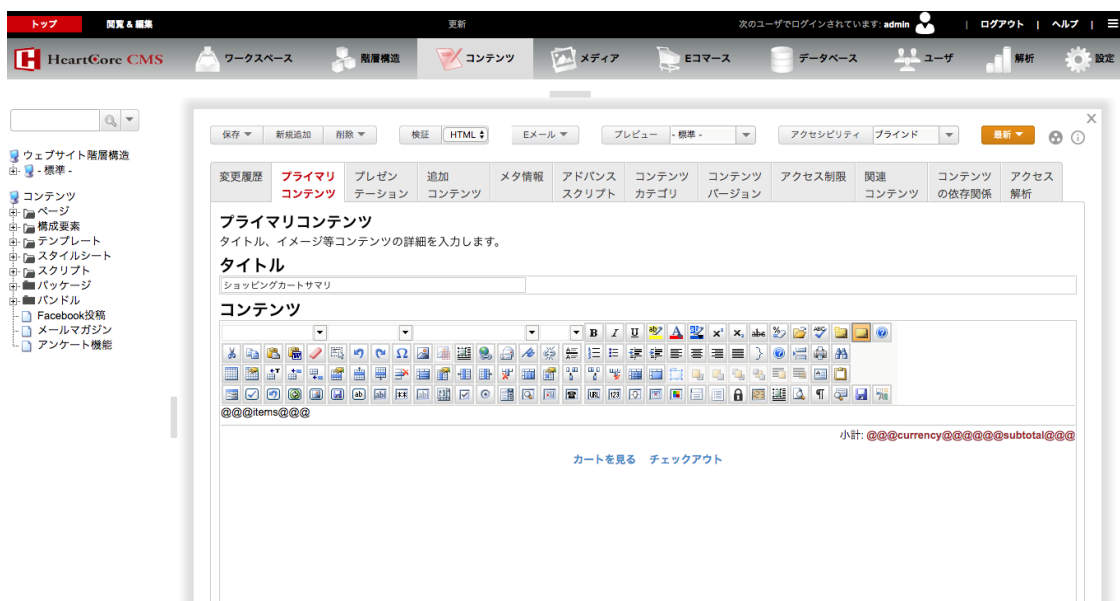
ショッピングカートサマリーを Web サイトページやテンプレートに入れるには、ページや構成要素やテンプレートへ特別なコードを含める必要があります。

@@@shopcart@@@	ショッピングカートサマリーが挿入される場所を定義する。
----------------	-----------------------------

コンテンツ管理にアクセスし、ショッピングカートサマリーページを更新するには、「Web サイトコンテンツ」→「ページ」メニュー項目を選択してください。

ショッピングカートサマリーページは、ショッピングカートページと同じ特殊コードを使って、同じ方法で編集されます。詳しくは、9.3.2 ショッピングカートページを参照ください。

注文した個々の商品をどのように表示するかは、次のセクションで説明するショッピングカートサマリーエントリによって定義されます。ショッピングカートサマリーエントリは、Web サイトカスタマーのバーチャルな Web サイトショッピングカートの各商品項目ごとに反復され、表示されます。

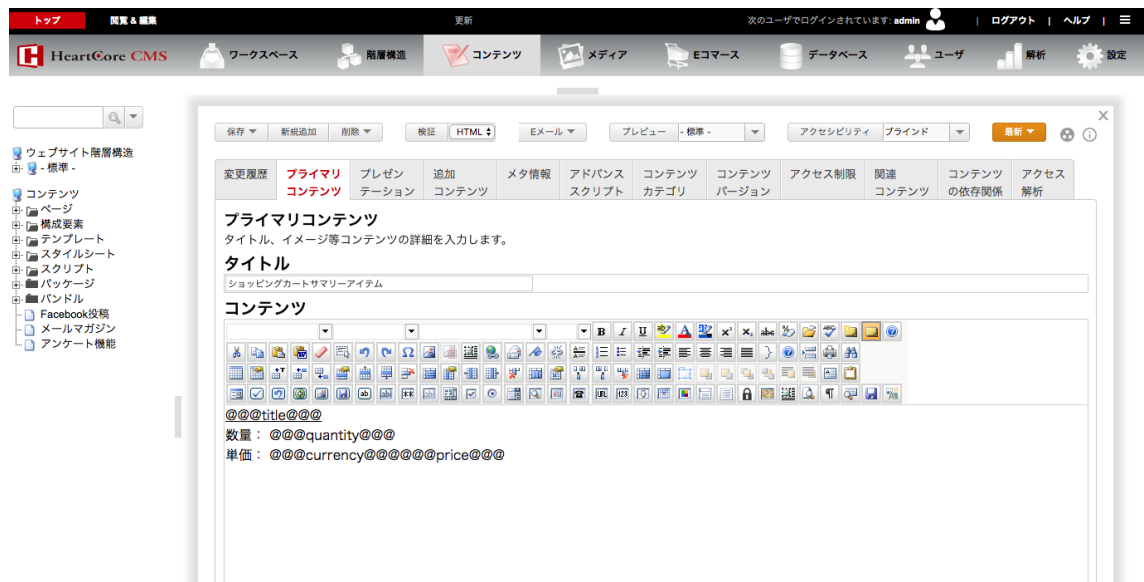


9.3.1.1 ショッピングカートサマリーエントリ

Web サイトページは、前述したように Web サイトカスタマーのバーチャルな Web サイトショッピングカートを含むことができます。しかし、Web サイトに設定されたショッピングカートサマリーエントリページは、個々の商品項目に対し反復され、表示されます。詳しくは、9.4 特殊ページをご参照ください。

コンテンツ管理にアクセスし、ショッピングカートサマリーエントリページを更新するには、「Web サイトコンテンツ」 - 「ページ」メニュー項目を選択してください。

ショッピングカートサマリーエントリページは、ショッピングカートエントリページと同じ特別コードを使用して、同じ方法で編集します。詳しくは、9.3.2.1 ショッピングカートエントリをご参照下さい。



9.3.2 ショッピングカートページ

Web サイトカスタマーが、バーチャル Web サイトショッピングカートの閲覧や、商品の追加を選択すると、ショッピングカート内の現存商品が表示されます。ショッピングカートコンテンツは、Web サイトに設定したショッピングカートページ（または Web サイトがマルチバージョンコンテンツ機能を使っている場合にはそのページの「バージョン」）を使って表示されます。詳しくは、9.4 特殊ページをご参照ください。

コンテンツ管理にアクセスし、ショッピングカートページを更新するには、「Web サイトコンテンツ」 - 「ページ」を選択してください。

ショッピングカートページとそれに関連したテンプレートによって、Web サイトカスタマーに対して表示される Web サイトショッピングカートのページ全体のレイアウト、グラフィックデザイン、コンテンツが定義されます。このコンテンツは、HeartCore Web コンテンツ管理システム内の他の通常のコンテンツと同じように編集することができます。

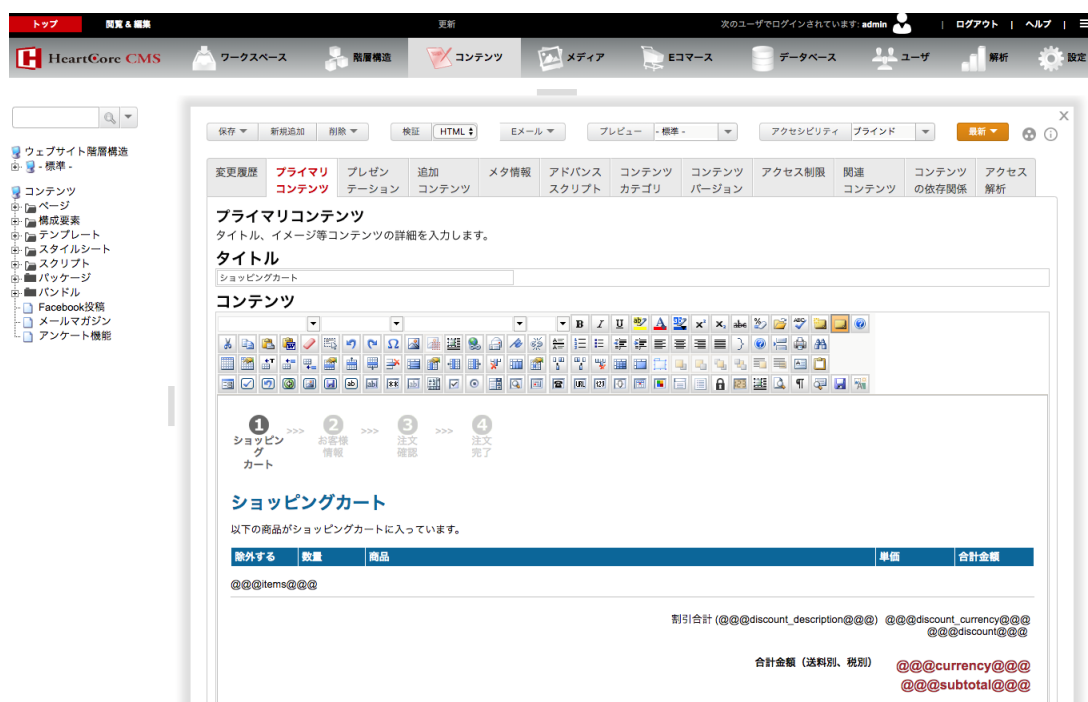
しかし、ショッピングカートページはショッピングカート内の個々の商品項目の詳細な表示方法については定義していません。代わりに、ショッピングカートページは特殊コードを含んでおり、Web サイトカスタマーがショッピングカートを開覧した際に、この特殊コードは、ショッピングカート内に現存する全商品のリストと置き換えられます。

@@@items@@@	実際の商品項目詳細が挿入される場所を定義します。
-------------	--------------------------

次節でご説明しますが、ショッピングカート内の個々の商品項目をどのような形で表示するかは、ショッピングカートエントリによって定義されます。ショッピングカートエントリは、個々の商品項目ごとにショッピングカートに反復され、表示されます。

ショッピングカートページは、他にも特殊コードを含むことができます。

@@@currency@@@	Web サイトに設定された通貨を挿入する場所を定義します。
@@@currencytitle@@@	Web サイトに設定された通貨タイトルを挿入する場所を定義します。
@@@subtotal@@@	送料ならびに税金を除いた、ショッピングカート内の現存商品とその数量の小計額を挿入する場所を定義します。



最後に、ショッピングカートページは、特別な HTML フォームと INPUT コードを含みます。これにより、Web サイトカスタマーが、選択した各商品項目の注文数量を入力し、商品合計が再計算され、チェックアウト手続きに進むことが可能になります。

<FORM action=/shopcart.asp method=post>	Web ページフォームの開始を定義する。これはコンテンツのトップ、@@@items@@@特殊コードの上に位置する必要がある。
<INPUT type=submit value=Update>	“Update” というボタンを表示する。このボタンは商品数量の変更に対し商品

	合計を計算しなおす。これは 2 つの FORM コードの間に置く必要がある。
<INPUT type=submit value=Checkout name=checkout>	“Checkout” というボタンを表示する。このボタンは Web サイトカスタマーをチェックアウトページへ遷移させる。これは 2 つの FORM コードの間に置く必要がある。
</FORM>	Web ページフォームの終了を定義する。これはコンテンツの下部、@@@items@@@特殊コードの下に置く必要がある。

割引コードでの割引率を使用するには、追加の特別な入力フィールドがショッピングカートページに必要です。そうすると、Web サイトビジターが割引コードを入力することができます。

<INPUT type="text" name="discount">	Web サイトビジターがテキスト入力フィールドに割引コードを入力可能なことを定義します。Web サイトビジターの注文に対し、どの割引率にも入力された割引コードが適用されます。複数の割引コードを一度に入力することも可能です。割引コードは、ショッピングカートがチェックアウト／注文完了する前に入力されなければいけません。通常、割引コード入力フィールドは、ショッピングカートの（数量）更新ボタンの隣で使用されます。
-------------------------------------	--

9.3.2.1 ショッピングカートエントリ

Web サイトカスタマーが、バーチャル Web サイトショッピングカートの閲覧や、商品の追加を選択すると、前述したようにショッピングカートが表示されます。しかし、個々の商品項目については、Web サイトに設定したショッピングカートエントリページに反復され、表示されます。詳しくは 9.4 特殊ページをご参照ください。

コンテンツ管理にアクセスし、ショッピングカートエントリページを更新するには、「Web サイトコンテンツ」－「ページ」を選択してください。

ショッピングカートエントリページは、各商品項目の詳細をどのように表示するかを定義します。このコンテンツは HeartCore Web コンテンツ管理システム内の他の通常コンテンツと同じように編集することができます。

しかし、ショッピングカートエントリページは特殊コードを含むことも可能です。これらのコードは、個々の商品項目について何が、どこで、どのように表示されるのかを定義します。

@@@title@@@	商品タイトル／名を表示する場所を定義する。
@@@code@@@	商品注文コードを表示する場所を定義する。



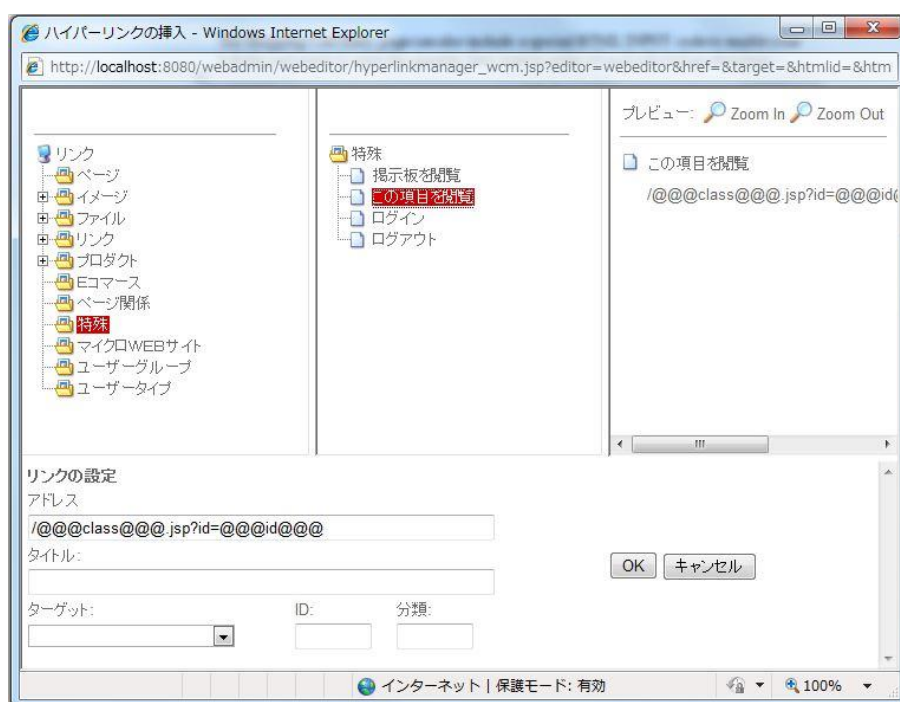
@@@comment@@@	商品コメントを表示する場所を定義する。
@@@options@@@	商品オプションを表示する場所を定義する。
@@@currency@@@	Web サイト通貨を表示する場所を定義する
@@@currencytitle@@@	Web サイト通貨タイトルを表示する場所を定義する。
@@@price@@@	Web サイト通貨に換算された商品価格を挿入する場所を定義する。Web サイトもしくはマイクロサイトの設定に応じて表示されます。詳しくは、「設定ガイド」をご参照ください。
@@@price_list@@@	商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_tax@@@	(割引前の) 商品価格に対する税額を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_taxed@@@	(割引前の) 税込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_shipping@@@	(割引前の) 商品価格に対する送料を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_shipped@@@	(割引前の) 送料(と税) 込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_discount@@@	商品価格に対する割引額を挿入する場所を定義する。
@@@price_discounted@@@	割引適用後の商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_tax@@@	(割引後の) 商品価格に対する税額を挿入する場所を定義する。
@@@price_taxed@@@	(割引後の) 税込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_shipping@@@	(割引後の) 商品価格に対する送料を挿入する場所を定義する。
@@@price_shipped@@@	(割引後の) 送料(と税) 込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_discount_description@@@	商品価格に対する割引の説明を挿入する場所を定義する。
@@@price_tax_description@@@	商品価格に対する税の説明を挿入する場所を定義する。
@@@price_shipping_description@@@	商品価格に対する送料の説明を挿入する場所を定義する。
@@@quantity@@@	選ばれた商品の数量を表示する場所を定義する。
@@@subtotal@@@	商品の「数量×価格」小計額が挿入される位置を定義する。
@@@subtotal_discounted@@@	商品の「数量×価格 - 割引」小計額が挿入される位置を定義する。
@@@subtotal_taxed@@@	商品の「数量×価格 - 割引 + 税」小計額が挿入される位置を定義する。

@@@subtotal_shipped@@@	商品の「数量×価格－割引＋税＋送料」小計額が挿入される位置を定義する。
@@@total@@@	Web サイト通貨に換算された、商品合計額（個々の商品単価に数量を掛けたもの）を表示する場所を定義する。
@@@availability@@@	商品入手可能状況が表示される場所を定義する。

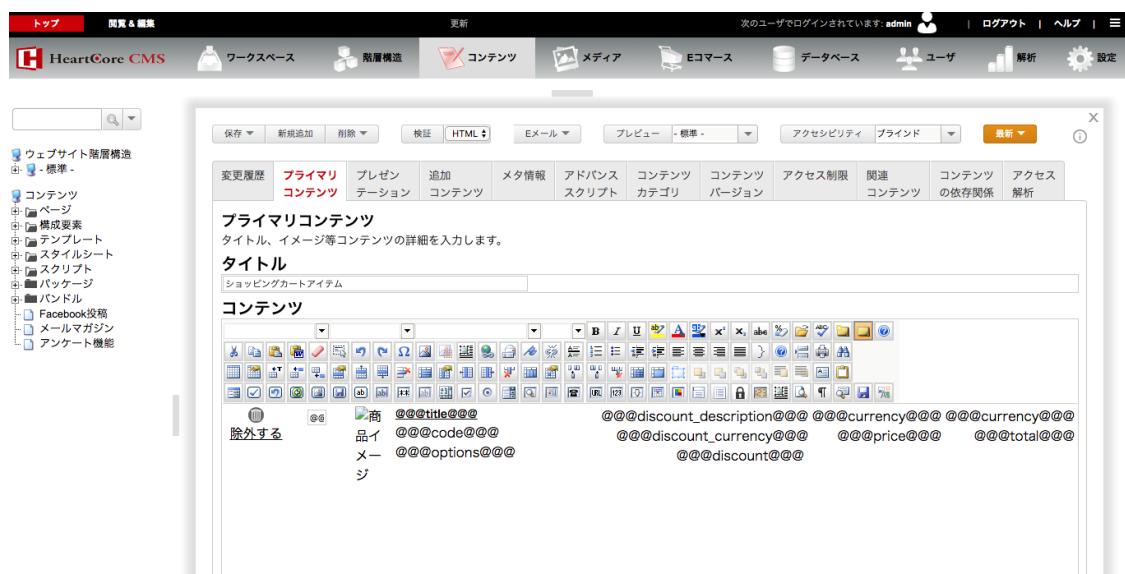
ショッピングカートエントリページはまた、特別な HTML INPUT コードを含むことができます。このコードによって Web サイトカスタマーは選んだ商品項目ごとに欲しい数量を入力することができます。

<INPUT size=2 value=@@@quantity@@@ name=@@@id@@@>	商品項目の希望数量を入力する幅 2 文字分の入力フィールドを定義する。
---	-------------------------------------

最後に、「ハイパーリンクの挿入」と「この項目を閲覧」を選択し、各エントリのフルページへのリンクを挿入することができます。



ショッピングカートエントリページにすべての特殊コードを含む必要はありません。各特殊コードは、何度でも含ませることができます。



9.3.3 チェックアウトページ

Web サイトカスタマーが、チェックアウト手続きを選択すると、ショッピングカート内の現存商品が表示され、Web サイトカスタマーは注文詳細の入力へと誘導されます。チェックアウトのコンテンツは、Web サイトに設定したチェックアウトページを使って表示されます。詳しくは 9.4 特殊ページをご参照ください。

コンテンツ管理にアクセスし、チェックアウトページを更新するには、「Web サイトコンテンツ」 - 「ページ」メニュー項目を選択してください。

チェックアウトページとそれに関連したテンプレートによって、Web サイトカスタマーへ表示されるショッピングカートのページ全体のレイアウト、グラフィックデザイン、コンテンツが定義されます。このコンテンツは HeartCore Web コンテンツ管理システム内の他の通常のコンテンツと同じように編集することができます。

しかし、チェックアウトページはショッピングカート内の個々の商品項目の詳細な表示方法については定義していません。代わりに、チェックアウトページは特殊コードを含んでいます。Web サイトカスタマーがチェックアウト手続きに進むと、この特殊コードは、ショッピングカート内に現存する全商品のリストと置き換えられます。

@@@items@@@	実際の商品項目詳細が挿入される場所を定義する。
-------------	-------------------------

次節でご説明しますが、ショッピングカート内の個々の商品項目をどのような形で表示するかはチェックアウトエントリによって定義されます。チェックアウトエントリは、個々の商品項目ごとにショッピングカートにおいて反復され、表示されます。

チェックアウトページは他にも特殊コードを含むことができます。

@@@currency@@@	Web サイトに設定された通貨が挿入される場所を定義する。
@@@currencytitle@@@	Web サイトに設定された通貨タイトルが挿入される場所を定義する。

@@@subtotal@@@	送料ならびに税金を除いた、ショッピングカート内の現存商品とその数量の合計額を挿入する場所を定義する。
----------------	--



最後に、チェックアウトページは、特別な HTML フォームと INPUT コードを含みます。これにより、Web サイトカスタマーが、注文詳細情報を入力したり、ショッピングカートに戻ったり、注文の確定に進んだりできるようになります。

<FORM action=/shopcart.aspx method=post>	Web ページフォームの開始を定義する。これはコンテンツのトップ、@@@items@@@特殊コードの上に置く必要がある。
<SELECT name=card_type> <OPTION>Please select <OPTION>American Express <OPTION>Carte Blanche <OPTION>Diners Club <OPTION>Discover <OPTION>MasterCard <OPTION>VISA </SELECT>	カードタイプのオプションリストを表示する。Web サイトビジターはこの中から 1 つを選ぶ。
<SELECT name=card_issuedmonth> <OPTION>-- <OPTION>01 <OPTION>02 <OPTION>03 <OPTION>04 <OPTION>05 <OPTION>06 <OPTION>07 <OPTION>08 <OPTION>09	カードの発行月のオプションリストを表示する。Web サイトビジターはこの中から 1 つを選ぶ。

Page 208 of 230



<INPUT size=20 name=delivery_city>	配送先市町村名を入力するための幅 20 文字分の入力フィールドを定義する
<SELECT name=delivery_state> <OPTION>- <OPTION>Alabama <OPTION>Alaska <OPTION>Arizona ... <OPTION>West Virginia <OPTION>Wisconsin <OPTION>Wyoming </SELECT>	配送先の都道府県名オプションリストを表示する。Web サイトビジターはこの中から 1 つを選ぶ。
<SELECT name=delivery_country> <OPTION>Please select <OPTION>Albania <OPTION>Algeria <OPTION>Andorra ... <OPTION>Yemen <OPTION>Zambia <OPTION>Zimbabwe </SELECT>	配送先の国名オプションリストを表示する。Web サイトビジターはこの中から 1 つを選ぶ。
@@@state:shipping :country=###delivery_country### :select=delivery_state :selected=###delivery_state### :id=ID:class=CLASS@@@	選択された国用に設定された送料都道府県を、配送先都道府県オプションリストとして表示する。Web サイトビジターはこの中から 1 つを選ぶ。（"ID" と "CLASS" を、SELECT タグの HTML id と class に置き換える）
@@@country:shipping :select=delivery_country :selected=###delivery_country### :id=ID:class=CLASS@@@	設定された送料国名を、配送先国名オプションリストとして表示する。Web サイトビジターはこの中から 1 つを選ぶ。（"ID" と "CLASS" を、SELECT タグの HTML id と class に置き換える）
<INPUT size=20 name=delivery_phone>	配送先の電話番号を入力するための幅 20 文字分の入力フィールドを定義する
<INPUT size=20 name=delivery_fax>	配送先の FAX 番号を入力するための幅 20 文字分の入力フィールドを定義する
<INPUT size=40 name=invoice_email>	請求先の E メールアドレスを入力するための幅 40 文字分の入力フィールド域を定義する
<INPUT size=40 name=invoice_name>	請求先の名前を入力するための幅 40 文字分の入力フィールドを定義する
<TEXTAREA name=invoice_address rows=4 cols=40></TEXTAREA>	請求先の住所を入力するための幅 40 文字・高さ 4 文字分の入力フィールドを定義する
<INPUT size=20 name=invoice_postalcode>	請求先の郵便番号を入力するための幅 20 文字分の入力フィールドを定義する
<INPUT size=20 name=invoice_city>	請求先の市町村名を入力するための幅 20 文字分の入力フィールドを定義する



<pre><SELECT name=invoice_state> <OPTION>- <OPTION>Alabama <OPTION>Alaska <OPTION>Arizona ... <OPTION>West Virginia <OPTION>Wisconsin <OPTION>Wyoming </SELECT></pre>	請求先の都道府県名オプションリストを表示する。Web サイトビジターはこの中から 1 つを選ぶ
<pre><SELECT name=invoice_country> <OPTION>Please select <OPTION>Albania <OPTION>Algeria <OPTION>Andorra ... <OPTION>Yemen <OPTION>Zambia <OPTION>Zimbabwe </SELECT></pre>	請求先の国名オプションリストを表示する。Web サイトビジターはこの中から 1 つを選ぶ
<pre>@@@state:tax :country=###invoice_country### :select=invoice_state :selected=###invoice_state### :id=ID:class=CLASS@@@</pre>	選択された国用に設定された税の都道府県を、請求先都道府県オプションリストとして表示する。Web サイトビジターはこの中から 1 つを選ぶ。（"ID" と "CLASS" を、SELECT タグの HTML id と class に置き換える）
<pre>@@@country:tax :select=invoice_country :selected=###invoice_country### :id=ID:class=CLASS@@@</pre>	設定された税の国名を、請求先国名オプションリストとして表示する。Web サイトビジターはこの中から 1 つを選ぶ。（"ID" と "CLASS" を、SELECT タグの HTML id と class に置き換える）
<pre><INPUT size=20 name=invoice_phone></pre>	請求先の電話番号を入力するための幅 20 文字分の入力フィールドを定義する
<pre><INPUT size=20 name=invoice_fax></pre>	請求先の FAX 番号を入力するための幅 20 文字分の入力フィールドを定義する
<pre><INPUT type=submit value="Back to Shopping Cart"></pre>	"Back to Shopping Cart" というボタンを表示する。このボタンは Web サイトカスタマーをショッピングカートページへ連れ戻します。これは 2 つの FORM コードの間に置く必要がある。
<pre><INPUT type=submit value=Continue name=confirm></pre>	"Continue" というボタンを表示する。このボタンは Web サイトカスタマーを注文確定ページへ誘導します。これは 2 つの FORM コードの間に置く必要がある。
<pre></FORM></pre>	Web ページフォームの終了を定義する。これはコンテンツの下部、@@@items@@@特殊コードの下に置く必要がある。

9.3.3.1 チェックアウトエントリ

Web サイトカスタマーが、チェックアウト手続きを選択すると、前述したようにショッピングカート内の現存商品が表示されます。しかし、個々の商品項目については、Web サイトに設定したチェックアウトエントリページが反復され、表示されます。詳しくは、9.4 特殊ページを参照ください。

コンテンツ管理にアクセスし、チェックアウトエントリページを更新するには、「Web サイトコンテンツ」－「ページ」メニュー項目を選択してください。

チェックアウトエントリページは、個々の商品項目の商品詳細がどのように表示されるかを定義します。このコンテンツは HeartCore Web コンテンツ管理システム内の他の通常のコンテンツと同じように編集することができます。

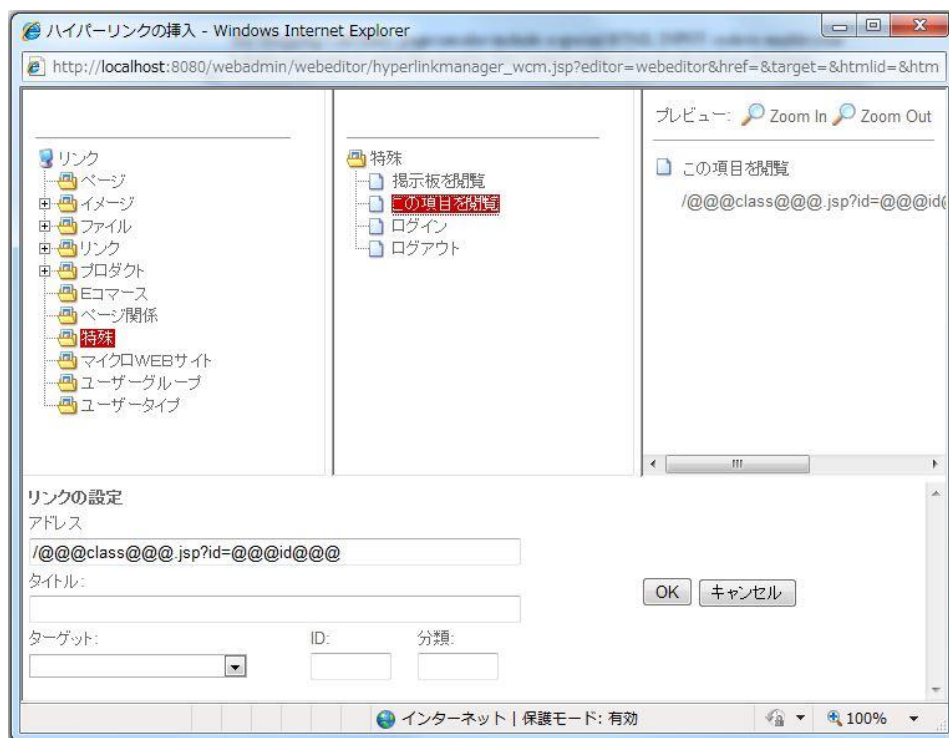
しかし、チェックアウトエントリページは特殊コードを含むこともできます。このコードによって、個々の商品項目詳細の何を、どこに、どのように表示させるかを定義できます。

@@@title@@@	商品タイトル／名を表示する場所を定義する
@@@code@@@	商品注文コードを表示する場所を定義する
@@@comment@@@	商品のコメントを表示する場所を定義する
@@@options@@@	商品オプションを表示する場所を定義する
@@@currency@@@	Web サイト通貨を表示する場所を定義する
@@@currencytitle@@@	Web サイト通貨タイトルを表示する場所を定義する
@@@price@@@	Web サイト通貨に換算された商品価格を挿入する場所を定義する。Web サイトもしくはマイクロサイトの設定に応じて表示されます。詳しくは、「設定ガイド」をご参照ください。
@@@price_list@@@	商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_tax@@@	(割引前の) 商品価格に対する税額を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_taxed@@@	(割引前の) 税込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_shipping@@@	(割引前の) 商品価格に対する送料を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_shipped@@@	(割引前の) 送料(と税) 込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_discount@@@	商品価格に対する割引額を挿入する場所を定義する。
@@@price_discounted@@@	割引適用後の商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_tax@@@	(割引後の) 商品価格に対する税額を挿入する場所を定義する。
@@@price_taxed@@@	(割引後の) 税込商品価格を挿入する場所を定義する。

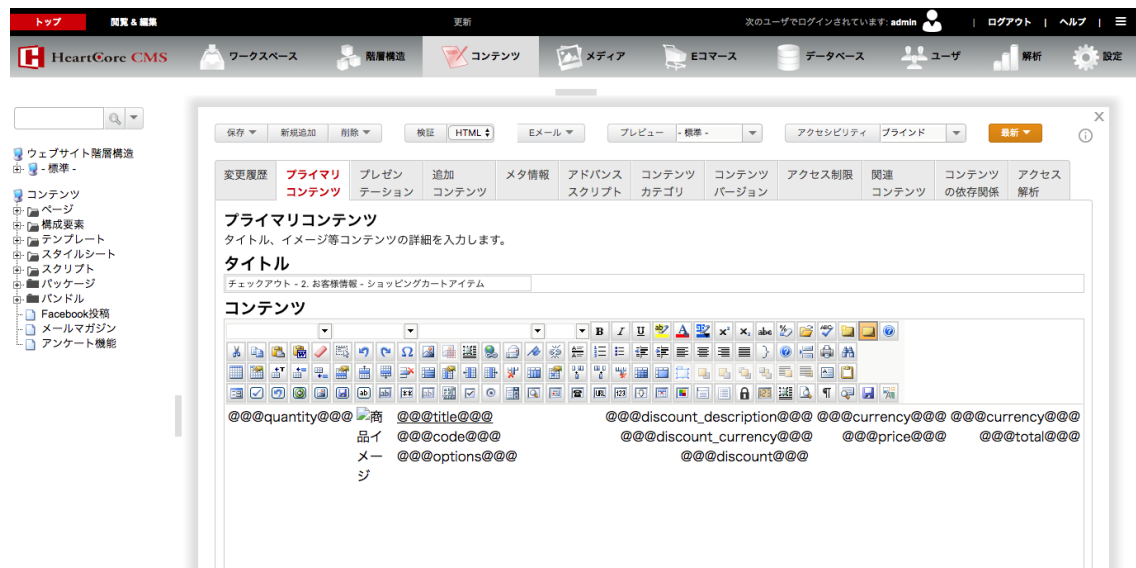


@@@price_shipping@@@	(割引後の) 商品価格に対する送料を挿入する場所を定義する。
@@@price_shipped@@@	(割引後の) 送料 (と税) 込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_discount_description@@@	商品価格に対する割引の説明を挿入する場所を定義する。
@@@price_tax_description@@@	商品価格に対する税の説明を挿入する場所を定義する。
@@@price_shipping_description@@@	商品価格に対する送料の説明を挿入する場所を定義する。
@@@quantity@@@	選ばれた商品の数量を表示する場所を定義する。
@@@subtotal@@@	商品の「数量×価格」小計額が挿入される位置を定義する。
@@@subtotal_discounted@@@	商品の「数量×価格 - 割引」小計額が挿入される位置を定義する。
@@@subtotal_taxed@@@	商品の「数量×価格 - 割引 + 税」小計額が挿入される位置を定義する。
@@@subtotal_shipped@@@	商品の「数量×価格 - 割引 + 税 + 送料」小計額が挿入される位置を定義する。
@@@total@@@	Web サイト通貨に換算された、商品合計額 (個々の商品単価に数量を掛けたもの) を表示する場所を定義する。
@@@availability@@@	商品入手可能状況が表示される場所を定義する。

最後に、「ハイパーリンクの挿入」と「この項目を閲覧」を選択し、各エントリのフルページへのリンクを挿入することができます。



チェックアウトエントリページにすべての特殊コードを含む必要はありません。各特殊コードは、何度でも含むことができます。



9.3.4 注文確認ページ

Web サイトカスタマーが、チェックアウトから注文確認へ進むと、ショッピングカート内の現存商品一覧が表示され、Web サイトカスタマーは注文内容を確認し、注文を完了するよう促されます。注文確認コンテンツは、Web サイトに設定した注文確認ページを使って表示されます。詳しくは、9.4 特殊ページをご参照ください。

コンテンツ管理にアクセスし、注文確認ページを更新するには、「Web サイトコンテンツ」 – 「ページ」メニュー項目を選択してください。

注文確認ページとそれに関連したテンプレートによって、Web サイトカスタマーへ表示される Web サイト注文確認ページ全体のレイアウト、グラフィックデザイン、コンテンツが定義されます。このコンテンツは HeartCore Web コンテンツ管理システム内の他の通常のコンテンツと同じように編集することができます。

しかし、注文確認ページはショッピングカート内の個々の商品項目の詳細な表示方法については定義していません。代わりに、注文確認ページは特殊コードを含んでいます。Web サイトカスタマーがチェックアウトから注文確認へと進むと、この特殊コードは、ショッピングカート内に現存する全商品のリストと置き換えられます。

@@@items@@@	実際の商品項目詳細が挿入される場所を定義する
-------------	------------------------

次節でご説明しますが、ショッピングカート内の個々の商品項目をどのような形で表示するかは注文確認エントリによって定義されます。注文確認エントリは、個々の商品項目ごとにショッピングカートで反復され、表示されます。

注文確認ページは、他の特殊コードも含むことができます。

@@@currency@@@	Web サイトに設定された通貨が挿入される場所を定義する
@@@currencytitle@@@	Web サイトに設定された通貨タイトルが挿入される場所を定義する
@@@subtotal@@@	送料ならびに税金を除いた、ショッピングカート内の現存商品とその数量の小計額を挿入する場所を定義する
@@@tax_description@@@	現在選択している商品の税の詳細が挿入される場所を定義する
@@@tax@@@	現在選択している商品と数量に対する税金総額が挿入される場所を定義する
@@@shipping_options@@@	Web サイトカスタマーが選択できる送料オプションを挿入する場所を定義する。Web サイトカスタマーに送料オプションの選択権がない場合は、最も安い送料オプションがデフォルトで使用される。
@@@shipping_description@@@	現在選択している商品の送料の詳細が挿入される場所を定義する
@@@shipping@@@	現在選択している商品と数量に対する送料の総額が挿入される場所を定義する
@@@total@@@	最終的な送料ならびに税金を含む、ショッピングカート内の現存商品と数量に対する合計額を挿入する場所を定義する
@@@card_type@@@	当該注文の支払いに当てられるカードのタイプを挿入する場所を定義する



@@@card_issuedmonth@@@	当該注文の支払いに当てられるカードの発行月を挿入する場所を定義する
@@@card_issuedyear@@@	当該注文の支払いに当てられるカードの発行年を挿入する場所を定義する
@@@card_expirymonth@@@	当該注文の支払いに当てられるカードの有効期限月を挿入する場所を定義する
@@@card_expiryyear@@@	当該注文の支払いに当てられるカードの有効期限年を挿入する場所を定義する
@@@card_cvc@@@	当該注文に関して入力されたカードの認証コードを挿入する場所を定義する
@@@card_issue@@@	当該注文に関して入力されたカードの発行番号を挿入する場所を定義する
@@@card_postalcode@@@	当該注文に関して入力されたカードの登録郵便番号（カード認証用）を挿入する場所を定義する
@@@delivery_email@@@	当該注文に関して入力された配送先のEメールアドレスを挿入する場所を定義する
@@@delivery_name@@@	当該注文に関して入力された配送先の名前を挿入する場所を定義する
@@@delivery_address@@@	当該注文に関して入力された配送先の住所を挿入する場所を定義する
@@@delivery_postalcode@@@	当該注文に関して入力された配送先の郵便番号を挿入する場所を定義する
@@@delivery_city@@@	当該注文に関して入力された配送先の市町村名を挿入する場所を定義する
@@@delivery_state@@@	当該注文に関して選択された配送先の県名を挿入する場所を定義する
@@@delivery_country@@@	当該注文に関して選択された配送先の国名を挿入する場所を定義する。
@@@delivery_phone@@@	当該注文に関して入力された配送先の電話番号を挿入する場所を定義する
@@@delivery_fax@@@	当該注文に関して入力された配送先のFAX番号を挿入する場所を定義する
@@@invoice_email@@@	当該注文に関して入力された請求先のEメールアドレスを挿入する場所を定義する
@@@invoice_name@@@	当該注文に関して入力された請求先の名前を挿入する場所を定義する
@@@invoice_address@@@	当該注文に関して入力された請求先の住所を挿入する場所を定義する
@@@invoice_postalcode@@@	当該注文に関して入力された請求先の郵便番号を挿入する場所を定義する
@@@invoice_city@@@	当該注文に関して入力された請求先の市町村名を挿入する場所を定義する
@@@invoice_state@@@	当該注文に関して選択された請求先の県名を挿入する場所を定義する

@@@invoice_country@@@	当該注文に関して選択された請求先の国名を挿入する場所を定義する
@@@invoice_phone@@@	当該注文に関して入力された請求先の電話番号を挿入する場所を定義する
@@@invoice_fax@@@	当該注文に関して入力された請求先のFAX 番号を挿入する場所を定義する



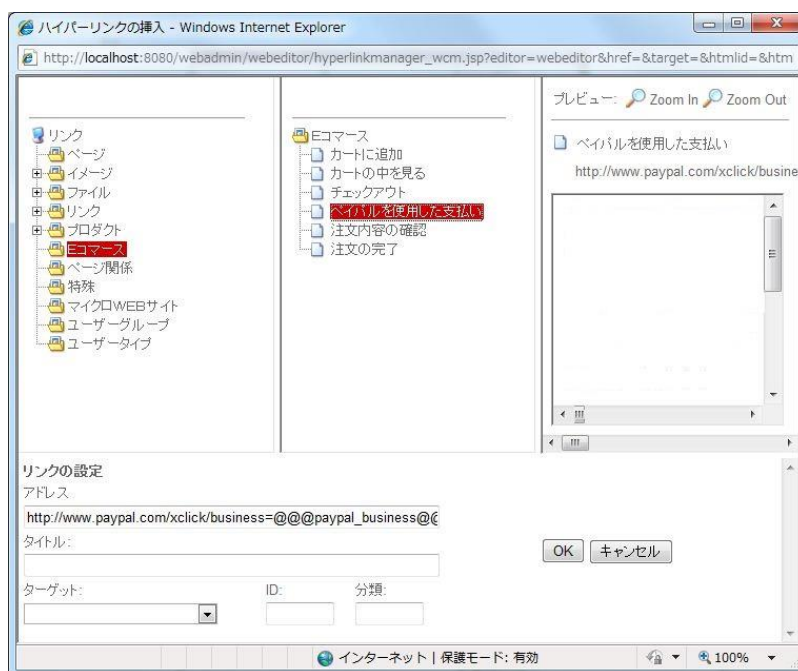
The screenshot shows the HeartCore CMS interface. The main content area is titled "プライマリコンテンツ" (Primary Content) and contains a "チェックアウト - 3. 注文確認" (Checkout - 3. Order Confirmation) section. Below the title, there is a "ご注文の確認" (Confirm your order) section with a summary table. The table lists items, quantities, and prices, followed by a total amount. The interface also includes a sidebar with site structure and a top navigation bar.

注文確認ページはまた、特別な HTML FORM と INPUT コードを含むことができます。このコードによって Web サイトカスタマーはチェックアウトに戻ったり、注文を確定したりすることができます。

<FORM action=/shopcart.asp method=post>	Web ページフォームの開始を定義する。これはコンテンツのトップ、INPUT コードの上に置く必要があります。
<INPUT type=submit value="Back to Checkout" name=checkout>	"Back to Checkout" というボタンを表示する。このボタンは Web サイトカスタマーをチェックアウト Web ページに連れ戻します。これは 2 つの FORM コードの間に置かれねばなりません。
<INPUT type=submit value=Continue name=complete>	"Continue" というボタンを表示する。このボタンは注文を完了し、Web サイトカスタマーを注文完了 Web ページへ誘導する。これは 2 つの FORM コードの間に置かれねばなりません。
<INPUT type=hidden value=no name=email_confirmation>	顧客への確認 Eメールの送信を制御する隠し INPUT コードを定義する。デフォルトでは、設定/システム/E コマース/

	デフォルト注文確認 E メールページが確認 E メールとして送信されるよう設定されています。オプションとして、 email_confirmation という名前の INPUT コードを“no” あるいはページ id に設定することで、確認 E メールを無効にしたり、異なるページを E メールに使用したりすることができます。使用する場合は、この INPUT コードは FORM コードの間に入れる必要があります。
<INPUT type=hidden value=no name=email_notification>	Web サイト管理者への通知 Eメールの送信を制御する隠し INPUT コードを定義する。デフォルトでは、設定/システム/E コマース/デフォルト注文通知 E メールページが通知 E メールとして送信されるよう設定されています。オプションとして、 email_notification という名前の INPUT コードを“no” あるいはページ id に設定することで、E メール通知を無効にしたり、異なるページを E メールに使用したりすることができます。使用する場合は、この INPUT コードは FORM コードの間に入れる必要があります。
<INPUT type=hidden value="sales@heartcore.co.jp" name=order_form_recipient >	Web サイト管理者への通知 Eメールの送信を制御する隠し INPUT コードを定義する。デフォルトでは、注文通知 E メールページは、設定/システム/E コマース/注文フォーム/E メール送信先で設定された E メールアドレスに送信されるよう設定されています。オプションとして、 order_from_recipient という名前の INPUT コードに E メールアドレスの値を設定することで、E メール通知を別の E メールアドレスに送信することができます。誤った使用を避けるため、E メールアドレスは設定/システム/Web サイト/E メール/E メールアドレス（許可済み）に設定されたものでなければいけません。そうでない場合は、無視されます。使用する場合は、この INPUT コードは FORM コードの間に入れる必要があります。
</FORM>	Web ページフォームの終了を定義する。これはコンテンツの下部、INPUT コードの下に置かれねばなりません。

最後に、PayPal 支払い手続きへのリンクを挿入するには、「ハイパーリンクの挿入」と「PayPal を使用した支払い」を選択してください。



9.3.4.1 注文確認エントリ

Web サイトカスタマーが、チェックアウトから注文確認に進むと、前述したように、ショッピングカート内の現存商品一覧が表示されます。個々の商品項目に対し、Web サイトに設定した注文確認エントリページは、反復され、表示されます。詳しくは、9.4 特殊ページを参照ください。

コンテンツ管理にアクセスし、注文確認エントリページを更新するには、「Web サイトコンテンツ」－「ページ」メニュー項目を選択してください。

注文確認エントリページは、個々の商品項目の商品詳細がどのような形で表示されるかを定義します。このコンテンツは HeartCore Web コンテンツ管理システム内の他の通常のコンテンツと同じように編集することができます。

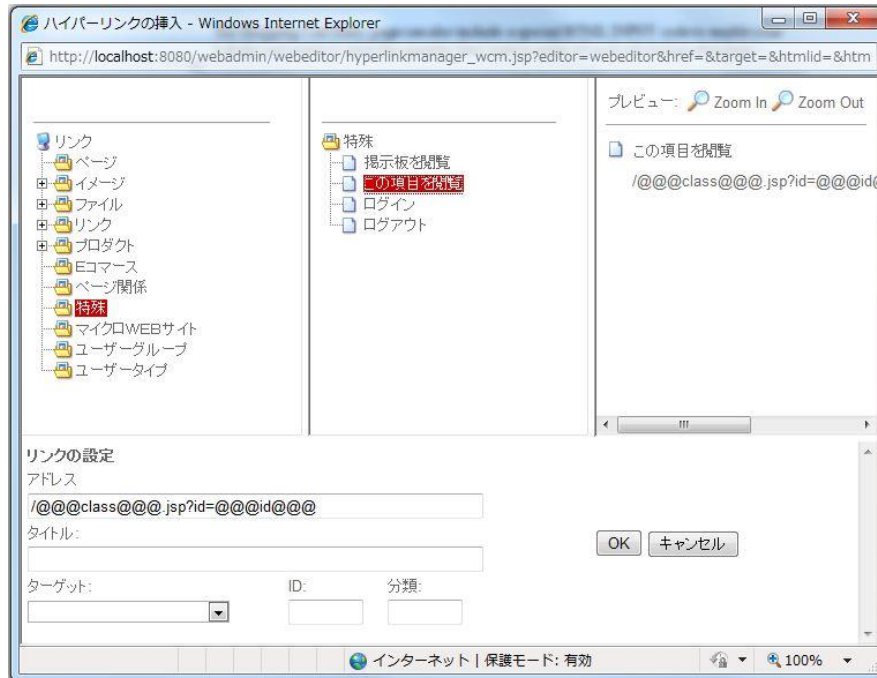
しかし、注文確認エントリページは特殊コードを含むこともできます。この特殊コードによって、個々の商品項目詳細の何が、どこに、どのように表示されるかを定義できます。

@@@title@@@	商品タイトル／名を表示する場所を定義する
@@@code@@@	商品注文コードを表示する場所を定義する
@@@comment@@@	商品のコメントを表示する場所を定義する
@@@options@@@	商品オプションを表示する場所を定義する
@@@currency@@@	Web サイト通貨を表示する場所を定義する。
@@@currencytitle@@@	Web サイト通貨タイトルを表示する場所を定義する。

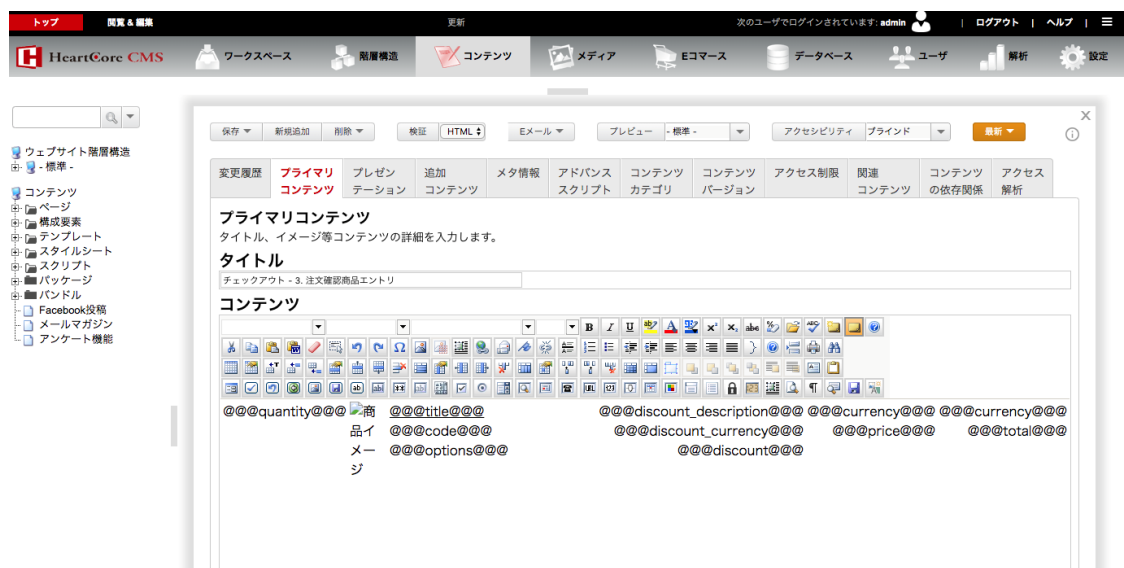


@@@price@@@	Web サイト通貨に換算された商品価格を挿入する場所を定義する。Web サイトもしくはマイクロサイトの設定に応じて表示されます。詳しくは、「設定ガイド」をご参照ください。
@@@price_list@@@	商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_tax@@@	(割引前の) 商品価格に対する税額を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_taxed@@@	(割引前の) 税込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_shipping@@@	(割引前の) 商品価格に対する送料を挿入する場所を定義する。
@@@price_list_shipped@@@	(割引前の) 送料 (と税) 込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_discount@@@	商品価格に対する割引額を挿入する場所を定義する。
@@@price_discounted@@@	割引適用後の商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_tax@@@	(割引後の) 商品価格に対する税額を挿入する場所を定義する。
@@@price_taxed@@@	(割引後の) 税込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_shipping@@@	(割引後の) 商品価格に対する送料を挿入する場所を定義する。
@@@price_shipped@@@	(割引後の) 送料 (と税) 込商品価格を挿入する場所を定義する。
@@@price_discount_description@@@	商品価格に対する割引の説明を挿入する場所を定義する。
@@@price_tax_description@@@	商品価格に対する税の説明を挿入する場所を定義する。
@@@price_shipping_description@@@	商品価格に対する送料の説明を挿入する場所を定義する。
@@@quantity@@@	選ばれた商品の数量を表示する場所を定義する。
@@@subtotal@@@	商品の「数量×価格」小計額が挿入される位置を定義する。
@@@subtotal_discounted@@@	商品の「数量×価格 - 割引」小計額が挿入される位置を定義する。
@@@subtotal_taxed@@@	商品の「数量×価格 - 割引 + 税」小計額が挿入される位置を定義する。
@@@subtotal_shipped@@@	商品の「数量×価格 - 割引 + 税 + 送料」小計額が挿入される位置を定義する。
@@@total@@@	Web サイト通貨に換算された、商品合計額 (個々の商品単価に数量を掛けたもの) を表示する場所を定義する。
@@@availability@@@	商品入手可能状況が表示される場所を定義する。

最後に、各エントリのフルページへのリンクを挿入するには、「ハイパーリンクの挿入」と「この項目を閲覧」を選択してください。



注文確認エントリページにすべての特殊コードを含ませる必要はありません。各特別コードは、何度でも含めることができます。



9.3.5 注文完了ページ

Web サイトカスタマーが注文を確定し発注を完了すると、その注文詳細が表示されます。注文詳細は、Web サイトに設定した注文完了ページを使って表示されます。詳しくは、9.4 特殊ページをご参照ください。

コンテンツ管理にアクセスし、注文完了ページを更新するには、「Web サイトコンテンツ」 - 「ページ」メニュー項目を選択してください。

注文完了ページは、注文確認ページと同じ特別コードを使って同じ方法で編集されています。詳しくは、9.3.4 注文確認ページを参照ください。

注文完了ページにも、その他の特殊コードを含めることができます。

@@@payment@@@	支払い処理説明あるいは支払い処理モジュールからの確認情報が挿入される場所を定義します。
@@@delivery@@@	商品配送ページおよび商品配送カスタム拡張プログラムからの出力が挿入される場所を定義します。

次節でご説明しますが、注文が完了した個々の商品項目をどのような形で表示するかは注文完了エントリによって定義されます。注文完了エントリは、注文された個々の商品項目ごとに反復され、表示されます。

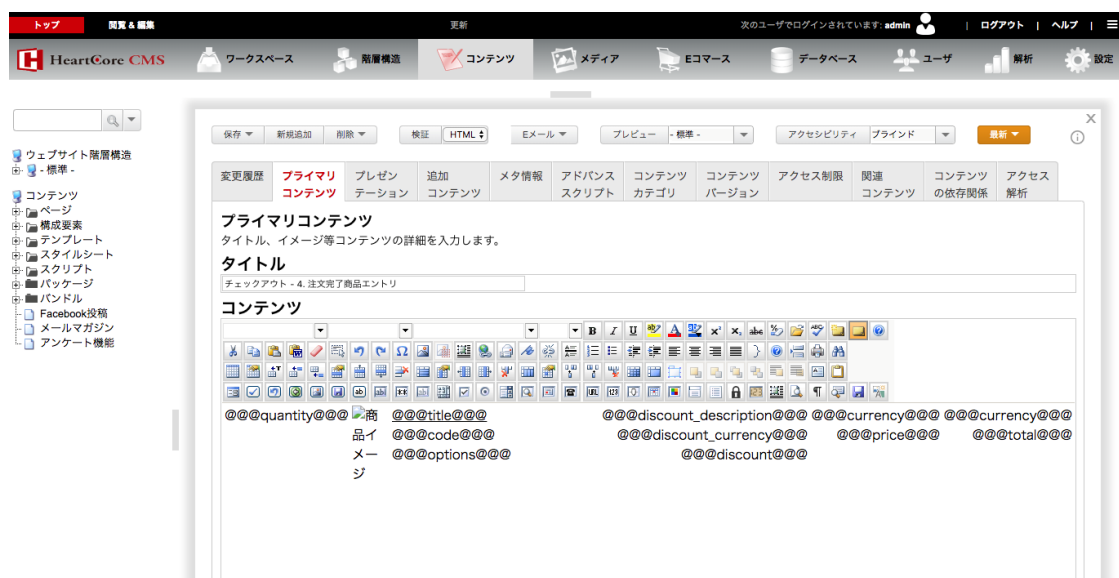


9.3.5.1 注文完了エントリ

Web サイトカスタマーが注文を確定し発注を完了すると、前述したように、注文した商品が表示されます。Web サイトに設定した注文完了エントリページは、個々の商品項目に対して反復され、表示されます。詳しくは 9.4 特殊ページをご参照ください。

コンテンツ管理にアクセスし、注文完了エントリページを更新するには、「Web サイトコンテンツ」－「ページ」メニュー項目を選択してください。

注文完了エントリページは、注文確認エントリページと同じ特殊コードを使って同じ方法で編集されています。詳しくは、9.3.4.1 注文確認エントリをご参照ください。



9.3.6 注文確認Eメールページ

Web サイトカスタマーが注文を確定し発注を完了すると、注文確認Eメールが、請求先として入力されたEメールアドレス宛に送られます。注文確認のコンテンツは、Web サイトに設定した注文確認Eメールページから生成されます。詳しくは、9.4 特殊ページをご参照ください。

コンテンツ管理にアクセスし、注文確認Eメールページを更新するには、「Web サイトコンテンツ」 - 「ページ」メニュー項目を選択してください。

注文確認Eメールページは、注文確認ページと同じ特殊コードを使って同じ方法で編集されています。詳しくは、9.3.4 注文確認ページを参照ください。

次節でご説明しますが、注文が完了した個々の商品項目をどのような形で表示するかは、注文確認Eメールエントリによって定義されます。注文確認Eメールエントリは、個々の商品項目ごとに繰り返され、表示されます。

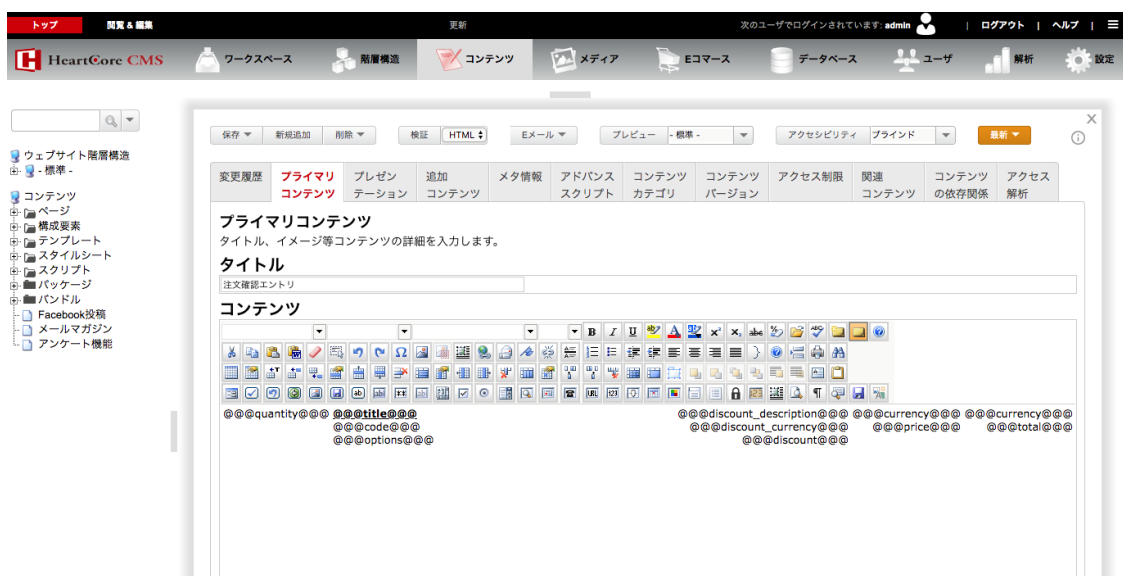


9.3.6.1 注文確認Eメールエントリー

Web サイトカスタマーが注文を確定し発注を完了すると、前述したように、注文確認Eメールが請求先として入力されたEメールアドレス宛に送られます。Web サイトに設定されている注文確認Eメールエントリーページは、個々の商品項目に反復され、表示されます。詳しくは 9.4 特殊ページをご参照ください。

コンテンツ管理にアクセスし、注文確認Eメールエントリーページを更新するには、「Web サイトコンテンツ」 - 「ページ」メニュー項目を選択してください。

注文確認Eメールエントリーページは、注文確認エントリーページと同じ特殊コードを使って同じ方法で編集されています。詳しくは、9.3.4.1 注文確認エントリーをご参照ください。



9.3.7 注文通知Eメールページ

Web サイトカスタマーが注文を確定し発注を完了すると、Web サイトに設定された注文フォームのE メールアドレス宛に、注文通知E メールが送られます。注文通知のコンテンツは、Web サイトに設定されている注文通知E メールページから生成されます。詳しくは、9.4 特殊ページをご参照ください。

コンテンツ管理にアクセスし、注文通知E メールページを更新するには、「Web サイトコンテンツ」 - 「ページ」メニュー項目を選択してください。

注文通知E メールページは、注文確認ページと同じ特殊コードを使って同じ方法で編集されています。詳しくは 9.3.4 注文確認ページをご参照ください。

次節でご説明しますが、注文が完了した個々の商品項目がどのような形で表示されるかは、注文通知E メールエントリーによって定義されます。注文通知E メールエントリーは、個々の商品項目ごとに反復され、表示されます。



9.3.7.1 注文通知Eメールエントリー

Web サイトカスタマーが注文を確定し発注を完了すると、前述したように、注文フォームのEメールアドレス宛に注文通知が送信されます。Web サイトに設定された注文通知Eメールエントリーページは、個々の商品項目において反復され、表示されます。詳しくは、9.4 特殊ページをご参照ください。

コンテンツ管理にアクセスし、注文通知Eメールエントリーページを更新するには、「Web サイトコンテンツ」 - 「ページ」メニュー項目を選択してください。

注文通知Eメールエントリーページは、注文確認エントリーページと同じ特殊コードを使って同じ方法で編集されています。詳しくは、9.3.4 注文確認ページをご参照ください。



9.3.8 注文状況追跡Eメールページ

注文ステータスを更新する際、Web サイトカスタマー宛に注文状況追跡Eメールを送信するか選択できます。注文状況追跡Eメールのコンテンツは、Web サイトに設定された注文状況トラッキングEメールページから生成されます。詳しくは、9.4 特殊ページをご参照ください。

コンテンツ管理にアクセスし、注文状況追跡Eメールページを更新するには、「Web サイトコンテンツ」 - 「ページ」メニュー項目を選択してください。

注文状況追跡Eメールページは、注文確認ページと同じ特殊コードを使って同じ方法で編集されています。詳しくは、9.3.4 注文確認ページをご参照ください。注文状況追跡Eメールページでは、もう1つ特別なコードが使用されます。

@@@status@@@	「注文状況」が挿入される場所を定義する。
--------------	----------------------

次節でご説明しますが、個々の注文商品項目をどのような形で表示するかは、注文状況トラッキングEメールエントリによって定義されます。注文状況トラッキングEメールエントリは、個々の受注商品項目ごとに反復され、表示されます。

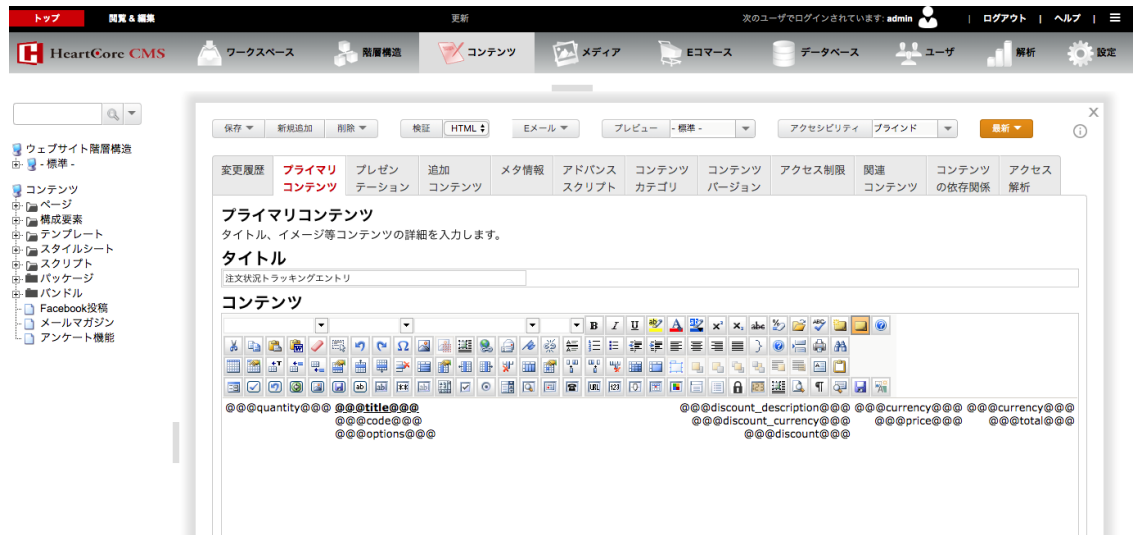


9.3.8.1 注文状況追跡Eメールエントリ

注文ステータスを更新する際、注文状況追跡EメールをWeb サイトカスタマー宛に送信するか選択できます。Web サイトに設定されている注文状況トラッキングEメールエントリページは、個々の商品項目において反復され、表示されます。詳しくは、9.4 特殊ページをご参照ください。

コンテンツ管理にアクセスし、注文状況追跡Eメールエントリページを更新するには、「Web サイトコンテンツ」 - 「ページ」メニュー項目を選択してください。

注文状況追跡Eメールエントリーページは、注文確認エントリーページと同じ特殊コードを使って同じ方法で編集されます。詳しくは、9.3.4.1 注文確認エントリーをご参照ください。



9.4 特殊ページ

E コマース追加モジュールライセンスを設定すると、Web サイトのE コマース機能を設定することができます。

「設定」－「システム」－「E コマース」メニュー項目を選択し、Web サイトの基本的なE コマース機能を設定します。

E コマース設定オプションは次のとおりです。

9.4.1 デフォルトショッピングカートサマリーページ

他の Web ページに含まれる、Web サイト閲覧者にショッピングカートのサマリーを表示するページ。このページをそのままデフォルトの“ショッピングカートサマリーページ”としておくのがよいでしょう。ショッピングカートサマリーページは、一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳細は 9.3.1 ショッピングカートサマリーページ/フォームを参照ください。

9.4.2 デフォルトショッピングカートサマリーエントリー

ショッピングカートのサマリーページで、各商品アイテムを表示するためのページ。このページをデフォルトの“ショッピングカートサマリーエントリー”ページとしておくのがよいでしょう。ショッピングカートサマリーエントリーは、一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳細は 9.3.1.1 ショッピングカートサマリーエントリーをご参照ください。

9.4.3 デフォルトショッピングカートページ

Web サイトビジターがショッピングカートを見る機能や、ショッピングカートに商品を追加する機能を使用した際に、ショッピングカートを表示するために使用されるページ。このページをデフォルトの“ショッピングカートページ”としておくのがよいでしょう。ショッピングカートページは、一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳細は 9.3.2 ショッピングカートページを参照ください。

9.4.4 デフォルトショッピングカートエントリ

ショッピングカートページで、各商品アイテムを表示するためのページ。このページをデフォルトの“ショッピングカートエントリ”ページとしておくのがよいでしょう。ショッピングカートエントリは、一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳細は、9.3.2.1 ショッピングカートエントリをご参照下さい。

9.4.5 デフォルトチェックアウトページ

Web サイトビジターがチェックアウト機能を使用する際にショッピングカートを表示するためのページ。このページをデフォルトの“チェックアウト”ページとしておくのがよいでしょう。チェックアウトページは、一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳細は、9.3.3 チェックアウトページを参照ください。

9.4.6 デフォルトチェックアウトエントリ

チェックアウトページで、各商品アイテムを表示するためのページ。このページをデフォルトの“チェックアウトエントリ”ページとしておくのがよいでしょう。チェックアウトエントリページは一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳細は、9.3.3.1 チェックアウトエントリを参照ください。

9.4.7 デフォルト注文確認ページ

Web サイトビジターに注文確認を求める際に注文内容を表示するページ。このページをデフォルトの“注文確認”ページとしておくのがよいでしょう。注文確認ページは一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳細は 9.3.4 注文確認ページを参照ください。

9.4.8 デフォルト注文確認エントリ

注文確認ページで、各商品アイテムを表示するためのページ。このページをデフォルトの“注文確認エントリ”ページとしておくのがよいでしょう。注文確認エントリは一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳細は 9.3.4.1 注文確認エントリを参照ください。

9.4.9 デフォルト注文完了ページ

Web サイトビジターが注文を完了する際に、注文内容を表示するページ。このページをデフォルトの“注文完了”ページとしておくのがよいでしょう。注文完了ページは一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳細は 9.3.5 注文完了ページを参照ください。

9.4.10 デフォルト注文完了エントリ

注文完了ページで各商品を表示するページ。このページをデフォルトの“注文完了エントリ”ページとしておくのがよいでしょう。注文完了エントリは一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳細は 9.3.5.1 注文完了エントリを参照ください。

9.4.11 デフォルト空のショッピングカートページ

もし顧客がショッピングカートが空の場合にチェックアウトや注文確認に進もうとした場合に表示されるデフォルトのページ。

9.4.12 デフォルト注文確認Eメールページ

Web サイトビジターが注文を完了した際に、Web サイトビジターに注文確認Eメールを送るために使用されるページ。これをデフォルトの“注文確認”ページとしておくのがよいでしょう。注文確認ページは一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳細は 9.3.6 注文確認Eメールページを参照ください。

9.4.13 デフォルト注文確認Eメールエントリ

注文確認Eメールページで、各商品アイテムを表示するために使用されるページ。これをデフォルトの“注文確認エントリ”としておくのがよいでしょう。注文確認エントリは一般的なページ

ージではなく、特殊なコードを含みます。詳細は 9.3.6.1 注文確認 E メールエントリ を参照ください。

9.4.14 デフォルト注文通知 E メールページ

ビジターが注文を完了した際に、Web サイトの注文フォーム管理者に注文通知を送信するために使用されるページ。これをデフォルトの“注文通知”ページにしておくのがよいでしょう。注文通知ページは一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳細は 9.3.7 注文通知 E メールページを参照ください。

9.4.15 デフォルト注文通知 E メールエントリ

注文通知 E メールページで、各商品アイテムを表示するために使用されるページ。これをデフォルトの“注文通知エントリ”ページにしておくのがよいでしょう。注文通知エントリは一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳細は 9.3.7.1 注文通知 E メールエントリを参照ください。

9.4.16 デフォルト注文状況トラッキング E メールページ

注文状況が更新された際に、Web サイトカスタマーに注文状況追跡メッセージを E メール送信するために使用されるページ。これをデフォルトの“注文状況追跡”ページにしておくのがよいでしょう。注文状況追跡 E メールページは一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳細は 9.3.8 注文状況追跡 E メールページを参照ください。

9.4.17 デフォルト注文状況トラッキング E メールエントリ

注文状況追跡 E メールページで、各商品アイテムを表示するために使用されるページ。これをデフォルトの“注文状況追跡エントリ”としておくのがよいでしょう。注文状況追跡エントリは一般的なページではなく、特殊なコードを含みます。詳細は 9.3.8.1 注文状況追跡 E メールエントリ を参照ください。

9.4.18 デフォルト支払い成功ページ

支払いが正常に完了した際に Web サイトカスタマーに表示される Web サイトページ。

9.4.19 デフォルト支払いキャンセルページ

支払いがキャンセル／失敗した際に Web サイトカスタマーに表示される Web サイトページ。

9.4.20 商品および注文印刷ページ

特別ページとして、商品および注文の「印刷ページ」をいくつでも設定することができます。管理インデックスページにて、選択した商品および注文のカスタムレポートを印刷することが可能です。詳しくは、「設定ガイド」をご参照ください。

選択した商品および注文のデータを表示するには、これらのページに一般的な特殊コードを使用する必要があります。通常、“@@@list:.....@@@”および“###id###”特殊コードを使用します。（id は、選択した商品および注文の id です。）

@@@list:products:id in ###id###@@@	ウェブサイト管理者が選択した商品リストを表示する場所を定義します。
@@@list:orders:id in ###id###@@@	ウェブサイト管理者が選択した注文リストを表示する場所を定義します。

9.4.21 デフォルトログインページ

Web サイトユーザが、Web サイトにログインする際に使用するページです。不正なログイン情報が入力された場合や、ユーザアカウントが非アクティブの場合に、エラーを表示することができます。

@@@error@@@	ログインエラーメッセージが表示される位置を定義します。（エラーが発生した場合のみ表示されます）
-------------	---